

平成２７年度つくば市民意識調査 報 告 書

**平成２８年３月
つくば市**

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	2
2	調査期間	2
3	調査対象	2
4	調査方法	2
5	回収状況	2
6	年齢別・地区別回収状況	2

II 集計結果

1	集計結果の概要	4
2	あなたご自身について（回答者の属性）	9
(1)	性別	9
(2)	年齢	9
(3)	世帯構成	10
(4)	世帯に含む人	10
(5)	職業	11
(6)	住まいの状況	12
(7)	居住地区	13
3	現在の住環境について	14
(1)	問1 居住年数	14
(2)	問2 つくば市以外の居住経験	17
(3)	問3 定住意向	20
(4)	問4 住み心地	23
(5)	問5 住みやすいと感じる理由	26
(6)	問6 住みにくいと感じる理由	29
(7)	問7 景観	32
(8)	問8 優れていると感じる景観	35
4	普段の生活について	38
(1)	問9 幸福度	38
(2)	問10 幸福感を判断する際に重視すること	41
(3)	問11 心配ごとや困っていること	44
(4)	問12 地域活動への参加	47
(5)	問13 地域活動に参加しない理由	50
(6)	問14 防災対策	53
(7)	問15 防犯活動への参加	56
(8)	問16 防犯活動に参加しない理由	59
(9)	問17 地球温暖化対策	62

5	つくば市への愛着について	65
(1)	問 18 つくば市への愛着	65
(2)	問 19 市外の友人に紹介したい（自慢したい）つくば市の魅力	68
6	つくば市の現状やまちづくりへの取組について	71
(1)	問 20 日常生活の満足度	71
(2)	問 21 不満とを感じる項目とその理由	82
7	少子高齢化への取組について	85
(1)	問 22 子育て環境	85
(2)	問 23 子育て環境として充実・不足しているもの	88
(3)	問 24 高齢者の生活環境	93
(4)	問 25 高齢者の生活環境として充実・不足しているもの	96
8	スポーツの振興について	101
(1)	問 26 運動頻度	101
(2)	問 27 スポーツ推進のために必要な取組	104
9	交通環境について	107
(1)	問 28 日常利用する交通手段	107
(2)	問 29 歩行者と自転車と自動車の共生	110
(3)	問 30 歩行者と自転車と自動車の共生のために必要な取組	112
10	つくば駅周辺地区の活性化について	114
(1)	問 31 つくばセンター地区を訪れる頻度	114
(2)	問 32 つくばセンター地区を訪れる目的	117
(3)	問 33 つくばセンター地区の活性化に必要な取組	120
11	国際化の推進・科学技術の振興について	123
(1)	問 34 国際都市として必要な取組	123
(2)	問 35 科学技術振興のために必要な取組	126
12	自由意見	129

Ⅲ 調査票	133
--------------	-----

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、つくば市の現状やまちづくりの取組に対する評価や満足度、市民が重要と感じている施策、社会情勢から重点的な取組が必要な課題について、市民の意向などを把握することを目的として実施した。

本調査の結果は、今後の市政運営と施策実施の基礎資料として活用する。

2 調査期間

平成 27 年 11 月 4 日～平成 27 年 11 月 24 日

3 調査対象

住民基本台帳に記載された 18 歳以上の男女 2,400 人を層化無作為抽出法により抽出

4 調査方法

郵送配布・回収（※希望者は web 回答も可）

※調査票は 133 ページを参照

5 回収状況

発送数：2,400 通

回収数：1,233 通

回収率：51.4 %

6 年齢別・地区別回収状況

地区	地区別 回答数	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75 歳 以上	無回答
年齢別回答数	1,233	14	113	221	228	206	125	158	94	66	8
筑波地区	109	1	12	11	15	15	12	19	14	9	1
大穂地区	85	1	6	15	12	17	9	10	13	2	0
豊里地区	93	1	6	10	20	14	9	18	7	7	1
谷田部地区	196	3	14	25	29	34	25	35	16	13	2
桜地区	122	1	12	17	18	20	18	16	11	8	1
荃崎地区	142	0	4	13	23	18	14	32	23	12	3
研究学園地区	355	7	47	76	85	64	30	23	8	15	0
T X 沿線地区	131	0	12	54	26	24	8	5	2	0	0

Ⅱ 集計結果

報告書の見方(凡例)

- (1) 集計結果の%は、小数点第2位を四捨五入し、第1位までの表記としている。したがって、合計が100%に満たないまたは100%を超える場合がある。
- (2) 回答者数は、回答者全員が答えるべき設問については有効回答数となり、条件付き設問（例：「問1で1に○をした方のみお聞きします」という設問）については、その設問に答えるべき該当者の数となっている。
- (3) 複数回答の設問は、集計結果の合計が100%を超えることがある。
- (4) 無回答には、無効回答（選んだ選択肢の判別が困難なもの、択一回答の設問で複数の選択肢を選んでいるものなど）が含まれる。
- (5) n は、各設問における回答者数である。

1 集計結果の概要

(1) あなたご自身について

各属性の上位2位までは次のとおり

属性	1 位	2 位
性別	「女性」 54.7%	「男性」 44.7%
年齢	「40 歳代」 18.5%	「30 歳代」 17.9%
世帯構成	「親子」 46.9%	「夫婦のみ」 24.5%
世帯にいる該当者	「65～74 歳の方」 28.9%	「75 歳以上の方」 18.9%
職業	「会社員・公務員」 38.0%	「無職」 16.2%
住まいの状況	「一戸建（持ち家）」 70.4%	「集合住宅（賃貸）」 15.5%
居住地区	「研究学園地区」 28.8%	「谷田部地区」 15.9%

(2) 現在の住環境について

① 居住年数・市外居住経験

つくば市での居住年数は、「30 年以上」が最も多く（39.3%）、次いで「10 年以上 20 年未満」が 17.2%となっている（図 1）。地区別に見ると、居住年数が 20 年未満である割合は、研究学園地区で 60%，T X 沿線地区で 80%を超えている。一方、研究学園地区と T X 沿線地区以外の地区では、居住歴が 20 年以上である割合が高く、いずれも 65%を超えている。

つくば市外の居住経験については、「ある」が 82.2%，「ない」が 17.4%となっており、特に研究学園地区、T X 沿線地区では「ある」が 90%を超えている。

② 住み心地・定住意向

つくば市の住み心地は、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい（計）』が 81.5%となっている（図 2）。いずれの年齢，地区，住まいの状況でも『住みやすい（計）』が 65%を超えている。

住みやすいと感じる主な理由は、「豊かな自然」が最も多く（59.3%），次いで「日常生活が便利」が 51.6%となっている。地区別に見ると筑波地区は「豊かな自然」が 70.7%であるが，T X 沿線地区は 48.7%と少ない。一方，住みにくいと感じる主な理由は、「交通の便が悪い」が最も多く（75.4%），次いで「日常生活が不便」が 47.0%となっている。

定住意向については、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい（計）』が 82.7%となっている。

③ 景観

つくば市の景観については、「優れている」と「どちらかといえば優れている」を合わせた『優れている（計）』が 77.4%となっており，優れていると感じている割合が多い（図 3）。

優れていると感じる景観としては、「筑波山」が最も多く（77.1%），次いで「研究学園都市の街並み」（53.6%），「公園」（49.9%），「街路樹」（49.2%），「田園風景」（39.0%）などがあげられる。

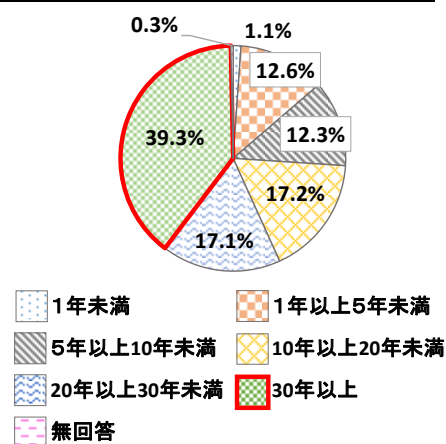


図1 「居住年数」

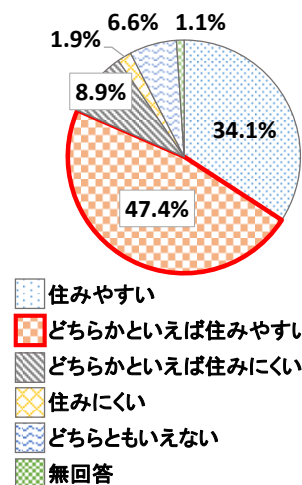


図2 「住み心地」

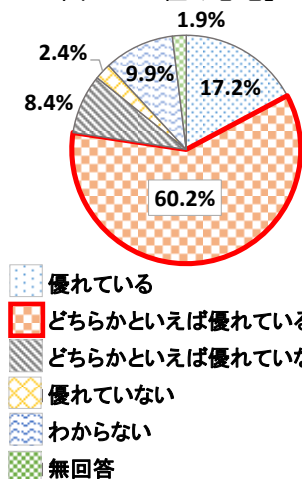


図3 「つくば市の景観」

(3) あなたの普段の生活について

① 幸福度

幸福度については、「7点」が最も多く(21.0%),次いで「8点」が20.4%となっている(図4)。幸福感を判断する際に特に重視することについては、「健康状況」が73.3%で最も多く、次いで「家族関係」が51.3%,「家計の状況」が39.1%となっている。いずれの年齢、地区、世帯構成、職業でも「健康状況」が上位に入っている。

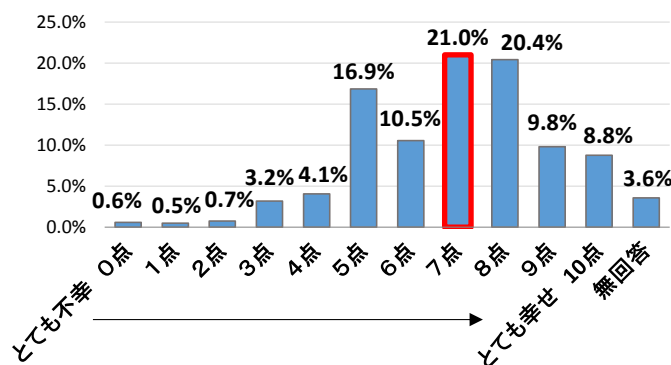


図4 「幸福度」

② 心配ごとや困っていること

心配ごとや困っていることについては、「老後のこと」が最も多く(49.3%),次いで「お金のこと」が37.7%となっている。年齢別に見ると、10歳代~40歳代は「お金のこと」、50歳代以上は「老後のこと」が最も多くなっている。地区別に見ると、すべての地区で「老後のこと」が最も多い。

③ 地域活動

地域活動については、「特にない」が最も多く(47.5%),実践しているものとしては、「区会・自治会」が29.0%,次いで「スポーツ・趣味」が17.8%となっている。年齢別に見ると、10歳代~40歳代、60~64歳、70歳以上では、「特にない」が最も多く、50歳代、65~69歳では「区会・自治会」が最も多い。地域活動に参加していない理由については、「仕事で忙しい」が最も多く(43.5%),次いで「情報がない」が28.7%となっている。過年度調査と比べると、「関心や興味がない」が増加し、「特に理由はない」が減少している。

④ 防災・防犯対策

防災対策として実践しているものについては、「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多く(56.1%),次いで「何もしていない」が28.5%となっている。地区別、世帯構成別いずれで見ても、「防災用品や食料・水の備蓄」が上位に入っている。

また、地域の防犯活動への参加状況については、「参加していない」が最も多く(84.3%),「いつも参加している」(3.1%)と「ときどき参加している」(11.4%)を合わせても14.5%となっている(図5)。防犯活動に参加しない理由としては、「組織があるかわからない」が最も多く(35.5%),次いで「時間がない」が20.5%となっている(図6)。

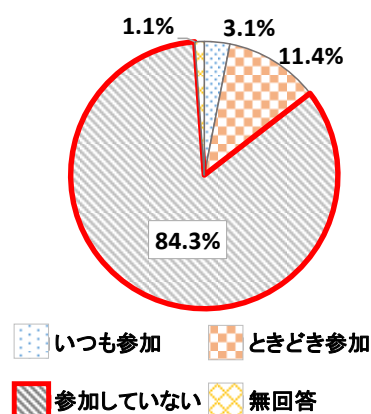


図5 「防犯活動への参加」

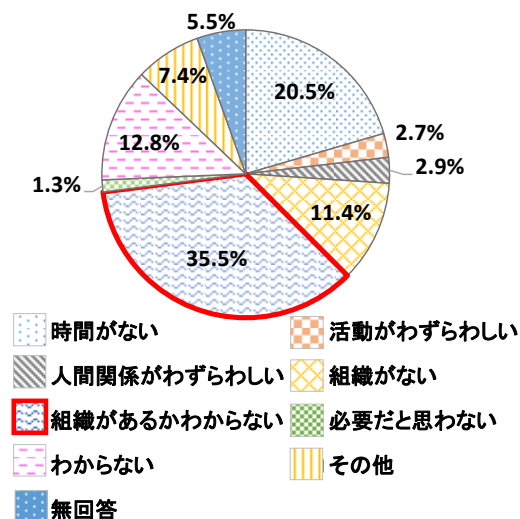


図6 「防犯活動に参加しない理由」

⑤ 地球温暖化対策

地球温暖化対策については、「エコバッグの持参」が最も多く(72.0%),次いで「ごみの適正分別」が71.3%となっている。

(4) つくば市への愛着について

つくば市への愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が最も多く(50.8%),次いで「愛着がある」が29.2%となっている(図7)。居住年数別に見ると、居住年数が長くなるにつれ「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある(計)』が増加している傾向にあるが、居住年数が1年未満でも60%以上が愛着を感じている。紹介したいつくば市の魅力については、「科学(研究学園都市, 研究機関の見学施設など)」が最も多く(63.1%),次いで「自然(筑波山, 牛久沼など)」が60.2%となっている。いずれの年齢, 地区, 職業, 定住意向でも、「科学(研究学園都市, 研究機関の見学施設など)」及び「自然(筑波山, 牛久沼など)」が上位に入っている。

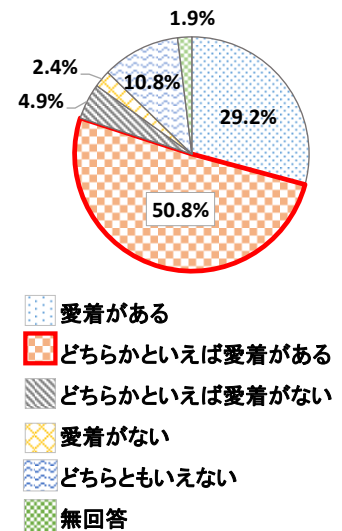


図7 「つくば市への愛着」

(5) つくば市の現状やまちづくりへの取組について

項目別の満足度を点数化すると、満足度が相対的に高い項目として「科学技術の振興」、「病院・診療所などの医療機関」、「ロボットの街つくばの取組」があげられている。一方、満足度が相対的に低い項目としては、「公共交通」、「行政改革」、「生活困窮者の福祉」となっている。

なお、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた回答割合を見ると、「病院・診療所などの医療機関」、「生活環境(騒音・悪臭・ごみなど)対策」は70%を超えている。一方で、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた回答割合を見ると、「公共交通」、「道路整備」、「交通安全環境(通学路の安全など)」が30%を超えている。

不満と感じる理由として意見が多かったのは、「公共交通」、「道路整備」、「交通安全環境(通学路の安全など)」などとなっている。

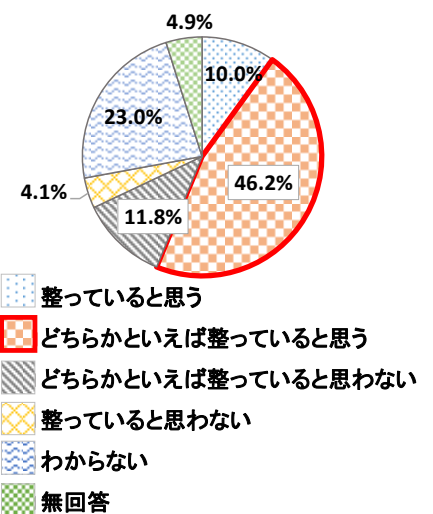


図8 「子育て環境」

(6) 少子高齢化への取組について

① 子育て環境

安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思うかについては、「どちらかといえば整っていると思う」が最も多く(46.2%),次いで「わからない」が23.0%となっている(図8)。

子育て環境について充実していると思うものについては、「放課後児童クラブ」が最も多く(26.8%),次いで「子育て支援施設」が24.0%となっている。不足していると思うものについては、「産婦人科・小児科医」が最も多く(37.7%),次いで「夜間・休日・病後時の保育」が32.4%となっている。

② 高齢者の生活環境

高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思うかについては、「わからない」が最も多く(31.4%),次いで「どちらかといえば整っていると思う」が27.6%となっている(図9)。

高齢者の生活環境について充実していると思うものについては、「医療機関」が最も多く(45.0%),次いで「健康づくりや介護予防事業」が22.7%。不足していると思うものについては、「送迎・買い物など日常生活支援」が最も多く(39.9%),次いで「地域で高齢者を支える仕組み」36.3%となっている。

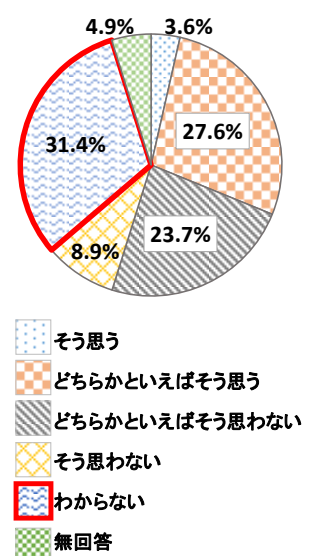


図9 「高齢者の生活環境」

(7) スポーツの振興について

① 運動頻度

この一年間に運動やスポーツをどのくらいしたかについては、「しなかった」が最も多く (28.1%), 次いで「週に1～2日」が22.3%となっている (図10)。年齢別に見ると、50歳代～64歳、75歳以上では「しなかった」が30%を超え、10歳代と70～74歳では「週に3日以上」と「週に1～2日」を合わせた『週に1日以上 (計)』が50%を超えている。

② スポーツ推進

スポーツ推進のために力を入れるべきことについては、「年齢層にあったスポーツの開発普及」が最も多く (34.5%), 次いで「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が26.5%となっている。

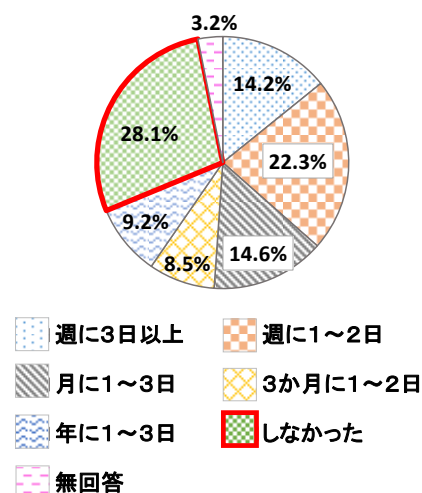


図10 「運動頻度」

(8) 交通環境について

① 日常利用する交通手段

日常利用する交通手段は、「自家用車」が最も多く (86.0%), 次いで「自転車」が27.1%となっている。いずれの年齢、地区、職業、住まいでも「自家用車」が上位に入っている。

② 歩行者と自転車と自動車の共生

歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に通行できているかについては、「どちらかといえば共生できていない」が最も多く (36.8%), 次いで「どちらかといえば共生できている」が27.3%となっている (図11)。

歩行者と自転車と自動車が共に安全で快適に通行できるために必要な取組については、「歩道の整備」が最も多く (69.6%), 次いで「自転車走行空間の整備」が65.5%となっている。

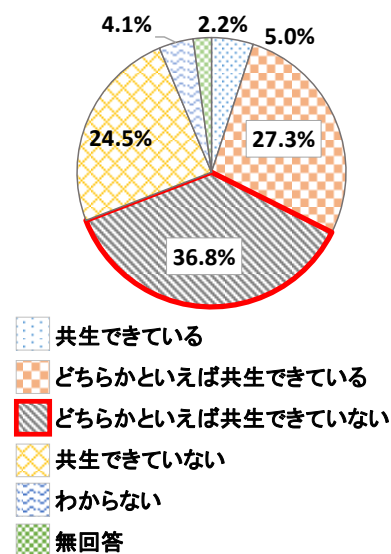


図11 「交通環境」

(9) つくば駅周辺地区の活性化について

① つくばセンター地区 (つくば駅周辺) への来訪頻度

つくばセンター地区を訪れる頻度については、「月1, 2回程度」が最も多く (29.0%), 次いで「年数回程度」が25.7%となっている (図12)。つくばセンター地区を訪れる目的は、「日常の用事」が最も多く (35.8%), 次いで「移動・乗り換え」が13.1%となっている。

② つくばセンター地区の活性化に必要な取組

にぎわいのあるつくばセンター地区にするために必要な取組は、「特に必要ない (今のままで十分)」が最も多く (13.8%), 次いで「駐車場の拡充」が12.3%となっている。過年度調査と比べると、「ペDESTリアンデッキ (歩行者・自転車専用道路) を活用した歩きやすい空間づくり」及び「駐車場の拡充」は減少している。

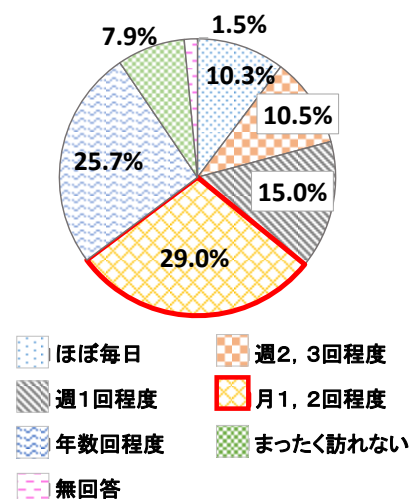


図12 「つくばセンター地区への来訪頻度」

(10) 国際化の推進・科学技術の振興について

① 国際都市

「国際都市」としてつくば市が取り組むべきことについては、「学校での国際教育」が最も多く(38.0%),次いで「外国人と交流する機会の提供」が37.5%となっている。過年度調査と比べると、「外国語の案内表示」は増加し、「留学生への支援」及び「学校での国際教育」、「海外の芸術・文化・芸能公演」は減少している。

② 科学技術

科学技術振興のためにつくば市が取り組むべきことについては、「子どもへの科学教育」が最も多く(43.6%),次いで「研究活動の支援」が29.6%となっている。

2 あなたご自身について（回答者の属性）

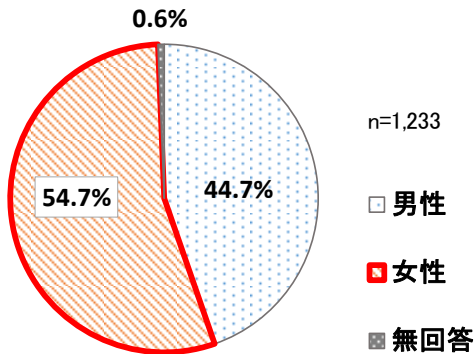
1 あなたの性別を教えてください。

<○は1つ>

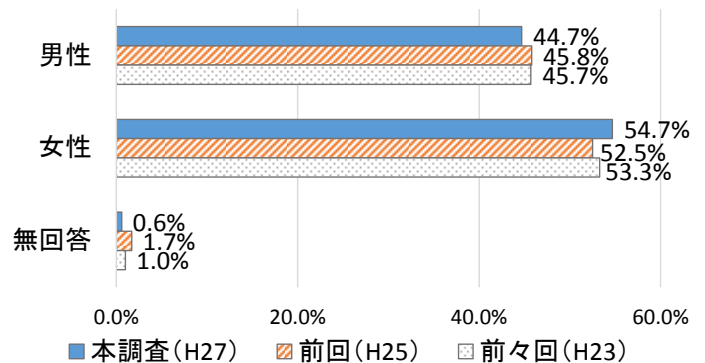
① 全体集計の結果

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
男性	551	44.7%	45.8%	45.7%
女性	674	54.7%	52.5%	53.3%
無回答	8	0.6%	1.7%	1.0%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>



・性別は、「男性」が551人(44.7%)、「女性」が674人(54.7%)と「女性」がやや多くなっている。

2 あなたの年齢を教えてください。

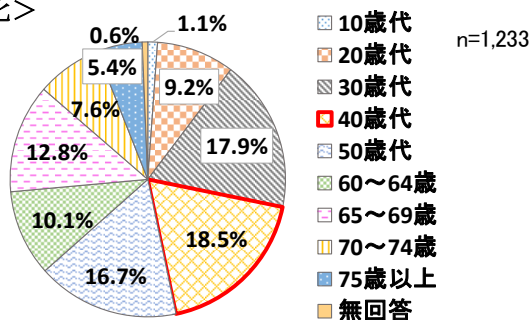
<○は1つ>

① 全体集計の結果

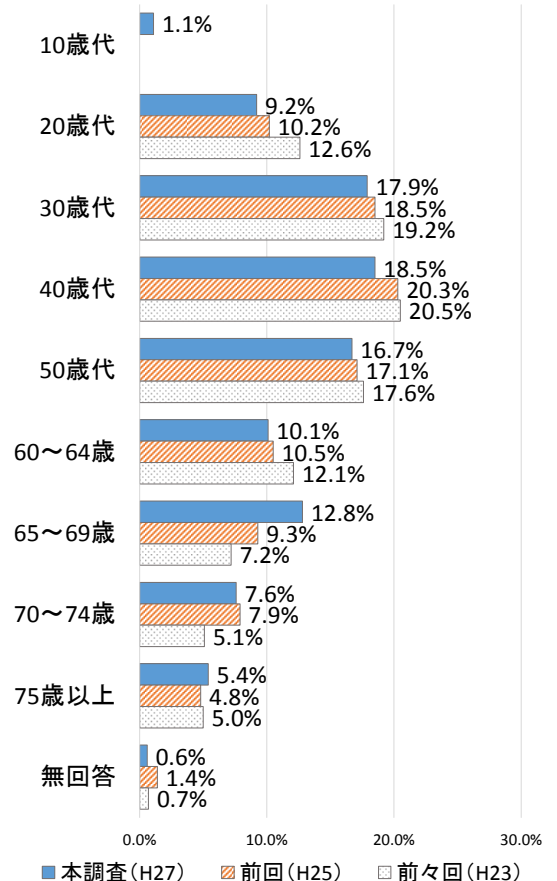
選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
10歳代	14	1.1%	-	-
20歳代	113	9.2%	10.2%	12.6%
30歳代	221	17.9%	18.5%	19.2%
40歳代	228	18.5%	20.3%	20.5%
50歳代	206	16.7%	17.1%	17.6%
60～64歳	125	10.1%	10.5%	12.1%
65～69歳	158	12.8%	9.3%	7.2%
70～74歳	94	7.6%	7.9%	5.1%
75歳以上	66	5.4%	4.8%	5.0%
無回答	8	0.6%	1.4%	0.7%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

※前回までは20歳以上が調査対象

<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>



・年齢は、「40歳代」が228人(18.5%)で最も多く、次いで「30歳代」が221人(17.9%)となっている。

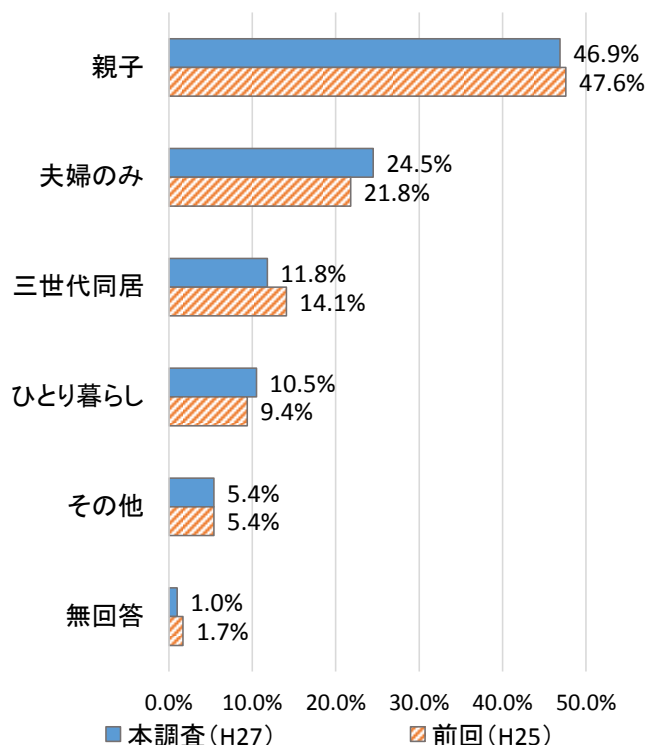
3 あなたの世帯構成を教えてください。

<○は1つ>

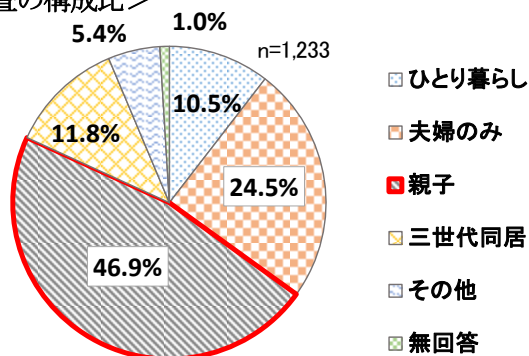
① 全体集計の結果

<過年度調査との比較>

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)
	回答数 (人)	構成比	構成比
ひとり暮らし	129	10.5%	9.4%
夫婦のみ	302	24.5%	21.8%
親子	578	46.9%	47.6%
三世帯同居	146	11.8%	14.1%
その他	66	5.4%	5.4%
無回答	12	1.0%	1.7%
全体	1,233	100.0%	100.0%



<本調査の構成比>

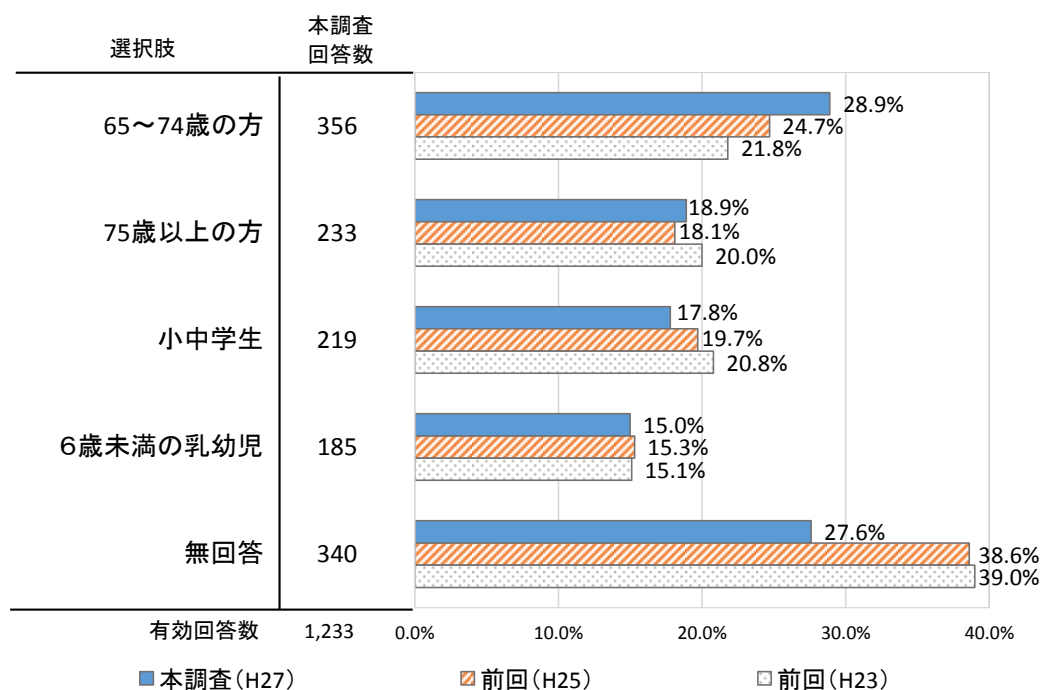


・世帯構成は、「親子」が578人(46.9%)で最も多く、次いで「夫婦のみ」が302人(24.5%)となっている。

4 あなたの世帯（あなた自身も含めて）には、次に当てはまる方はいますか。<○は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果

<本調査と過年度調査との構成比>



・世帯に含む人は、「65～74歳の方」が356人(28.9%)で最も多く、次いで「75歳以上の方」が233人(18.9%)となっている。

5 あなたの職業（兼業の方は主たる職業）を教えてください。

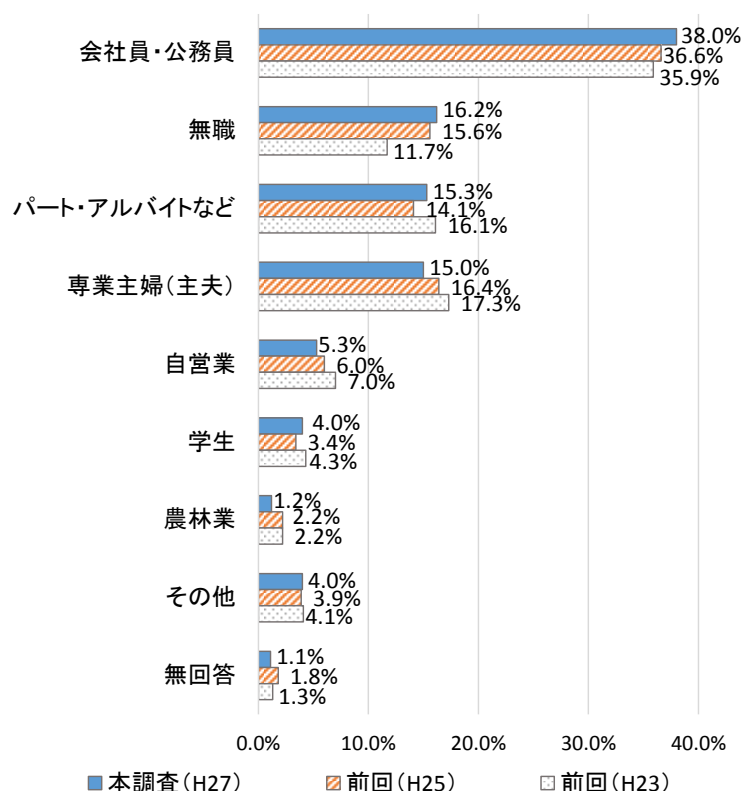
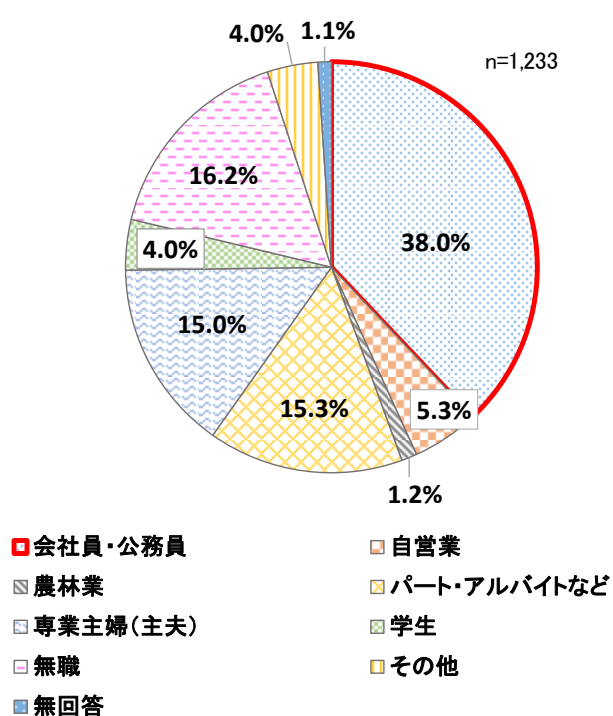
<〇は1つ>

① 全体集計の結果

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
会社員・公務員	468	38.0%	36.6%	35.9%
自営業	65	5.3%	6.0%	7.0%
農林業	15	1.2%	2.2%	2.2%
パート・アルバイトなど	189	15.3%	14.1%	16.1%
専業主婦（主夫）	185	15.0%	16.4%	17.3%
学生	49	4.0%	3.4%	4.3%
無職	200	16.2%	15.6%	11.7%
その他	49	4.0%	3.9%	4.1%
無回答	13	1.1%	1.8%	1.3%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査の構成比>

<過年度調査との比較>



・職業は、「会社員・公務員」が 468 人(38.0%)で最も多く、次いで「無職」が 200 人(16.2%)となっている。

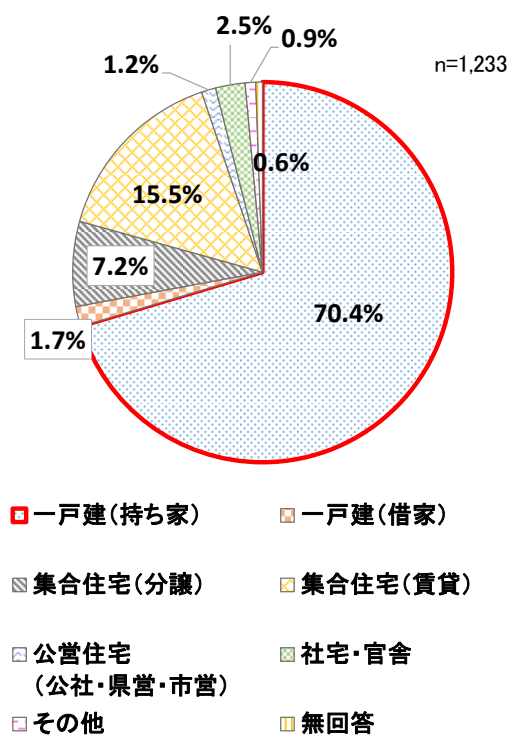
6 あなたの現在のお住まいを教えてください。

<○は1つ>

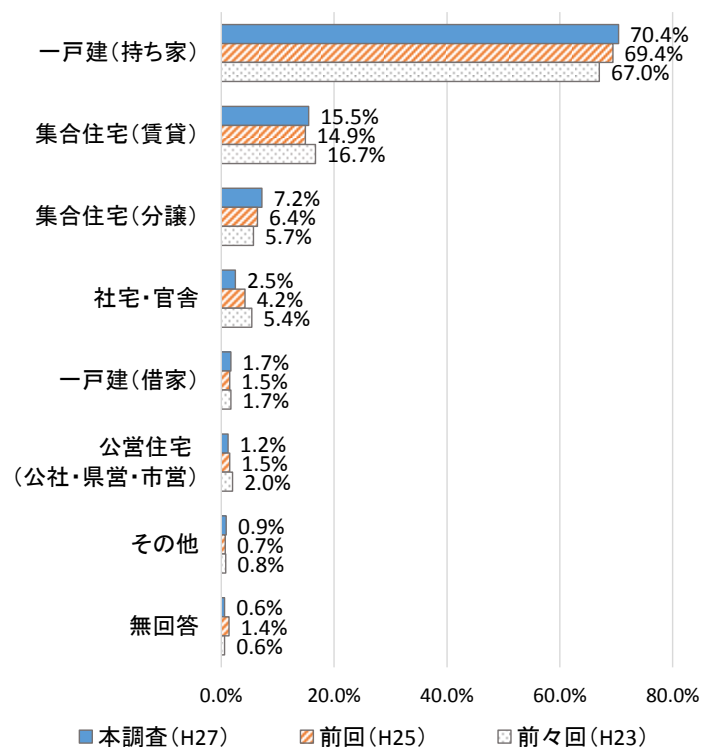
① 全体集計の結果

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
一戸建 (持ち家)	868	70.4%	69.4%	67.0%
一戸建 (借家)	21	1.7%	1.5%	1.7%
集合住宅 (分譲)	89	7.2%	6.4%	5.7%
集合住宅 (賃貸)	191	15.5%	14.9%	16.7%
公営住宅 (公社・県営・市営)	15	1.2%	1.5%	2.0%
社宅・官舎	31	2.5%	4.2%	5.4%
その他	11	0.9%	0.7%	0.8%
無回答	7	0.6%	1.4%	0.6%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>

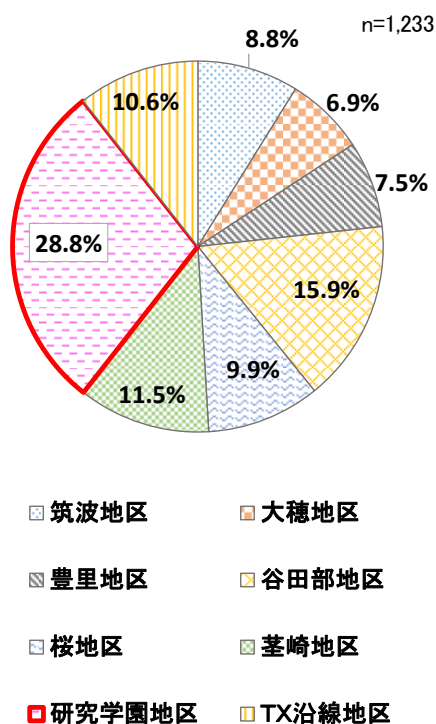


- ・住まいは、「一戸建 (持ち家)」が 868 人(70.4%)で最も多く、次いで「集合住宅 (賃貸)」が 191 人(15.5%)となっている。
- ・過年度調査と比べると、「社宅・官舎」が減少し、「一戸建 (持ち家)」が増加している。

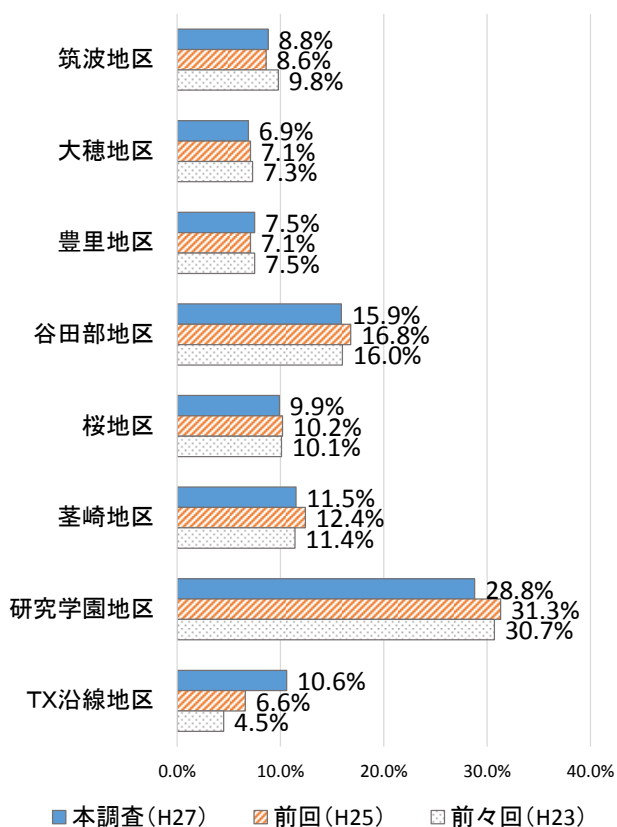
① 全体集計の結果

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
筑波地区	109	8.8%	8.6%	9.8%
大穂地区	85	6.9%	7.1%	7.3%
豊里地区	93	7.5%	7.1%	7.5%
谷田部地区	196	15.9%	16.8%	16.0%
桜地区	122	9.9%	10.2%	10.1%
茎崎地区	142	11.5%	12.4%	11.4%
研究学園地区	355	28.8%	31.3%	30.7%
T X沿線地区	131	10.6%	6.6%	4.5%
無回答	—	—	—	2.7%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

＜本調査の構成比＞



＜過年度調査との比較＞



- ・「研究学園地区」が355人(28.8%)で最も多く、次いで「谷田部地区」が196人(15.9%)となっている。
- ・過年度調査と比べると、「T X沿線地区」が増加している。

—地区の分類について—

- ・研究学園地区とT X沿線地区に分類した地域以外の地区については、合併前の旧町村単位で分類している。
- ・研究学園地区に分類した地域は次のとおり。
春日、東新井、二の宮、小野川、松代、観音台、東、稲荷前、高野台、天王台、天久保、吾妻、竹園、千現、並木、梅園、大穂、花畑、牧園、若葉
- ・T X沿線地区に分類した地域は次のとおり。
研究学園、学園南、学園の森、香取台、諏訪、陣場、みどりの中央、みどりの、みどりの南、みどりの東、かみかわ、高山、万博公園西、春風台

3 現在の住環境について

問 1 あなたは、つくば市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。

<○は1つ>

※合併前の旧市町村も含めてお答えください。

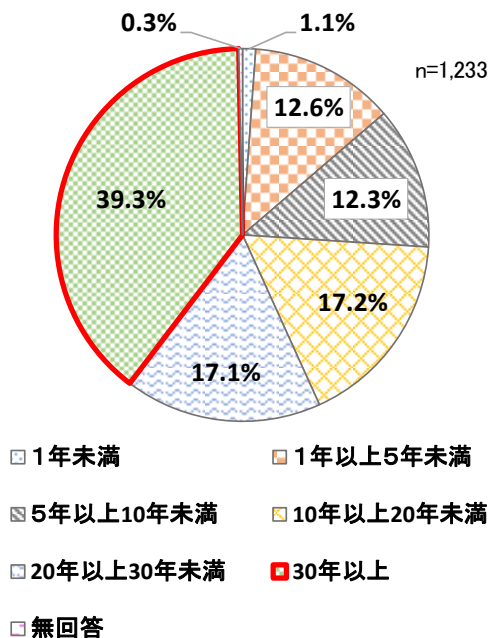
① 全体集計の結果

◇居住歴「20 年以上」が5割台半ば

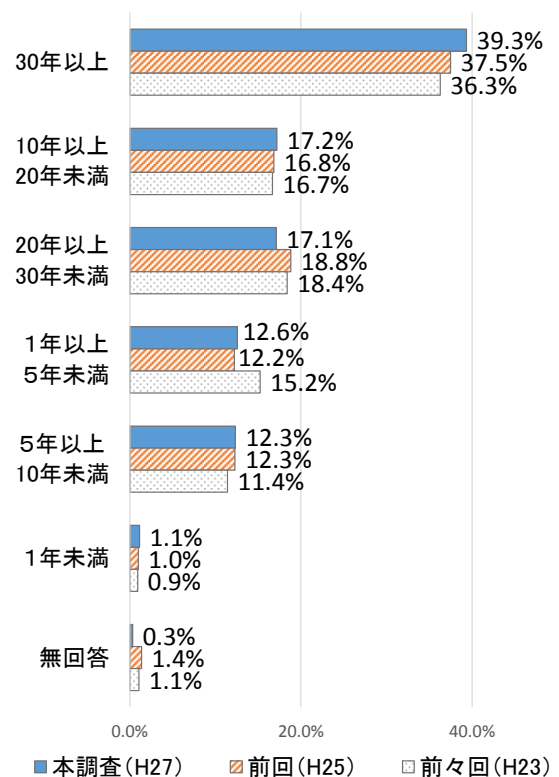
- ・居住歴は、「30 年以上」が 485 人(39.3%)で最も多く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 212 人(17.2%)となっている。
- ・過年度調査と比べると、居住歴「30 年以上」が徐々に増加している。

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
1 年未満	14	1.1%	1.0%	0.9%
1 年以上 5 年未満	155	12.6%	12.2%	15.2%
5 年以上 10 年未満	152	12.3%	12.3%	11.4%
10 年以上 20 年未満	212	17.2%	16.8%	16.7%
20 年以上 30 年未満	211	17.1%	18.8%	18.4%
30 年以上	485	39.3%	37.5%	36.3%
無回答	4	0.3%	1.4%	1.1%
全体	1,233	100.0	100.0%	100.0%

<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>

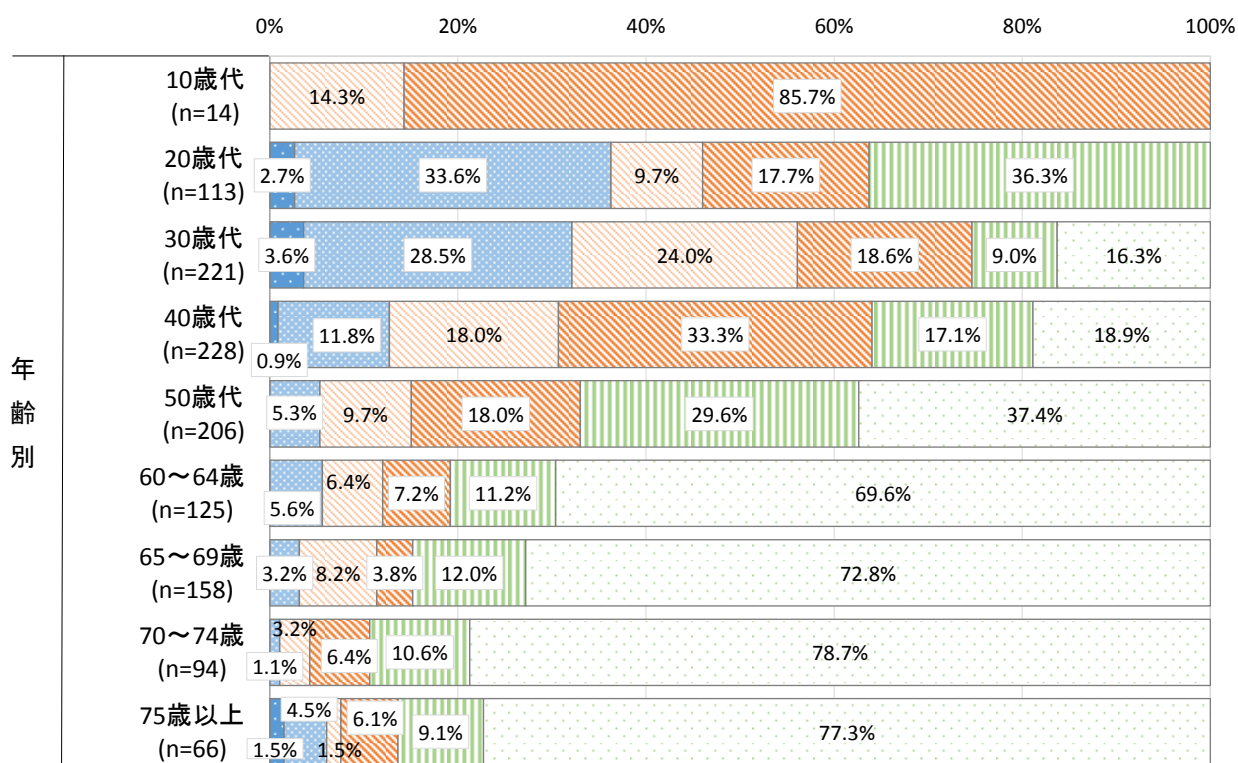


②-1 クロス集計の結果（問1と年齢別・地区別構成比）



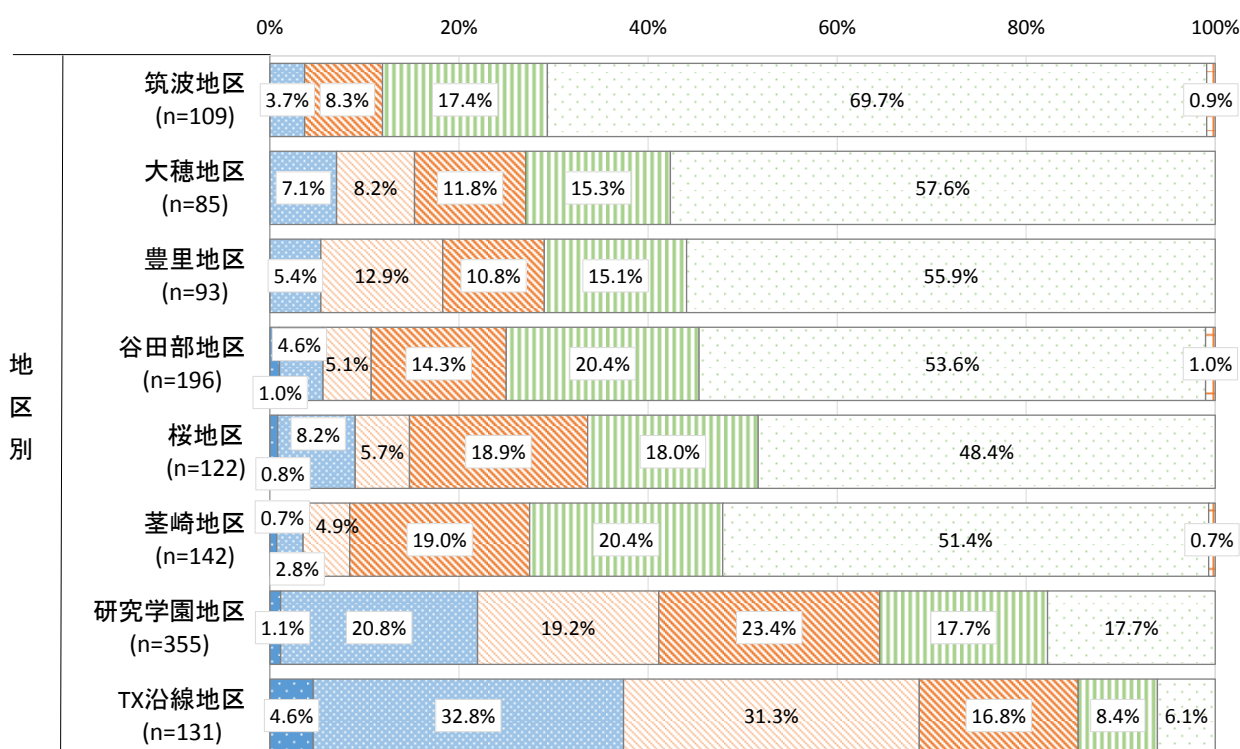
<年齢別>

- ・年齢が高くなるにつれ、居住年数が長くなっている。



<地区別>

- ・居住歴が20年未満である割合は、研究学園地区で60%，TX沿線地区では85%を超えている。
- ・研究学園地区とTX沿線地区以外の地区では、居住歴が20年以上である割合が高く、いずれも65%を超えている。

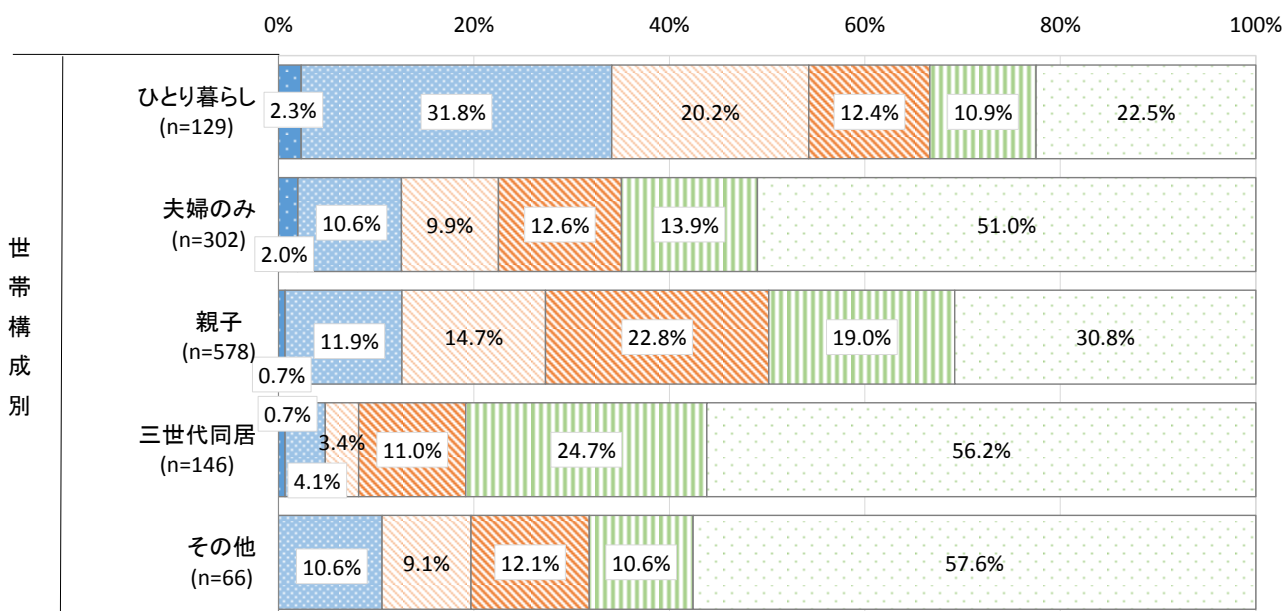


②-2 クロス集計の結果（問1と世帯構成別・住まい別構成比）



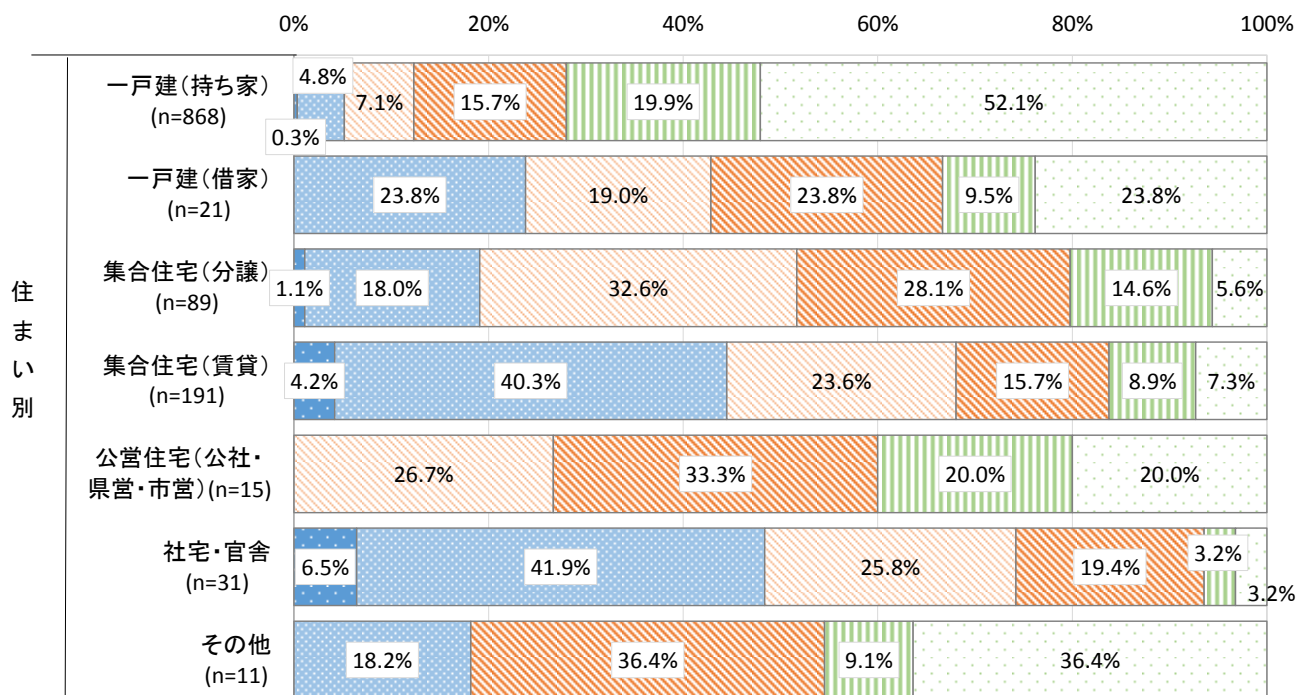
<世帯構成別>

- ・居住歴が20年以上である割合は、三世帯同居が80%以上、夫婦のみ及びその他で60%以上となっている。
- ・ひとり暮らし世帯は、5年未満が多くなっている。



<住まい別>

- ・居住歴が20年以上である割合は、一戸建（持ち家）で70%以上となっている。
- ・集合住宅（賃貸）及び社宅・官舎では、「1年以上5年未満」が最も多くなっている。



問2 あなたは、つくば市以外に住んでいたことがありますか。

<〇は1つ>

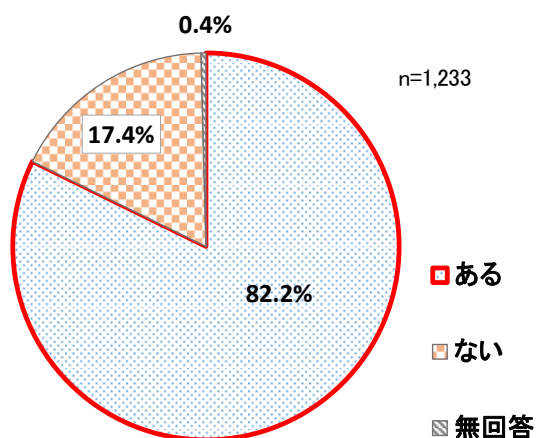
① 全体集計の結果

◇つくば市以外の地域に「住んでいたことがある」が8割超え

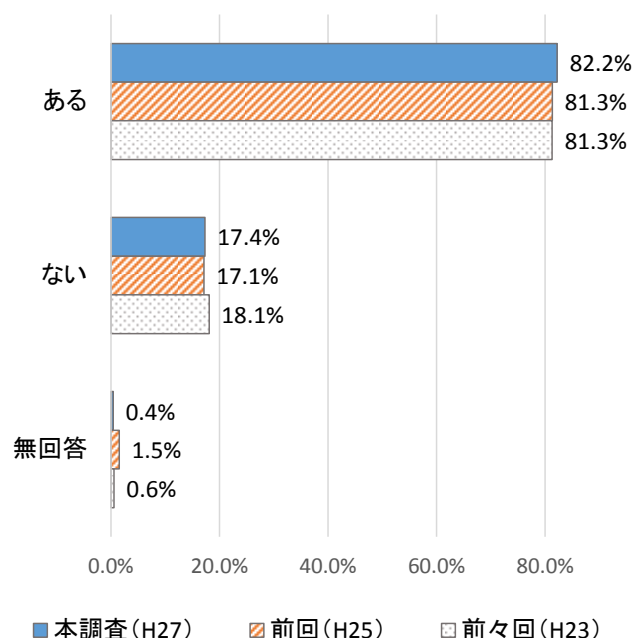
・つくば市以外の居住経験の有無は、「ある」が1,014人(82.2%)、「ない」が214人(17.4%)と「ある」が多くなっている。

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
ある	1,014	82.2%	81.3%	81.3%
ない	214	17.4%	17.1%	18.1%
無回答	5	0.4%	1.5%	0.6%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

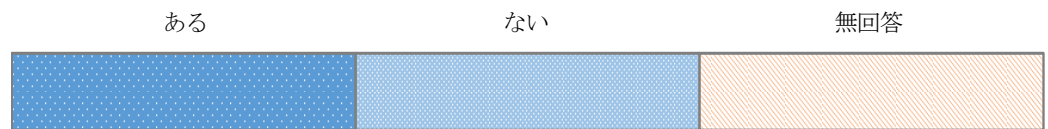
<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>

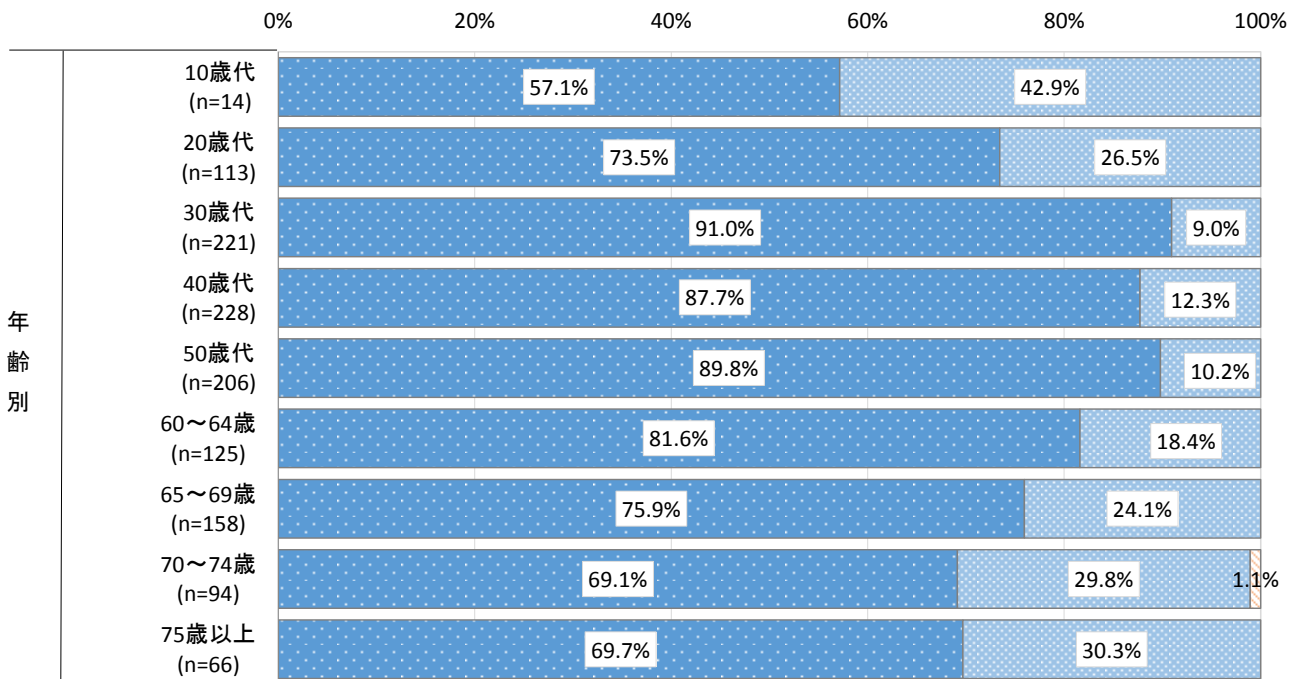


②－１ クロス集計の結果（問２と年齢別・地区別構成比）



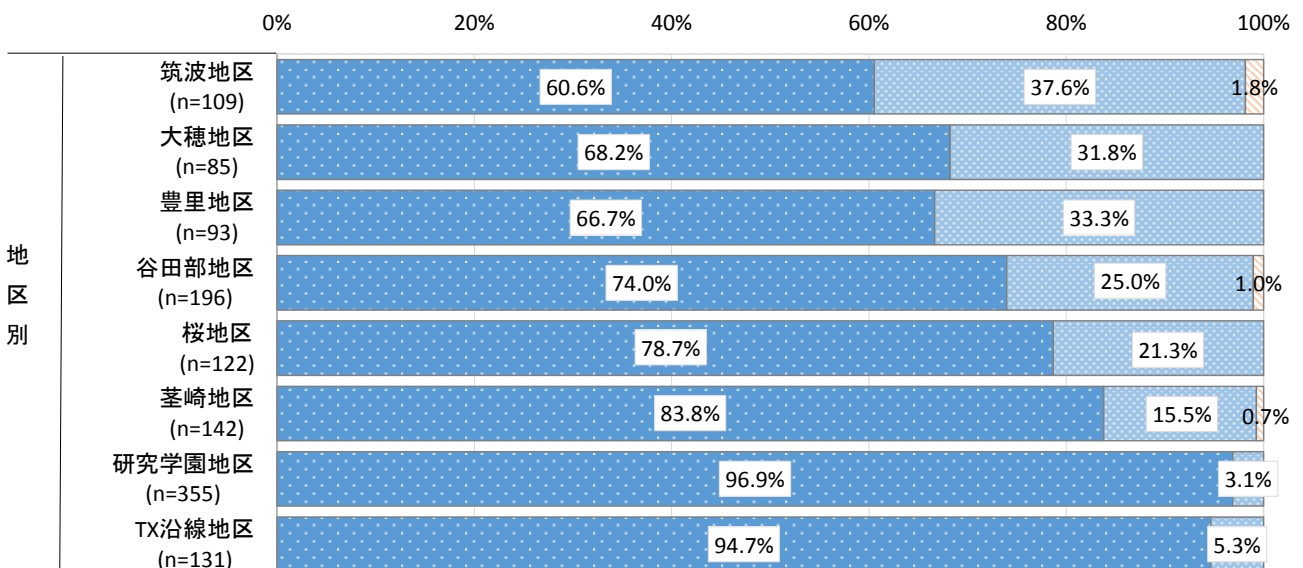
<年齢別>

- すべての年齢で、「ある」が50%を超えている。
- 30歳代～50歳代では、「ある」が85%を超えている。



<地区別>

- すべての地区で、「ある」が60%を超えている。
- 研究学園地区，TX沿線地区では、「ある」が90%を超えている。
- 筑波地区，大穂地区，豊里地区では、「ない」が30%を超えている。

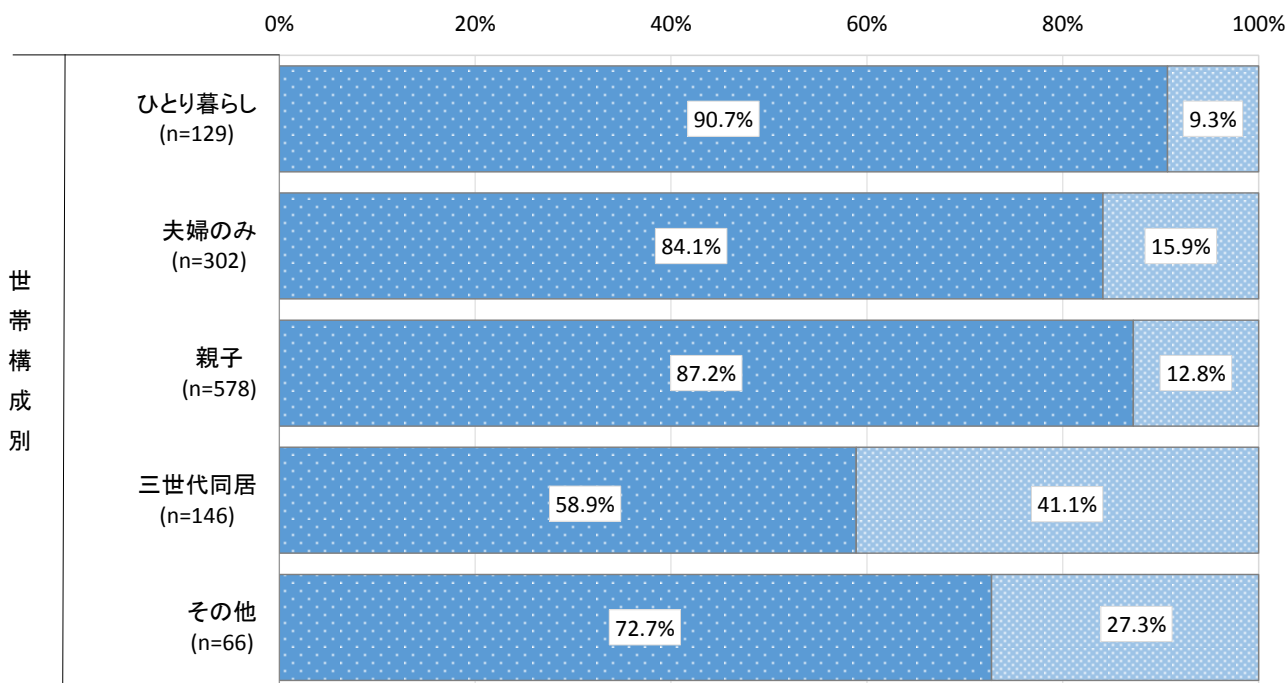


②－２ クロス集計の結果（問２と世帯構成別・住まい別構成比）



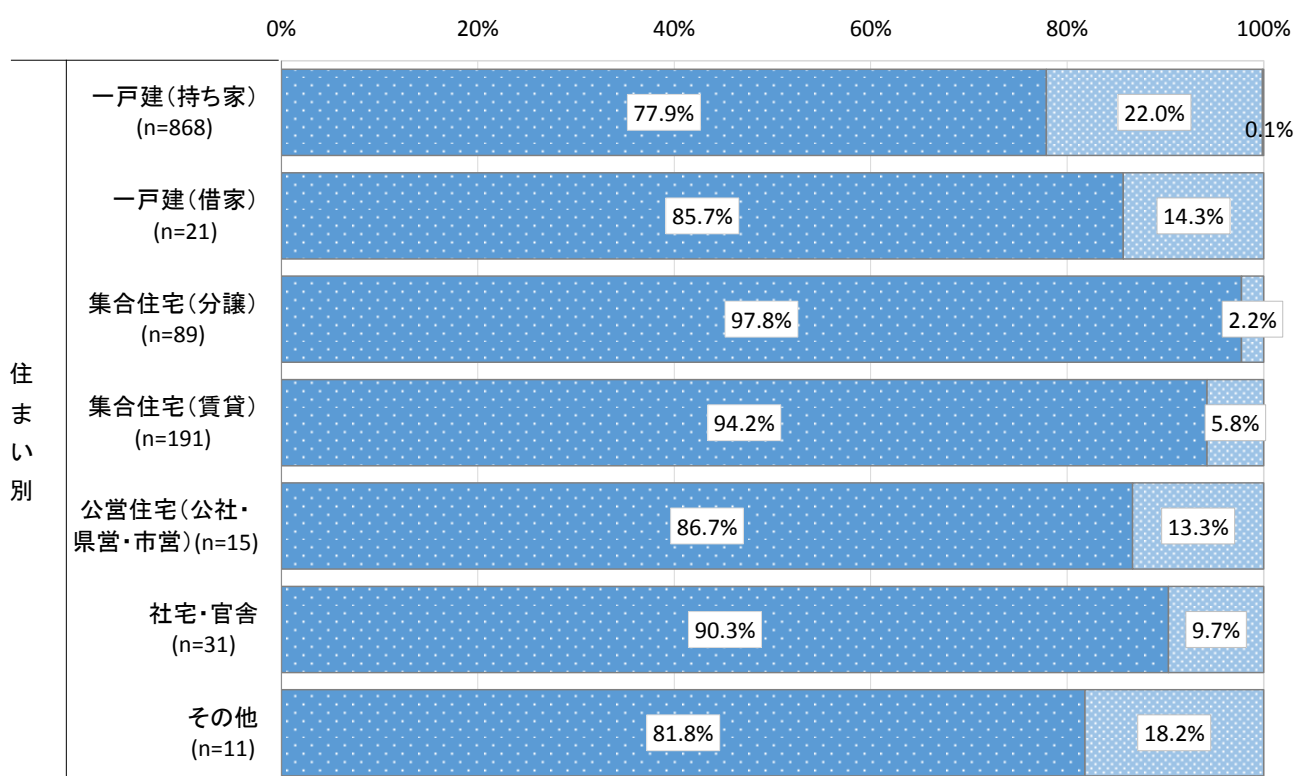
<世帯構成別>

- 三世帯同居以外の世帯構成で、「ある」が70%を超えている。



<住まい別>

- すべての住まいで、「ある」が75%を超えている。



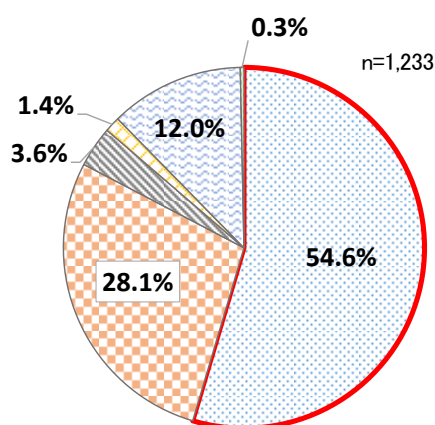
① 全体集計の結果

◇つくば市に『住み続けたい（計）』が8割超え

- ・つくば市の定住意向については、「住み続けたい」が673人(54.6%)で最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が346人(28.1%)となっている。
- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい（計）』は82.7%となっている。

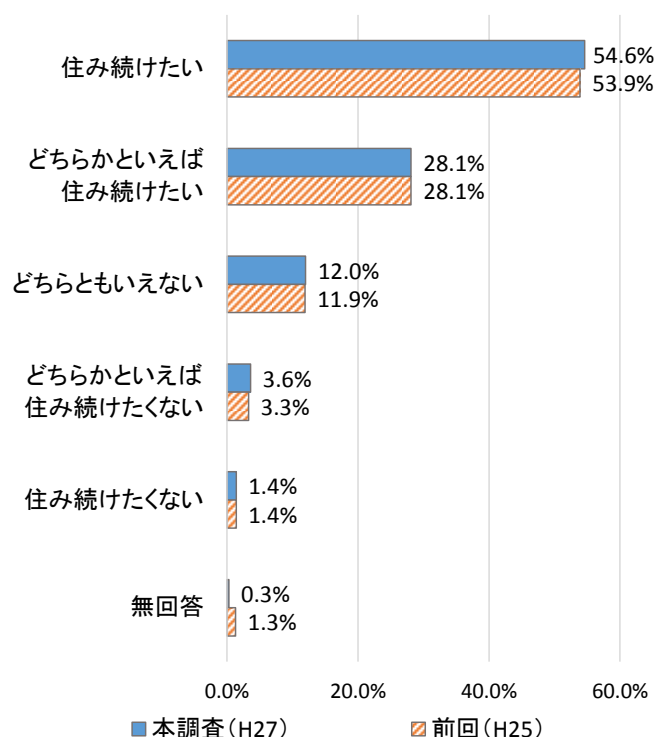
選択肢	本調査（H27）		前回（H25）
	回答数（人）	構成比	構成比
住み続けたい	673	54.6%	53.9%
どちらかといえば住み続けたい	346	28.1%	28.1%
どちらかといえば住み続けたくない	45	3.6%	3.3%
住み続けたくない	17	1.4%	1.4%
どちらともいえない	148	12.0%	11.9%
無回答	4	0.3%	1.3%
全体	1,233	100.0%	100.0%

<本調査の構成比>

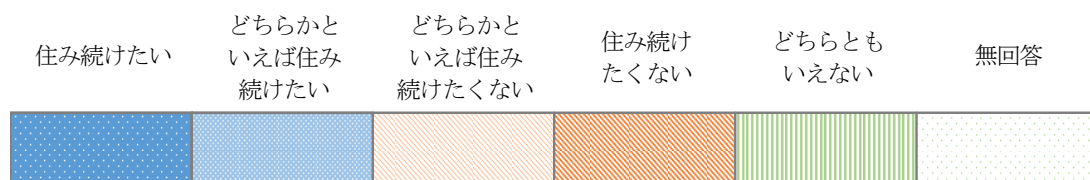


- 住み続けたい
- どちらかといえば住み続けたい
- どちらかといえば住み続けたくない
- 住み続けたくない
- どちらともいえない
- 無回答

<過年度調査との比較>

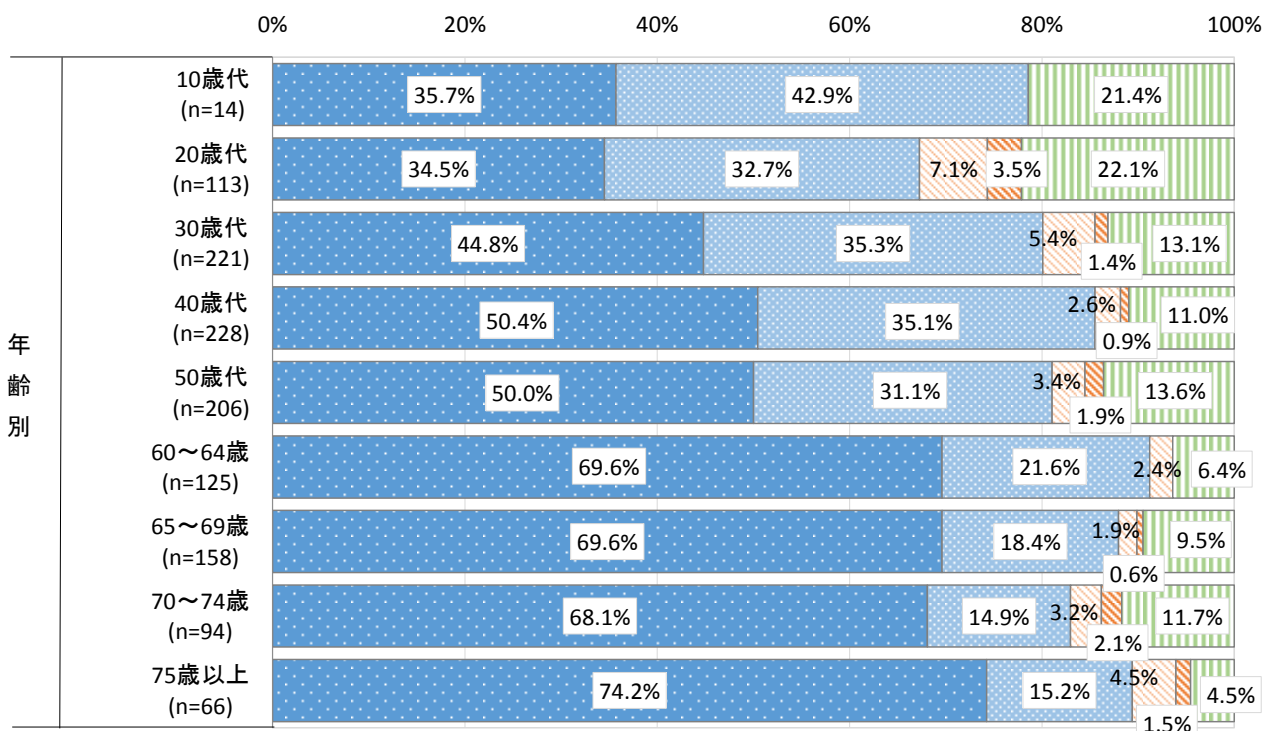


②-1 クロス集計の結果（問3と年齢別・地区別構成比）



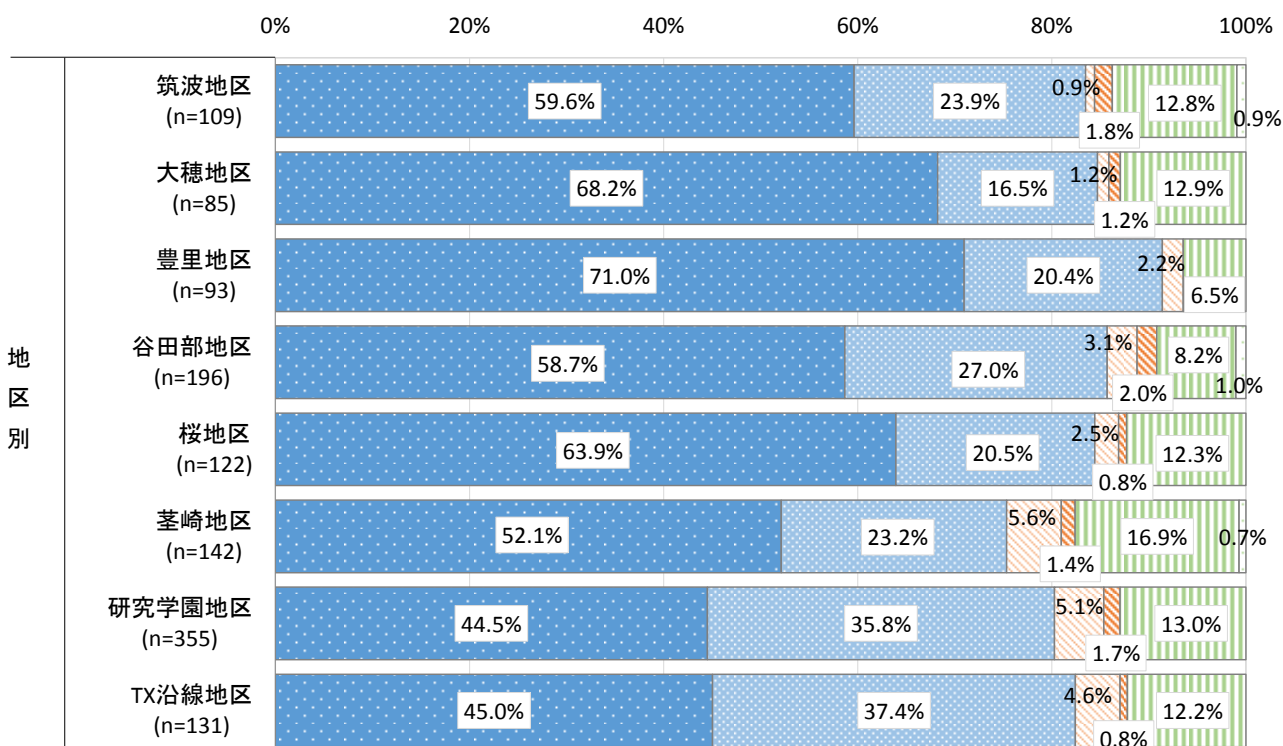
<年齢別>

- ・20歳代以外の年齢で、『住み続けたい（計）』が75%を超えている。

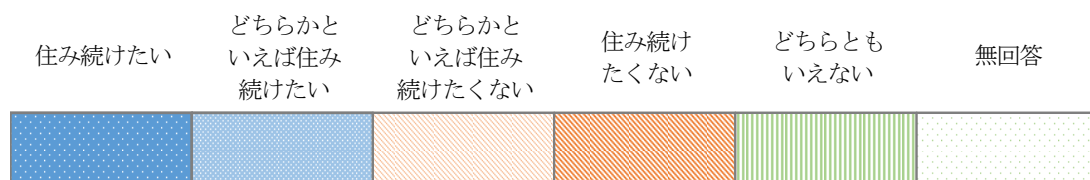


<地区別>

- ・すべての地区で、「住み続けたい」が最も多くなっている。

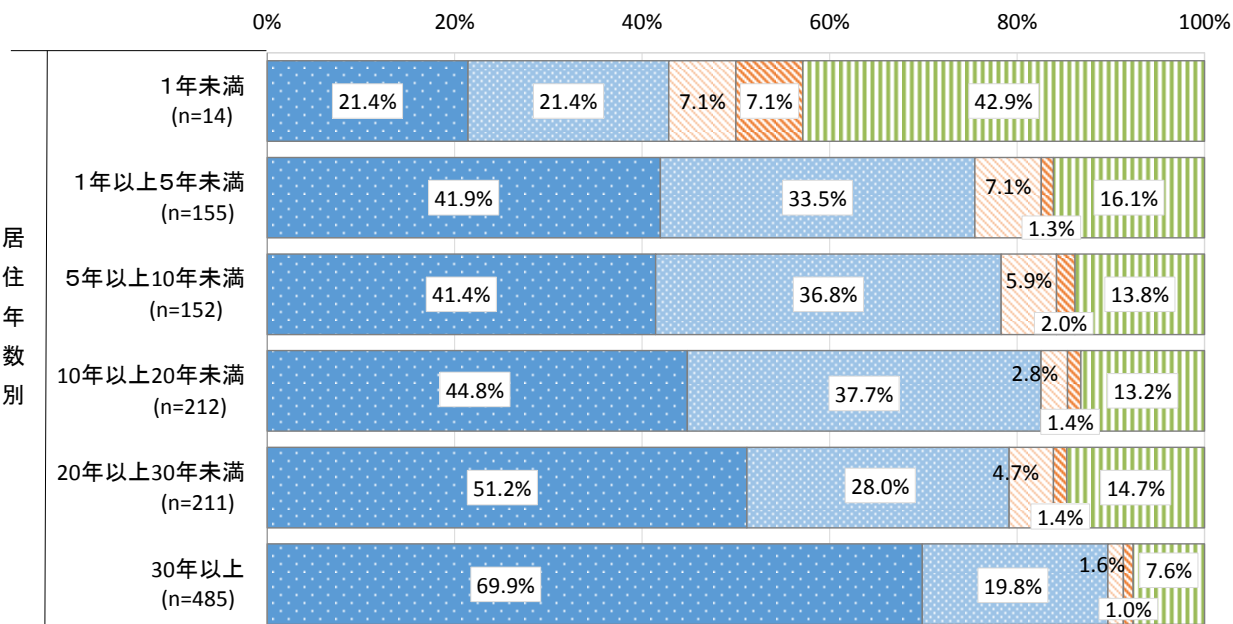


②-2 クロス集計の結果（問3と居住年数別・市外居住経験別構成比）



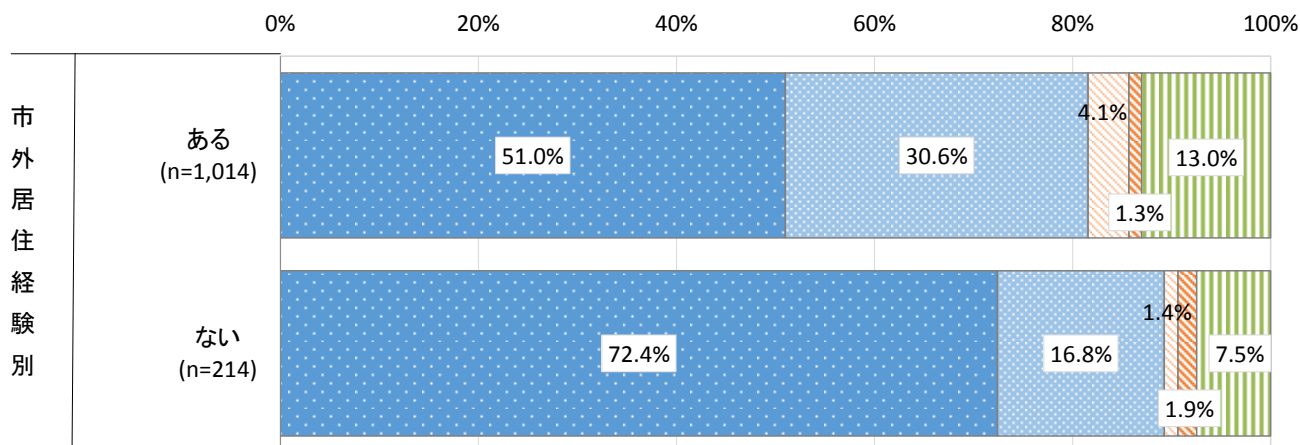
<居住年数別>

- ・1年未満以外の居住年数で、『住み続けたい（計）』が75%を超えている。



<市外居住経験別>

- ・市外居住経験のある人もない人も共に、『住み続けたい（計）』が80%を超えている。



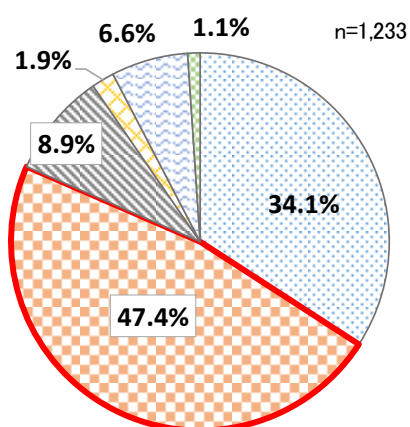
① 全体集計の結果

◇つくば市に『住みやすい (計)』が8割超え

- ・つくば市の「住み心地」について、「どちらかといえば住みやすい」が584人(47.4%)で最も多く、次いで「住みやすい」が421人(34.1%)となっている。
- ・「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい (計)』が81.5%となっている。

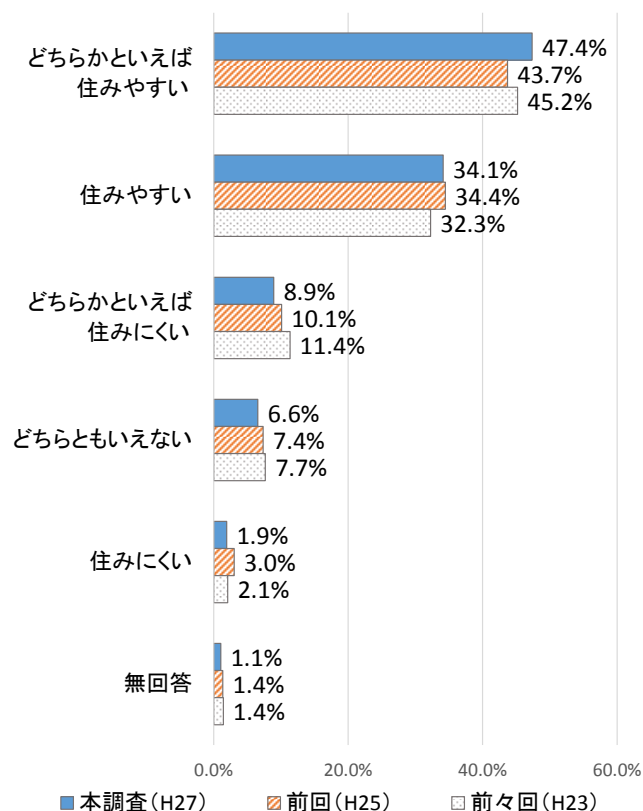
選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
住みやすい	421	34.1%	34.4%	32.3%
どちらかといえば住みやすい	584	47.4%	43.7%	45.2%
どちらかといえば住みにくい	110	8.9%	10.1%	11.4%
住みにくい	24	1.9%	3.0%	2.1%
どちらともいえない	81	6.6%	7.4%	7.7%
無回答	13	1.1%	1.4%	1.4%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査の構成比>

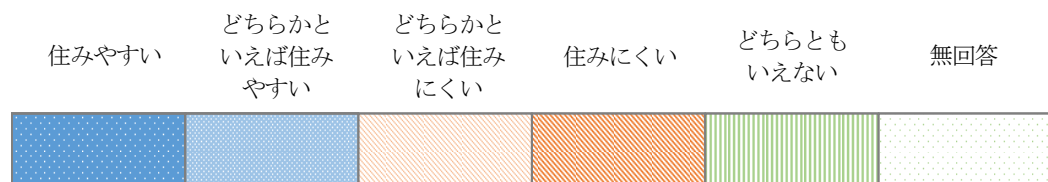


- 住みやすい
- どちらかといえば住みやすい
- ▨ どちらかといえば住みにくい
- ▩ 住みにくい
- ▧ どちらともいえない
- ▦ 無回答

<過年度調査との比較>

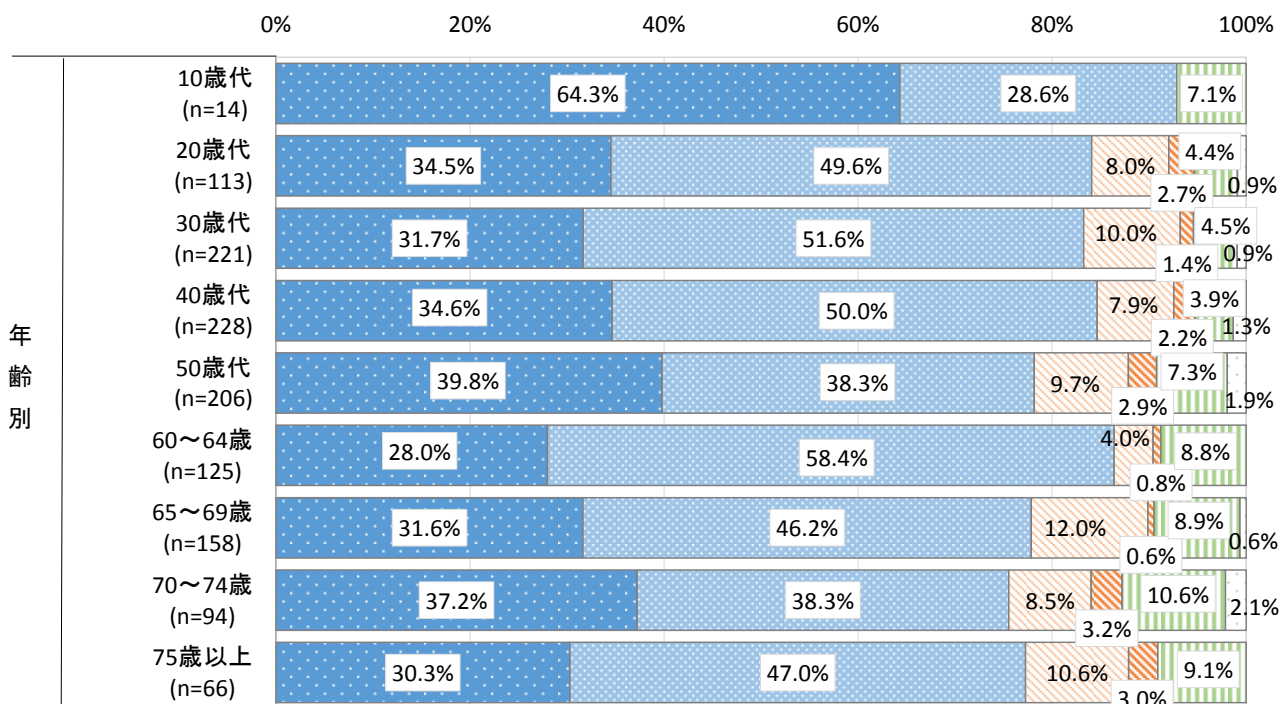


②-1 クロス集計の結果（問4と年齢別・地区別構成比）



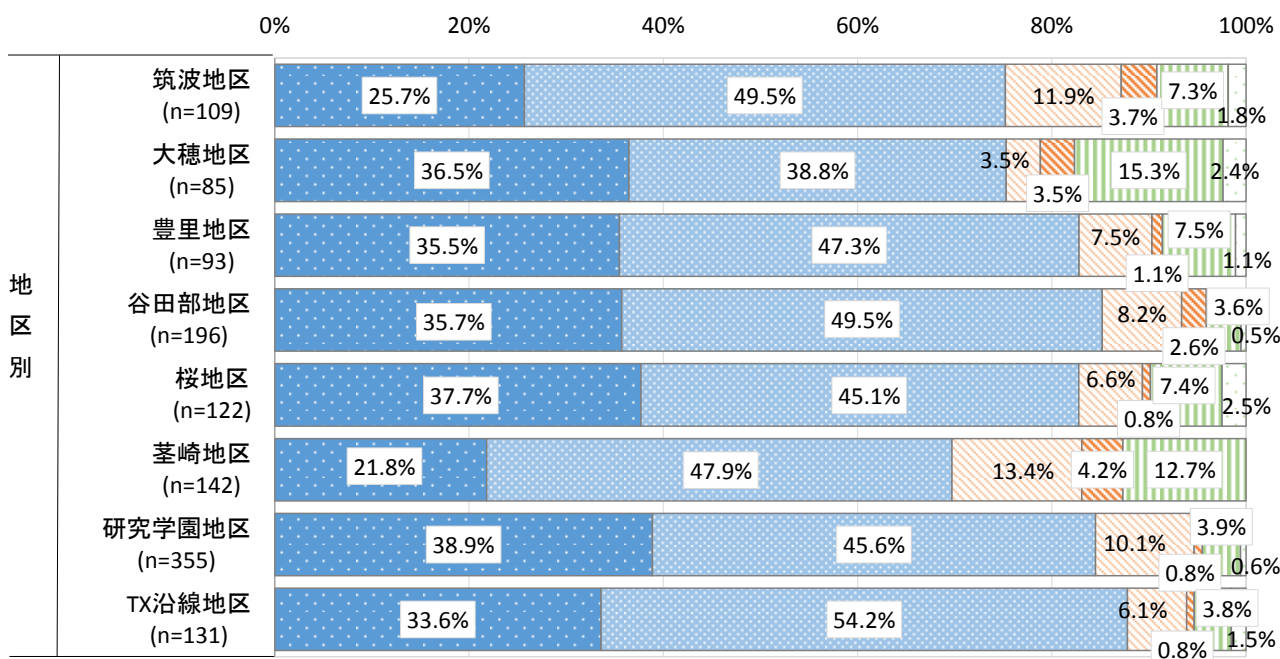
<年齢別>

- すべての年齢で、『住みやすい（計）』が75%を超えている。

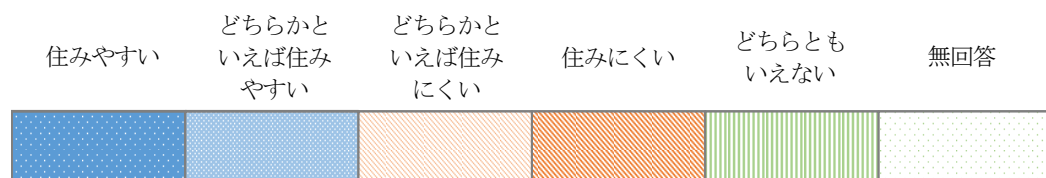


<地区別>

- 荻崎地区では、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた『住みにくい（計）』が他の地区に比べて多く、17.6%となっている。

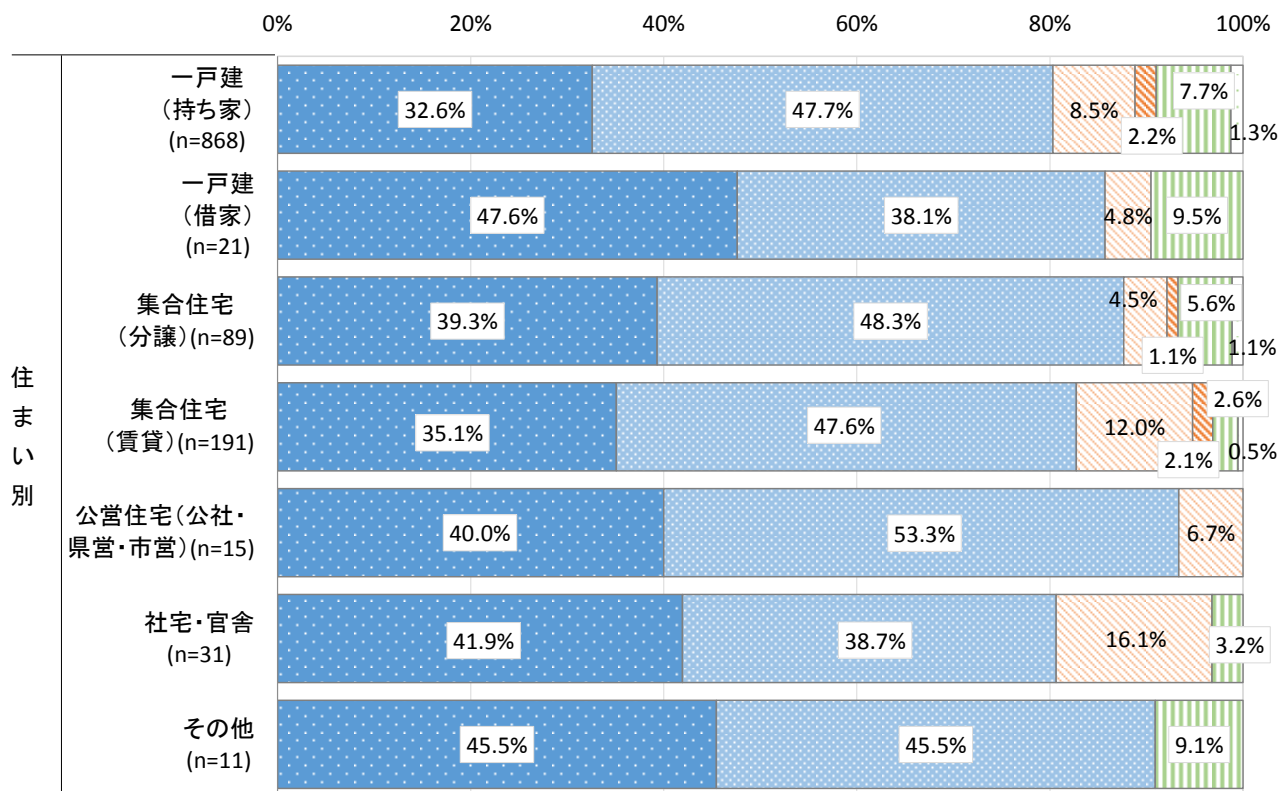


②ー２ クロス集計の結果（問４と住まい別・定住意向別構成比）



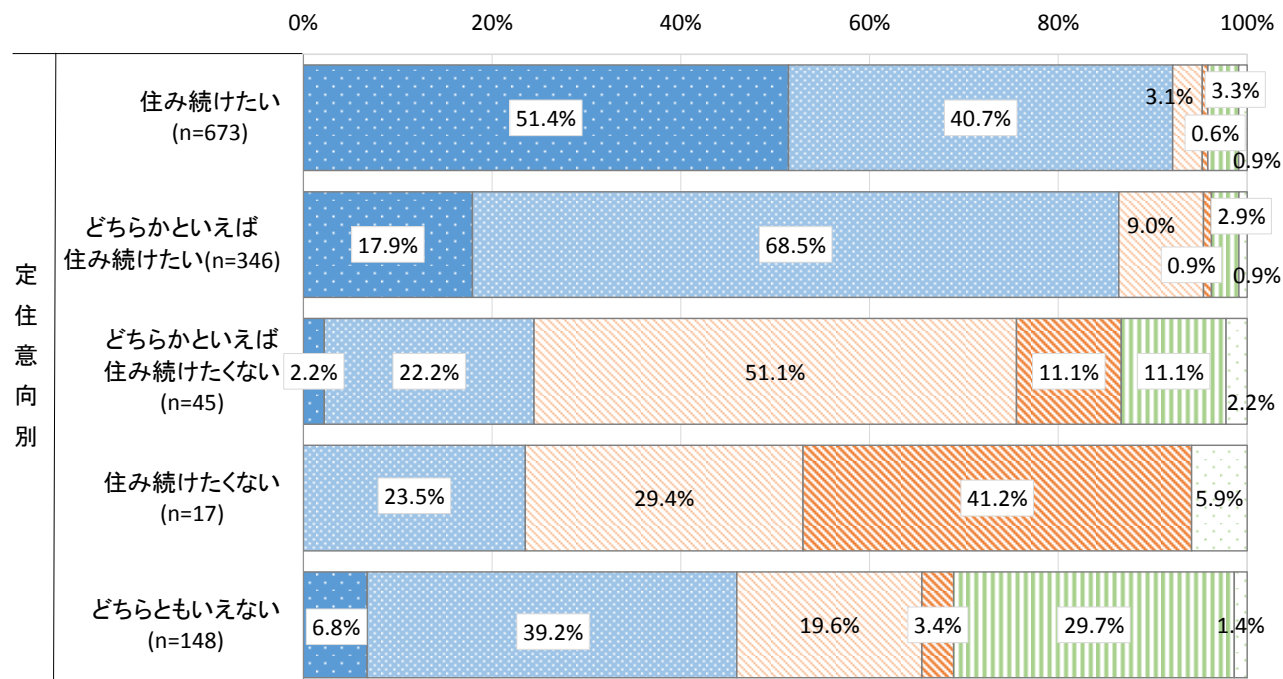
<住まい別>

- すべての住まいで、『住みやすい（計）』が80%を超えている。



<定住意向別>

- 「住み続けたい」及び「どちらかといえば住み続けたい」では、『住みやすい（計）』が80%を超えている。
- 「住み続けたくない」及び「どちらかといえば住み続けたくない」では、『住みにくい（計）』が60%を超えている。



【問4で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きます】

問5 住みやすいと感じる主な理由は何ですか。

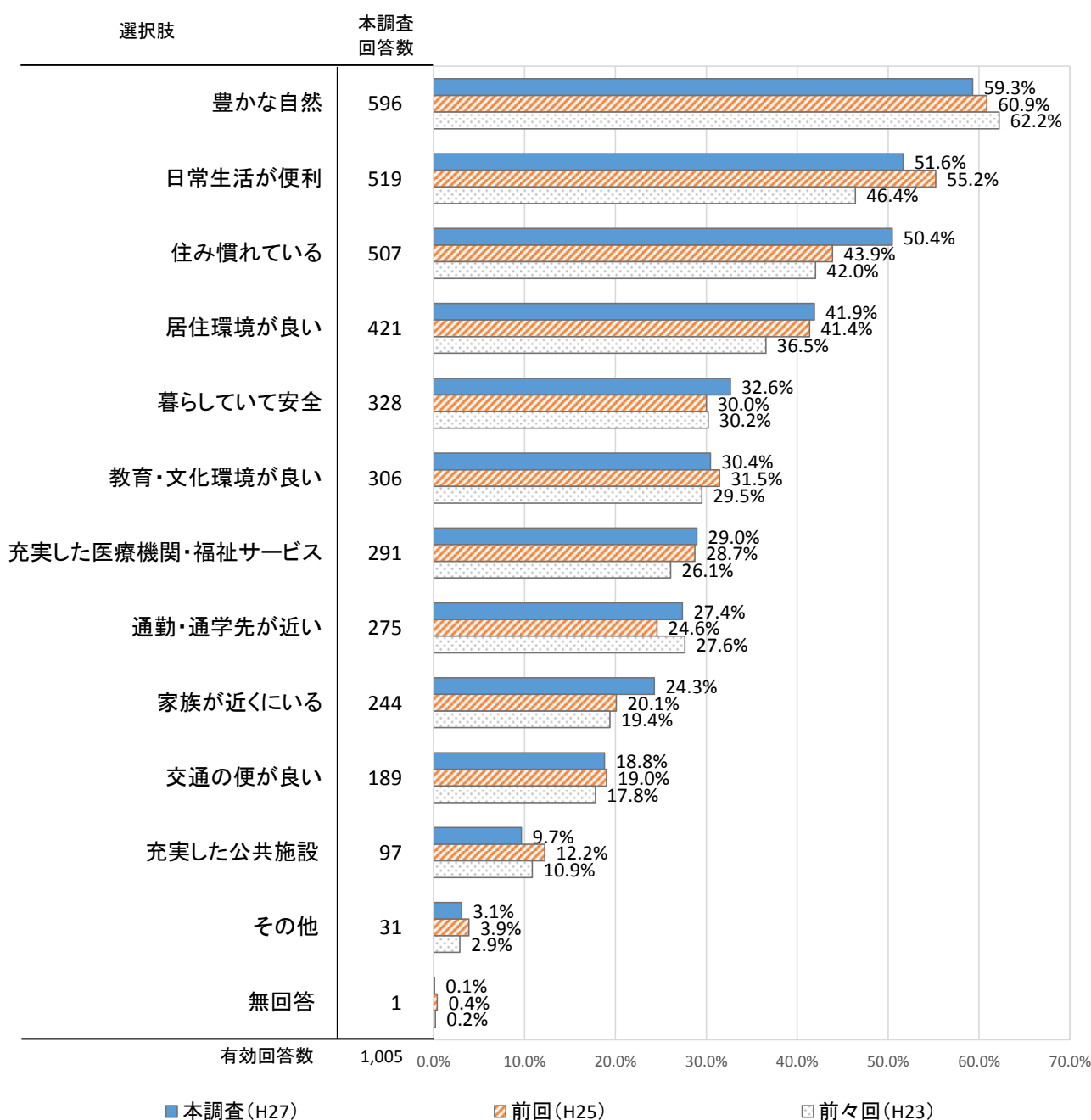
<〇は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果

◇住みやすいと感じる主な理由は、「豊かな自然」（6割近く）、「日常生活が便利」（5割超え）、「住み慣れている」（5割超え）

- ・住みやすいと感じる主な理由は、「豊かな自然」が596人(59.3%)で最も多く、次いで「日常生活が便利」が519人(51.6%)、「住み慣れている」が507人(50.4%)となっている。
- ・過年度調査と比べると、「住み慣れている」が増加している。

<本調査と過年度調査との構成比>



②－１ クロス集計の結果（問５と年齢別・地区別構成比 上位５位）

<年齢別>

- ・ 10 歳代, 20 歳代, 60～64 歳, 75 歳以上では, 「住み慣れている」が最も多く, 30 歳代, 50 歳代, 65～74 歳では「豊かな自然」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=13)	住み慣れている		日常生活が便利		暮らしていて安全		豊かな自然/通勤・通学先が近い/居住環境が良い/家族が近くにいる			
	9	69.2%	8	61.5%	7	53.8%	5		38.5%	
20歳代 (n=95)	住み慣れている		日常生活が便利		豊かな自然		通勤・通学先が近い		居住環境が良い	
	49	51.6%	47	49.5%	42	44.2%	39	41.1%	31	32.6%
30歳代 (n=184)	豊かな自然		日常生活が便利		教育・文化環境が良い		居住環境が良い		住み慣れている	
	107	58.2%	101	54.9%	77	41.8%	73	39.7%	70	38.0%
40歳代 (n=193)	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		教育・文化環境が良い		住み慣れている	
	112	58.0%	108	56.0%	82	42.5%	78	40.4%	76	39.4%
50歳代 (n=161)	豊かな自然		日常生活が便利		住み慣れている		居住環境が良い		暮らしていて安全	
	102	63.4%	92	57.1%	77	47.8%	71	44.1%	67	41.6%
60～64歳 (n=108)	住み慣れている		豊かな自然		日常生活が便利		居住環境が良い		充実した医療機関・福祉サービス	
	67	62.0%	63	58.3%	51	47.2%	41	38.0%	34	31.5%
65～69歳 (n=123)	豊かな自然		住み慣れている		居住環境が良い		暮らしていて安全		日常生活が便利	
	81	65.9%	73	59.3%	59	48.0%	50	40.7%	48	39.0%
70～74歳 (n=71)	豊かな自然		住み慣れている		充実した医療機関・福祉サービス		日常生活が便利		居住環境が良い	
	51	71.8%	46	64.8%	40	56.3%	36	50.7%	33	46.5%
75歳以上 (n=51)	住み慣れている		豊かな自然		暮らしていて安全		居住環境が良い/充実した医療機関・福祉サービス			
	36	70.6%	32	62.7%	27	52.9%	25		49.0%	

<地区別>

- ・ すべての地区で, 「豊かな自然」が上位に入っている。
- ・ 筑波地区, 大穂地区, 豊里地区, 谷田部地区では「住み慣れている」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=82)	住み慣れている		豊かな自然		家族が近くにいる		居住環境が良い/暮らしていて安全			
	61	74.4%	58	70.7%	29	35.4%	24		29.3%	
大穂地区 (n=64)	住み慣れている		豊かな自然		日常生活が便利		暮らしていて安全		居住環境が良い	
	41	64.1%	39	60.9%	38	59.4%	27	42.2%	26	40.6%
豊里地区 (n=77)	住み慣れている		豊かな自然		日常生活が便利		居住環境が良い		充実した医療機関・福祉サービス	
	51	66.2%	41	53.2%	38	49.4%	27	35.1%	25	32.5%
谷田部地区 (n=167)	住み慣れている		豊かな自然		日常生活が便利		居住環境が良い		暮らしていて安全	
	110	65.9%	95	56.9%	89	53.3%	64	38.3%	59	35.3%
桜地区 (n=101)	豊かな自然		住み慣れている		日常生活が便利		居住環境が良い		教育・文化環境が良い/暮らしていて安全	
	70	69.3%	56	55.4%	51	50.5%	45	44.6%	39	38.6%
荻崎地区 (n=99)	豊かな自然		住み慣れている		日常生活が便利		居住環境が良い		暮らしていて安全	
	60	60.6%	57	57.6%	39	39.4%	33	33.3%	30	30.3%
研究学園地区 (n=300)	豊かな自然/日常生活が便利				居住環境が良い		教育・文化環境が良い		住み慣れている	
	177		59.0%		148	49.3%	131	43.7%	109	36.3%
TX沿線地区 (n=115)	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		教育・文化環境が良い		通勤・通学先が近い	
	71	61.7%	56	48.7%	54	47.0%	52	45.2%	46	40.0%

②-2 クロス集計の結果（問5と住まい別・定住意向別構成比 上位5位）

<住まい別>

- ・すべての住まいで、「豊かな自然」、「日常生活が便利」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建（持ち家） (n=697)	豊かな自然		住み慣れている		日常生活が便利		居住環境が良い		暮らしていて安全	
	419	60.1%	416	59.7%	339	48.6%	302	43.3%	232	33.3%
一戸建（借家） (n=18)	日常生活が便利		豊かな自然		充実した医療機関・福祉サービス/暮らしていて安全		住み慣れている			
	12	66.7%	9	50.0%	7		38.9%		6	33.3%
集合住宅（分譲） (n=78)	日常生活が便利		豊かな自然		居住環境が良い		教育・文化環境が良い		暮らしていて安全/通勤・通学先が近い	
	51	65.4%	49	62.8%	48	61.5%	38	48.7%	29	37.2%
集合住宅（賃貸） (n=158)	豊かな自然		日常生活が便利		通勤・通学先が近い		教育・文化環境が良い		居住環境が良い	
	89	56.3%	88	55.7%	68	43.0%	58	36.7%	56	35.4%
公営住宅（公社・県営・市営） (n=14)	日常生活が便利		豊かな自然		通勤・通学先が近い/住み慣れている		居住環境が良い/家族が近くにいる			
	11	78.6%	8	57.1%	7		50.0%		5	35.7%
社宅・官舎 (n=25)	日常生活が便利		豊かな自然/通勤・通学先が近い		教育・文化環境が良い		交通の便が良い			
	13	52.0%	12		48.0%		11	44.0%	7	28.0%
その他 (n=10)	豊かな自然/住み慣れている		日常生活が便利/通勤・通学先が近い/教育・文化環境が良い							
	5		50.0%		3		30.0%			

<定住意向別>

- ・「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたくない」、「どちらともいえない」で、「豊かな自然」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
住み続けたい (n=620)	豊かな自然		住み慣れている		日常生活が便利		居住環境が良い		暮らしていて安全	
	397	64.0%	341	55.0%	335	54.0%	292	47.1%	230	37.1%
どちらかといえば住み続けたい (n=299)	豊かな自然		日常生活が便利		住み慣れている		居住環境が良い		通勤・通学先が近い	
	153	51.2%	145	48.5%	132	44.1%	109	36.5%	97	32.4%
どちらかといえば住み続けたくない (n=11)	豊かな自然		暮らしていて安全		教育・文化環境が良い/充実した医療機関・福祉サービス		日常生活が便利/通勤・通学先が近い/居住環境が良い/家族が近くにいる/住み慣れている			
	7	63.6%	5	45.5%	4		36.4%		3	27.3%
住み続けたくない (n=4)	通勤・通学先が近い/教育・文化環境が良い/住み慣れている		豊かな自然/日常生活が便利							
	2		50.0%		1		25.0%			
どちらともいえない (n=68)	豊かな自然		日常生活が便利		住み慣れている		暮らしていて安全		通勤・通学先が近い	
	35	51.5%	34	50.0%	27	39.7%	19	27.9%	18	26.5%

【問4で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」とお答えの方にお聞きします】

問6 住みにくいと感じる主な理由は何ですか。

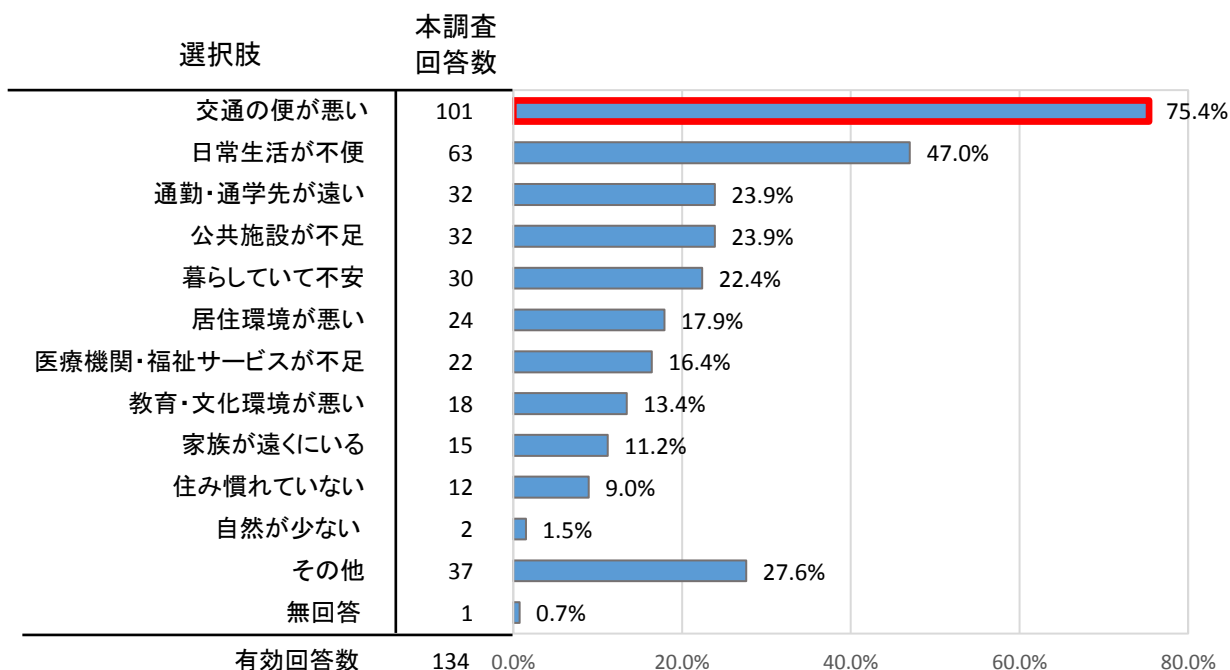
<〇は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果

◇住みにくいと感じる主な理由は、「交通の便が悪い」が7割台半ば

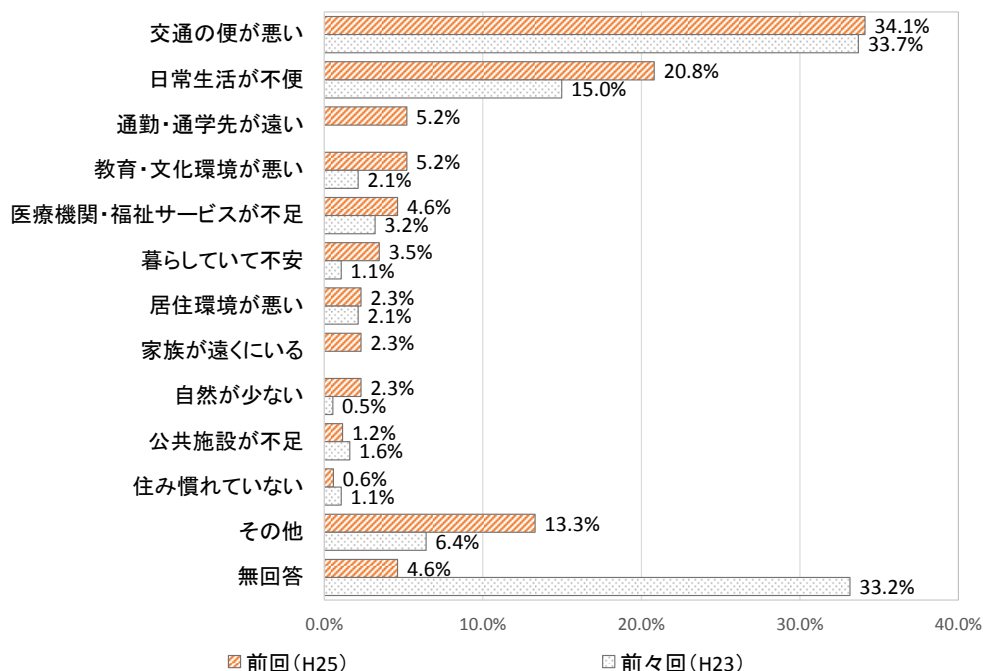
- ・住みにくいと感じる主な理由については、「交通の便が悪い」が101人(75.4%)で最も多く、次いで「日常生活が不便」が63人(47.0%)となっている。

<本調査の構成比>



<過年度調査の結果（参考）>

※本調査から回答条件を「当てはまるものすべて」に変更している。（過年度調査の回答条件は「一つ」）



②-1 クロス集計の結果（問6と年齢別・地区別構成比 上位5位）

<年齢別>

- ・20歳代以上の年齢で、「交通の便が悪い」が最も多く、「日常生活が不便」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=0)	-		-		-		-		-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代 (n=12)	交通の便が悪い		日常生活が不便		通勤・通学先が遠い		住み慣れていない		教育・文化環境が悪い/暮らして不安/その他	
	9	75.0%	6	50.0%	5	41.7%	3	25.0%	2	16.7%
30歳代 (n=25)	交通の便が悪い		日常生活が不便		通勤・通学先が遠い/その他				居住環境が悪い	
	16	64.0%	12	48.0%	8		32.0%		5	20.0%
40歳代 (n=23)	交通の便が悪い		日常生活が不便/通勤・通学先が遠い/その他						公共施設が不足	
	20	87.0%	8			34.8%			5	21.7%
50歳代 (n=26)	交通の便が悪い		日常生活が不便		公共施設が不足		暮らして不安/その他			
	20	76.9%	14	53.8%	9	34.6%	8		30.8%	
60～64歳 (n=6)	交通の便が悪い		公共施設が不足/その他				日常生活が不便/医療機関・福祉サービスが不足/暮らして不安			
	5	83.3%	3		50.0%		2		33.3%	
65～69歳 (n=20)	交通の便が悪い		日常生活が不便		暮らして不安		医療機関・福祉サービスが不足		公共施設が不足	
	14	70.0%	10	50.0%	8	40.0%	7	35.0%	6	30.0%
70～74歳 (n=11)	交通の便が悪い		日常生活が不便		居住環境が悪い/暮らして不安/家族が遠くに					
	8	72.7%	7	63.6%	4			36.4%		
75歳以上 (n=9)	交通の便が悪い		日常生活が不便/公共施設が不足/その他						居住環境が悪い/家族が遠くに/住み慣れていない	
	7	77.8%	3			33.3%			2	22.2%

<地区別>

- ・すべての地区で、「交通の便が悪い」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=17)	交通の便が悪い		日常生活が不便		通勤・通学先が遠い		居住環境が悪い/暮らしていて不安/その他			
	14	82.4%	11	64.7%	4	23.5%	3		17.6%	
大穂地区 (n=6)	交通の便が悪い		医療機関・福祉サービスが不足		日常生活が不便/通勤・通学先が遠い/暮らしていて不安					
	6	100.0%	3	50.0%	2			33.3%		
豊里地区 (n=8)	交通の便が悪い		居住環境が悪い/医療機関・福祉サービスが不足			日常生活が不便/教育・文化環境が悪い/公共施設が不足				
	5	62.5%	4			50.0%		3		37.5%
谷田部地区 (n=21)	交通の便が悪い		日常生活が不便		暮らしていて不安		公共施設が不足/その他			
	14	66.7%	12	57.1%	9	42.9%	7		33.3%	
桜地区 (n=9)	交通の便が悪い		日常生活が不便		その他		通勤・通学先が遠い		居住環境が悪い/公共施設が不足/暮らしていて不安/住み慣れていない	
	8	88.9%	5	55.6%	3	33.3%	2	22.2%	1	11.1%
荻崎地区 (n=25)	交通の便が悪い		日常生活が不便		公共施設が不足		通勤・通学先が遠い		医療機関・福祉サービスが不足	
	20	80.0%	13	52.0%	9	36.0%	8	32.0%	6	24.0%
研究学園地区 (n=39)	交通の便が悪い		その他		日常生活が不便		公共施設が不足		通勤・通学先が遠い/ 居住環境が悪い	
	28	71.8%	18	46.2%	16	41.0%	9	23.1%	8	20.5%
T X 沿線地区 (n=9)	交通の便が悪い		通勤・通学先が遠い		家族が遠くにいる/住み慣れていない/その他					
	6	66.7%	3	33.3%	2			22.2%		

②-2 クロス集計の結果（問6と住まい別・定住意向別構成比 上位5位）

<住まい別>

- ・その他以外のいずれの住まいでも、「交通の便が悪い」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建（持ち家） (n=93)	交通の便が悪い		日常生活が不便		通勤・通学先が遠い/公共施設が不足/暮らして不安					
	70	75.3%	48	51.6%	23			24.7%		
一戸建（借家） (n=1)	日常生活が不便/交通の便が悪い/その他						-		-	
	1		100.0%			-	-	-	-	
集合住宅（分譲） (n=5)	交通の便が悪い		その他		通勤・通学先が遠い/公共施設が不足				日常生活が不便/教育・文化環境が悪い/医療機関・福祉サービスが不足/暮らして不安/家族が遠くにいる	
	5	100.0%	4	80.0%	2		40.0%		1	20.0%
集合住宅（賃貸） (n=27)	交通の便が悪い		その他		日常生活が不便		居住環境が悪い/暮らして不安/住み慣れていない			
	17	63.0%	10	37.0%	9	33.3%	6		22.2%	
公営住宅（公社・県営・市営） (n=1)	交通の便が悪い/公共施設が不足				-		-		-	
	1		100.0%		-	-	-	-	-	-
社宅・官舎 (n=5)	交通の便が悪い		日常生活が不便		通勤・通学先が遠い/教育・文化環境が悪い				居住環境が悪い/医療機関・福祉サービスが不足/公共施設が不足/家族が遠くにいる/住み慣れていない/その他	
	5	100.0%	3	60.0%	2		40.0%		1	20.0%
その他 (n=0)	-		-		-		-		-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

<定住意向別>

- ・いずれの定住意向でも、「交通の便が悪い」が最も多く、次いで「日常生活が不便」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
住み続けたい (n=25)	交通の便が悪い		日常生活が不便		医療機関・福祉サービスが不足/その他				居住環境が悪い	
	16	64.0%	11	44.0%	6		24.0%		5	20.0%
どちらかとい えば住み続け たい (n=34)	交通の便が悪い		日常生活が不便		通勤・通学先が遠い		公共施設が不足		暮らしていて不安	
	29	85.3%	18	52.9%	13	38.2%	11	32.4%	7	20.6%
どちらかといえ ば住み続けたく ない (n=28)	交通の便が悪い		日常生活が不便		その他		居住環境が悪い		公共施設が不足/暮ら していて不安	
	16	57.1%	11	39.3%	9	32.1%	8	28.6%	7	25.0%
住み続けたく ない (n=12)	交通の便が悪い		日常生活が不便		暮らしていて不安		居住環境が悪い		公共施設が不足/住み 慣れていない/その他	
	10	83.3%	8	66.7%	6	50.0%	4	33.3%	3	25.0%
どちらともい えない (n=34)	交通の便が悪い		日常生活が不便		その他		通勤・通学先が遠い		医療機関・福祉サービ スが不足/公共施設が不 足	
	29	85.3%	15	44.1%	13	38.2%	9	26.5%	7	20.6%

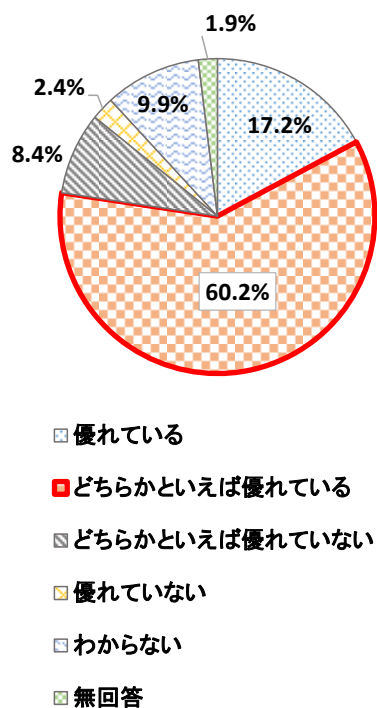
① 全体集計の結果

◇つくば市の景観が『優れている（計）』が8割近く

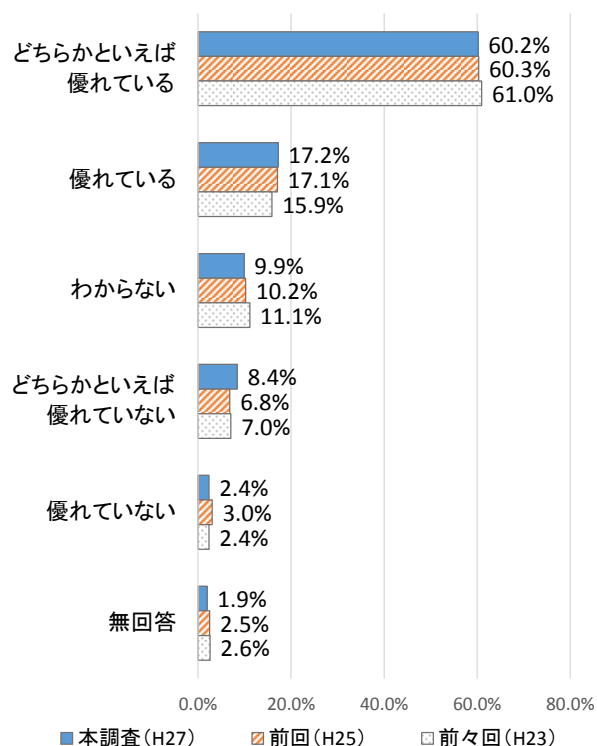
- ・つくば市の景観については、「どちらかといえば優れている」が742人(60.2%)で最も多く、次いで「優れている」が212人(17.2%)となっている。
- ・「優れている」と「どちらかといえば優れている」を合わせた『優れている（計）』は77.4%となっている。

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
優れている	212	17.2%	17.1%	15.9%
どちらかといえば優れている	742	60.2%	60.3%	61.0%
どちらかといえば優れていない	104	8.4%	6.8%	7.0%
優れていない	29	2.4%	3.0%	2.4%
わからない	122	9.9%	10.2%	11.1%
無回答	24	1.9%	2.5%	2.6%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

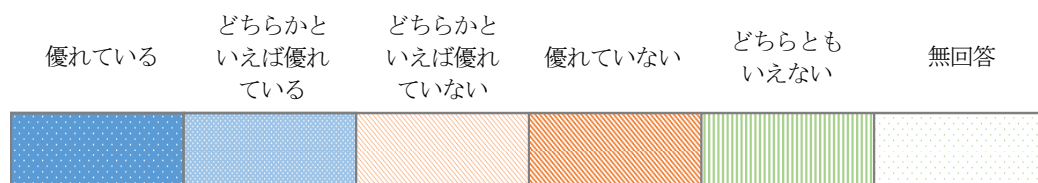
<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>

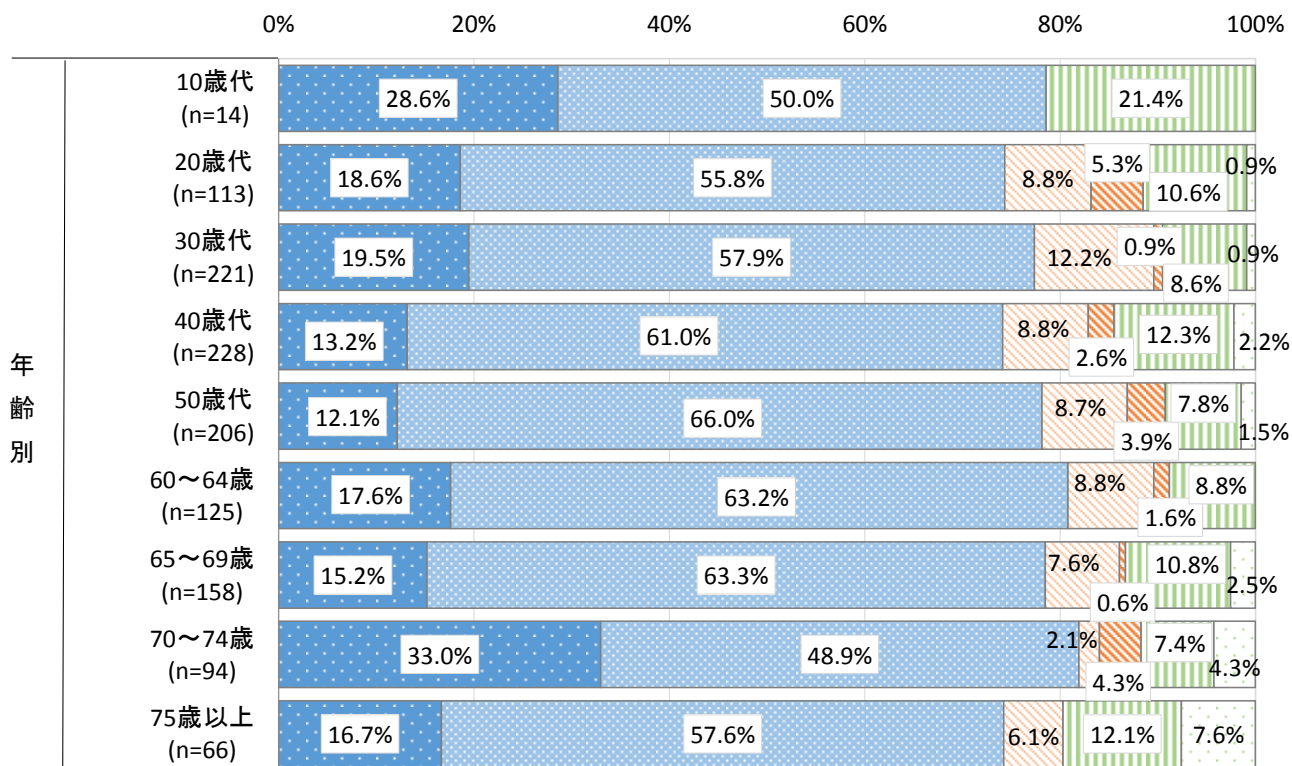


②-1 クロス集計の結果（問7と年齢別・地区別構成比）



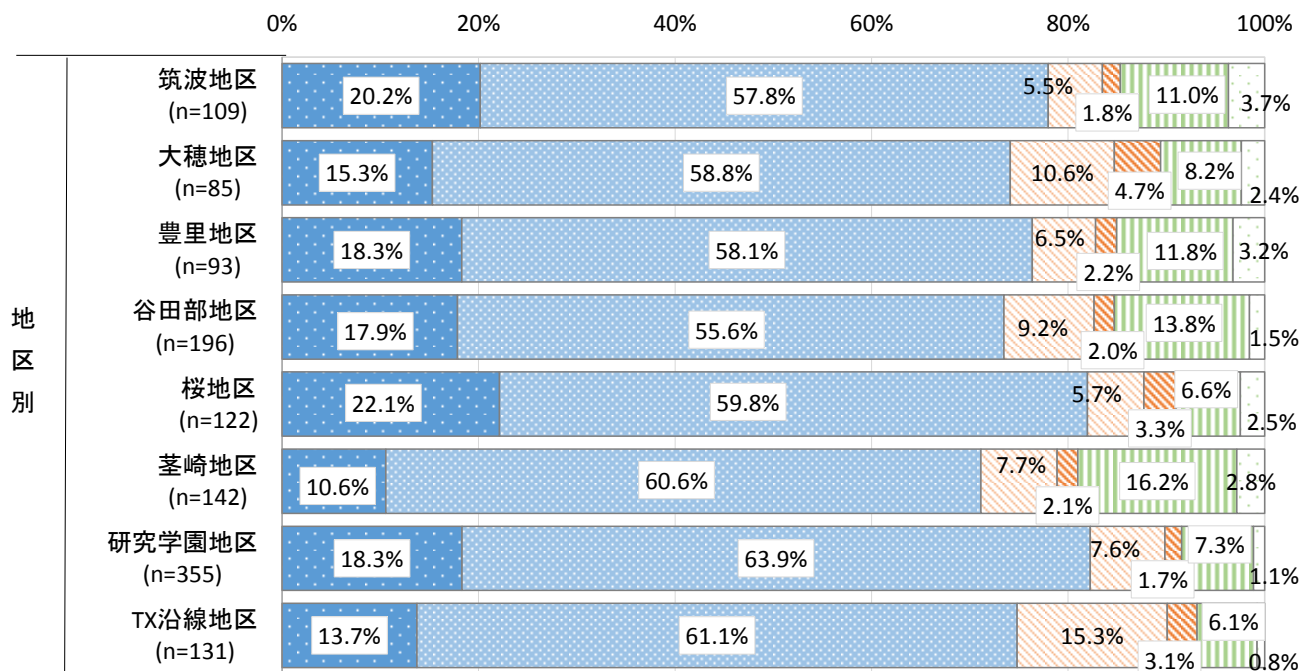
<年齢別>

- すべての年齢で、『優れている（計）』が70%を超えている。

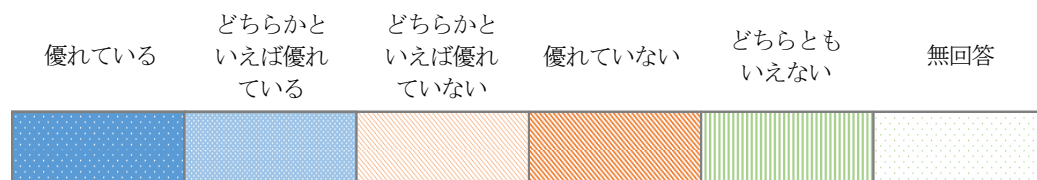


<地区別>

- すべての地区で、『優れている（計）』が70%を超えている。

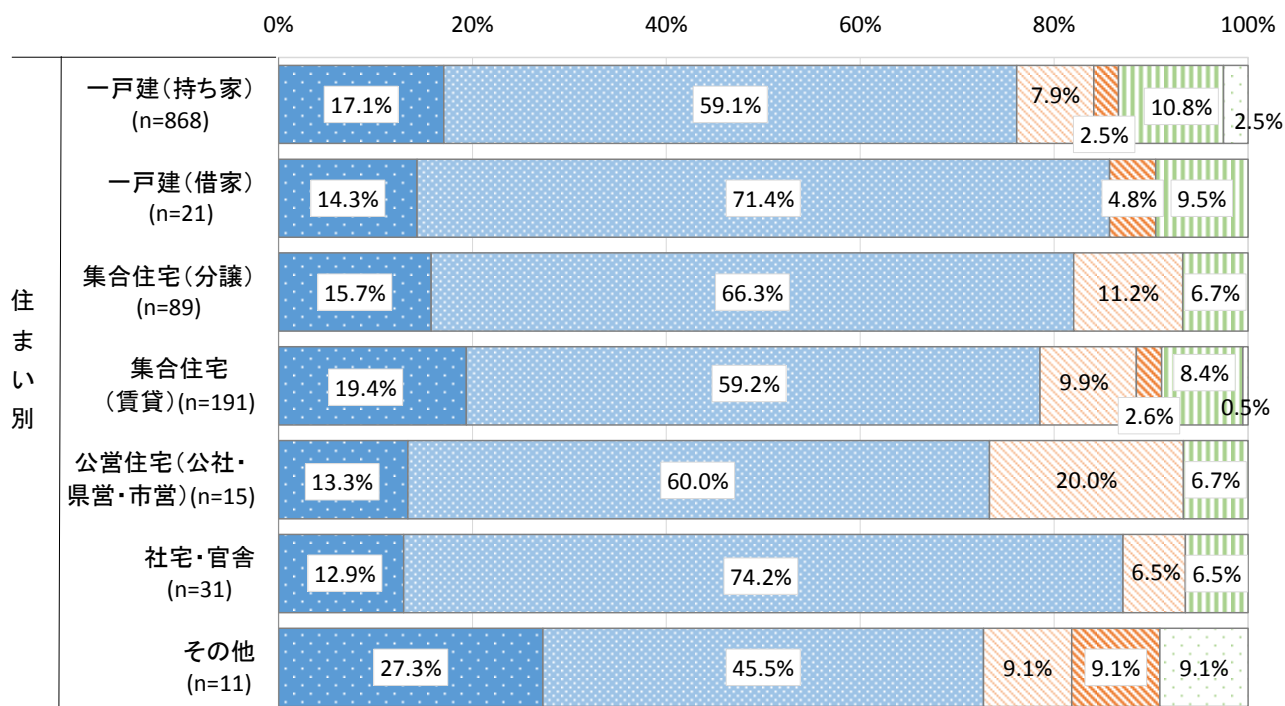


②-2 クロス集計の結果（問7と住まい別・定住意向別構成比）



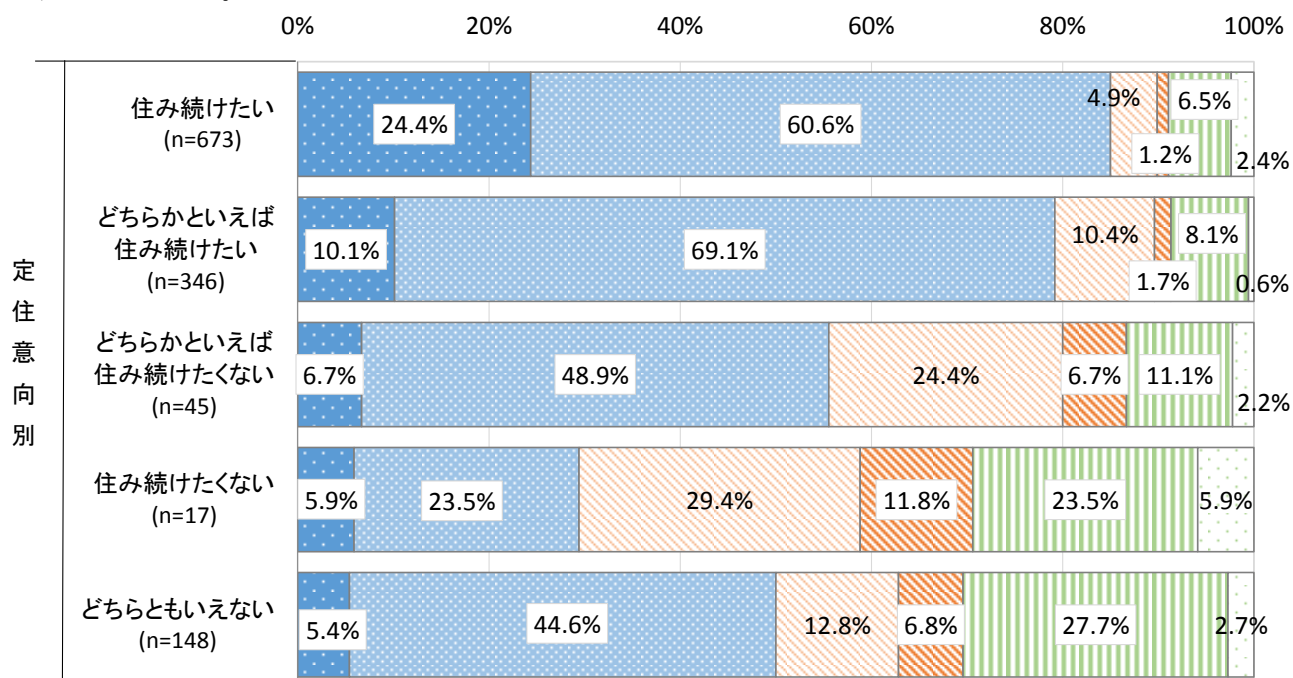
<住まい別>

- すべての住まいで、『優れている（計）』が70%を超えている。



<定住意向別>

- 住み続けたいでは、『優れている（計）』が85%となっている。
- 住み続けたくないでは、『優れていない』と『どちらかといえば優れていない』を合わせた『優れていない（計）』が40%を超えている。



【問7で「優れている」または「どちらかといえば優れている」とお答えの方にお聞きします】

問8 優れていると感じる景観を教えてください。

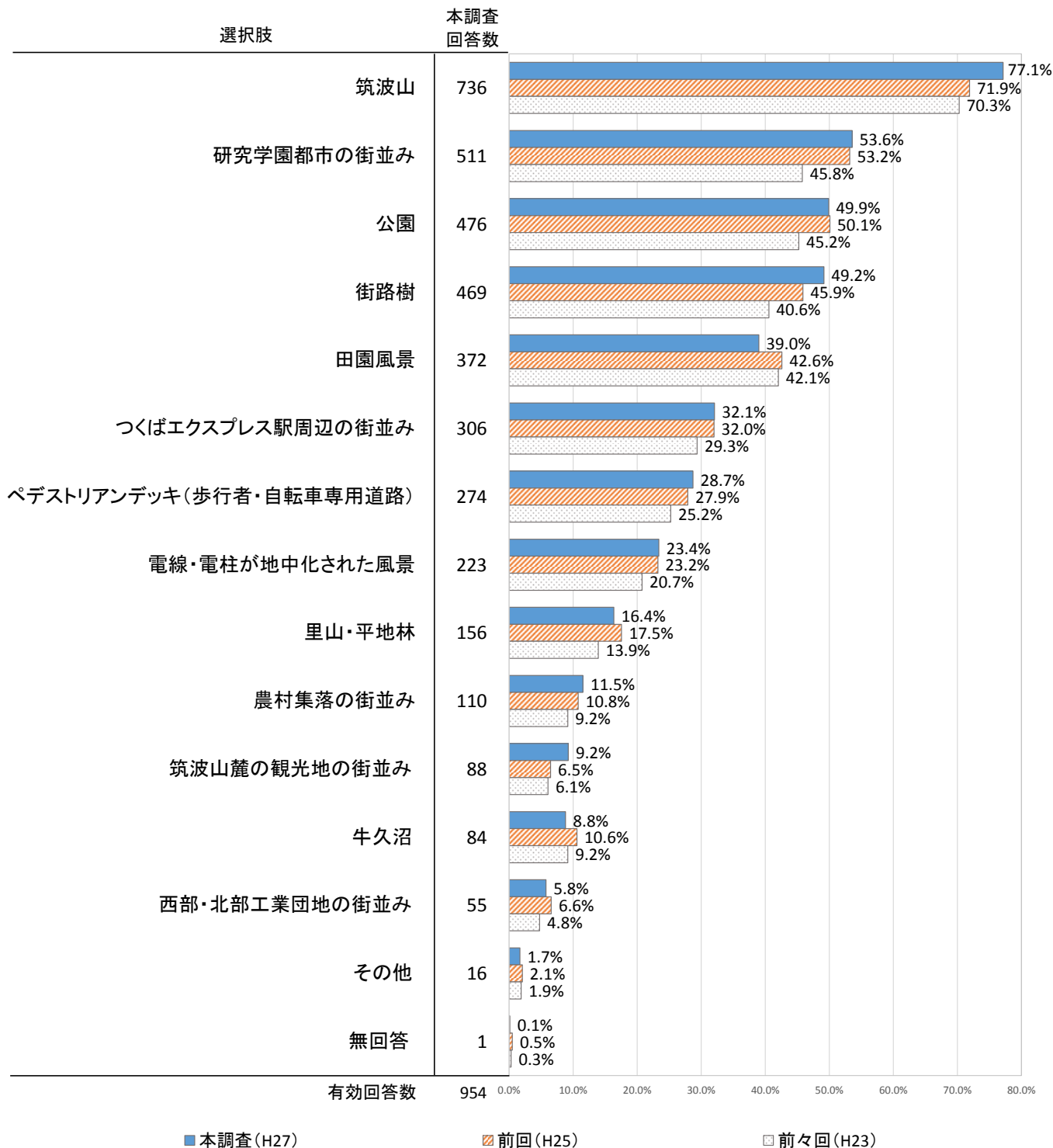
<○は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果

◇優れている景観は、「筑波山」が8割近く

- ・優れている景観については、「筑波山」が736人(77.1%)で最も多く、次いで「研究学園都市の街並み」が511人(53.6%)となっている。
- ・過年度調査と比べると、「筑波山」は増加している。

<本調査と過年度調査との構成比>



②-1 クロス集計の結果（問8と年齢別・地区別構成比 上位5位）

<年齢別>

- すべての年齢で、「筑波山」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=11)	筑波山		つくばエクスプレス駅周辺の街並み/公園		研究学園都市の街並み		研究学園都市の街並み/農村集落の街並み			
	8	72.7%	6		54.5%		4		36.4%	
20歳代 (n=84)	筑波山		つくばエクスプレス駅周辺の街並み		研究学園都市の街並み		公園		街路樹	
	60	71.4%	53	63.1%	45	53.6%	36	42.9%	33	39.3%
30歳代 (n=171)	筑波山		街路樹		研究学園都市の街並み		公園		つくばエクスプレス駅周辺の街並み	
	128	74.9%	90	52.6%	89	52.0%	87	50.9%	63	36.8%
40歳代 (n=169)	筑波山		公園		街路樹		研究学園都市の街並み		田園風景	
	128	75.7%	90	53.3%	88	52.1%	85	50.3%	63	37.3%
50歳代 (n=161)	筑波山		研究学園都市の街並み		街路樹		公園		田園風景	
	127	78.9%	94	58.4%	85	52.8%	83	51.6%	63	39.1%
60～64歳 (n=101)	筑波山		街路樹		研究学園都市の街並み		公園		田園風景	
	74	73.3%	58	57.4%	54	53.5%	49	48.5%	42	41.6%
65～69歳 (n=124)	筑波山		研究学園都市の街並み/公園				田園風景		街路樹	
	93	75.0%	63		50.8%		52	41.9%	51	41.1%
70～74歳 (n=77)	筑波山		研究学園都市の街並み		田園風景		公園/街路樹			
	67	87.0%	47	61.0%	39	50.6%	35		45.5%	
75歳以上 (n=49)	筑波山		研究学園都市の街並み		街路樹		公園		田園風景	
	44	89.8%	25	51.0%	24	49.0%	23	46.9%	21	42.9%

<地区別>

- すべての地区で、「筑波山」が最も多く、「研究学園都市の街並み」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=85)	筑波山		研究学園都市の街並み		田園風景		街路樹		つくばエクスプレス駅周辺の街並み	
	78	91.8%	48	56.5%	41	48.2%	30	35.3%	27	31.8%
大穂地区 (n=63)	筑波山		研究学園都市の街並み		田園風景		公園		つくばエクスプレス駅周辺の街並み	
	52	82.5%	31	49.2%	29	46.0%	26	41.3%	25	39.7%
豊里地区 (n=71)	筑波山		田園風景		研究学園都市の街並み		公園		街路樹	
	60	84.5%	39	54.9%	37	52.1%	24	33.8%	22	31.0%
谷田部地区 (n=144)	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		街路樹		田園風景	
	113	78.5%	81	56.3%	74	51.4%	67	46.5%	62	43.1%
桜地区 (n=100)	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		街路樹		田園風景	
	73	73.0%	62	62.0%	51	51.0%	49	49.0%	48	48.0%
茎崎地区 (n=101)	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		牛久沼		田園風景/街路樹	
	77	76.2%	57	56.4%	48	47.5%	45	44.6%	43	42.6%
研究学園地区 (n=292)	筑波山		街路樹		公園		研究学園都市の街並み		ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）	
	213	72.9%	186	63.7%	185	63.4%	139	47.6%	127	43.5%
T X 沿線地区 (n=98)	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		街路樹		つくばエクスプレス駅周辺の街並み/電線・電柱が地中化された風景	
	70	71.4%	56	57.1%	52	53.1%	48	49.0%	32	32.7%

②-2 クロス集計の結果（問8と住まい別・定住意向別構成比 上位5位）

<住まい別>

・公営住宅（公社・県営・市営）以外の住まいで、「筑波山」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建（持ち家） （n=661）	筑波山		研究学園都市の街並み		街路樹		公園		田園風景	
	516	78.1%	356	53.9%	317	48.0%	311	47.0%	284	43.0%
一戸建（借家） （n=18）	筑波山/街路樹				公園		田園風景/研究学園都市の街並み			
	13		72.2%		10	55.6%	8		44.4%	
集合住宅（分譲） （n=73）	筑波山		公園		街路樹		研究学園都市の街並み/ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）			
	59	80.8%	51	69.9%	43	58.9%	38		52.1%	
集合住宅（賃貸） （n=150）	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		街路樹		つくばエクスプレス駅周辺の街並み	
	110	73.3%	83	55.3%	79	52.7%	72	48.0%	70	46.7%
公営住宅（公社・県営・市営） （n=11）	公園/街路樹				研究学園都市の街並み		筑波山		ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）	
	9		81.8%		8	72.7%	6	54.5%	4	36.4%
杜宅・官舎 （n=27）	筑波山		ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）/公園				研究学園都市の街並み/電線・電柱が地中化された風景			
	21	77.8%	13		48.1%		11		40.7%	
その他（n=8）	筑波山		研究学園都市の街並み		つくばエクスプレス駅周辺の街並み/街路樹				田園風景/農村集落の街並み/筑波山麓の観光地の街並み/ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）	
	5	62.5%	3	37.5%	2		25.0%		1	12.5%

<定住意向別>

・いずれの定住意向でも、「筑波山」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
住み続けたい （n=572）	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		街路樹		田園風景	
	443	77.4%	319	55.8%	301	52.6%	286	50.0%	245	42.8%
どちらかといえば住み続けたい （n=274）	筑波山		研究学園都市の街並み		公園		街路樹		ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）	
	218	79.6%	141	51.5%	138	50.4%	136	49.6%	101	36.9%
どちらかといえば住み続けたくない （n=25）	筑波山		研究学園都市の街並み		街路樹		田園風景/公園			
	16	64.0%	13	52.0%	11	44.0%	10		40.0%	
住み続けたくない （n=5）	筑波山		田園風景/つくばエクスプレス駅周辺の街並み/公園/街路樹							
	4	80.0%			2		40.0%			
どちらともいえない （n=74）	筑波山		研究学園都市の街並み/街路樹				つくばエクスプレス駅周辺の街並み		田園風景	
	51	68.9%	33		44.6%		30	40.5%	27	36.5%

4 あなたの普段の生活について

問9 あなたは、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。あてはまる数字（点数）を選んでください。 <〇は1つ>

① 全体集計の結果

◇現在の幸福度は、全体の平均値が 6.86 点

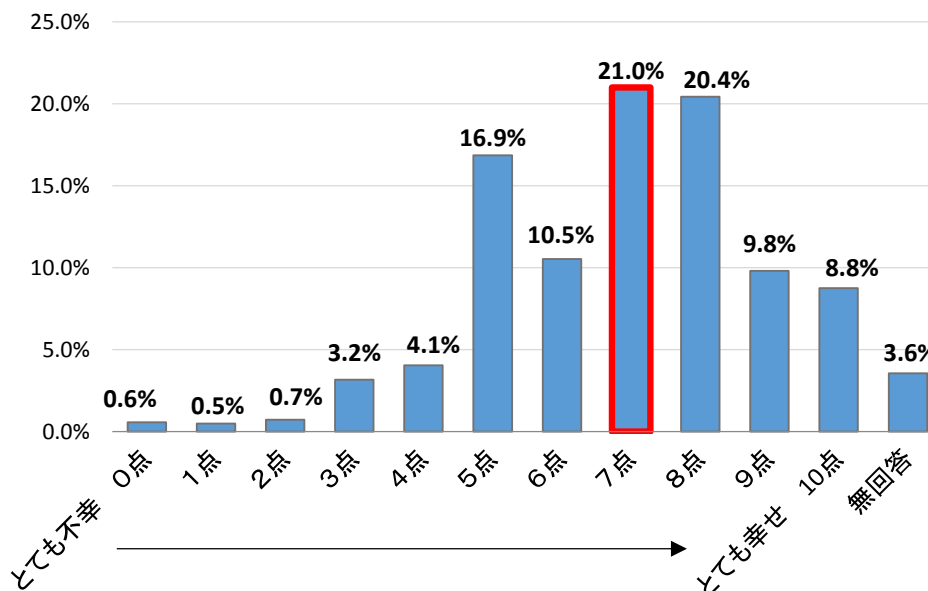
- ・幸福度については、「7点」が259人(21.0%)で最も多く、次いで「8点」が252人(20.4%)となっている。
- ・幸せ（「10点」「9点」「8点」「7点」「6点」の合計）が70.5%となっている。
- ・全体の平均点は、6.86点となっている。（※内閣府経済社会総合研究所「平成25年度生活の質に関する調査」全体の平均値：6.68点）

選択肢	とても不幸											とても幸せ	無回答	全体
	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点			
回答数(人)	7	6	9	39	50	208	130	259	252	121	108	44	1,233	
構成比	0.6%	0.5%	0.7%	3.2%	4.1%	16.9%	10.5%	21.0%	20.4%	9.8%	8.8%	3.6%	100.0%	

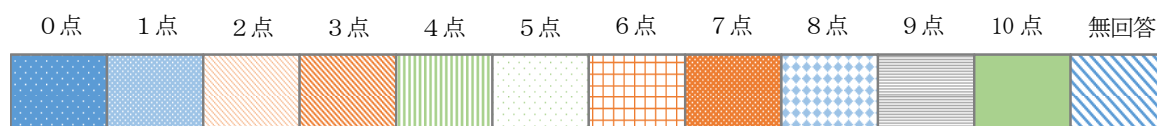
※本調査で新たに追加した質問

<本調査の構成比>

n=1,233

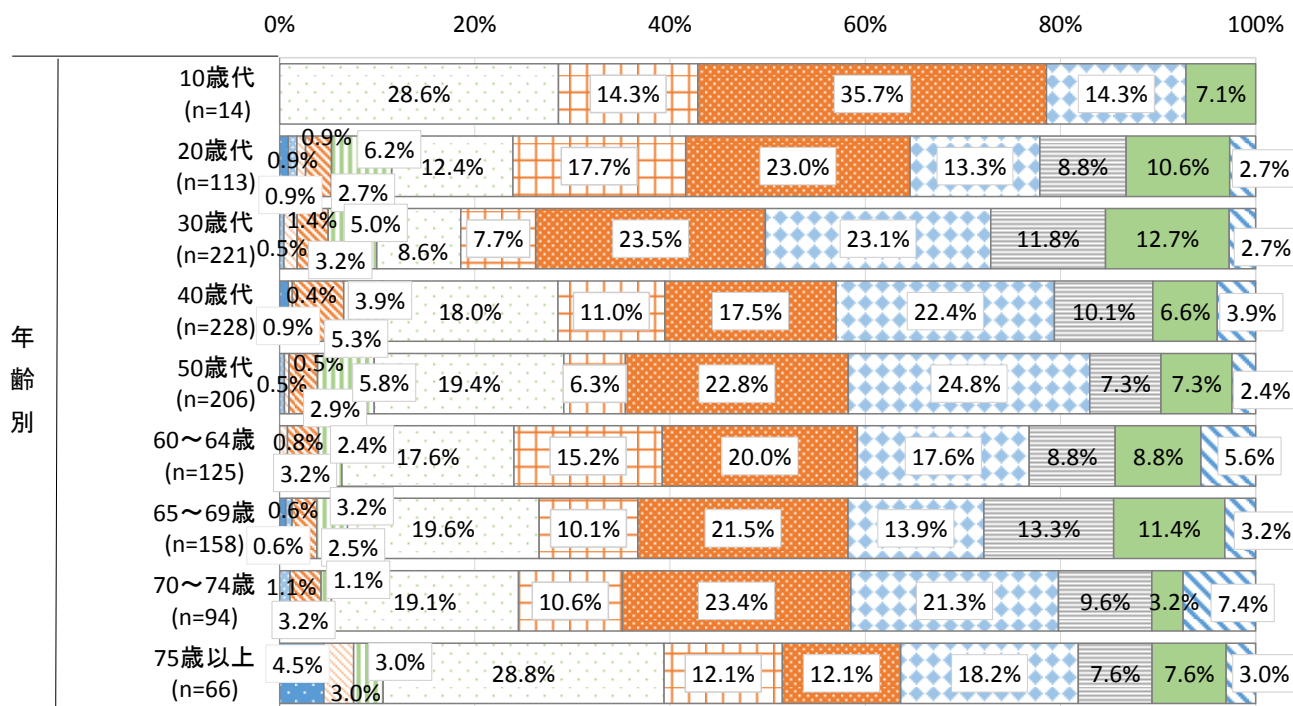


②-1 クロス集計の結果（問9と年齢別・地区別構成比）



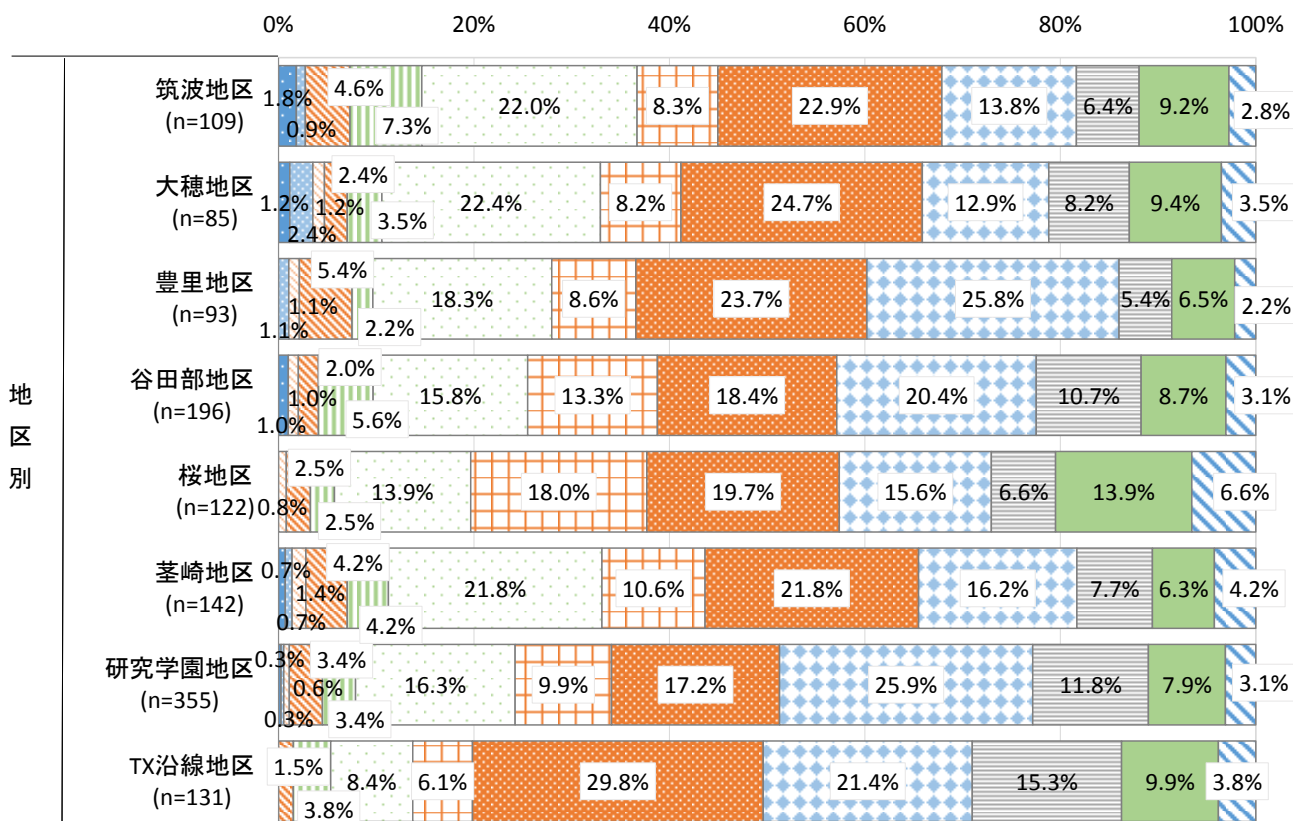
<年齢別>

- ・74歳までの年齢では、6点以上の点数が65%を超えている。

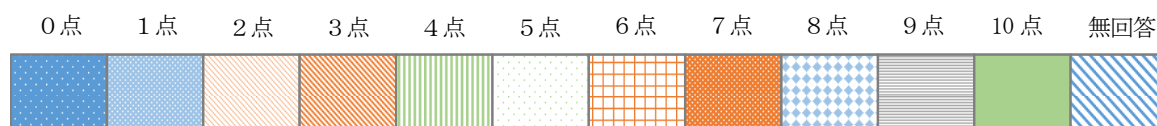


<地区別>

- ・すべての地区で、6点以上の点数が60%を超えている。

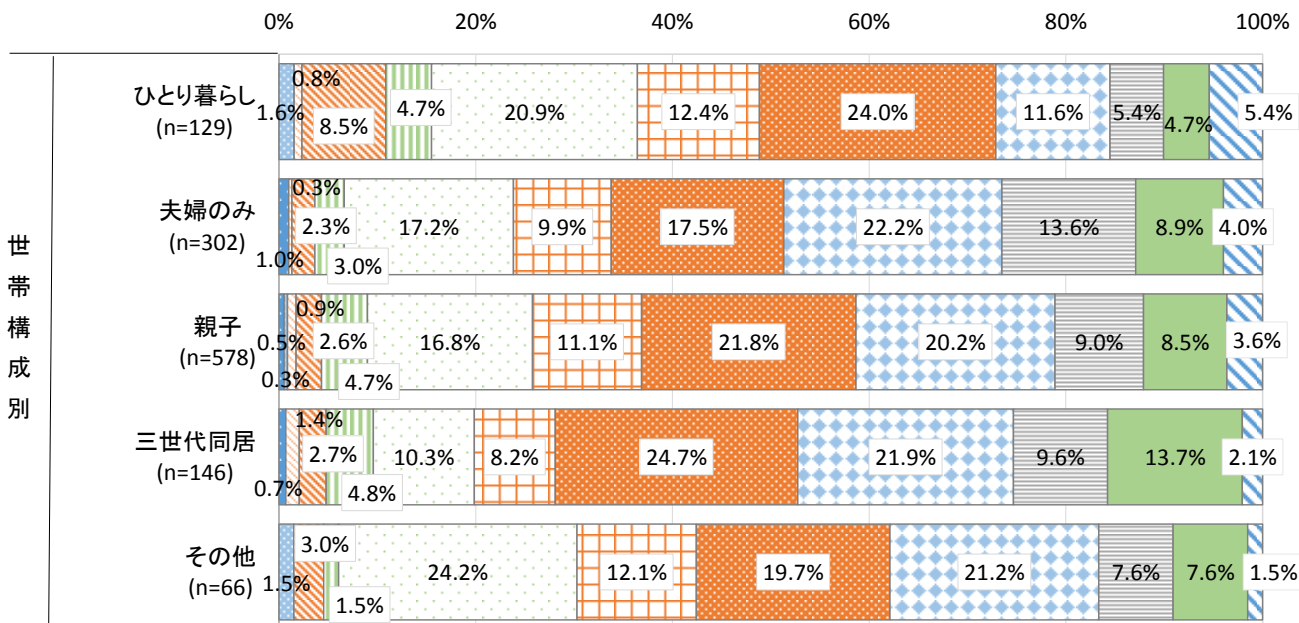


②-2 クロス集計の結果（問9と世帯構成別・職業別構成比）



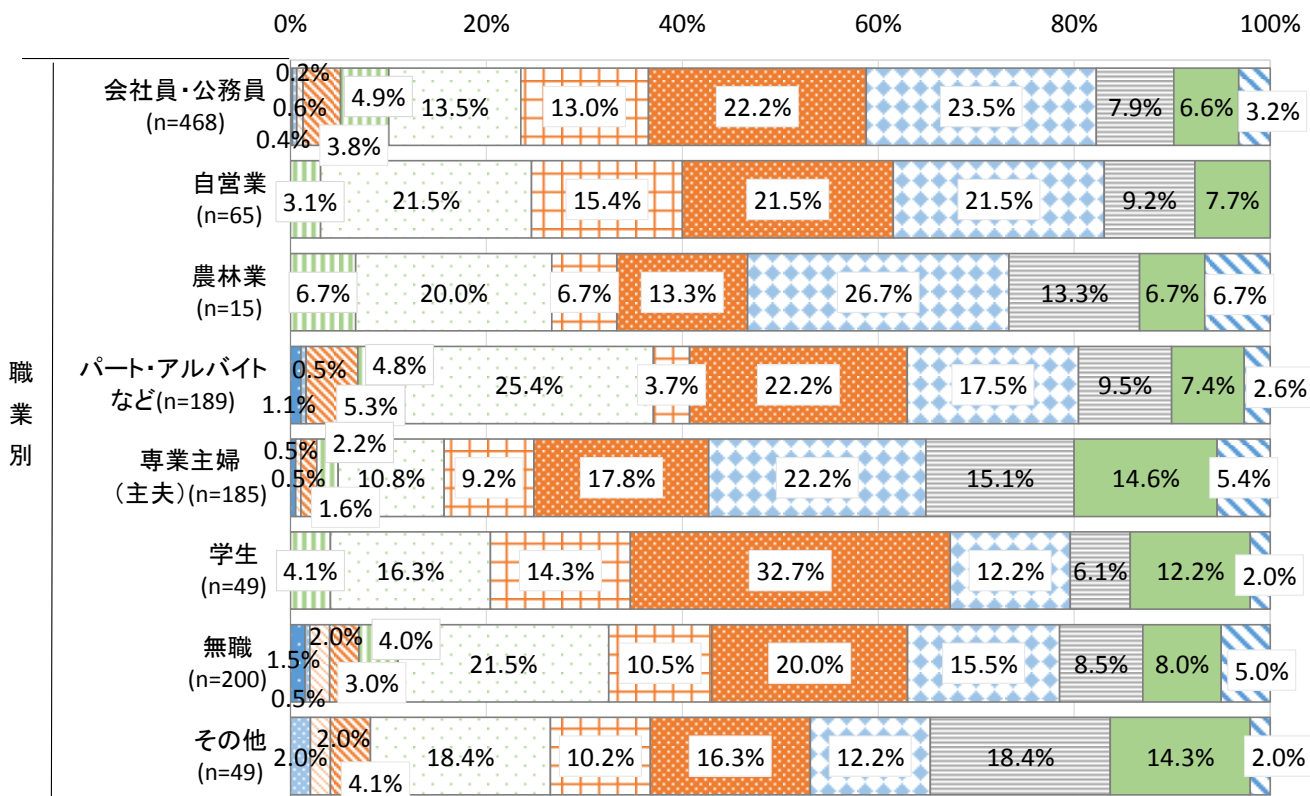
<世帯構成別>

- ・ひとり暮らし以外の世帯構成で、6点以上の点数が65%を超えている。



<職業別>

- ・農林業、専業主婦及びその他は、9点以上の点数が20%以上となっている。



問 10 あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

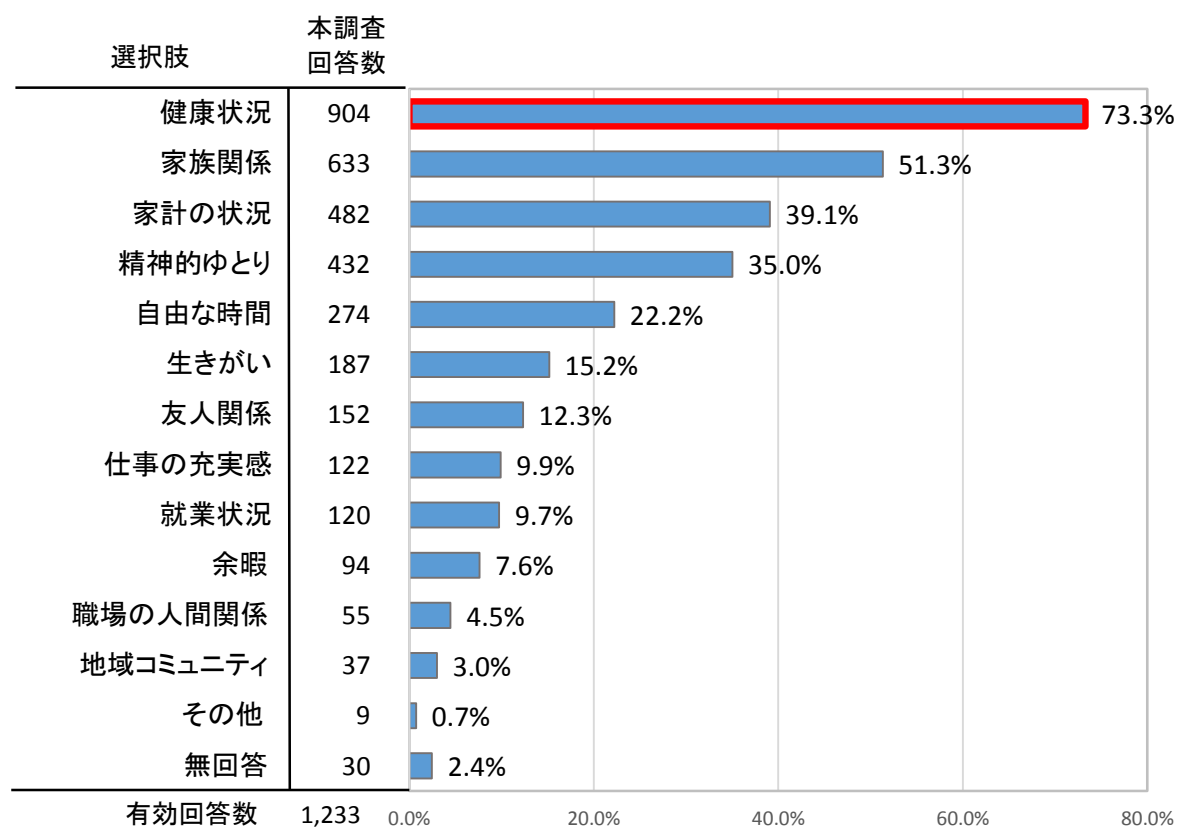
<3つまで>

① 全体集計の結果

◇幸福感を判断する際に重視することトップ3は、「健康状況」（7割超え）、「家族関係」（5割超え）、「家計の状況」（4割近く）

- ・ 幸福感を判断する際に特に重視することについては、「健康状況」が904人(73.3%)で最も多く、次いで「家族関係」が633人(51.3%)、「家計の状況」が482人(39.1%)となっている。

<本調査の構成比>



※本調査で新たに追加した質問

②－１ クロス集計の結果（問 10 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・20 歳代以上は、「健康状況」、10 歳代は、「友人関係」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	友人関係		自由な時間		健康状況/家族関係		精神的ゆとり／生きがい			
	9	64.3%	6	42.9%	5	35.7%	4	28.6%		
20歳代 (n=113)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		自由な時間		友人関係	
	59	52.2%	50	44.2%	48	42.5%	38	33.6%	29	25.7%
30歳代 (n=221)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	145	65.6%	131	59.3%	100	45.2%	97	43.9%	42	19.0%
40歳代 (n=228)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	170	74.6%	140	61.4%	96	42.1%	80	35.1%	37	16.2%
50歳代 (n=206)	健康状況		家計の状況		家族関係		精神的ゆとり		生きがい	
	170	82.5%	93	45.1%	92	44.7%	85	41.3%	34	16.5%
60～64歳 (n=125)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	99	79.2%	60	48.0%	54	43.2%	36	28.8%	29	23.2%
65～69歳 (n=158)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	129	81.6%	81	51.3%	58	36.7%	41	25.9%	40	25.3%
70～74歳 (n=94)	健康状況		家族関係		自由な時間		家計の状況		精神的ゆとり	
	70	74.5%	46	48.9%	28	29.8%	27	28.7%	24	25.5%
75歳以上 (n=66)	健康状況		家族関係		自由な時間		家計の状況		精神的ゆとり／生きがい	
	49	74.2%	26	39.4%	24	36.4%	23	34.8%	15	22.7%

<地区別>

- ・すべての地区で、「健康状況」が最も多く、次いで「家族関係」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	健康状況		家族関係		自由な時間		家計の状況		精神的ゆとり	
	71	65.1%	53	48.6%	38	34.9%	36	33.0%	33	30.3%
大穂地区 (n=85)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	57	67.1%	47	55.3%	36	42.4%	33	38.8%	20	23.5%
豊里地区 (n=93)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	69	74.2%	49	52.7%	41	44.1%	25	26.9%	24	25.8%
谷田部地区 (n=196)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	142	72.4%	92	46.9%	75	38.3%	62	31.6%	45	23.0%
桜地区 (n=122)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	92	75.4%	61	50.0%	53	43.4%	43	35.2%	19	15.6%
茎崎地区 (n=142)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	112	78.9%	70	49.3%	51	35.9%	46	32.4%	40	28.2%
研究学園地区 (n=355)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		自由な時間	
	263	74.1%	187	52.7%	142	40.0%	133	37.5%	68	19.2%
T X 沿線地区 (n=131)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間／生きがい	
	98	74.8%	74	56.5%	57	43.5%	48	36.6%	20	15.3%

②-2 クロス集計の結果（問10と世帯構成別・職業別構成比 上位5位）

<世帯構成別>

- ・すべての世帯構成で、「健康状況」が最も多い。
- ・ひとり暮らし世帯では、「健康状況」に次いで、「精神的ゆとり」を重視しており、それ以外の世帯では「家族関係」を重視している。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=129)	健康状況		精神的ゆとり		自由な時間		家計の状況		家族関係	
	91	70.5%	52	40.3%	43	33.3%	41	31.8%	34	26.4%
夫婦のみ (n=302)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	238	78.8%	147	48.7%	125	41.4%	89	29.5%	60	19.9%
親子 (n=578)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	409	70.8%	326	56.4%	241	41.7%	212	36.7%	111	19.2%
三世帯同居 (n=146)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		自由な時間	
	107	73.3%	89	61.0%	56	38.4%	50	34.2%	33	22.6%
その他 (n=66)	健康状況		家族関係		自由な時間		家計の状況/精神的ゆとり			
	47	71.2%	32	48.5%	23	34.8%	19		28.8%	

<職業別>

- ・すべての職業で、「健康状況」が最も多く、「家族関係」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=468)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		自由な時間	
	316	67.5%	238	50.9%	179	38.2%	175	37.4%	96	20.5%
自営業 (n=65)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		生きがい	
	52	80.0%	33	50.8%	32	49.2%	17	26.2%	13	20.0%
農林業 (n=15)	健康状況		自由な時間		精神的ゆとり/家族関係/仕事の充実感					
	13	86.7%	6	40.0%	5			33.3%		
パート・アルバイトなど (n=189)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間/友人関係	
	144	76.2%	106	56.1%	86	45.5%	64	33.9%	30	15.9%
専業主婦（主夫） (n=185)	健康状況		家族関係		家計の状況		精神的ゆとり		自由な時間	
	146	78.9%	106	57.3%	88	47.6%	60	32.4%	41	22.2%
学生 (n=49)	健康状況		精神的ゆとり		友人関係		自由な時間/家族関係			
	29	59.2%	25	51.0%	20	40.8%	18		36.7%	
無職 (n=200)	健康状況		家族関係		家計の状況		自由な時間		精神的ゆとり	
	155	77.5%	94	47.0%	70	35.0%	64	32.0%	58	29.0%
その他 (n=49)	健康状況		家族関係		精神的ゆとり		家計の状況		就業状況/自由な時間/生きがい	
	39	79.6%	28	57.1%	21	42.9%	19	38.8%	7	14.3%

問 11 あなたは、心配ごとや困っていることはありますか。

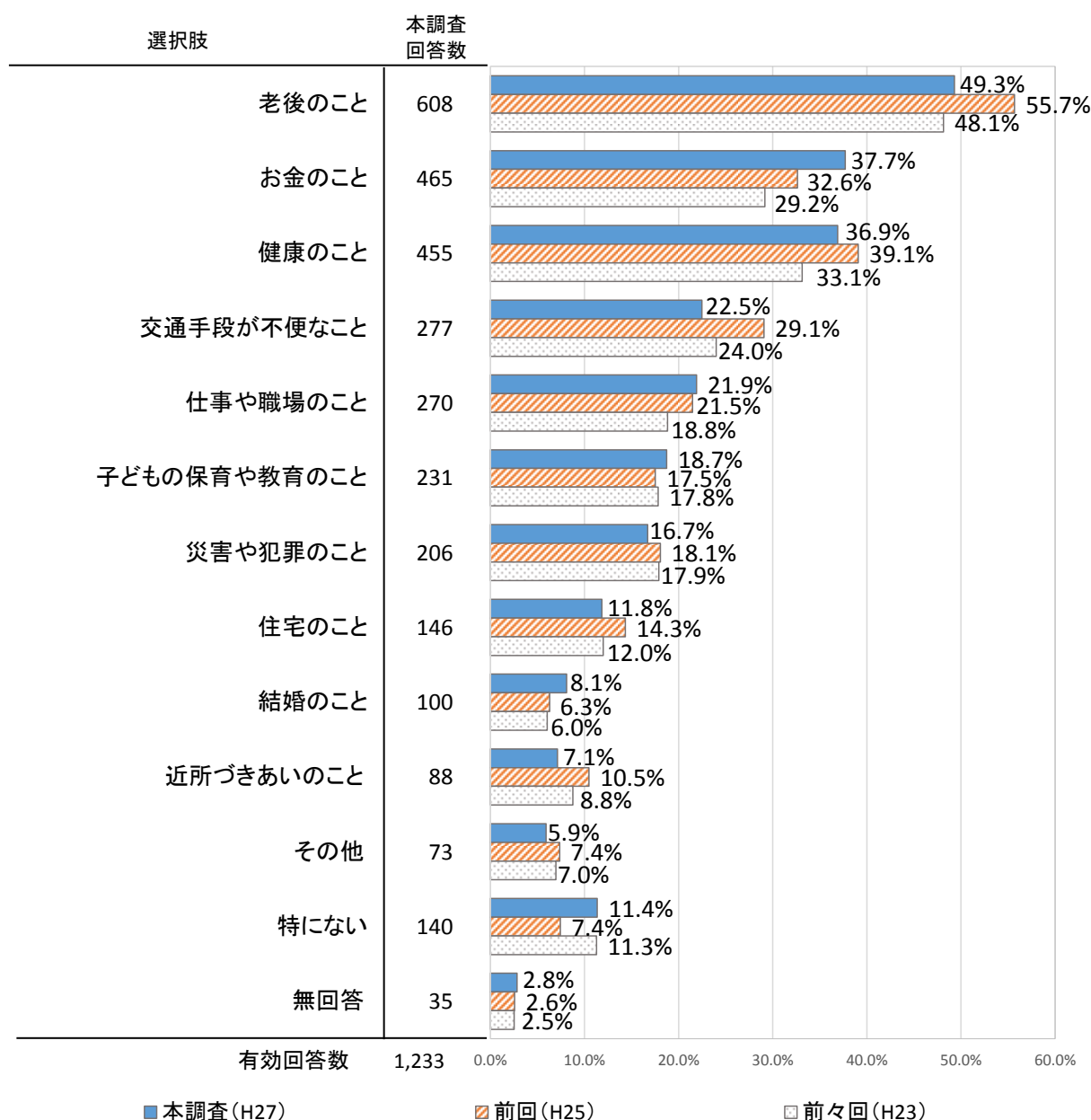
<○は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果

◇心配ごとや困っていることは、「老後のこと」が5割近く

- ・心配ごとや困っていることについては、「老後のこと」が 608 人(49.3%)で最も多く、次いで「お金のこと」が 465 人(37.7%)となっている。
- ・前回調査と比べると、「お金のこと」が増加し、「老後のこと」及び「交通手段が不便なこと」が減少している。

<本調査と過年度調査との構成比>



②-1 クロス集計の結果（問 11 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・10 歳代～40 歳代は、「お金のこと」、50 歳代以上は「老後のこと」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	お金のこと		特にない		仕事や職場のこと		健康のこと		老後のこと／結婚のこと／住宅のこと／交通手段が不便なこと／災害や犯罪のこと／その他	
	6	42.9%	5	35.7%	4	28.6%	2	14.3%	1	7.1%
20歳代 (n=113)	お金のこと		仕事や職場のこと		結婚のこと		交通手段が不便なこと		老後のこと	
	72	63.7%	50	44.2%	34	30.1%	28	24.8%	26	23.0%
30歳代 (n=221)	お金のこと		子どもの保育や教育のこと		老後のこと		仕事や職場のこと		災害や犯罪のこと	
	100	45.2%	95	43.0%	86	38.9%	71	32.1%	58	26.2%
40歳代 (n=228)	お金のこと		老後のこと		子どもの保育や教育のこと		健康のこと		仕事や職場のこと	
	100	43.9%	97	42.5%	86	37.7%	80	35.1%	71	31.1%
50歳代 (n=206)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		仕事や職場のこと		交通手段が不便なこと	
	139	67.5%	85	41.3%	80	38.8%	57	27.7%	46	22.3%
60～64歳 (n=125)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと／特にない			
	79	63.2%	52	41.6%	44	35.2%	20		16.0%	
65～69歳 (n=158)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		特にない	
	93	58.9%	77	48.7%	35	22.2%	32	20.3%	26	16.5%
70～74歳 (n=94)	老後のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		特にない		お金のこと	
	52	55.3%	46	48.9%	32	34.0%	15	16.0%	13	13.8%
75歳以上 (n=66)	健康のこと／老後のこと				交通手段が不便なこと		お金のこと		災害や犯罪のこと	
	31		47.0%		25	37.9%	13	19.7%	11	16.7%

<地区別>

- ・すべての地区で、「老後のこと」が最も多く、「健康のこと」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	老後のこと		健康のこと／お金のこと				交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	61	56.0%	45		41.3%		37	33.9%	23	21.1%
大穂地区 (n=85)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	45	52.9%	33	38.8%	32	37.6%	19	22.4%	18	21.2%
豊里地区 (n=93)	老後のこと		健康のこと／お金のこと				仕事や職場のこと／交通手段が不便なこと／災害や犯罪のこと			
	52	55.9%	33		35.5%		15		16.1%	
谷田部地区 (n=196)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	101	51.5%	76	38.8%	72	36.7%	39	19.9%	34	17.3%
桜地区 (n=122)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		子どもの保育や教育のこと	
	64	52.5%	42	34.4%	40	32.8%	35	28.7%	23	18.9%
荃崎地区 (n=142)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	78	54.9%	55	38.7%	53	37.3%	48	33.8%	24	16.9%
研究学園地区 (n=355)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		仕事や職場のこと		子どもの保育や教育のこと	
	152	42.8%	144	40.6%	132	37.2%	99	27.9%	77	21.7%
T X 沿線地区 (n=131)	老後のこと		子どもの保育や教育のこと		お金のこと		健康のこと		仕事や職場のこと	
	55	42.0%	51	38.9%	43	32.8%	42	32.1%	36	27.5%

②-2 クロス集計の結果（問 11 と職業別・住まい別構成比 上位 5 位）

<職業別>

- ・学生は、「お金のこと」が最も多く、それ以外の職業では、「老後のこと」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=468)	老後のこと		お金のこと		仕事や職場のこと		健康のこと		子どもの保育や教育のこと	
	218	46.6%	196	41.9%	146	31.2%	140	29.9%	133	28.4%
自営業 (n=65)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		仕事や職場のこと/災害や犯罪のこと			
	30	46.2%	27	41.5%	25	38.5%	13		20.0%	
農林業 (n=15)	健康のこと		老後のこと		お金のこと		特にない		仕事や職場のこと/災害や犯罪のこと	
	8	53.3%	7	46.7%	5	33.3%	3	20.0%	2	13.3%
パート・アルバイトなど (n=189)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		仕事や職場のこと		子どもの保育や教育のこと	
	104	55.0%	96	50.8%	73	38.6%	52	27.5%	36	19.0%
専業主婦（主夫） (n=185)	老後のこと		健康のこと		お金のこと/災害や犯罪のこと		交通手段が不便なこと			
	99	53.5%	70	37.8%	44		23.8%		42	22.7%
学生 (n=49)	お金のこと		仕事や職場のこと		交通手段が不便なこと		結婚のこと		健康のこと	
	27	55.1%	22	44.9%	14	28.6%	12	24.5%	11	22.4%
無職 (n=200)	老後のこと		健康のこと		交通手段が不便なこと		お金のこと		特にない	
	116	58.0%	102	51.0%	65	32.5%	51	25.5%	27	13.5%
その他 (n=49)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		仕事や職場のこと/子どもの保育や教育のこと			
	23	46.9%	20	40.8%	17	34.7%	13		26.5%	

<住まい別>

- ・いずれの住まいでも、「老後のこと」、「お金のこと」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建（持ち家） (n=868)	老後のこと		健康のこと		お金のこと		交通手段が不便なこと		仕事や職場のこと	
	444	51.2%	322	37.1%	287	33.1%	198	22.8%	142	16.4%
一戸建（借家） (n=21)	お金のこと		老後のこと		健康のこと		住宅のこと		仕事や職場のこと	
	14	66.7%	12	57.1%	11	52.4%	9	42.9%	7	33.3%
集合住宅（分譲） (n=89)	老後のこと		お金のこと		健康のこと		子どもの保育や教育のこと		仕事や職場のこと	
	43	48.3%	31	34.8%	30	33.7%	29	32.6%	26	29.2%
集合住宅（賃貸） (n=191)	お金のこと		老後のこと		仕事や職場のこと		健康のこと		住宅のこと	
	102	53.4%	78	40.8%	70	36.6%	69	36.1%	53	27.7%
公営住宅（公社・県営・市営） (n=15)	老後のこと		健康のこと/お金のこと				仕事や職場のこと		子どもの保育や教育のこと	
	8	53.3%	7		46.7%		6	40.0%	4	26.7%
社宅・官舎 (n=31)	老後のこと		仕事や職場のこと		お金のこと		健康のこと／子どもの保育や教育のこと／住宅のこと			
	16	51.6%	15	48.4%	13	41.9%	11		35.5%	
その他 (n=11)	お金のこと		健康のこと／老後のこと／仕事や職場のこと／結婚のこと／交通手段が不便なこと							
	9	81.8%	3				27.3%			

問12 あなたは、現在、どのような地域活動に参加していますか。

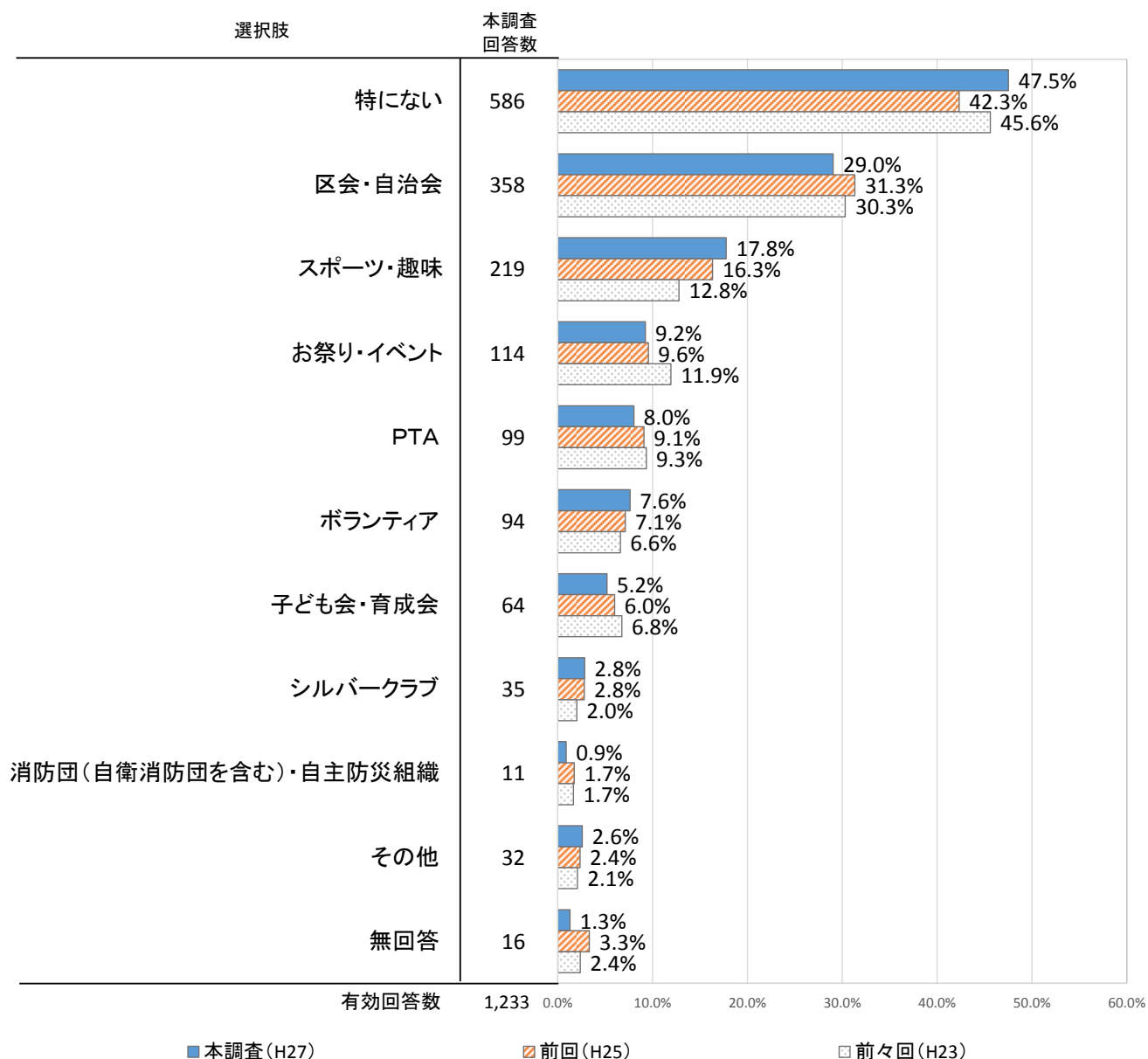
<○は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果

◇参加している地域活動は、「特にない」が5割近く

- ・地域活動については、「特にない」が586人(47.5%)で最も多く、次いで「区会・自治会」が358人(29.0%)となっている。
- ・過年度調査と比べると、「特にない」が増加している。

<本調査と過年度調査との構成比>



②-1 クロス集計の結果（問 12 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・10 歳代～40 歳代，60～64 歳，70 歳以上では，「特にない」が最も多く，50 歳代，65～69 歳では「区会・自治会」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	特にない		スポーツ・趣味/お祭り・イベント		ボランティア		-		-	
	9	64.3%	3		21.4%		1	7.1%	-	-
20歳代 (n=113)	特にない		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		区会・自治会/ボランティア			
	83	73.5%	17	15.0%	8	7.1%	3		2.7%	
30歳代 (n=221)	特にない		区会・自治会		P T A		お祭り・イベント		スポーツ・趣味	
	124	56.1%	38	17.2%	29	13.1%	28	12.7%	26	11.8%
40歳代 (n=228)	特にない		区会・自治会		P T A		スポーツ・趣味		子ども会・育成会	
	103	45.2%	69	30.3%	52	22.8%	33	14.5%	27	11.8%
50歳代 (n=206)	区会・自治会		特にない		スポーツ・趣味		ボランティア		P T A	
	85	41.3%	82	39.8%	32	15.5%	18	8.7%	14	6.8%
60～64歳 (n=125)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		ボランティア		お祭り・イベント／その他	
	54	43.2%	50	40.0%	25	20.0%	19	15.2%	9	7.2%
65～69歳 (n=158)	区会・自治会		特にない		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		ボランティア	
	66	41.8%	62	39.2%	42	26.6%	18	11.4%	16	10.1%
70～74歳 (n=94)	特にない		区会・自治会/スポーツ・趣味		シルバークラブ		ボランティア/お祭り・イベント			
	39	41.5%	24		25.5%		17	18.1%	11	11.7%
75歳以上 (n=66)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		シルバークラブ		ボランティア	
	29	43.9%	18	27.3%	14	21.2%	8	12.1%	5	7.6%

<地区別>

- ・すべての地区で，「特にない」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		ボランティア/子ども会・育成会/シルバークラブ	
	53	48.6%	24	22.0%	19	17.4%	12	11.0%	8	7.3%
大穂地区 (n=85)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		子ども会・育成会		ボランティア/お祭り・イベント	
	37	43.5%	27	31.8%	13	15.3%	12	14.1%	10	11.8%
豊里地区 (n=93)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		ボランティア/シルバークラブ	
	38	40.9%	25	26.9%	14	15.1%	12	12.9%	7	7.5%
谷田部地区 (n=196)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		ボランティア	
	84	42.9%	75	38.3%	38	19.4%	19	9.7%	16	8.2%
桜地区 (n=122)	区会・自治会/特にない				スポーツ・趣味		お祭り・イベント		P T A	
	51		41.8%		22	18.0%	13	10.7%	11	9.0%
基崎地区 (n=142)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		ボランティア/お祭り・イベント			
	64	45.1%	50	35.2%	29	20.4%	10		7.0%	
研究学園地区 (n=355)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		P T A		ボランティア	
	185	52.1%	82	23.1%	62	17.5%	37	10.4%	30	8.5%
T X 沿線地区 (n=131)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		P T A		お祭り・イベント	
	74	56.5%	24	18.3%	22	16.8%	12	9.2%	9	6.9%

②-2 クロス集計の結果（問 12 と世帯に含む人別・職業別構成比 上位 5 位）

<世帯に含む人別>

- ・いずれの方がいる世帯でも、「特にない」、「区会・自治会」が上位に入っている。
- ・小中学生がいる世帯では、「PTA」が最も多くなっている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
6 歳未満の乳幼児 (n=185)	特にない		区会・自治会		お祭り・イベント		PTA		スポーツ・趣味	
	88	47.6%	44	23.8%	29	15.7%	26	14.1%	23	12.4%
小中学生 (n=219)	PTA		区会・自治会		特にない		子ども会・育成会		スポーツ・趣味	
	80	36.5%	71	32.4%	64	29.2%	53	24.2%	35	16.0%
65～74歳の方 (n=356)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		ボランティア	
	150	42.1%	121	34.0%	80	22.5%	38	10.7%	36	10.1%
75歳以上の方 (n=233)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		ボランティア	
	96	41.2%	67	28.8%	48	20.6%	23	9.9%	19	8.2%

<職業別>

- ・すべての職業で、「特にない」が最も多いが、特に学生は、「特にない」が7割を超えている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=468)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		お祭り・イベント		PTA	
	247	52.8%	119	25.4%	67	14.3%	47	10.0%	42	9.0%
自営業 (n=65)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		ボランティア		お祭り・イベント	
	29	44.6%	25	38.5%	10	15.4%	9	13.8%	7	10.8%
農林業 (n=15)	区会・自治会/特にない				スポーツ・趣味/お祭り・イベント				ボランティア	
	5		33.3%		4		26.7%		2	13.3%
パート・アルバイトなど (n=189)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		PTA		お祭り・イベント	
	83	43.9%	55	29.1%	31	16.4%	28	14.8%	22	11.6%
専業主婦（主夫） (n=185)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		ボランティア		PTA	
	73	39.5%	65	35.1%	45	24.3%	22	11.9%	17	9.2%
学生 (n=49)	特にない		スポーツ・趣味		区会・自治会/ボランティア/お祭り・イベント					
	37	75.5%	8	16.3%	2			4.1%		
無職 (n=200)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		シルバークラブ		ボランティア	
	88	44.0%	67	33.5%	41	20.5%	20	10.0%	19	9.5%
その他 (n=49)	特にない		区会・自治会		スポーツ・趣味		PTA		お祭り・イベント	
	19	38.8%	15	30.6%	10	20.4%	8	16.3%	7	14.3%

【問 12 で「特になし」とお答えの方にお聞きします】

問 13 地域活動に参加していない主な理由は何ですか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

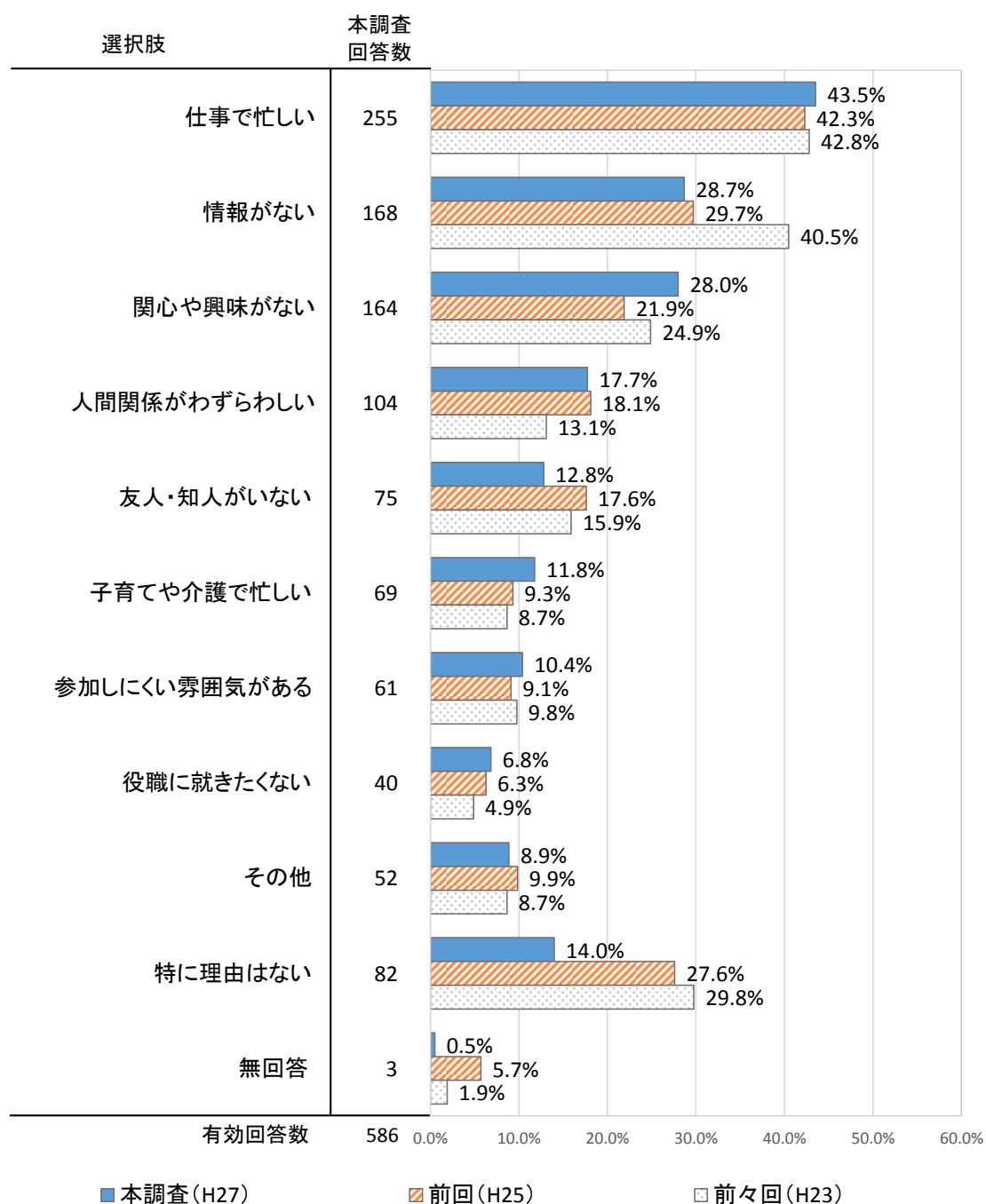
<3つまで>

① 全体集計の結果

◇地域活動に参加していない主な理由は、「仕事で忙しい」が4割超え

- ・地域活動に参加していない理由については、「仕事で忙しい」が255人(43.5%)で最も多く、次いで「情報が無い」が168人(28.7%)となっている。
- ・過年度調査と比べると、「関心や興味がない」が増加し、「特に理由はない」が減少している。

<本調査と過年度調査との構成比>



②－１ クロス集計の結果（問 13 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・ 20 歳代及び 40 歳代～64 歳では、「仕事で忙しい」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=9)	情報が無い/特に理由はない				仕事で忙しい/関心や興味がない				人間関係がわずらわしい/その他	
	4		44.4%		2		22.2%		1	11.1%
20歳代 (n=83)	仕事で忙しい		関心や興味がない		情報が無い		友人・知人がいない		人間関係がわずらわしい	
	37	44.6%	34	41.0%	31	37.3%	18	21.7%	9	10.8%
30歳代 (n=124)	情報が無い		仕事で忙しい		関心や興味がない		子育てや介護で忙しい		人間関係がわずらわしい	
	54	43.5%	51	41.1%	33	26.6%	30	24.2%	18	14.5%
40歳代 (n=103)	仕事で忙しい		関心や興味がない		情報が無い		人間関係がわずらわしい		参加しにくい雰囲気がある	
	63	61.2%	25	24.3%	24	23.3%	19	18.4%	15	14.6%
50歳代 (n=82)	仕事で忙しい		情報が無い		関心や興味がない/人間関係がわずらわしい/参加しにくい雰囲気がある					
	53	64.6%	21	25.6%	18				22.0%	
60～64歳 (n=54)	仕事で忙しい		関心や興味がない		情報が無い/人間関係がわずらわしい				特に理由はない	
	25	46.3%	20	37.0%	12		22.2%		9	16.7%
65～69歳 (n=62)	特に理由はない		仕事で忙しい		情報が無い/関心や興味がない/人間関係がわずらわしい					
	17	27.4%	16	25.8%	12				19.4%	
70～74歳 (n=39)	関心や興味がない		その他/特に理由はない				人間関係がわずらわしい		役職に就きたくない	
	13	33.3%	10		25.6%		8	20.5%	6	15.4%
75歳以上 (n=29)	特に理由はない		関心や興味がない		人間関係がわずらわしい		友人・知人がいない		仕事で忙しい/情報が無い	
	10	34.5%	7	24.1%	6	20.7%	5	17.2%	4	13.8%

<地区別>

- ・ すべての地区で、「仕事で忙しい」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=53)	仕事で忙しい		情報が無い		関心や興味がない		特に理由はない		人間関係がわずらわしい/参加しにくい雰囲気がある	
	22	41.5%	17	32.1%	14	26.4%	10	18.9%	9	17.0%
大穂地区 (n=37)	仕事で忙しい		関心や興味がない/特に理由はない				友人・知人がいない		人間関係がわずらわしい	
	15	40.5%	10		27.0%		8	21.6%	6	16.2%
豊里地区 (n=38)	仕事で忙しい		関心や興味がない/人間関係がわずらわしい/特に理由はない						子育てや介護で忙しい/その他	
	19	50.0%	9			23.7%			4	10.5%
谷田部地区 (n=84)	仕事で忙しい		情報が無い		関心や興味がない		人間関係がわずらわしい/参加しにくい雰囲気がある			
	36	42.9%	26	31.0%	25	29.8%	14		16.7%	
桜地区 (n=51)	仕事で忙しい		情報が無い		関心や興味がない		その他		人間関係がわずらわしい	
	24	47.1%	16	31.4%	13	25.5%	9	17.6%	7	13.7%
荻崎地区 (n=64)	仕事で忙しい		関心や興味がない		人間関係がわずらわしい		情報が無い		参加しにくい雰囲気がある	
	23	35.9%	21	32.8%	17	26.6%	13	20.3%	9	14.1%
研究学園地区 (n=185)	仕事で忙しい		情報が無い		関心や興味がない		子育てや介護で忙しい		人間関係がわずらわしい	
	83	44.9%	59	31.9%	52	28.1%	27	14.6%	26	14.1%
T X 沿線地区 (n=74)	仕事で忙しい		情報が無い		関心や興味がない		人間関係がわずらわしい		子育てや介護で忙しい	
	33	44.6%	30	40.5%	20	27.0%	16	21.6%	13	17.6%

②-2 クロス集計の結果（問 13 と世帯に含む人別・職業別構成比 上位 5 位）

<世帯に含む人別>

- ・乳幼児がいる世帯では、「子育てや介護で忙しい」が最も多く、それ以外では、「仕事で忙しい」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
6 歳未満の乳幼児 (n=88)	子育てや介護で忙しい		仕事で忙しい		情報がない		関心や興味がない		特に理由はない	
	44	50.0%	35	39.8%	28	31.8%	15	17.0%	9	10.2%
小中学生 (n=64)	仕事で忙しい		関心や興味がない		子育てや介護で忙しい		特に理由はない		情報がない/人間関係がわずらわしい	
	34	53.1%	15	23.4%	13	20.3%	12	18.8%	9	14.1%
65～74歳の方 (n=150)	仕事で忙しい		関心や興味がない		情報がない		特に理由はない		人間関係がわずらわしい	
	49	32.7%	39	26.0%	33	22.0%	32	21.3%	29	19.3%
75歳以上の方 (n=96)	仕事で忙しい		関心や興味がない		情報がない/特に理由はない			人間関係がわずらわしい		
	40	41.7%	23	24.0%	20		20.8%		19	19.8%

<職業別>

- ・専業主婦（主夫）及び無職以外の職業で「仕事で忙しい」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=247)	仕事で忙しい		情報がない/関心や興味がない				人間関係がわずらわしい		友人・知人がいない	
	156	63.2%	70		28.3%		37	15.0%	36	14.6%
自営業 (n=29)	仕事で忙しい		関心や興味がない/特に理由はない				情報がない/人間関係がわずらわしい/参加しにくい雰囲気がある			
	17	58.6%	5		17.2%		4		13.8%	
農林業 (n=5)	仕事で忙しい		関心や興味がない/人間関係がわずらわしい				友人・知人がいない/参加しにくい雰囲気がある			
	4	80.0%	2		40.0%		1		20.0%	
パート・アルバイトなど (n=83)	仕事で忙しい		情報がない		関心や興味がない		人間関係がわずらわしい/参加しにくい雰囲気がある			
	41	49.4%	30	36.1%	26	31.3%	16		19.3%	
専業主婦（主夫） (n=73)	情報がない		関心や興味がない		子育てや介護で忙しい		特に理由はない		人間関係がわずらわしい	
	26	35.6%	18	24.7%	17	23.3%	16	21.9%	15	20.5%
学生 (n=37)	仕事で忙しい/情報がない				関心や興味がない		特に理由はない		人間関係がわずらわしい/その他	
	13		35.1%		11	29.7%	7	18.9%	5	13.5%
無職 (n=88)	関心や興味がない		特に理由はない		人間関係がわずらわしい		その他		情報がない	
	28	31.8%	24	27.3%	21	23.9%	18	20.5%	17	19.3%
その他 (n=19)	仕事で忙しい		情報がない		友人・知人がいない/関心や興味がない				役職に就きたくない/人間関係がわずらわしい/その他	
	13	68.4%	6	31.6%	4		21.1%		3	15.8%

問 14 あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。

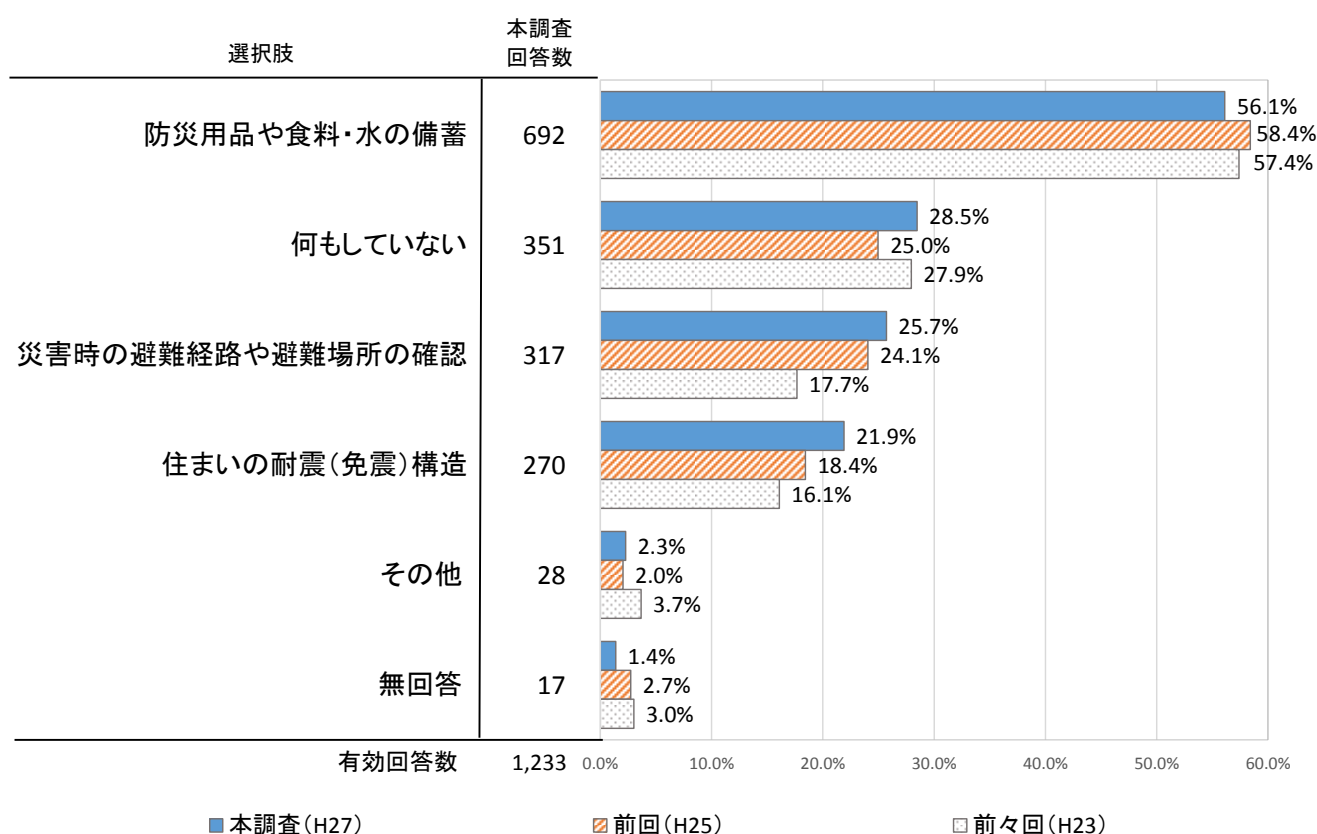
<○は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果

◇防災対策として実践しているものは、「防災用品や食料・水の備蓄」が5割台半ば

- ・防災対策として実践しているものについては、「防災用品や食料・水の備蓄」が 692 人(56.1%)で最も多く、次いで「何もしていない」が 351 人(28.5%)となっている。

<本調査と過年度調査との構成比>



②-1 クロス集計の結果（問 14 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・すべての年齢で、「防災用品や食料・水の備蓄」が上位に入っている。
- ・20 歳代では、「何もしていない」が 50%を超えている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	災害時の避難経路や避難場所の確認		防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	8	57.1%	6	42.9%	3	21.4%	2	14.3%	1	7.1%
20歳代 (n=113)	何もしていない		防災用品や食料・水の備蓄		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	61	54.0%	38	33.6%	19	16.8%	7	6.2%	2	1.8%
30歳代 (n=221)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	132	59.7%	61	27.6%	60	27.1%	55	24.9%	3	1.4%
40歳代 (n=228)	防災用品や食料・水の備蓄		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		何もしていない		その他	
	139	61.0%	69	30.3%	59	25.9%	57	25.0%	3	1.3%
50歳代 (n=206)	防災用品や食料・水の備蓄		住まいの耐震（免震）構造		災害時の避難経路や避難場所の確認		何もしていない		その他	
	122	59.2%	65	31.6%	53	25.7%	48	23.3%	3	1.5%
60～64歳 (n=125)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		住まいの耐震（免震）構造		災害時の避難経路や避難場所の確認		その他	
	79	63.2%	31	24.8%	23	18.4%	22	17.6%	5	4.0%
65～69歳 (n=158)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	88	55.7%	43	27.2%	41	25.9%	31	19.6%	3	1.9%
70～74歳 (n=94)	防災用品や食料・水の備蓄		災害時の避難経路や避難場所の確認		何もしていない		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	48	51.1%	29	30.9%	27	28.7%	17	18.1%	2	2.1%
75歳以上 (n=66)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	34	51.5%	19	28.8%	14	21.2%	10	15.2%	6	9.1%

<地区別>

- ・すべての地区で、「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	59	54.1%	32	29.4%	25	22.9%	17	15.6%	1	0.9%
大穂地区 (n=85)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	34	40.0%	33	38.8%	18	21.2%	17	20.0%	5	5.9%
豊里地区 (n=93)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		住まいの耐震（免震）構造		災害時の避難経路や避難場所の確認		その他	
	40	43.0%	31	33.3%	20	21.5%	19	20.4%	1	1.1%
谷田部地区 (n=196)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	92	46.9%	75	38.3%	41	20.9%	31	15.8%	2	1.0%
桜地区 (n=122)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認/住まいの耐震（免震）構造				その他	
	71	58.2%	36	29.5%	28		23.0%		2	1.6%
茎崎地区 (n=142)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	83	58.5%	40	28.2%	34	23.9%	23	16.2%	2	1.4%
研究学園地区 (n=355)	防災用品や食料・水の備蓄		災害時の避難経路や避難場所の確認		何もしていない		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	228	64.2%	120	33.8%	81	22.8%	73	20.6%	14	3.9%
TX沿線地区 (n=131)	防災用品や食料・水の備蓄		住まいの耐震（免震）構造		災害時の避難経路や避難場所の確認		何もしていない		その他	
	85	64.9%	61	46.6%	32	24.4%	23	17.6%	1	0.8%

②-2 クロス集計の結果（問 14 と世帯構成別・住まい別構成比 上位 5 位）

<世帯構成別>

- ・すべての世帯構成で、「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
ひとり暮らし (n=129)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	61	47.3%	49	38.0%	24	18.6%	12	9.3%	3	2.3%
夫婦のみ (n=302)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	185	61.3%	76	25.2%	73	24.2%	68	22.5%	9	3.0%
親子 (n=578)	防災用品や食料・水の備蓄		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		何もしていない		その他	
	342	59.2%	176	30.4%	153	26.5%	147	25.4%	11	1.9%
三世帯同居 (n=146)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	58	39.7%	56	38.4%	31	21.2%	26	17.8%	4	2.7%
その他 (n=66)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認/住まいの耐震（免震）構造				その他	
	37	56.1%	22	33.3%	9		13.6%		1	1.5%

<住まい別>

- ・公営住宅（公社・県営・市営）及びその他以外の住まいで、「防災用品や食料・水の備蓄」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建（持ち家） (n=868)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	484	55.8%	242	27.9%	215	24.8%	214	24.7%	22	2.5%
一戸建（借家） (n=21)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認/住まいの耐震（免震）構造				-	
	11	52.4%	10	47.6%	1		4.8%		-	-
集合住宅（分譲） (n=89)	防災用品や食料・水の備蓄		住まいの耐震（免震）構造		災害時の避難経路や避難場所の確認		何もしていない		その他	
	59	66.3%	41	46.1%	33	37.1%	13	14.6%	1	1.1%
集合住宅（賃貸） (n=191)	防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		災害時の避難経路や避難場所の確認		住まいの耐震（免震）構造		その他	
	103	53.9%	66	34.6%	46	24.1%	10	5.2%	5	2.6%
公営住宅（公社・県営・市営） (n=15)	何もしていない		防災用品や食料・水の備蓄/災害時の避難経路や避難場所の確認				-		-	
	8	53.3%	5		33.3%		-	-	-	-
社宅・官舎 (n=31)	防災用品や食料・水の備蓄		災害時の避難経路や避難場所の確認		何もしていない		住まいの耐震（免震）構造		-	
	20	64.5%	10	32.3%	8	25.8%	3	9.7%	-	-
その他 (n=11)	災害時の避難経路や避難場所の確認		防災用品や食料・水の備蓄		何もしていない		-		-	
	6	54.5%	4	36.4%	3	27.3%	-	-	-	-

問 15

あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。

<〇は1つ>

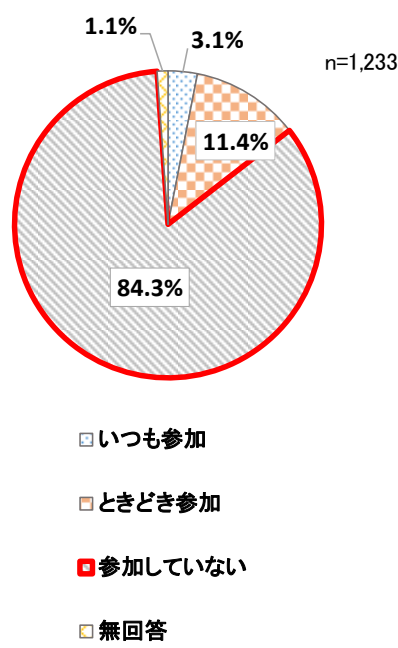
① 全体集計の結果

◇防犯活動に「参加していない」が8割台半ば

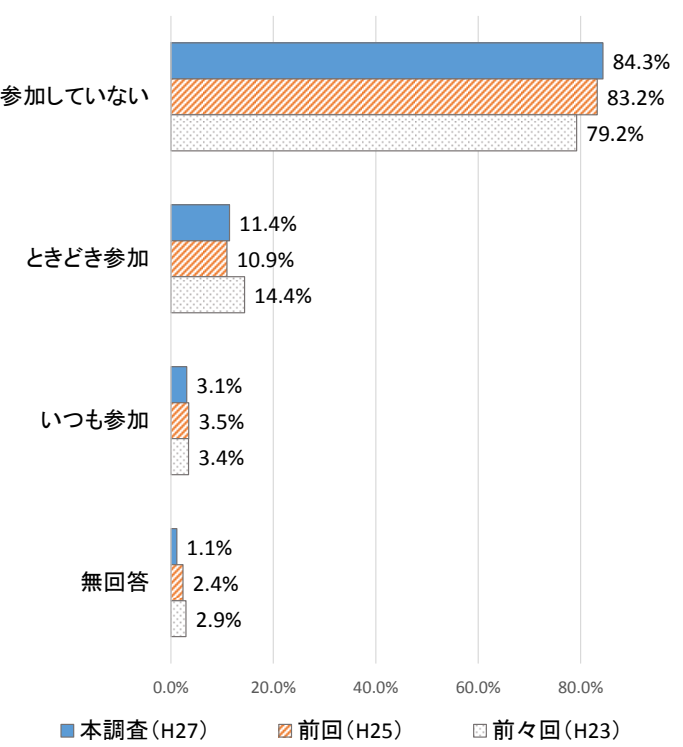
- ・防犯活動に参加しているかについては、「参加していない」が 1,040 人(84.3%)で最も多く、次いで「ときどき参加」が 141 人(11.4%)となっている。
- ・「いつも参加」と「ときどき参加」を合わせた『参加している（計）』が 14.5%となっている。

選択肢	本調査（H27）		前回（H25）	前々回（H23）
	回答数（人）	構成比	構成比	構成比
いつも参加	38	3.1%	3.5%	3.4%
ときどき参加	141	11.4%	10.9%	14.4%
参加していない	1,040	84.3%	83.2%	79.2%
無回答	14	1.1%	2.4%	2.9%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>

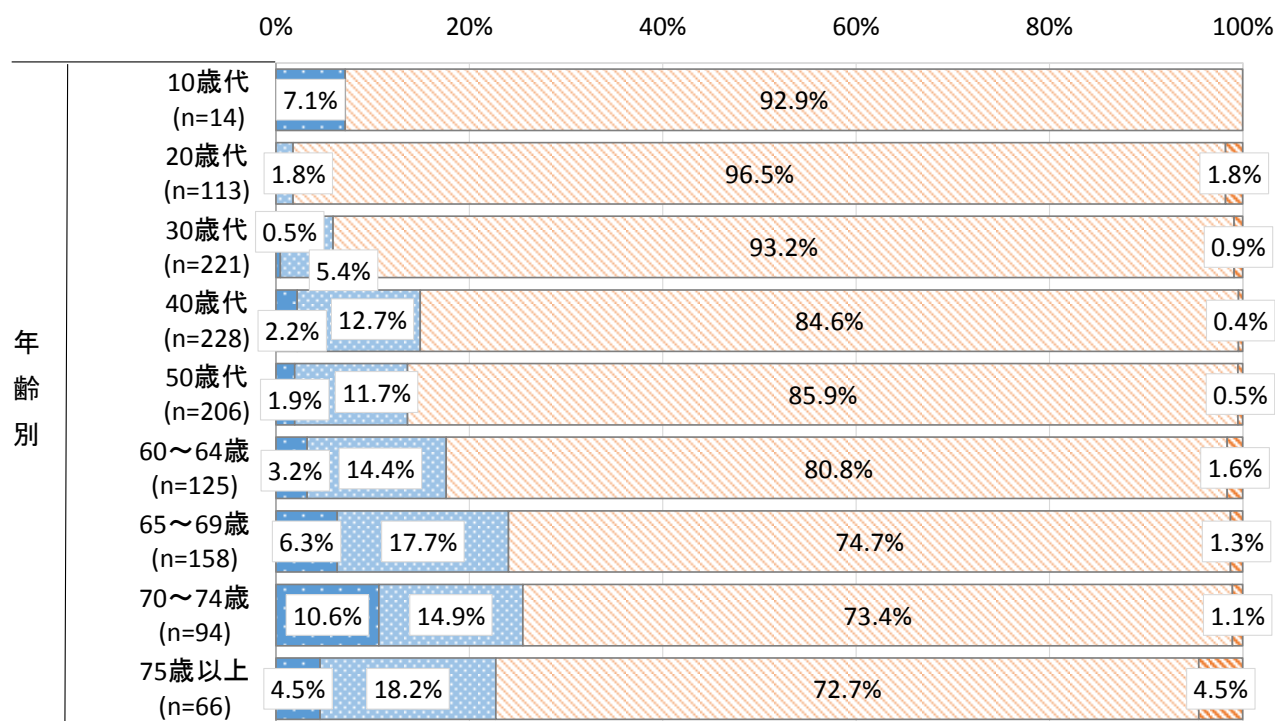


②-1 クロス集計の結果（問 15 と年齢別・地区別構成比）



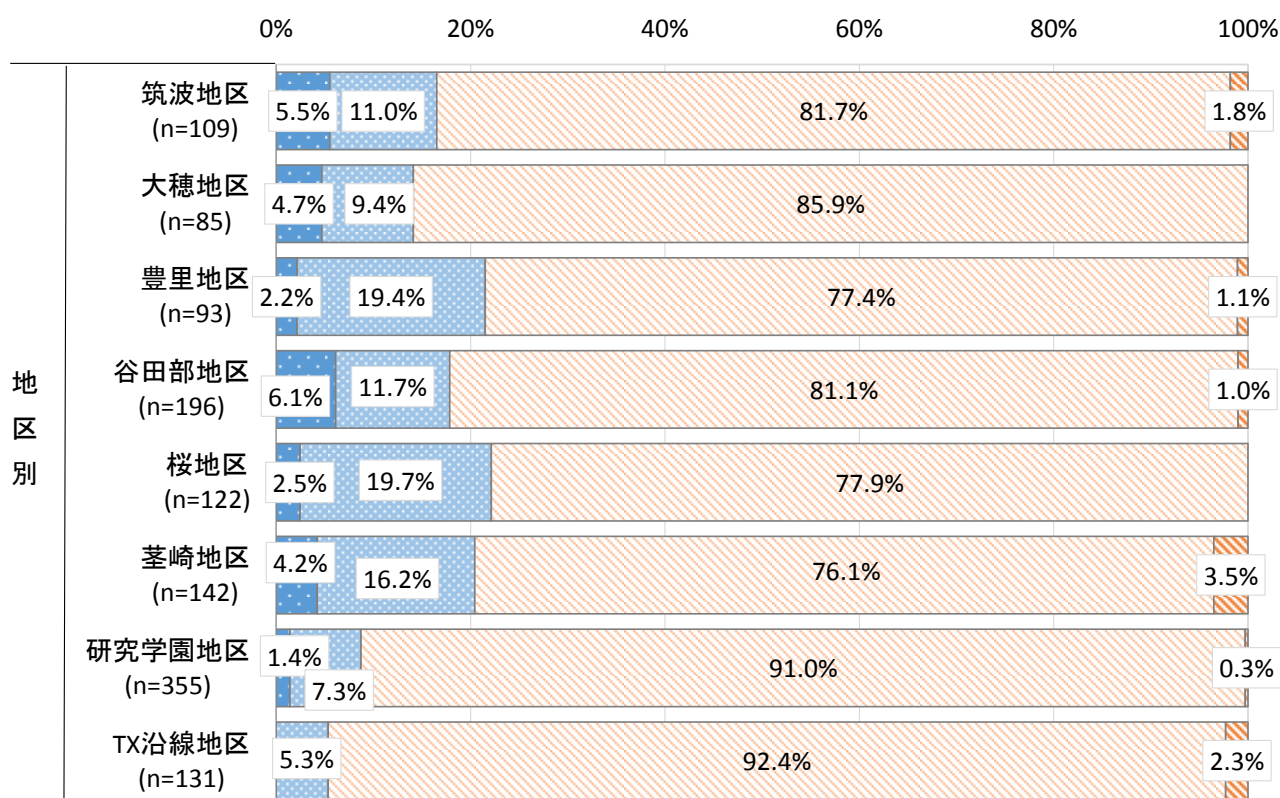
<年齢別>

- すべての年齢で、「参加していない」が最も多くなっているが、年齢が高くなるにつれて、参加の割合が増えている。



<地区別>

- 研究学園地区とTX沿線地区では、「参加していない」が90%を超えている。

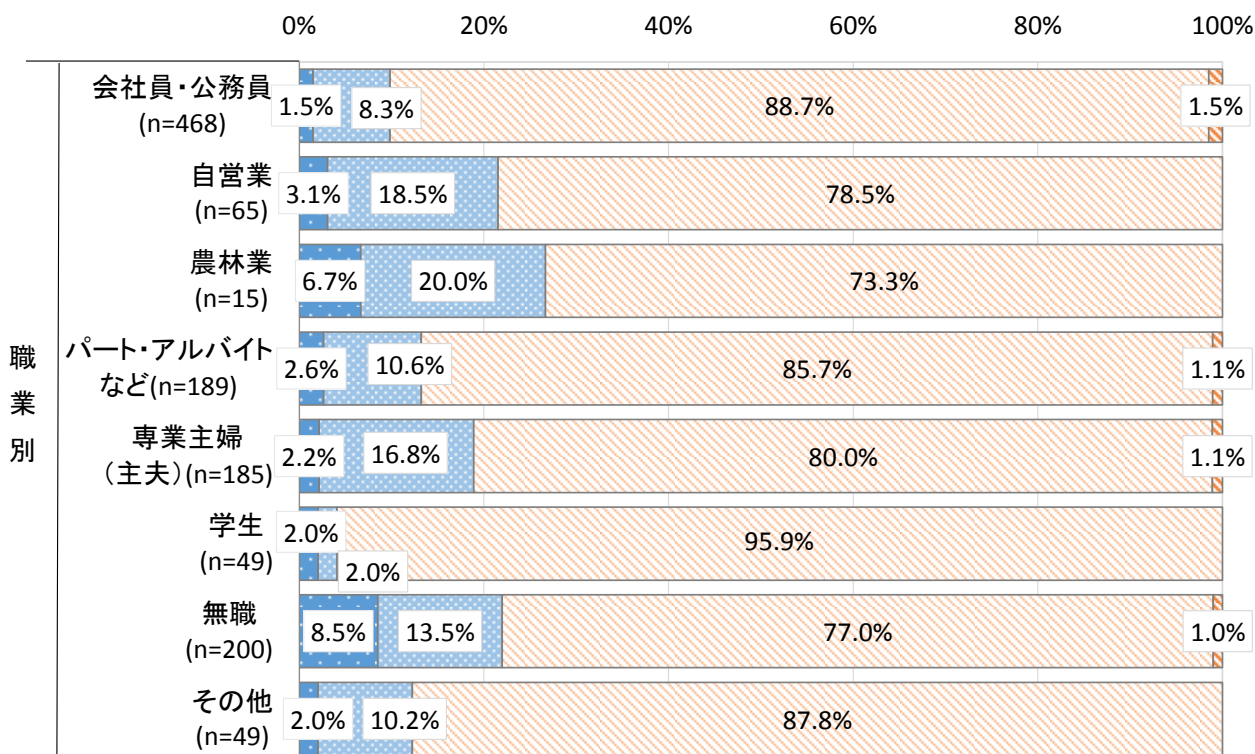


②-2 クロス集計の結果（問 15 と職業別・住まい別構成比）



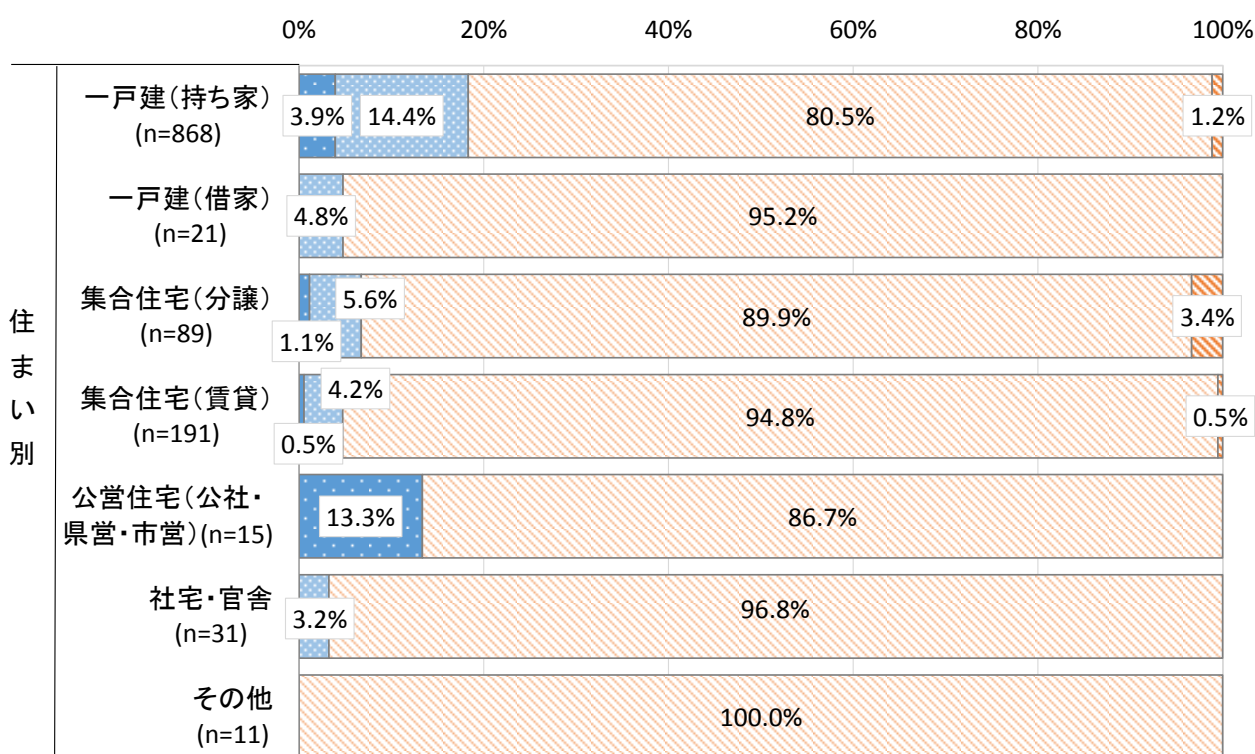
<職業別>

- ・特に学生が、「参加していない」が95%を超えている。



<住まい別>

- ・すべての住まいで、「参加していない」が最も多くなっているが、一戸建（持ち家）と公営住宅（公社・県営・市営）は、参加している割合が他の住まいに比べてやや多い。



【問 15 で「参加していない」とお答えの方にお聞きします】

問 16 防犯活動に参加しない理由は何ですか。

<〇は1つ>

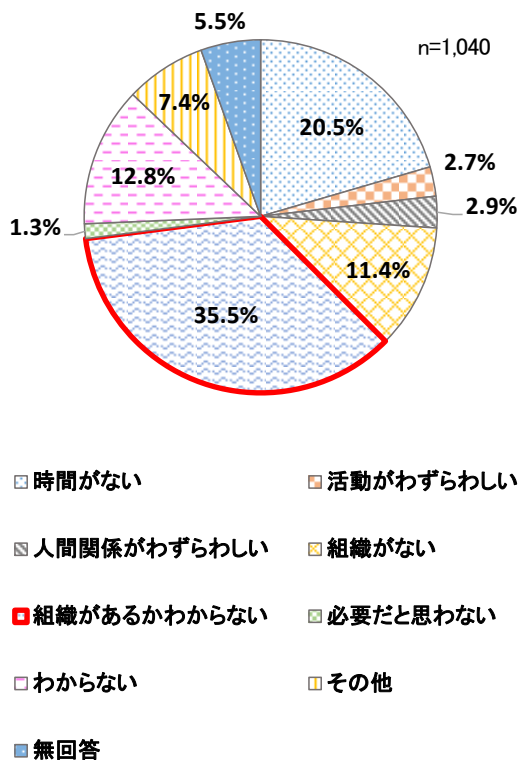
① 全体集計の結果

◇防犯活動に参加しない理由は、「組織があるかわからない」が3割台半ば

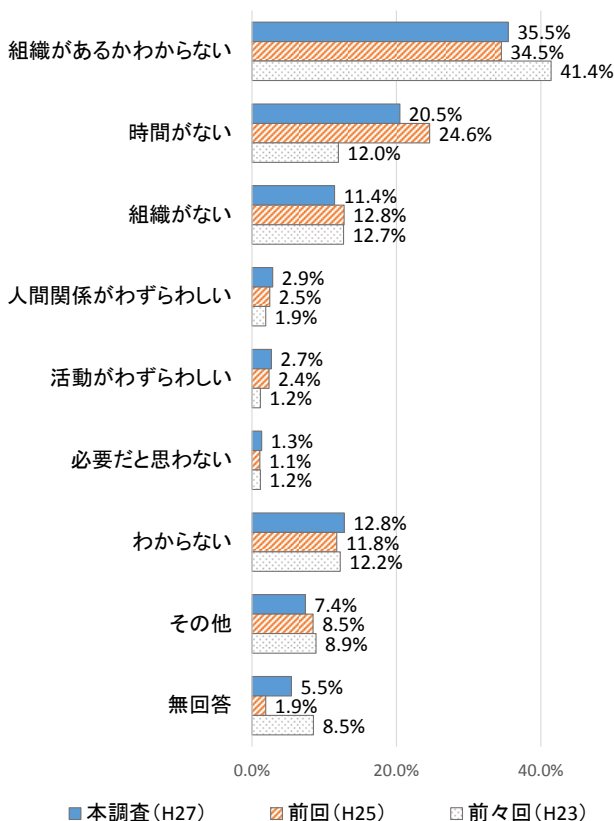
- ・防犯活動に参加しない理由については、「組織があるかわからない」が 369 人(35.5%)で最も多く、次いで「時間がない」が 213 人(20.5%)となっている。

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
時間がない	213	20.5%	24.6%	12.0%
活動がわずらわしい	28	2.7%	2.4%	1.2%
人間関係がわずらわしい	30	2.9%	2.5%	1.9%
組織がない	119	11.4%	12.8%	12.7%
組織があるかわからない	369	35.5%	34.5%	41.4%
必要だと思わない	14	1.3%	1.1%	1.2%
わからない	133	12.8%	11.8%	12.2%
その他	77	7.4%	8.5%	8.9%
無回答	57	5.5%	1.9%	8.5%
全体	1,040	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>

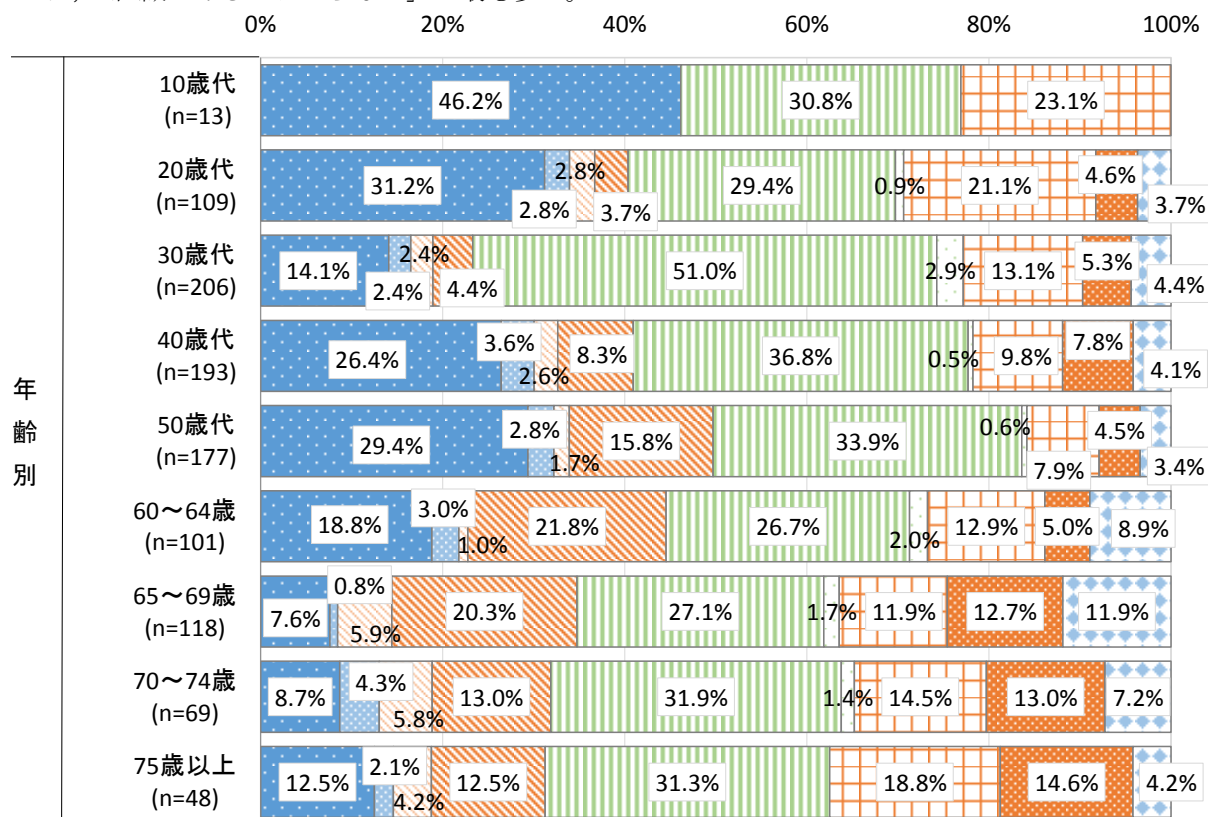


②-1 クロス集計の結果（問 16 と年齢別・地区別構成比）

時間がない
活動が
わずらわしい
人間関係が
わずらわしい
組織がない
組織があるか
わからない
必要だと
思わない
わからない
その他
無回答

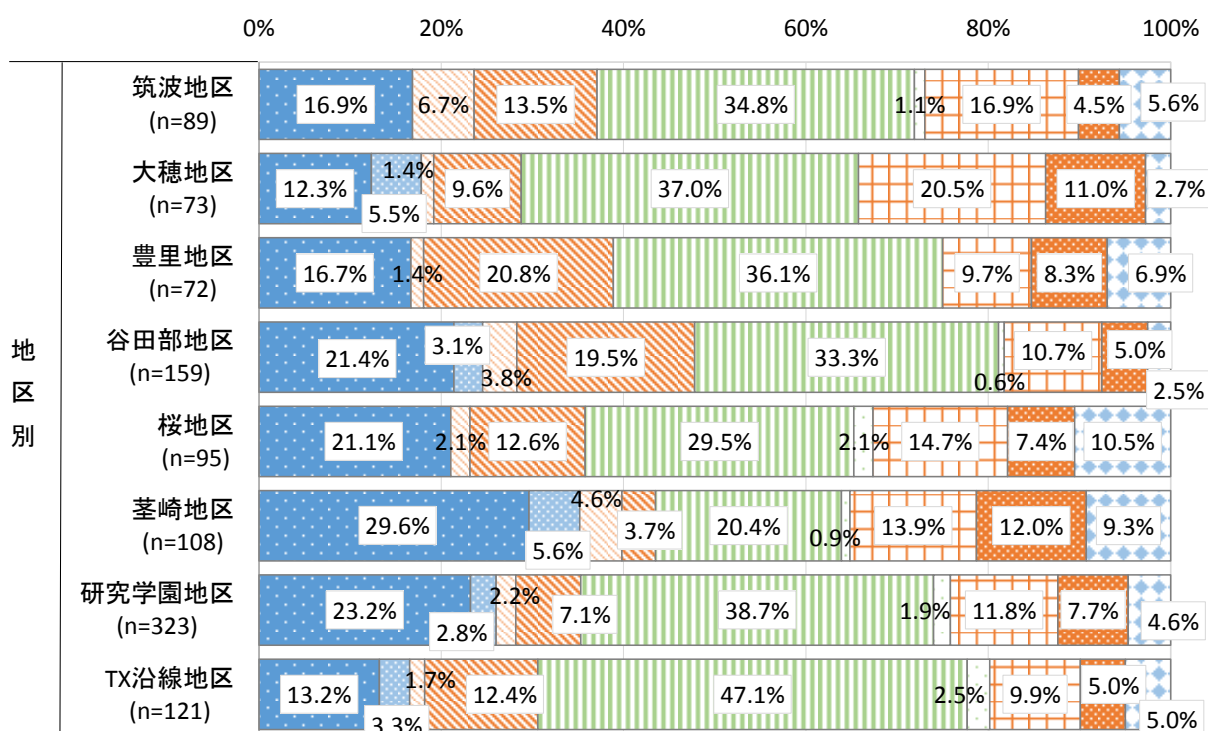
<年齢別>

- ・10～20 歳代では、「時間がない」が 30%を超えている。
- ・30 歳代以上では、「組織があるかわからない」が最も多い。

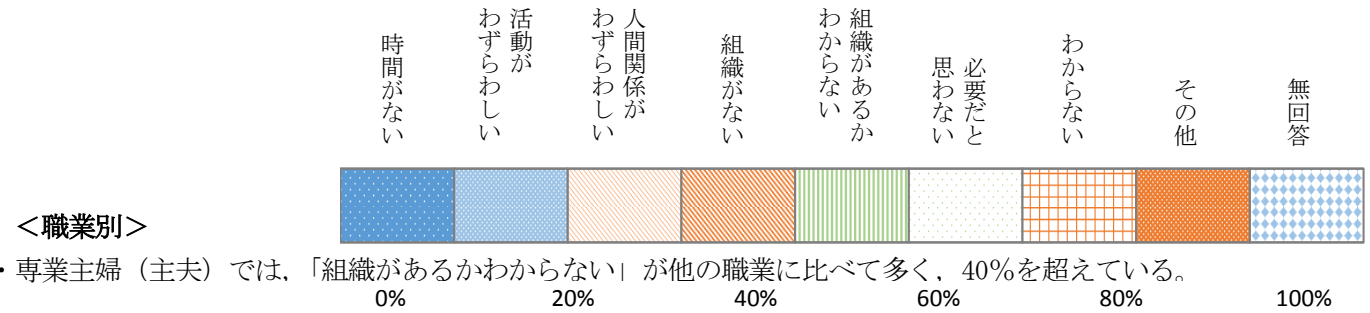


<地区別>

- ・TX沿線地区では、「組織があるかわからない」が他の地区に比べて多く、45%を超えている。

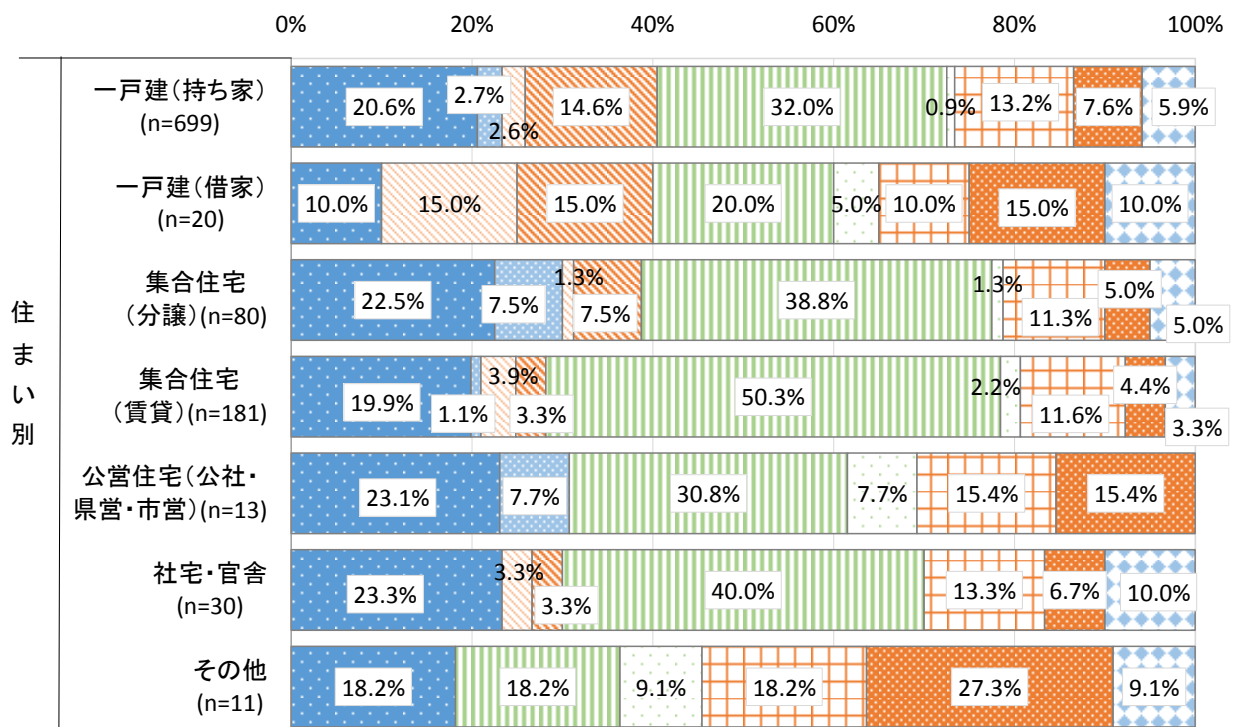


②-2 クロス集計の結果（問 16 と職業別・住まい別構成比）



<住まい別>

- ・集合住宅（賃貸）では、「組織があるかわからない」が他の住まいに比べて多く、50%を超えている。



問17 あなたが、地球温暖化対策として実施していることは何ですか。

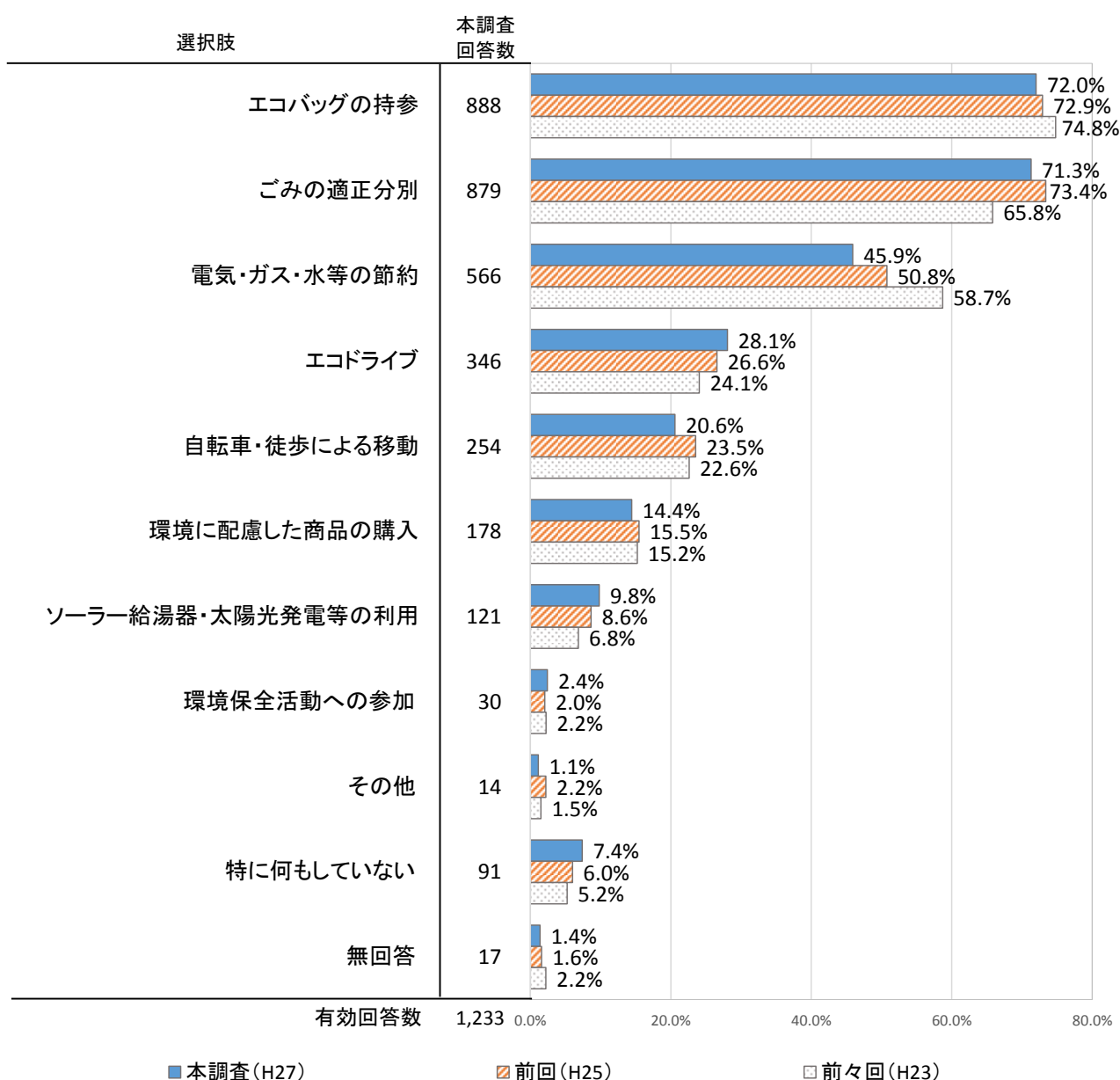
<〇は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果

◇地球温暖化対策として実施していることは、「エコバッグの持参」、「ごみの適正分別」が7割超え

- ・地球温暖化対策については、「エコバッグの持参」が 888 人(72.0%)で最も多く、次いで「ごみの適正分別」が 879 人(71.3%)となっている。
- ・過年度調査と比べると、「電気・ガス・水等の節約」が徐々に減少しており、前々回調査と比べると 12.8%減少している。

<本調査と過年度調査との構成比>



②-1 クロス集計の結果（問 17 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・20 歳代～64 歳では、「エコバッグの持参」が最も多く、10 歳代、65 歳以上では「ごみの適正分別」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	自転車・徒歩による移動/ごみの適正分別				電気・ガス・水等の節約		エコバッグの持参		エコドライブ/ソーラー給湯器・太陽光発電等の利用/環境に配慮した商品の購入/環境保全活動への参加/特に何もしていない	
	8		57.1%		6	42.9%	4	28.6%	1	7.1%
20歳代 (n=113)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		自転車・徒歩による移動/電気・ガス・水等の節約				エコドライブ	
	62	54.9%	50	44.2%	33		29.2%		23	20.4%
30歳代 (n=221)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	171	77.4%	148	67.0%	79	35.7%	60	27.1%	37	16.7%
40歳代 (n=228)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	174	76.3%	163	71.5%	91	39.9%	69	30.3%	46	20.2%
50歳代 (n=206)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	170	82.5%	164	79.6%	107	51.9%	83	40.3%	36	17.5%
60～64歳 (n=125)	エコバッグの持参 /ごみの適正分別				電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		環境に配慮した商品の購入	
	89		71.2%		67	53.6%	41	32.8%	27	21.6%
65～69歳 (n=158)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		環境に配慮した商品の購入	
	131	82.9%	114	72.2%	82	51.9%	41	25.9%	33	20.9%
70～74歳 (n=94)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		自転車・徒歩による移動		エコドライブ	
	79	84.0%	62	66.0%	57	60.6%	24	25.5%	20	21.3%
75歳以上 (n=66)	ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコバッグの持参		自転車・徒歩による移動		特に何もしていない	
	41	62.1%	39	59.1%	37	56.1%	19	28.8%	7	10.6%

<地区別>

- ・すべての地区で、「エコバッグの持参」及び「ごみの適正分別」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	エコバッグの持参		/ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		ソーラー給湯器・太陽光発電等の利用	
	74		67.9%		49	45.0%	27	24.8%	17	15.6%
大穂地区 (n=85)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		ソーラー給湯器・太陽光発電等の利用	
	65	76.5%	60	70.6%	42	49.4%	21	24.7%	15	17.6%
豊里地区 (n=93)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	63	67.7%	58	62.4%	43	46.2%	27	29.0%	15	16.1%
谷田部地区 (n=196)	エコバッグの持参		/ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動/環境に配慮した商品の購入	
	142		72.4%		73	37.2%	54	27.6%	30	15.3%
桜地区 (n=122)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	87	71.3%	78	63.9%	59	48.4%	43	35.2%	26	21.3%
荃崎地区 (n=142)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	105	73.9%	101	71.1%	68	47.9%	28	19.7%	24	16.9%
研究学園地区 (n=355)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	263	74.1%	253	71.3%	173	48.7%	115	32.4%	111	31.3%
T X 沿線地区 (n=131)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	107	81.7%	95	72.5%	59	45.0%	31	23.7%	25	19.1%

②-2 クロス集計の結果（問 17 と住まい別構成比 上位 5 位）

<住まい別>

・いずれの住まいでも、「エコバッグの持参」及び「ごみの適正分別」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建（持ち家） (n=868)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	638	73.5%	620	71.4%	413	47.6%	246	28.3%	159	18.3%
一戸建（借家） (n=21)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		自転車・徒歩による移動/環境に配慮した商品の購入			
	16	76.2%	15	71.4%	11	52.4%	4		19.0%	
集合住宅（分譲） (n=89)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		電気・ガス・水等の節約		自転車・徒歩による移動		エコドライブ	
	68	76.4%	62	69.7%	33	37.1%	25	28.1%	23	25.8%
集合住宅（賃貸） (n=191)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		自転車・徒歩による移動	
	146	76.4%	115	60.2%	80	41.9%	57	29.8%	48	25.1%
公営住宅（公社・県営・市営） (n=15)	エコバッグの持参 / ごみの適正分別				電気・ガス・水等の節約		エコドライブ		特に何もしていない	
	8		53.3%		6	40.0%	4	26.7%	3	20.0%
社宅・官舎 (n=31)	エコバッグの持参		ごみの適正分別		電気・ガス・水等の節約		自転車・徒歩による移動		エコドライブ	
	26	83.9%	23	74.2%	15	48.4%	12	38.7%	6	19.4%
その他 (n=11)	ごみの適正分別		エコバッグの持参		自転車・徒歩による移動/電気・ガス・水等の節約/エコドライブ					
	7	63.6%	5	45.5%	3		27.3%			

5 つくば市への愛着について

問 18 あなたは、つくば市に愛着を持っていますか。

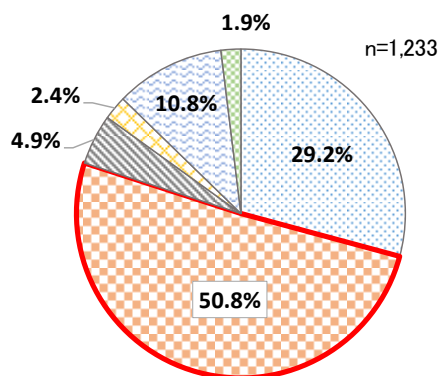
<○は1つ>

① 全体集計の結果

◇つくば市に『愛着がある（計）』が8割

- ・つくば市への愛着については、「どちらかといえば愛着がある」が626人(50.8%)で最も多く、次いで「愛着がある」が360人(29.2%)となっている。
- ・「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた『愛着がある（計）』が80.0%となっている。

<本調査の構成比>

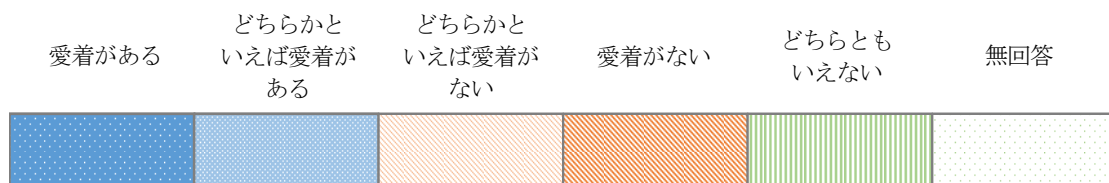


- ☐ 愛着がある
- ☒ どちらかといえば愛着がある
- ☐ どちらかといえば愛着がない
- ☐ 愛着がない
- ☐ どちらともいえない
- ☐ 無回答

選択肢	回答数（人）	構成比
愛着がある	360	29.2%
どちらかといえば愛着がある	626	50.8%
どちらかといえば愛着がない	61	4.9%
愛着がない	29	2.4%
どちらともいえない	133	10.8%
無回答	24	1.9%
全体	1,233	100.0%

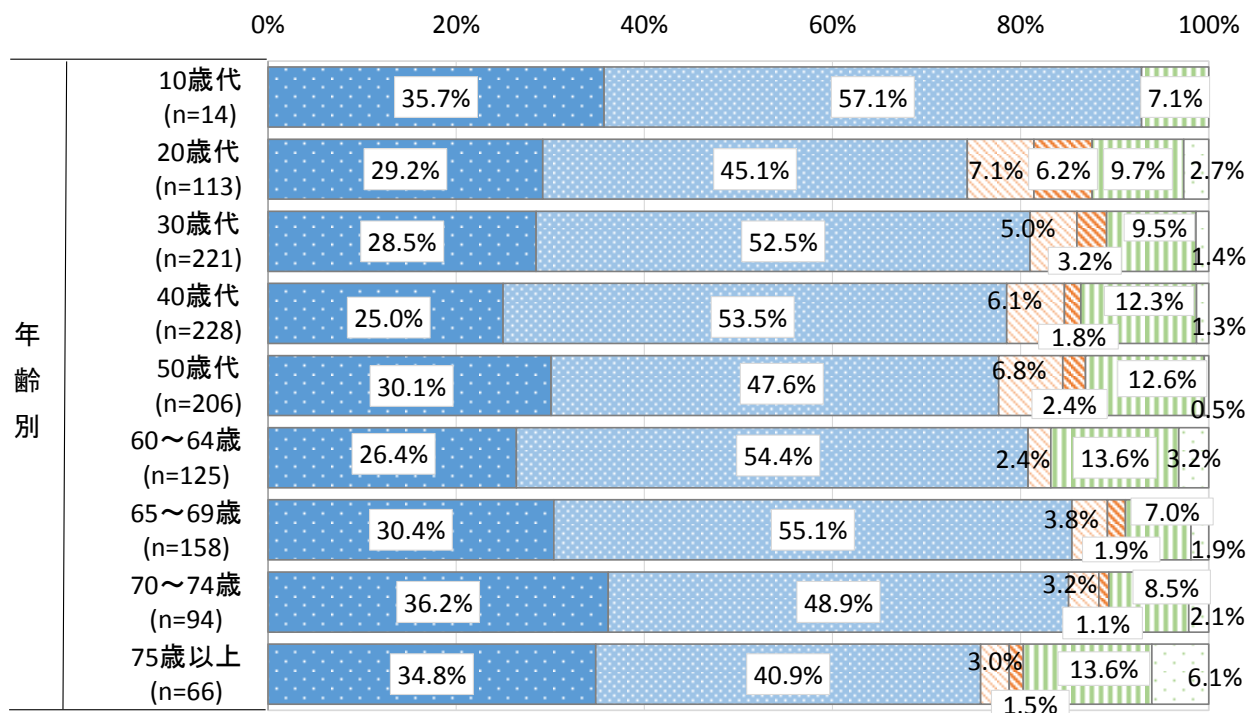
※本調査で新たに追加した質問

②-1 クロス集計の結果（問 18 と年齢別・地区別構成比）



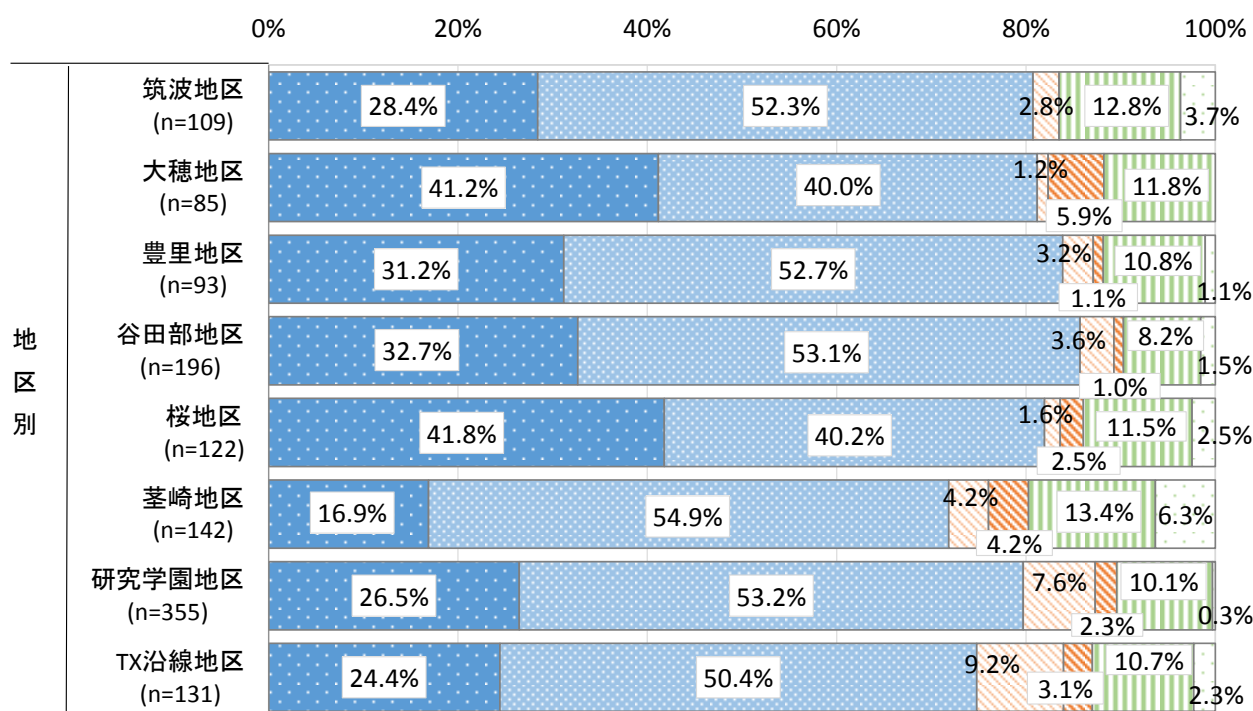
<年齢別>

- すべての年齢で、『愛着がある（計）』が70%を超えている。

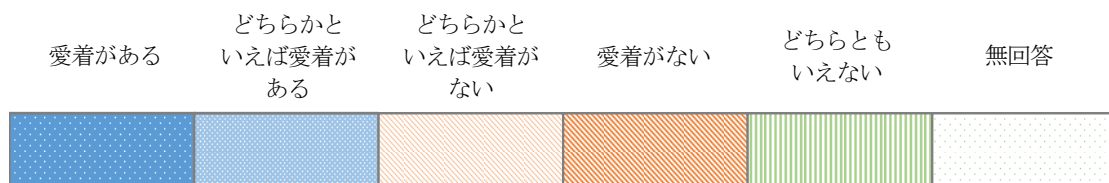


<地区別>

- すべての地区で、『愛着がある（計）』が70%を超えている。

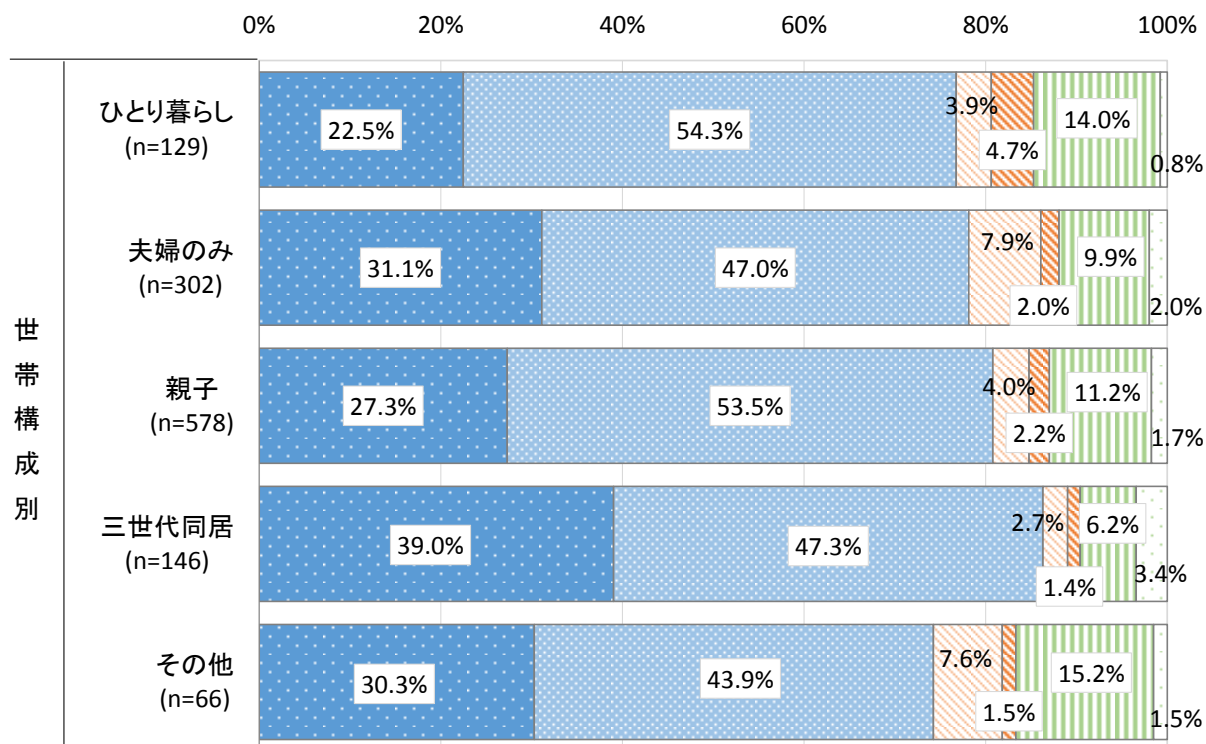


②ー２ クロス集計の結果（問 18 と世帯構成別・居住年数別構成比）



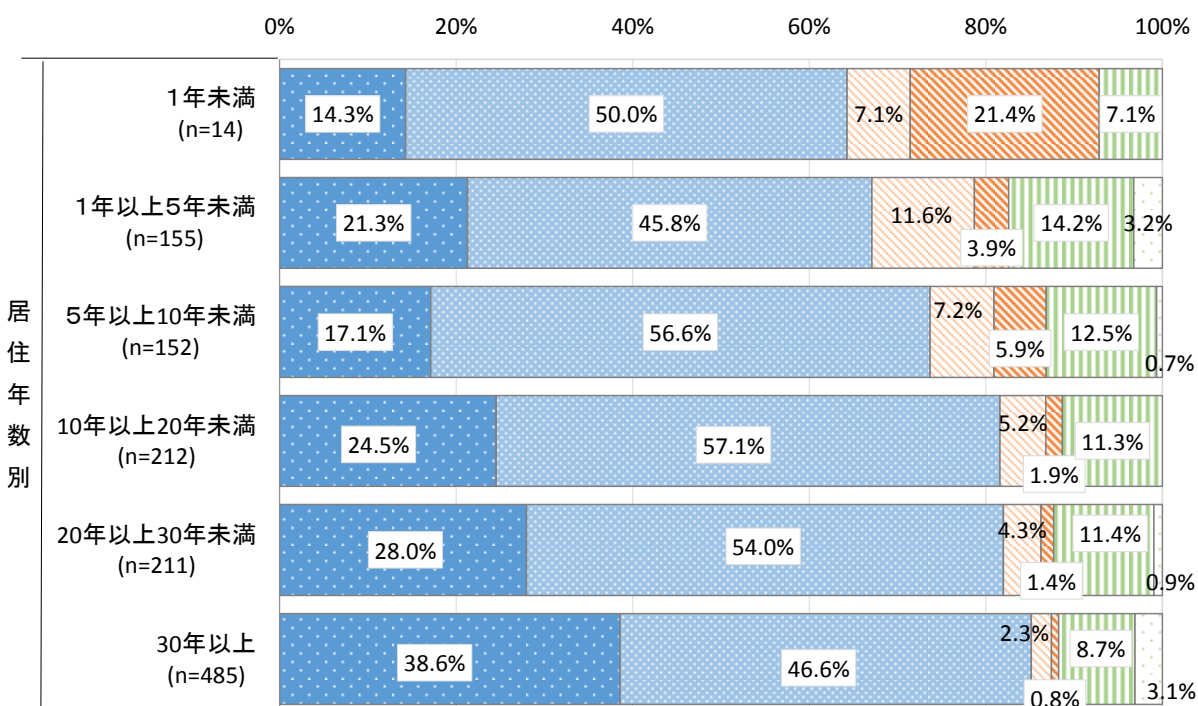
<世帯構成別>

- すべての世帯構成で、『愛着がある（計）』が70%を超えている。



<居住年数別>

- すべての居住年数で、『愛着がある（計）』が60%を超えている。
- 居住年数が長くなるにつれ、『愛着がある（計）』の割合が増加している。



問 19 あなたが、市外の友人に紹介したい（自慢したい）と思うつくば市の魅力は何ですか。

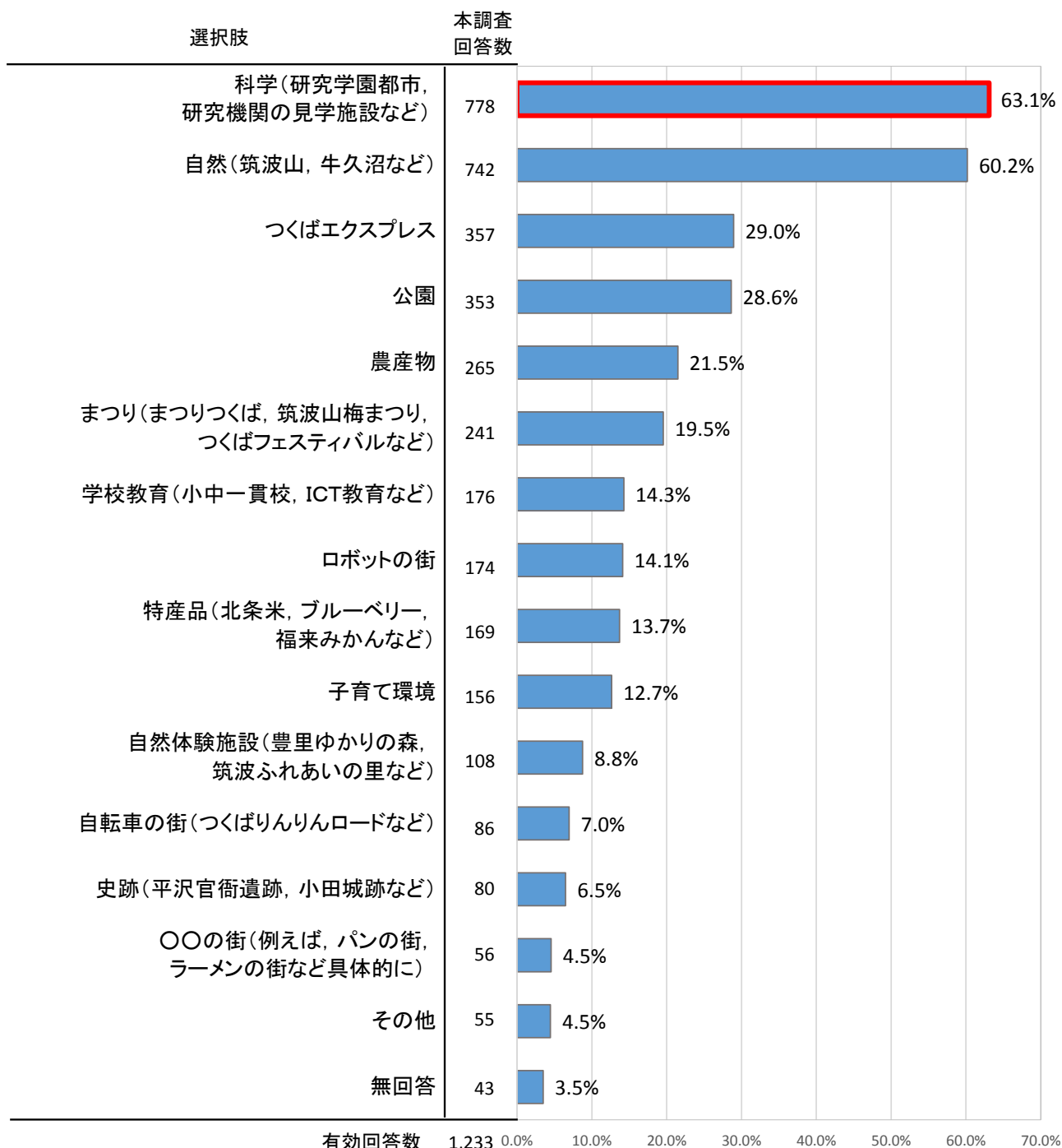
＜○は当てはまるものすべて＞

① 全体集計の結果

◇つくば市の魅力は、「科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）」が6割超え，「自然（筑波山，牛久沼など）」が6割

- ・紹介したいつくば市の魅力については，「科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）」が 778 人(63.1%)で最も多く，次いで「自然（筑波山，牛久沼など）」が 742 人(60.2%)となっている。
- ・「○○の街」では，「パンの街」及び「ラーメンの街」などが多くなっている。

＜本調査の構成比＞



※本調査で新たに追加した質問

②-1 クロス集計の結果（問 19 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- すべての年齢で、「科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）」と「自然（筑波山，牛久沼など）」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		つくばエクスプレス		まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）/ ロボットの街			
	10	71.4%	9	64.3%	8	57.1%	4		28.6%	
20歳代 (n=113)	自然（筑波山，牛久沼など）/ 科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		つくばエクスプレス		公園		ロボットの街			
	63		55.8%		35	31.0%	24	21.2%	23	20.4%
30歳代 (n=221)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		公園		子育て環境/ まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）/ つくばエクスプレス			
	145	65.6%	119	53.8%	67	30.3%	45		20.4%	
40歳代 (n=228)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		公園		学校教育（小中一貫校，ICT教育など）		つくばエクスプレス	
	154	67.5%	127	55.7%	66	28.9%	50	21.9%	48	21.1%
50歳代 (n=206)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		つくばエクスプレス		公園		農産物	
	148	71.8%	128	62.1%	70	34.0%	60	29.1%	55	26.7%
60～64歳 (n=125)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		つくばエクスプレス		公園		農産物	
	77	61.6%	72	57.6%	57	45.6%	37	29.6%	31	24.8%
65～69歳 (n=158)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		つくばエクスプレス		公園		農産物	
	106	67.1%	91	57.6%	52	32.9%	48	30.4%	40	25.3%
70～74歳 (n=94)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）		つくばエクスプレス		公園	
	66	70.2%	53	56.4%	35	37.2%	33	35.1%	26	27.7%
75歳以上 (n=66)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		公園		農産物		まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）	
	43	65.2%	38	57.6%	18	27.3%	17	25.8%	16	24.2%

<地区別>

- すべての地区で、「科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）」と「自然（筑波山，牛久沼など）」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		特産品（北条米，ブルーベリー，福来みかんなど）		つくばエクスプレス		まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）	
	80	73.4%	59	54.1%	36	33.0%	33	30.3%	30	27.5%
大穂地区 (n=85)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		つくばエクスプレス		まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）		農産物	
	54	63.5%	51	60.0%	37	43.5%	23	27.1%	18	21.2%
豊里地区 (n=93)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		つくばエクスプレス		農産物		まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）	
	55	59.1%	50	53.8%	29	31.2%	23	24.7%	17	18.3%
谷田部地区 (n=196)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		つくばエクスプレス		農産物		公園	
	125	63.8%	117	59.7%	67	34.2%	48	24.5%	47	24.0%
桜地区 (n=122)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		つくばエクスプレス		公園		農産物	
	77	63.1%	76	62.3%	45	36.9%	43	35.2%	27	22.1%
荃崎地区 (n=142)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		農産物		まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）		公園	
	90	63.4%	83	58.5%	37	26.1%	25	17.6%	24	16.9%
研究学園地区 (n=355)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		公園		つくばエクスプレス		子育て環境	
	249	70.1%	203	57.2%	156	43.9%	89	25.1%	69	19.4%
T X沿線地区 (n=131)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		公園		つくばエクスプレス		学校教育（小中一貫校，ICT教育など）	
	82	62.6%	69	52.7%	40	30.5%	37	28.2%	35	26.7%

②-2 クロス集計の結果（問19と職業別・定住意向別構成比 上位5位）

<職業別>

- すべての職業で、「科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）」と「自然（筑波山，牛久沼など）」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=468)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		つくばエクスプレス		公園		農産物	
	304	65.0%	253	54.1%	135	28.8%	127	27.1%	81	17.3%
自営業 (n=65)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		つくばエクスプレス		公園		農産物	
	44	67.7%	40	61.5%	22	33.8%	16	24.6%	13	20.0%
農林業 (n=15)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		つくばエクスプレス		農産物/まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）			
	11	73.3%	9	60.0%	6	40.0%	4		26.7%	
パート・アルバイトなど (n=189)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		つくばエクスプレス		公園		まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）	
	114	60.3%	112	59.3%	61	32.3%	55	29.1%	46	24.3%
専業主婦（主夫） (n=185)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		農産物		公園		つくばエクスプレス	
	120	64.9%	116	62.7%	62	33.5%	59	31.9%	55	29.7%
学生 (n=49)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		つくばエクスプレス		ロボットの街		公園	
	34	69.4%	28	57.1%	17	34.7%	13	26.5%	10	20.4%
無職 (n=200)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		公園		まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど）		つくばエクスプレス	
	135	67.5%	109	54.5%	58	29.0%	45	22.5%	42	21.0%
その他 (n=49)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		公園		つくばエクスプレス		学校教育（小中一貫校，ICT教育など）	
	39	79.6%	35	71.4%	22	44.9%	15	30.6%	13	26.5%

<定住意向別>

- いずれの定住意向でも、「科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）」と「自然（筑波山，牛久沼など）」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
住み続けたい (n=673)	自然（筑波山，牛久沼など）		科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		つくばエクスプレス		公園		農産物	
	446	66.3%	428	63.6%	219	32.5%	211	31.4%	166	24.7%
どちらかといえば住み続けたい (n=346)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		公園		つくばエクスプレス		農産物	
	238	68.8%	202	58.4%	107	30.9%	99	28.6%	66	19.1%
どちらかといえば住み続けたくない (n=45)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		公園		つくばエクスプレス		農産物	
	22	48.9%	16	35.6%	10	22.2%	8	17.8%	7	15.6%
住み続けたくない (n=17)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		ロボットの街/つくばエクスプレス				学校教育（小中一貫校，ICT教育など）/子育て環境/農産物/○○の街（例えば，パンの街，ラーメンの街など具体的に）/その他	
	7	41.2%	5	29.4%	2		11.8%		1	5.9%
どちらともいえない (n=148)	科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など）		自然（筑波山，牛久沼など）		つくばエクスプレス		公園/農産物			
	80	54.1%	71	48.0%	28	18.9%	24		16.2%	

6 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

問 20 あなたは、ふだんの生活の中で、次の1)～39)の項目について、どの程度満足していますか。

<○は1つずつ>

① 全体集計の結果

◇「病院・診療所などの医療機関」への満足（計）は7割台半ば、「公共交通」への不満（計）は5割超え

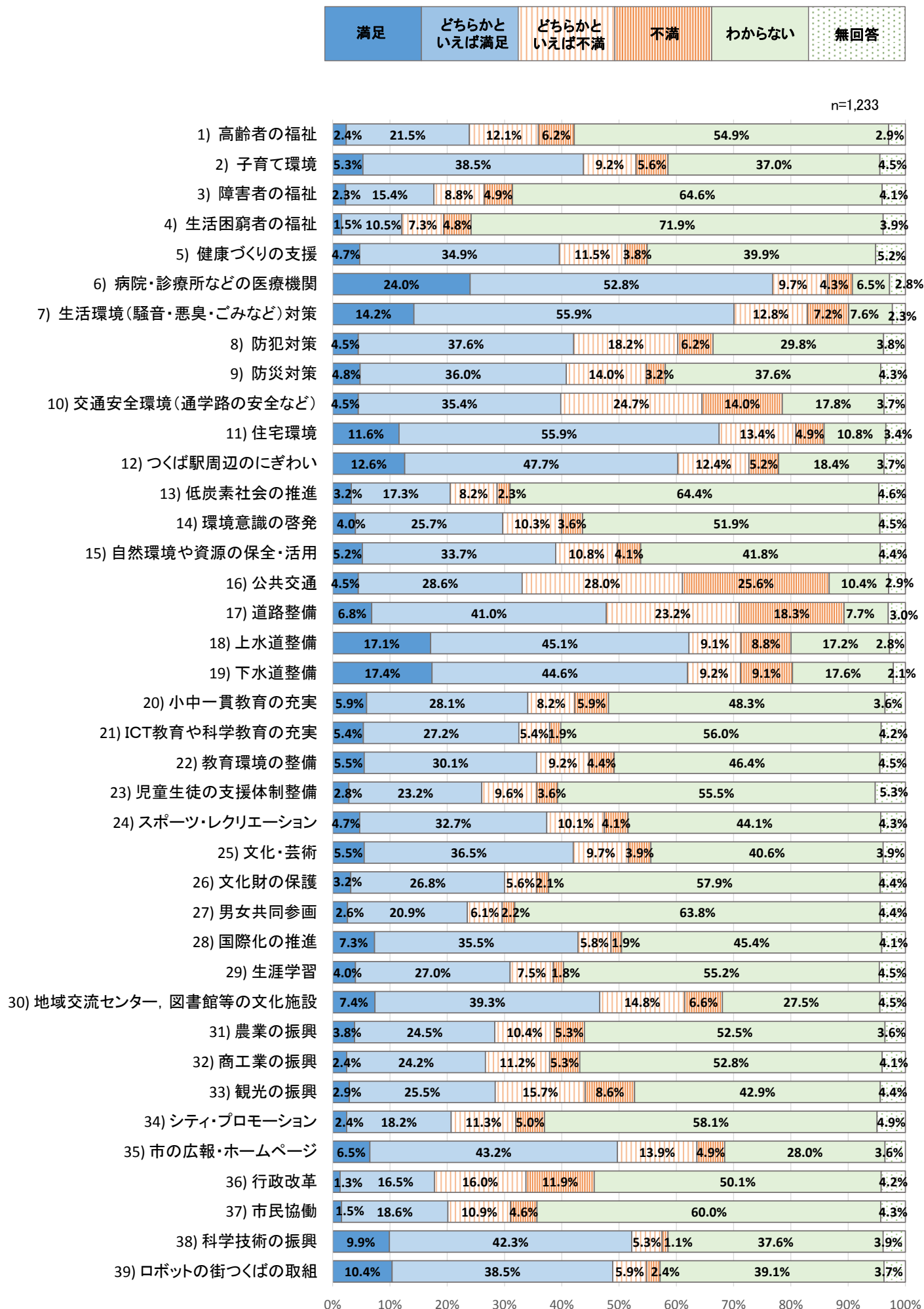
「満足」の回答割合が10%以上 24.0% 「不満」の回答割合が10%以上 25.6% 「わからない」が50%以上 54.9%

つくば市の取組内容	選択肢	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	わから ない	無回答	合計
1) 高齢者の福祉	回答数	29	265	149	77	677	36	1,233
	割合	2.4%	21.5%	12.1%	6.2%	54.9%	2.9%	100.0%
2) 子育て環境	回答数	65	475	113	69	456	55	1,233
	割合	5.3%	38.5%	9.2%	5.6%	37.0%	4.5%	100.0%
3) 障害者の福祉	回答数	28	190	108	61	796	50	1,233
	割合	2.3%	15.4%	8.8%	4.9%	64.6%	4.1%	100.0%
4) 生活困窮者の福祉	回答数	19	130	90	59	887	48	1,233
	割合	1.5%	10.5%	7.3%	4.8%	71.9%	3.9%	100.0%
5) 健康づくりの支援	回答数	58	430	142	47	492	64	1,233
	割合	4.7%	34.9%	11.5%	3.8%	39.9%	5.2%	100.0%
6) 病院・診療所などの 医療機関	回答数	296	651	119	53	80	34	1,233
	割合	24.0%	52.8%	9.7%	4.3%	6.5%	2.8%	100.0%
7) 生活環境（騒音・悪 臭・ごみなど）対策	回答数	175	689	158	89	94	28	1,233
	割合	14.2%	55.9%	12.8%	7.2%	7.6%	2.3%	100.0%
8) 防犯対策	回答数	55	464	224	76	367	47	1,233
	割合	4.5%	37.6%	18.2%	6.2%	29.8%	3.8%	100.0%
9) 防災対策	回答数	59	444	173	40	464	53	1,233
	割合	4.8%	36.0%	14.0%	3.2%	37.6%	4.3%	100.0%
10) 交通安全環境 （通学路の安全など）	回答数	55	436	304	173	219	46	1,233
	割合	4.5%	35.4%	24.7%	14.0%	17.8%	3.7%	100.0%
11) 住宅環境	回答数	143	689	165	61	133	42	1,233
	割合	11.6%	55.9%	13.4%	4.9%	10.8%	3.4%	100.0%
12) つくば駅周辺のにぎ わい	回答数	155	588	153	64	227	46	1,233
	割合	12.6%	47.7%	12.4%	5.2%	18.4%	3.7%	100.0%
13) 低炭素社会の推進	回答数	40	213	101	28	794	57	1,233
	割合	3.2%	17.3%	8.2%	2.3%	64.4%	4.6%	100.0%
14) 環境意識の啓発	回答数	49	317	127	45	640	55	1,233
	割合	4.0%	25.7%	10.3%	3.6%	51.9%	4.5%	100.0%
15) 自然環境や資源の保 全・活用	回答数	64	416	133	50	516	54	1,233
	割合	5.2%	33.7%	10.8%	4.1%	41.8%	4.4%	100.0%
16) 公共交通	回答数	55	353	345	316	128	36	1,233
	割合	4.5%	28.6%	28.0%	25.6%	10.4%	2.9%	100.0%
17) 道路整備	回答数	84	505	286	226	95	37	1,233
	割合	6.8%	41.0%	23.2%	18.3%	7.7%	3.0%	100.0%
18) 上水道整備	回答数	211	556	112	108	212	34	1,233
	割合	17.1%	45.1%	9.1%	8.8%	17.2%	2.8%	100.0%
19) 下水道整備	回答数	214	550	114	112	217	26	1,233
	割合	17.4%	44.6%	9.2%	9.1%	17.6%	2.1%	100.0%
20) 小中一貫教育の充実	回答数	73	347	101	73	595	44	1,233
	割合	5.9%	28.1%	8.2%	5.9%	48.3%	3.6%	100.0%

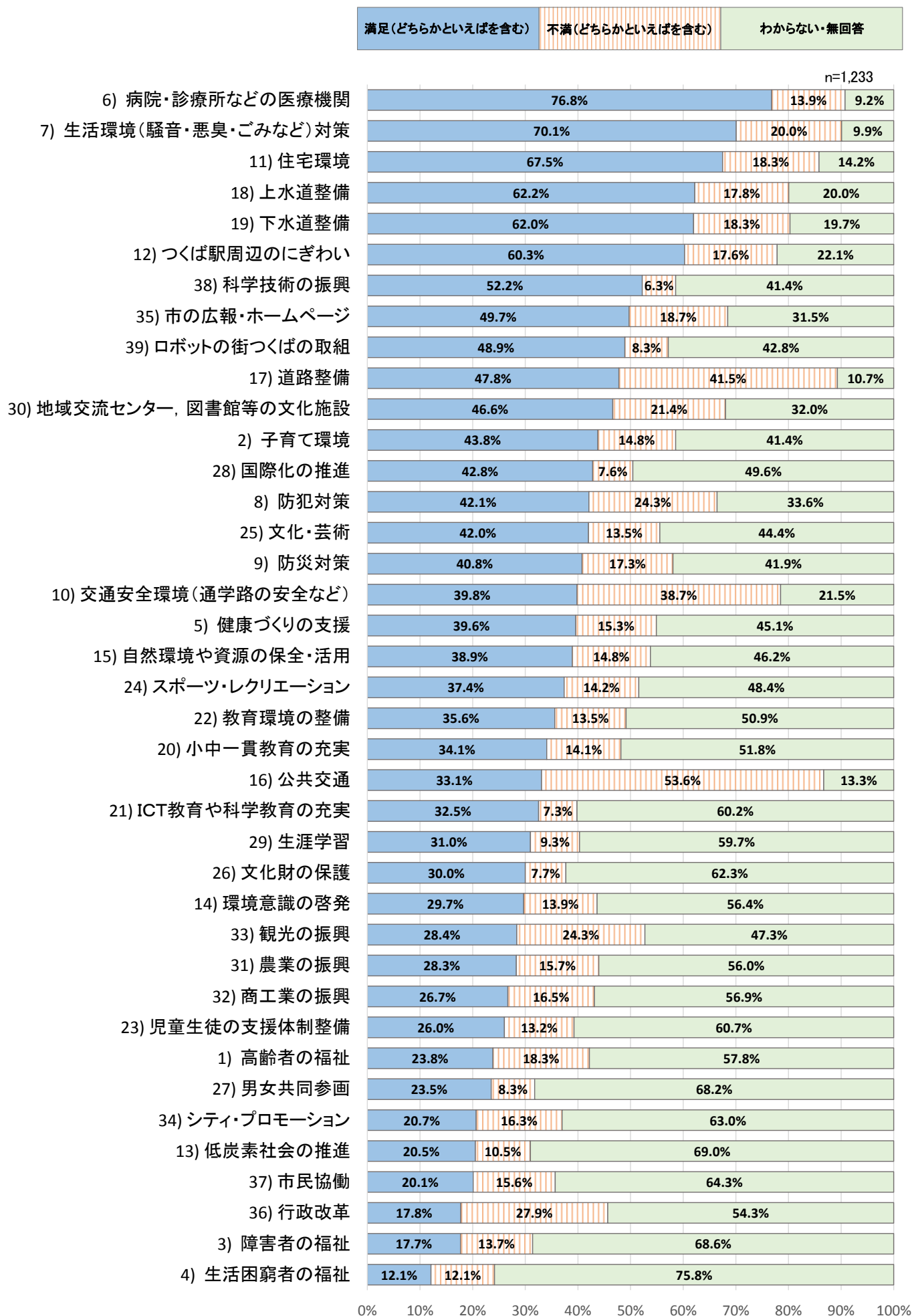
「満足」の回答割合が10%以上 「不満」の回答割合が10%以上 「わからない」が50%以上

つくば市の取組内容	選択肢	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	わから ない	無回答	合計
21) ICT教育や科学教育の充実	回答数	66	335	66	24	690	52	1,233
	割合	5.4%	27.2%	5.4%	1.9%	56.0%	4.2%	100.0%
22) 教育環境の整備	回答数	68	371	113	54	572	55	1,233
	割合	5.5%	30.1%	9.2%	4.4%	46.4%	4.5%	100.0%
23) 児童生徒の支援体制整備	回答数	35	286	118	45	684	65	1,233
	割合	2.8%	23.2%	9.6%	3.6%	55.5%	5.3%	100.0%
24) スポーツ・レクリエーション	回答数	58	403	124	51	544	53	1,233
	割合	4.7%	32.7%	10.1%	4.1%	44.1%	4.3%	100.0%
25) 文化・芸術	回答数	68	450	119	48	500	48	1,233
	割合	5.5%	36.5%	9.7%	3.9%	40.6%	3.9%	100.0%
26) 文化財の保護	回答数	39	331	69	26	714	54	1,233
	割合	3.2%	26.8%	5.6%	2.1%	57.9%	4.4%	100.0%
27) 男女共同参画	回答数	32	258	75	27	787	54	1,233
	割合	2.6%	20.9%	6.1%	2.2%	63.8%	4.4%	100.0%
28) 国際化の推進	回答数	90	438	71	23	560	51	1,233
	割合	7.3%	35.5%	5.8%	1.9%	45.4%	4.1%	100.0%
29) 生涯学習	回答数	49	333	93	22	680	56	1,233
	割合	4.0%	27.0%	7.5%	1.8%	55.2%	4.5%	100.0%
30) 地域交流センター、図書館等の文化施設	回答数	91	484	183	81	339	55	1,233
	割合	7.4%	39.3%	14.8%	6.6%	27.5%	4.5%	100.0%
31) 農業の振興	回答数	47	302	128	65	647	44	1,233
	割合	3.8%	24.5%	10.4%	5.3%	52.5%	3.6%	100.0%
32) 商工業の振興	回答数	30	299	138	65	651	50	1,233
	割合	2.4%	24.2%	11.2%	5.3%	52.8%	4.1%	100.0%
33) 観光の振興	回答数	36	314	194	106	529	54	1,233
	割合	2.9%	25.5%	15.7%	8.6%	42.9%	4.4%	100.0%
34) シティ・プロモーション	回答数	30	225	139	62	716	61	1,233
	割合	2.4%	18.2%	11.3%	5.0%	58.1%	4.9%	100.0%
35) 市の広報・ホームページ	回答数	80	533	171	60	345	44	1,233
	割合	6.5%	43.2%	13.9%	4.9%	28.0%	3.6%	100.0%
36) 行政改革	回答数	16	203	197	147	618	52	1,233
	割合	1.3%	16.5%	16.0%	11.9%	50.1%	4.2%	100.0%
37) 市民協働	回答数	19	229	135	57	740	53	1,233
	割合	1.5%	18.6%	10.9%	4.6%	60.0%	4.3%	100.0%
38) 科学技術の振興	回答数	122	522	65	13	463	48	1,233
	割合	9.9%	42.3%	5.3%	1.1%	37.6%	3.9%	100.0%
39) ロボットの街つくばの取組	回答数	128	475	73	29	482	46	1,233
	割合	10.4%	38.5%	5.9%	2.4%	39.1%	3.7%	100.0%

<全体集計グラフ（項目順）>



<全体集計グラフ（満足の割合が多い順）>



② 満足度

次のような基準で点数化し、「満足度」を算出した。

満足度の算出方法

以下の方法で回答数に点数をつけ、「わからない」「無回答」を除く回答者数で割って算出

	満足している	どちらかといえば 満足している	どちらかといえば 不満である	不満である	わからない・ 無回答
各回答の点数	2点	1点	-1点	-2点	対象外

<全体の傾向>

- ・満足度が高い項目として、「38) 科学技術の振興」,「6) 病院・診療所などの医療機関」及び「39) ロボットの街つくばの取組」などが挙げられる。
- ・満足度が低い項目として、「16) 公共交通」,「36) 行政改革」及び「4) 生活困窮者の福祉」などが挙げられる。

<年齢別の傾向>

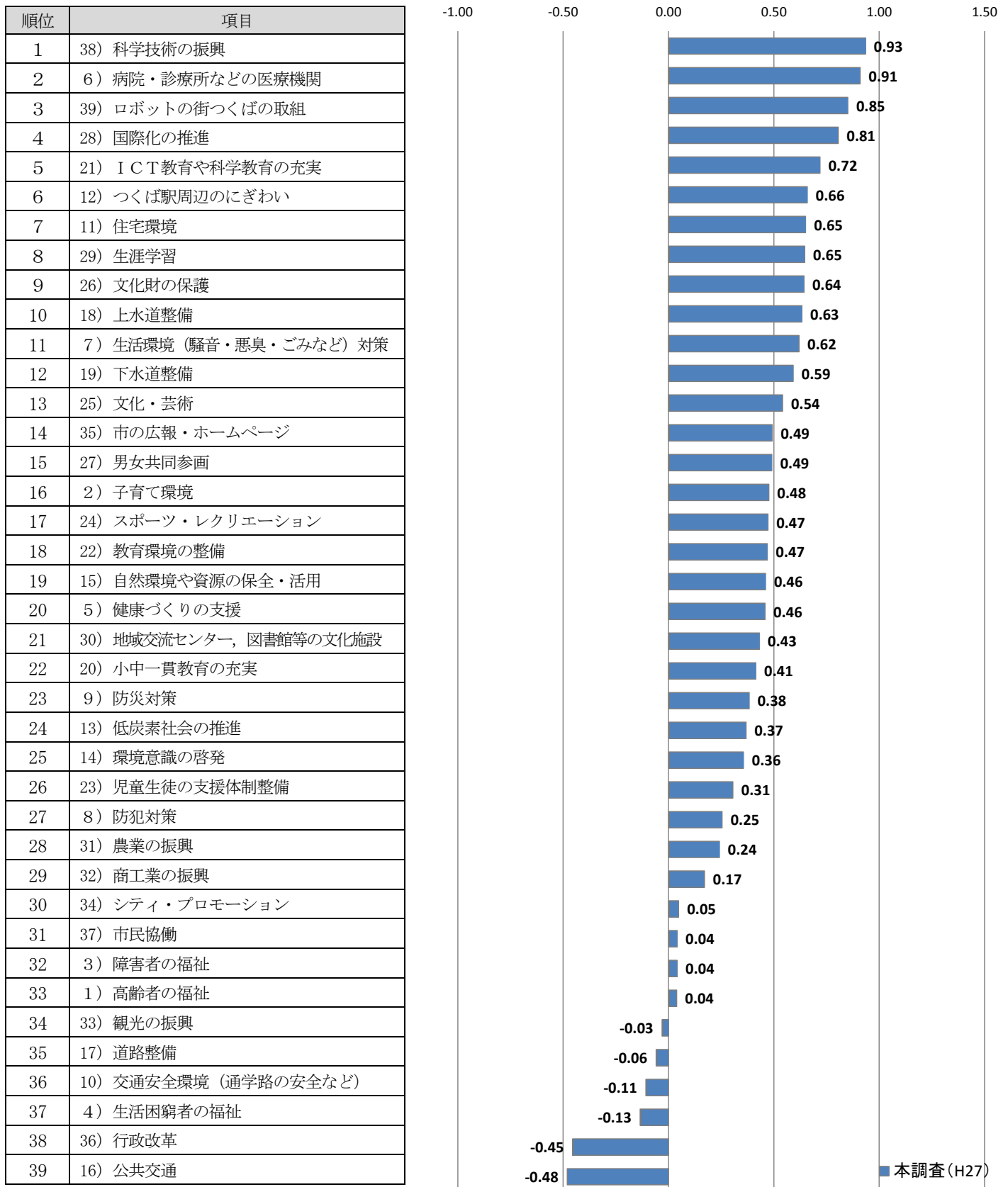
- ・10歳代では、多くの項目で、満足度が他の年齢に比べ高い傾向がみられる。
- ・20歳代では、健康・福祉に関する項目で、満足度が他の年齢に比べ低い傾向がみられる。
- ・65～69歳では、産業に関する項目で、満足度が他の年齢に比べ低い傾向がみられる。
- ・75歳以上では、地域・行政に関する項目で、満足度が他の年齢に比べ低い傾向がみられる。

<地区別の傾向>

- ・大穂地区では、多くの項目で、満足度が他の地区に比べ高い傾向がみられる。
- ・筑波地区では、健康・福祉、生活環境・防犯・防災・まちづくりに関する項目で、満足度が他の地区に比べ低い傾向がみられる。
- ・豊里地区では、産業に関する項目で、満足度が他の地区に比べ低い傾向がみられる。

＜満足度の計算結果（全体集計）＞

前頁の「満足度」の算出方法に従い点数化した結果をグラフ化し、「満足度が高い順」に表示

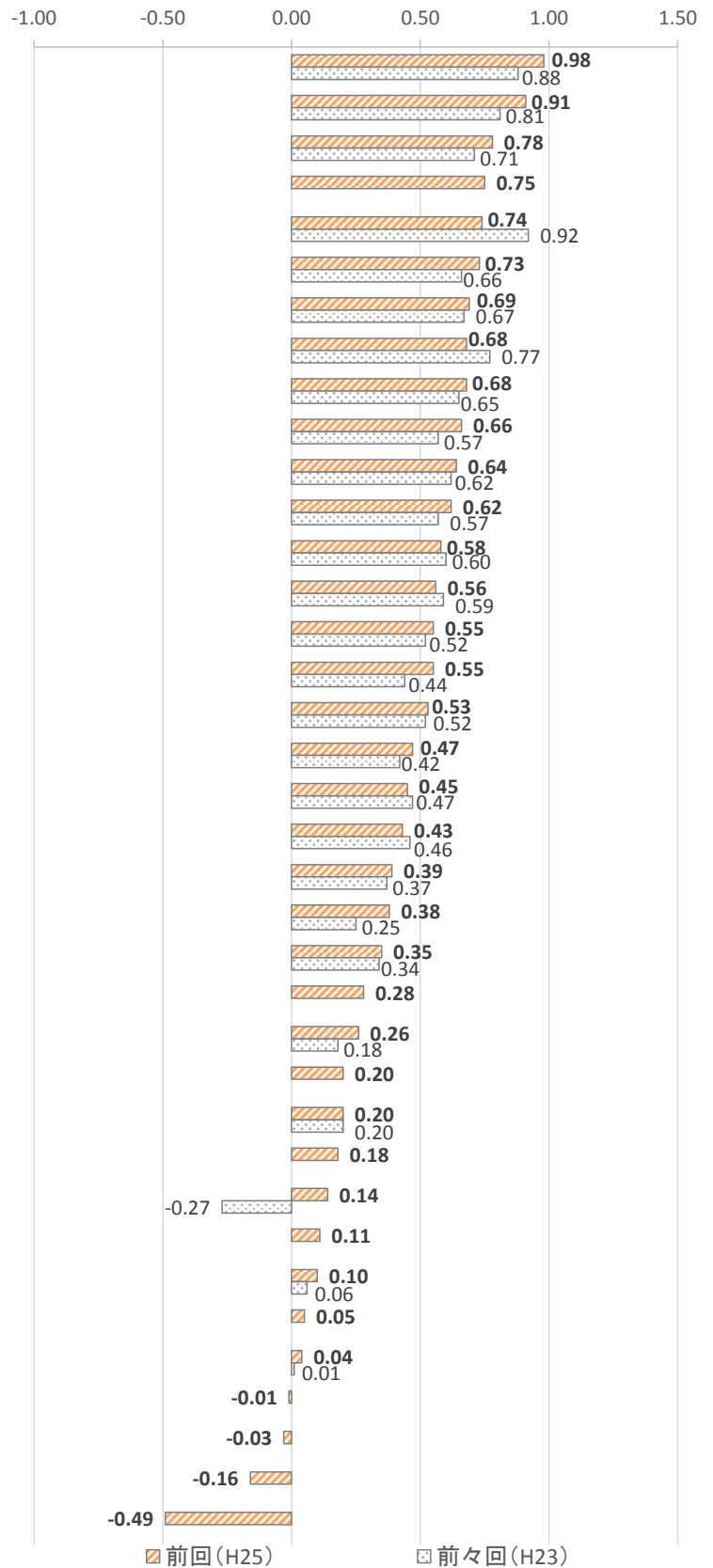


※本調査は過年度調査と項目を変えています。

<過年度調査の結果>（参考）

前回と前々回の調査結果は以下のとおり

順位	項目
1	2) 病院・診療所などの医療機関
2	7) ごみ処理
3	1) 健康診断などの保健サービス
4	27) 国際化への対応（外国人へのサポートなど）
5	12) 緑や水辺の保全や自然環境
6	35) 市の広報・ホームページ
7	14) 住宅環境
8	13) 公園や遊び場
9	16) 上水道整備
10	17) 下水道整備
11	10) 火災などへの消防対策
12	33) 近所づきあい
13	22) 文化財等の保存・調査
14	21) 文化・芸術
15	18) 地域交流センターや図書館などの文化施設
16	34) 区会・自治会などの地域活動
17	19) スポーツ・レクリエーション
18	20) 生涯学習
19	26) 男女共同参画
20	23) 小中学校の学校教育
21	3) 保育園・学童クラブなど子育て支援サービス
22	6) 生活環境（騒音・悪臭など）対策
23	25) 平和・人権教育
24	37) 情報通信技術を活用した行政サービス
25	24) 青少年の健全育成対策
26	8) 防犯対策
27	15) 道路整備
28	29) 商業・工業の振興
29	9) 地震などの災害対策
30	30) 観光の振興
31	4) 高齢者の福祉
32	28) 農業の福祉
33	5) 障害者の福祉
34	31) 新しい産業・起業しやすい環境の創出
35	36) 行財政改革の推進（健全な財政運営）
36	11) 交通安全環境（通学路の安全など）の整備
37	32) 雇用促進（就業支援）



③ー1 満足度の計算結果（年齢別クロス集計）

項目ごとの満足割合、不満割合、満足度の年齢別クロス集計を行った。
満足割合、不満割合の考え方は以下に示す。

満足割合:「満足」の回答割合+「どちらかといえば満足」の回答割合
不満割合:「どちらかといえば不満」の回答割合+「不満」の回答割合

満足度が最も高い年齢:

満足度が最も低い年齢:

健康・福祉

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
1) 高齢者の福祉	満足割合(%)	23.8	28.6	0.25	15.4	18.4	25.7	28.0	31.6	38.3	40.9
	不満割合(%)	18.3	0.0	19.5	11.8	13.6	21.8	21.6	29.1	20.2	12.1
	満足度	0.04	0.29	-0.10	-0.02	0.01	0.01	-0.02	-0.04	0.17	0.27
2) 子育て環境	満足割合(%)	43.8	42.9	26.5	48.0	54.4	49.5	39.2	42.4	33.0	30.3
	不満割合(%)	14.8	0.0	15.9	20.4	18.4	14.1	12.0	13.9	8.5	3.0
	満足度	0.49	0.57	0.13	0.25	0.33	0.40	0.26	0.27	0.26	0.26
3) 障害者の福祉	満足割合(%)	17.7	35.7	10.6	10.4	15.4	20.4	20.8	25.9	19.1	22.7
	不満割合(%)	13.7	0.0	15.9	11.8	13.6	18.9	13.6	10.8	16.0	9.1
	満足度	0.04	0.36	-0.11	-0.05	-0.02	0.00	0.03	0.12	0.06	0.12
4) 生活困窮者の福祉	満足割合(%)	12.1	35.7	7.1	7.7	12.7	13.6	12.8	19.6	8.5	10.6
	不満割合(%)	12.1	0.0	11.5	7.7	11.0	15.5	15.2	14.6	13.8	10.6
	満足度	-0.13	0.36	-0.11	-0.03	-0.04	-0.02	-0.10	0.03	-0.05	0.00
5) 健康づくりの支援	満足割合(%)	39.6	35.7	25.7	35.7	42.5	48.1	36.8	41.8	42.6	37.9
	不満割合(%)	15.3	0.0	15.9	14.5	11.4	16.5	20.0	19.0	17.0	10.6
	満足度	0.46	0.43	0.12	0.17	0.35	0.29	0.15	0.27	0.33	0.27
6) 病院・診療所などの医療機関	満足割合(%)	76.8	92.9	64.6	71.0	79.8	80.1	80.0	77.2	78.7	83.3
	不満割合(%)	13.9	0.0	16.8	18.1	11.4	16.5	12.8	13.9	9.6	6.1
	満足度	0.91	1.21	0.73	0.71	0.79	0.77	0.90	0.94	0.90	1.03

生活環境・防犯・防災・まちづくり

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
7) 生活環境(騒音・悪臭・ごみなど)対策	満足割合(%)	0.1	71.4	62.8	71.0	75.0	72.3	64.8	75.3	66.0	60.6
	不満割合(%)	20.0	0.0	23.9	20.8	17.1	22.3	26.4	16.5	18.1	15.2
	満足度	0.63	0.86	0.53	0.47	0.60	0.63	0.39	0.70	0.65	0.62
8) 防犯対策	満足割合(%)	42.1	42.9	40.7	35.7	49.1	43.7	37.6	50.6	38.3	33.3
	不満割合(%)	24.3	14.3	24.8	27.6	25.0	26.7	30.4	16.5	18.1	18.2
	満足度	0.24	0.43	0.16	-0.01	0.19	0.16	0.10	0.36	0.27	0.14
9) 防災対策	満足割合(%)	40.8	42.9	34.5	34.8	46.9	40.8	36.0	50.0	41.5	37.9
	不満割合(%)	17.3	7.1	16.8	16.7	14.9	19.9	26.4	16.5	16.0	7.6
	満足度	0.43	0.57	0.15	0.21	0.29	0.25	0.06	0.36	0.34	0.33
10) 交通安全環境(通学路の安全など)	満足割合(%)	39.8	57.1	43.4	31.7	42.1	43.2	37.6	43.0	34.0	45.5
	不満割合(%)	38.7	21.4	36.3	45.7	42.5	37.4	43.2	34.8	35.1	19.7
	満足度	-0.11	0.36	0.05	-0.26	-0.20	-0.04	-0.14	0.01	0.03	0.18
11) 住宅環境	満足割合(%)	67.5	35.7	61.9	68.8	74.6	65.0	68.8	70.3	63.8	59.1
	不満割合(%)	18.3	21.4	22.1	19.5	16.7	22.3	17.6	15.2	17.0	13.6
	満足度	0.65	0.36	0.40	0.54	0.61	0.52	0.55	0.66	0.60	0.52
12) つくば駅周辺のにぎわい	満足割合(%)	60.3	78.6	69.9	67.9	62.7	63.1	55.2	55.1	44.7	39.4
	不満割合(%)	17.6	14.3	17.7	21.3	21.5	22.3	15.2	13.9	7.4	6.1
	満足度	0.64	0.93	0.60	0.49	0.52	0.50	0.46	0.51	0.46	0.27
13) 低炭素社会の推進	満足割合(%)	20.5	7.1	17.7	19.0	27.2	20.4	19.2	24.7	11.7	16.7
	不満割合(%)	10.5	14.3	12.4	7.7	8.3	13.6	14.4	10.8	7.4	7.6
	満足度	0.36	0.00	0.12	0.10	0.16	0.12	0.05	0.13	0.04	0.15
14) 環境意識の啓発	満足割合(%)	29.7	28.6	23.9	27.1	36.8	35.9	31.2	27.8	22.3	18.2
	不満割合(%)	13.9	14.3	9.7	10.0	11.0	17.5	17.6	17.7	18.1	10.6
	満足度	0.37	0.21	0.19	0.14	0.26	0.21	0.10	0.08	0.06	0.15
15) 自然環境や資源の保全・活用	満足割合(%)	38.9	50.0	38.1	41.6	42.5	42.7	34.4	39.9	29.8	27.3
	不満割合(%)	14.8	7.1	10.6	9.5	14.5	16.5	20.8	20.9	16.0	9.1
	満足度	0.47	0.43	0.32	0.30	0.29	0.32	0.11	0.20	0.16	0.21
16) 公共交通	満足割合(%)	33.1	42.9	35.4	36.7	31.1	32.5	32.8	32.3	33.0	28.8
	不満割合(%)	53.6	35.7	54.0	55.2	57.5	58.7	52.8	50.6	39.4	50.0
	満足度	-0.48	0.21	-0.36	-0.46	-0.46	-0.53	-0.38	-0.37	-0.14	-0.50
17) 道路整備	満足割合(%)	47.8	42.9	51.3	50.2	48.2	45.1	50.4	49.4	41.5	42.4
	不満割合(%)	41.5	21.4	40.7	42.5	43.9	47.6	37.6	40.5	34.0	37.9
	満足度	-0.06	0.29	0.06	-0.06	-0.07	-0.20	-0.06	-0.04	0.07	0.05
18) 上水道整備	満足割合(%)	62.2	50.0	54.9	61.1	64.5	61.7	68.8	60.1	67.0	60.6
	不満割合(%)	17.7	0.0	14.2	14.9	15.8	23.8	20.8	25.3	7.4	16.7
	満足度	0.66	0.57	0.54	0.62	0.53	0.49	0.51	0.36	0.71	0.47
19) 下水道整備	満足割合(%)	62.0	50.0	54.0	59.7	63.6	63.1	66.4	60.8	70.2	57.6
	不満割合(%)	18.3	7.1	12.4	15.8	16.2	23.3	20.8	26.6	7.4	22.7
	満足度	0.65	0.50	0.64	0.58	0.50	0.54	0.43	0.35	0.74	0.35

教育・文化

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
20) 小中一貫教育の充実	満足割合(%)	34.1	50.0	26.5	37.6	41.7	33.0	34.4	29.1	26.6	28.8
	不満足割合(%)	14.1	7.1	13.3	14.0	23.2	15.5	12.0	10.1	6.4	6.1
	満足度	0.41	0.43	0.15	0.17	0.20	0.21	0.19	0.19	0.27	0.27
21) ICT教育や科学教育の充実	満足割合(%)	32.5	57.1	24.8	33.5	45.6	36.9	30.4	25.9	18.1	19.7
	不満足割合(%)	7.3	0.0	8.8	5.9	12.7	6.3	8.8	5.7	4.3	1.5
	満足度	0.72	0.57	0.30	0.25	0.36	0.37	0.24	0.25	0.17	0.18
22) 教育環境の整備	満足割合(%)	35.6	64.3	31.0	35.3	47.8	38.8	28.8	31.0	25.5	24.2
	不満足割合(%)	13.5	7.1	15.0	14.9	18.9	12.6	14.4	10.8	8.5	3.0
	満足度	0.47	0.50	0.30	0.19	0.28	0.29	0.17	0.22	0.19	0.14
23) 児童生徒の支援体制整備	満足割合(%)	26.0	50.0	18.6	22.6	39.0	28.2	21.6	24.7	18.1	15.2
	不満足割合(%)	13.2	0.0	9.7	13.1	20.2	14.1	13.6	12.0	7.4	7.6
	満足度	0.31	0.50	0.12	0.06	0.14	0.16	0.11	0.12	0.11	0.05
24) スポーツ・レクリエーション	満足割合(%)	37.4	42.9	29.2	35.7	48.2	41.7	33.6	34.8	33.0	25.8
	不満足割合(%)	14.2	7.1	15.0	8.6	12.7	18.9	20.8	17.7	9.6	9.1
	満足度	0.46	0.57	0.24	0.24	0.34	0.23	0.17	0.16	0.22	0.20
25) 文化・芸術	満足割合(%)	42.0	50.0	32.7	42.5	49.6	45.6	38.4	39.2	42.6	31.8
	不満足割合(%)	13.5	7.1	16.8	10.4	14.9	17.0	16.0	12.7	9.6	7.6
	満足度	0.54	0.64	0.25	0.30	0.34	0.27	0.26	0.28	0.40	0.27
26) 文化財の保護	満足割合(%)	30.0	35.7	26.5	27.6	34.2	33.0	26.4	28.5	30.9	28.8
	不満足割合(%)	7.7	0.0	9.7	4.5	5.7	12.6	9.6	8.2	7.4	1.5
	満足度	0.62	0.36	0.16	0.24	0.28	0.19	0.18	0.23	0.31	0.29
27) 男女共同参画	満足割合(%)	23.5	28.6	18.6	22.6	25.4	29.1	24.0	25.9	17.0	13.6
	不満足割合(%)	8.3	7.1	12.4	7.2	7.0	9.2	11.2	7.0	5.3	7.6
	満足度	0.49	0.21	0.07	0.13	0.20	0.18	0.13	0.20	0.15	0.12
28) 国際化の推進	満足割合(%)	42.8	50.0	41.6	46.2	45.2	51.0	41.6	37.3	35.1	27.3
	不満足割合(%)	7.6	14.3	11.5	4.1	11.0	7.3	8.8	7.6	5.3	3.0
	満足度	0.81	0.43	0.37	0.51	0.41	0.48	0.38	0.30	0.33	0.29
29) 生涯学習	満足割合(%)	31.0	28.6	23.0	31.2	30.7	33.0	32.8	35.4	31.9	24.2
	不満足割合(%)	9.3	0.0	8.8	4.5	7.0	12.1	16.8	11.4	9.6	9.1
	満足度	0.59	0.43	0.14	0.24	0.27	0.26	0.17	0.25	0.31	0.18
30) 地域交流センター、図書館等の文化施設	満足割合(%)	46.6	50.0	41.6	48.4	43.9	52.4	49.6	46.8	44.7	37.9
	不満足割合(%)	21.4	7.1	22.1	19.5	28.9	21.8	24.0	17.7	17.0	12.1
	満足度	0.38	0.64	0.30	0.20	0.24	0.26	0.19	0.31	0.33	0.33

産業

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
31) 農業の振興	満足割合(%)	28.3	28.6	32.7	38.5	32.9	29.1	25.6	20.3	16.0	12.1
	不満足割合(%)	15.7	7.1	12.4	7.7	13.6	18.4	23.2	20.9	19.1	13.6
	満足度	0.25	0.43	0.19	0.24	0.24	0.16	-0.03	-0.10	-0.03	-0.05
32) 商工業の振興	満足割合(%)	26.7	35.7	26.5	34.8	31.1	30.6	25.6	19.6	13.8	7.6
	不満足割合(%)	16.5	0.0	18.6	11.3	12.3	21.4	20.8	20.9	17.0	12.1
	満足度	0.17	0.43	0.14	0.15	0.17	0.09	-0.01	-0.08	-0.04	-0.06
33) 観光の振興	満足割合(%)	28.4	35.7	28.3	34.8	32.5	29.1	28.8	22.8	20.2	15.2
	不満足割合(%)	24.3	7.1	24.8	24.0	21.5	31.1	27.2	27.2	17.0	13.6
	満足度	-0.03	0.29	0.12	-0.03	0.03	-0.05	-0.09	-0.11	0.02	0.03

地域・行政

		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
34) シティ・プロモーション	満足割合(%)	20.7	28.6	18.6	29.9	25.4	19.4	18.4	15.8	11.7	10.6
	不満足割合(%)	16.3	0.0	17.7	19.9	17.1	17.5	19.2	12.0	11.7	9.1
	満足度	0.05	0.36	0.10	-0.02	0.09	-0.03	-0.02	0.01	-0.04	0.05
35) 市の広報・ホームページ	満足割合(%)	49.7	35.7	31.9	48.4	56.6	50.5	52.8	52.5	53.2	45.5
	不満足割合(%)	18.7	7.1	22.1	20.8	19.3	24.8	19.2	13.9	12.8	6.1
	満足度	0.48	0.29	0.24	0.25	0.35	0.28	0.38	0.38	0.50	0.35
36) 行政改革	満足割合(%)	17.8	14.3	10.6	16.7	21.1	18.9	16.0	19.0	21.3	13.6
	不満足割合(%)	27.9	0.0	31.9	27.6	27.2	35.0	33.6	27.2	17.0	15.2
	満足度	-0.45	0.14	-0.20	-0.29	-0.17	-0.29	-0.30	-0.17	0.00	-0.11
37) 市民協働	満足割合(%)	20.1	14.3	17.7	18.6	22.8	21.8	21.6	22.2	21.3	6.1
	不満足割合(%)	15.6	0.0	16.8	11.8	14.9	24.3	18.4	13.9	8.5	12.1
	満足度	0.04	0.14	0.03	0.01	0.07	-0.02	-0.01	0.00	0.06	-0.08
38) 科学技術の振興	満足割合(%)	52.2	57.1	54.0	59.3	57.9	63.1	47.2	38.6	38.3	31.8
	不満足割合(%)	6.3	0.0	11.5	2.7	9.2	6.8	8.0	5.7	3.2	3.0
	満足度	0.93	0.64	0.54	0.69	0.63	0.57	0.48	0.38	0.41	0.36
39) ロボットの街づくりの取組	満足割合(%)	48.9	50.0	51.3	53.8	54.8	53.4	46.4	39.9	39.4	31.8
	不満足割合(%)	8.3	0.0	12.4	6.8	11.0	9.7	8.8	6.3	3.2	4.5
	満足度	0.85	0.50	0.44	0.51	0.56	0.51	0.47	0.44	0.49	0.29

③-2 満足度の計算結果（地区別クロス集計）

項目ごとの満足割合、不満割合、満足度の地区別クロス集計を行った。
満足割合、不満割合の考え方は以下に示す。

満足割合：「満足」の回答割合＋「どちらかといえば満足」の回答割合
不満割合：「どちらかといえば不満」の回答割合＋「不満」の回答割合

満足度が最も高い地区：

満足度が最も低い地区：

健康・福祉

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荻崎地区	研究学園地区	TX沿線地区
1) 高齢者の福祉	満足割合(%)	23.8	28.4	37.6	29.0	28.6	30.3	25.4	16.3	13.0
	不満割合(%)	18.3	31.2	12.9	21.5	23.5	20.5	19.7	13.2	11.5
	満足度	0.04	-0.06	0.28	0.04	-0.04	0.01	0.01	0.01	0.01
2) 子育て環境	満足割合(%)	43.8	33.0	48.2	47.3	42.9	47.5	27.5	49.9	46.6
	不満割合(%)	14.8	27.5	16.5	9.7	17.3	10.7	14.1	10.9	18.3
	満足度	0.49	0.11	0.39	0.33	0.24	0.42	0.12	0.37	0.24
3) 障害者の福祉	満足割合(%)	17.7	19.3	29.4	28.0	20.4	18.0	15.5	13.2	11.5
	不満割合(%)	13.7	17.4	14.1	16.1	15.3	16.4	14.1	12.1	7.6
	満足度	0.04	0.04	0.21	0.09	-0.02	-0.03	-0.01	-0.03	0.04
4) 生活困窮者の福祉	満足割合(%)	12.1	11.9	20.0	19.4	13.8	13.9	11.3	9.0	6.9
	不満割合(%)	12.1	19.3	10.6	14.0	16.8	16.4	13.4	7.0	6.9
	満足度	-0.13	-0.08	0.15	-0.03	-0.04	-0.07	-0.06	-0.03	-0.03
5) 健康づくりの支援	満足割合(%)	39.6	40.4	51.8	51.6	38.3	32.8	35.2	41.1	31.3
	不満割合(%)	15.3	12.8	11.8	16.1	17.3	20.5	16.9	12.7	16.8
	満足度	0.46	0.29	0.54	0.34	0.28	0.14	0.19	0.24	0.13
6) 病院・診療所などの医療機関	満足割合(%)	76.8	79.8	82.4	78.5	77.0	75.4	69.7	79.4	71.0
	不満割合(%)	13.9	9.2	11.8	11.8	13.3	13.1	17.6	13.8	19.1
	満足度	0.91	0.91	1.13	0.91	0.86	0.86	0.64	0.83	0.60

生活環境・防犯・防災・まちづくり

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荻崎地区	研究学園地区	TX沿線地区
7) 生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	満足割合(%)	70.1	60.6	71.8	68.8	71.4	68.9	70.4	73.8	66.4
	不満割合(%)	20.0	22.9	22.4	19.4	20.4	17.2	16.9	18.6	26.0
	満足度	0.63	0.39	0.71	0.56	0.54	0.53	0.62	0.68	0.37
8) 防犯対策	満足割合(%)	42.1	39.4	50.6	48.4	40.8	41.0	38.7	41.7	42.0
	不満割合(%)	24.3	21.1	17.6	25.8	20.4	26.2	23.9	28.2	24.4
	満足度	0.24	0.17	0.40	0.22	0.19	0.17	0.11	0.12	0.07
9) 防災対策	満足割合(%)	40.8	33.0	51.8	45.2	43.4	37.7	37.3	42.0	36.6
	不満割合(%)	17.3	20.2	14.1	23.7	16.3	22.1	21.8	14.9	10.7
	満足度	0.43	0.16	0.48	0.27	0.34	0.26	0.17	0.22	0.21
10) 交通安全環境（通学路の安全など）	満足割合(%)	39.8	39.4	41.2	37.6	34.2	45.9	28.2	48.2	33.6
	不満割合(%)	38.7	39.4	43.5	41.9	43.9	36.1	45.1	31.8	38.9
	満足度	-0.11	-0.15	0.01	-0.24	-0.15	0.20	-0.32	0.07	-0.31
11) 住宅環境	満足割合(%)	67.5	53.2	72.9	65.6	58.7	67.2	63.4	73.5	78.6
	不満割合(%)	18.3	24.8	14.1	15.1	23.5	16.4	21.8	16.9	12.2
	満足度	0.65	0.23	0.75	0.57	0.45	0.52	0.41	0.67	0.76
12) つくば駅周辺のにぎわい	満足割合(%)	60.3	62.4	60.0	62.4	53.1	64.8	50.7	64.8	61.8
	不満割合(%)	17.6	11.0	14.1	15.1	16.8	18.0	4.2	21.7	31.3
	満足度	0.64	0.51	0.68	0.47	0.47	0.57	0.51	0.49	0.40
13) 低炭素社会の推進	満足割合(%)	20.5	22.9	18.8	28.0	20.4	23.8	16.9	17.5	23.7
	不満割合(%)	10.5	10.1	8.2	14.0	10.2	15.6	6.3	11.0	8.4
	満足度	0.36	0.10	0.22	0.11	0.09	0.11	0.19	0.04	0.18
14) 環境意識の啓発	満足割合(%)	29.7	24.8	27.1	36.6	26.5	32.8	23.9	32.7	30.5
	不満割合(%)	13.9	19.3	14.1	12.9	14.8	16.4	7.7	14.1	13.0
	満足度	0.37	0.06	0.26	0.15	0.16	0.16	0.24	0.12	0.21
15) 自然環境や資源の保全・活用	満足割合(%)	38.9	33.9	37.6	46.2	31.6	37.7	31.7	44.5	43.5
	不満割合(%)	14.8	16.5	12.9	18.3	18.9	14.8	13.4	12.7	13.7
	満足度	0.47	0.17	0.38	0.23	0.20	0.27	0.23	0.26	0.31
16) 公共交通	満足割合(%)	33.1	26.6	40.0	34.4	28.1	34.4	21.1	38.3	38.2
	不満割合(%)	53.6	55.0	44.7	45.2	54.6	53.3	59.9	52.4	59.5
	満足度	-0.48	-0.48	-0.18	-0.38	-0.44	-0.29	-0.55	-0.36	-0.64
17) 道路整備	満足割合(%)	47.8	33.9	40.0	50.5	43.9	52.5	38.0	53.2	59.5
	不満割合(%)	41.5	45.0	47.1	37.6	43.4	38.5	44.4	40.6	37.4
	満足度	-0.06	-0.31	-0.13	-0.15	-0.04	0.11	-0.18	0.03	0.02
18) 上水道整備	満足割合(%)	62.2	45.0	50.6	48.4	49.0	71.3	63.4	71.5	78.6
	不満割合(%)	17.8	26.6	25.9	29.0	28.6	13.9	15.5	11.3	5.3
	満足度	0.66	0.15	0.44	0.17	0.31	0.64	0.61	0.72	0.76
19) 下水道整備	満足割合(%)	62.0	41.3	63.5	52.7	46.4	68.9	63.4	70.1	77.9
	不満割合(%)	18.3	34.9	16.5	24.7	30.6	14.8	18.3	11.3	5.3
	満足度	0.65	-0.01	0.67	0.27	0.22	0.61	0.58	0.74	0.72

教育・文化

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荻崎地区	研究学園地区	TX沿線地区
20) 小中一貫教育の充実	満足割合(%)	34.1	32.1	36.5	32.3	33.2	33.6	23.9	34.9	45.8
	不満足割合(%)	14.1	17.4	10.6	17.2	15.3	13.9	15.5	11.0	16.8
	満足度	0.41	0.14	0.32	0.06	0.21	0.30	0.11	0.17	0.34
21) ICT教育や科学教育の充実	満足割合(%)	32.5	32.1	32.9	29.0	27.6	30.3	21.8	38.6	39.7
	不満足割合(%)	7.3	6.4	4.7	7.5	10.7	11.5	7.0	4.8	7.6
	満足度	0.72	0.33	0.36	0.17	0.24	0.30	0.20	0.30	0.39
22) 教育環境の整備	満足割合(%)	35.6	27.5	38.8	29.0	30.6	39.3	23.2	43.1	42.0
	不満足割合(%)	13.5	17.4	9.4	11.8	15.8	12.3	12.0	12.7	16.0
	満足度	0.47	0.09	0.39	0.13	0.19	0.33	0.11	0.28	0.31
23) 児童生徒の支援体制整備	満足割合(%)	26.0	22.0	29.4	24.7	24.5	27.9	15.5	30.7	27.5
	不満足割合(%)	13.2	14.7	10.6	14.0	14.8	14.8	13.4	11.5	13.7
	満足度	0.31	0.10	0.21	0.04	0.17	0.15	0.00	0.14	0.11
24) スポーツ・レクリエーション	満足割合(%)	37.4	33.9	42.4	35.5	33.2	32.0	33.1	42.5	40.5
	不満足割合(%)	14.2	17.4	20.0	14.0	14.3	18.9	14.1	10.4	13.7
	満足度	0.46	0.19	0.31	0.13	0.22	0.15	0.18	0.28	0.36
25) 文化・芸術	満足割合(%)	42.0	41.3	45.9	36.6	40.8	41.8	38.7	46.2	38.2
	不満足割合(%)	13.5	13.8	17.6	12.9	13.3	13.1	8.5	14.9	13.7
	満足度	0.54	0.23	0.38	0.16	0.35	0.28	0.32	0.31	0.32
26) 文化財の保護	満足割合(%)	30.0	32.1	36.5	28.0	29.6	35.2	29.6	29.0	24.4
	不満足割合(%)	7.7	11.9	4.7	8.6	9.7	11.5	3.5	5.9	8.4
	満足度	0.62	0.18	0.44	0.13	0.28	0.28	0.28	0.18	0.19
27) 男女共同参画	満足割合(%)	23.5	29.4	31.8	28.0	21.4	20.5	19.0	23.1	22.1
	不満足割合(%)	8.3	9.2	4.7	4.3	8.7	14.8	7.7	8.7	5.3
	満足度	0.49	0.21	0.40	0.18	0.16	0.07	0.11	0.11	0.18
28) 国際化の推進	満足割合(%)	42.8	33.0	47.1	36.6	37.2	42.6	31.0	53.2	45.8
	不満足割合(%)	7.6	10.1	3.5	5.4	7.7	9.8	4.9	9.3	6.1
	満足度	0.81	0.26	0.55	0.31	0.38	0.39	0.29	0.48	0.48
29) 生涯学習	満足割合(%)	31.0	34.9	41.2	38.7	27.0	33.6	28.2	29.9	25.2
	不満足割合(%)	9.3	11.9	9.4	8.6	10.7	12.3	7.7	9.3	4.6
	満足度	0.59	0.24	0.42	0.25	0.21	0.23	0.23	0.18	0.32
30) 地域交流センター、図書館等の文化施設	満足割合(%)	46.6	45.9	48.2	40.9	43.9	49.2	38.0	55.5	37.4
	不満足割合(%)	21.4	18.3	15.3	19.4	18.9	21.3	20.4	22.5	31.3
	満足度	0.38	0.35	0.39	0.12	0.28	0.30	0.16	0.32	0.08

産業

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荻崎地区	研究学園地区	TX沿線地区
31) 農業の振興	満足割合(%)	28.3	28.4	30.6	28.0	26.0	26.2	25.4	29.0	33.6
	不満足割合(%)	15.7	27.5	18.8	24.7	17.9	25.4	9.2	10.4	6.1
	満足度	0.25	0.00	0.19	-0.04	0.08	0.01	0.18	0.15	0.22
32) 商工業の振興	満足割合(%)	26.7	27.5	34.1	22.6	26.5	23.8	24.6	26.2	30.5
	不満足割合(%)	16.5	27.5	15.3	22.6	16.8	21.3	10.6	13.2	13.7
	満足度	0.17	-0.03	0.18	-0.09	0.09	0.03	0.14	0.07	0.15
33) 観光の振興	満足割合(%)	28.4	26.6	36.5	25.8	25.5	28.7	23.9	29.0	33.6
	不満足割合(%)	24.3	33.0	22.4	26.9	26.0	24.6	17.6	24.2	21.4
	満足度	-0.03	-0.16	0.24	-0.10	-0.03	-0.04	0.07	-0.02	-0.04

地域・行政

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荻崎地区	研究学園地区	TX沿線地区
34) シティ・プロモーション	満足割合(%)	20.7	15.6	21.2	19.4	17.9	22.1	17.6	21.1	30.5
	不満足割合(%)	16.3	19.3	18.8	12.9	14.8	20.5	7.7	20.3	11.5
	満足度	0.05	-0.05	0.08	-0.03	0.03	-0.06	0.11	0.00	0.08
35) 市の広報・ホームページ	満足割合(%)	49.7	47.7	50.6	45.2	51.0	46.7	45.8	51.8	53.4
	不満足割合(%)	18.7	17.4	11.8	16.1	14.3	27.0	16.2	20.3	23.7
	満足度	0.48	0.36	0.59	0.31	0.42	0.18	0.33	0.27	0.28
36) 行政改革	満足割合(%)	17.8	18.3	25.9	16.1	17.3	23.0	16.2	16.3	14.5
	不満足割合(%)	27.9	30.3	23.5	33.3	25.0	30.3	23.9	29.0	28.2
	満足度	-0.45	-0.14	0.01	-0.33	-0.15	-0.16	-0.11	-0.31	-0.29
37) 市民協働	満足割合(%)	20.1	17.4	29.4	15.1	21.9	23.0	18.3	20.3	16.0
	不満足割合(%)	15.6	20.2	10.6	21.5	13.3	23.8	14.8	12.7	15.3
	満足度	0.04	-0.05	0.25	-0.12	0.07	-0.10	0.04	0.02	-0.01
38) 科学技術の振興	満足割合(%)	52.2	44.0	51.8	47.3	48.5	53.3	40.1	58.3	64.1
	不満足割合(%)	6.3	5.5	5.9	7.5	7.1	4.9	3.5	7.0	7.6
	満足度	0.93	0.39	0.59	0.47	0.52	0.59	0.46	0.61	0.64
39) ロボットの街づくりの取組	満足割合(%)	48.9	40.4	57.6	50.5	47.4	48.4	36.6	52.4	55.7
	不満足割合(%)	8.3	10.1	4.7	5.4	8.2	7.4	4.9	9.6	12.2
	満足度	0.85	0.37	0.67	0.45	0.53	0.47	0.39	0.48	0.56

【問 20 で「どちらかといえば不満」または「不満」とお答えの方にお聞きします】

問 21 特に不満と感じる項目番号 1)～39) と、その理由を教えてください。

< 3 つまで >

① 回答者の結果

◇「16) 公共交通」や「17) 道路整備」に関する不満が多い

・コメントが多い項目は、「16) 公共交通」、「17) 道路整備」、「10) 交通安全環境（通学路の安全など）」等である。

《不満と感じる回答が多かった項目から順に並べた》

順位	項目	回答数	コメント数
1	16) 公共交通	231	256
2	17) 道路整備	133	150
3	10) 交通安全環境（通学路の安全など）	128	132
4	7) 生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	66	63
4	20) 小中一貫教育の充実	66	62
6	30) 地域交流センター，図書館等の文化施設	57	66
7	36) 行政改革	54	51
8	12) つくば駅周辺のにぎわい	52	53
9	8) 防犯対策	50	54
10	2) 子育て環境	42	46
11	33) 観光の振興	41	40
12	22) 教育環境の整備	38	38
13	6) 病院・診療所などの医療機関	36	40
14	18) 上水道整備	33	29
15	1) 高齢者の福祉	32	28
16	31) 農業の振興	31	27
17	3) 障害者の福祉	30	30
18	11) 住宅環境	26	26
19	19) 下水道整備	25	22
20	25) 文化・芸術	22	24
21	24) 児童生徒の支援体制整備	20	18
22	15) 自然環境や資源の保全・活用	18	18
22	32) 商工業の振興	18	17
22	35) 市の広報・ホームページ	18	17
25	34) シティ・プロモーション	15	14
26	23) 児童生徒の支援体制整備	14	14
26	9) 防災対策	14	12
28	28) 国際化の推進	12	12
28	39) ロボットの街つくばの取組	12	12
28	4) 生活困窮者の福祉	12	11
31	5) 健康づくりの支援	11	12
32	37) 市民協働	10	9
33	27) 男女共同参画	8	8
34	13) 低炭素社会の推進	6	6
34	14) 環境意識の啓発	6	6
34	21) I C T 教育や科学教育の充実	6	6
37	26) 文化財の保護	5	6
38	38) 科学技術の振興	3	2
39	29) 生涯学習	2	2

② 不満の理由

不満の理由を設問項目順にまとめた。コメントの上位3位までを掲載

不満項目		回答数	不満理由 順位	不満理由	コメント数	総コメント数
健康・福祉	1) 高齢者の福祉	32	1位	福祉施設が少ない	6	28
			2位	交通が不便	3	
			3位	市役所の対応が悪い	2	
			3位	情報が少ない	2	
			3位	年金が少ない	2	
			3位	保険料が高い	2	
	2) 子育て環境	42	1位	保育園などの施設が少ない	12	46
			2位	子育て支援サービスが不十分	7	
			3位	補助金が少ない	4	
	3) 障害者の福祉	30	1位	障害者への支援が十分でない	7	30
			2位	福祉サービスが十分でない	5	
			3位	障害者教育施設が少ない	4	
	4) 生活困窮者の福祉	12	1位	困っている人に行き届いていない	3	11
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
	5) 健康づくりの支援	11	1位	利便性のいい場所に健康づくりをできる施設がない	2	12
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
	6) 病院・診療所などの医療機関	36	1位	産婦人科の医療機関が少ない	10	40
			1位	診療の待ち時間が長く混雑している	10	
			3位	対応のよい医療機関が少ない	4	
生活環境・防犯・防災	7) 生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	66	1位	騒音・振動が迷惑である	12	63
			2位	ごみ対策が十分でない	5	
			2位	ごみなどの焼却・野焼きが迷惑である	5	
	8) 防犯対策	50	1位	街灯が少なく夜道が暗い	27	54
			2位	犯罪が多い	16	
			3位	公園等の管理が十分でなく犯罪の温床となる	6	
	9) 防災対策	14	1位	防災放送が聞こえない	3	12
			2位	防災広報活動がされていない	2	
			2位	防災対策が十分でない	2	
	10) 交通安全環境（通学路の安全など）	128	1位	通学路の安全対策が十分でない	35	132
			2位	歩道の整備が不十分	28	
			3位	交通マナーが悪い	24	
	11) 住宅環境	26	1位	地域格差が大きい	4	26
			2位	周辺の騒音・振動が迷惑である	3	
			3位	空き家が多く、犯罪の温床となる	2	
			3位	周辺の住宅環境が良くない	2	
			3位	宅地計画が良くない	2	
			3位	家賃相場が高い	2	
まちづくり	12) つくば駅周辺のにぎわい	52	1位	にぎわいが感じられない	15	53
			2位	開発方針が不明	3	
			2位	商業施設に目新しさが無い	3	
			2位	地域格差が大きい	3	
			2位	夜になると駅前が暗い	3	
	13) 低炭素社会の推進	6	1位	自転車専用レーンの整備が十分でない	2	6
			1位	市の取組がわからない	2	
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
	14) 環境意識の啓発	6	1位	計画性がない	2	6
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
	15) 自然環境や資源の保全・活用	18	1位	自然環境の保全が十分でない	10	18
			2位	木材等の資源の活用が十分でない	2	
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
	16) 公共交通	231	1位	バス等の本数が少ない	68	256
			2位	交通の便が悪い	46	
			3位	公共交通の利便性が悪い	27	
	17) 道路整備	133	1位	道路の整備が十分でない	40	150
			2位	歩道の整備が十分でない	28	
			3位	排水整備が十分でない	15	
	18) 上水道整備	33	1位	上水道が整備されていない	16	29
			2位	水道料金が安い	4	
			3位	水質が良くない	3	
	19) 下水道整備	25	1位	下水道が整備されていない	10	22
			2位	下水道料金が安い	5	
			3位	地域格差が大きい	2	

不満項目		回答数	不満理由 順位	不満理由	コメント数	総コメント数
教育・スポーツ・文化	20) 小中一貫教育の充実	66	1位	小中一貫の必要性がない	12	62
			2位	小中一貫のメリットが感じられない	10	
			2位	地域間の格差が大きい	10	
	21) ICT教育や科学教育の充実	6	1位	地域間の格差が大きい	2	6
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
	22) 教育環境の整備	38	1位	施設・設備が充実していない	11	38
			2位	地域間の格差が大きい	8	
			3位	教育施設が少ない	5	
	23) 児童生徒の支援体制整備	14	1位	学校・保育施設などの施設が少ない	6	14
			2位	支援体制に不備がある	3	
			3位	施設・設備が充実していない	2	
	24) スポーツ・レクリエーション	20	1位	総合運動公園を造ってほしい	6	18
			2位	スポーツ施設が少ない	4	
			3位	既存運動施設の保全をしてほしい	2	
			3位	参加できるイベントが少ない	2	
	25) 文化・芸術	22	1位	企画内容の見直しが必要	5	24
			2位	情報提供が少ない	4	
			2位	文化・芸術関連のイベントが少ない	4	
	26) 文化財の保護	5	1位	広報や案内板等でのPRが不十分	2	6
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
	27) 男女共同参画	8	1位	体制が整っていない	2	8
			1位	取組内容が不明	2	
			1位	男女共同参画自体間違っている	2	
	28) 国際化の推進	12	1位	英語や多言語への対応が不十分	4	12
			1位	外国人へのサポート体制が不十分	4	
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
	29) 生涯学習	2	※回答数が1であるため、記載を省略		-	2
	30) 地域交流センター、図書館等の文化施設	57	1位	蔵書が充実していない	17	66
			2位	施設が利用しにくい	16	
			2位	図書館などの施設が近くにない	16	
産業・観光	31) 農業の振興	31	1位	農業の支援が十分でない	7	27
			2位	休耕地対策が十分でない	6	
			3位	後継者不足	5	
	32) 商工業の振興	18	1位	地域の商店が不振	12	17
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
	33) 観光の振興	41	1位	観光PRが足りない	12	40
			2位	環境整備が不十分	6	
			2位	筑波山観光の振興策が不十分	6	
	34) シティ・プロモーション	15	2位	魅力的スポットに欠ける	6	14
			1位	PRが足りない	6	
			2位	まちづくりに付加価値が足りない	2	
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
地域・行政	35) 市の広報	18	1位	ホームページがわかりにくく、使いにくい	9	17
			2位	広報に知りたい情報が載っていない	2	
			2位	パソコンが使えない人への配慮が足りない	2	
			2位	ホームページに知りたい情報が載っていない	2	
	36) 行政改革	54	1位	総合運動公園整備の不透明さ	11	51
			2位	改革内容が不明	8	
			3位	税金の無駄遣い	6	
	37) 市民協働	10	1位	市民と一緒に様々なことを進められていない	2	9
			1位	市民の意見を聞く機会が十分でない	2	
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	
	38) 科学技術の振興	3	※回答数が1であるため、記載を省略		-	2
	39) ロボットの街つくばの取組	12	1位	取組内容が不明	5	12
			2位	実感がわかない	4	
			※以下、回答数が1であるため、記載を省略		-	

7 少子高齢化への取組について

問 22 あなたは、つくば市には安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思いますか。

<○は1つ>

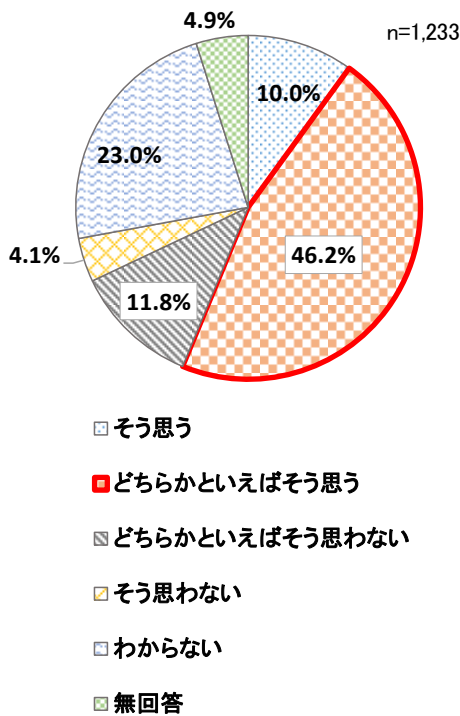
① 全体集計の結果

◇安心して子どもを生み育てられる環境が整っているかについては、『**そう思う（計）**』が5割台半ば

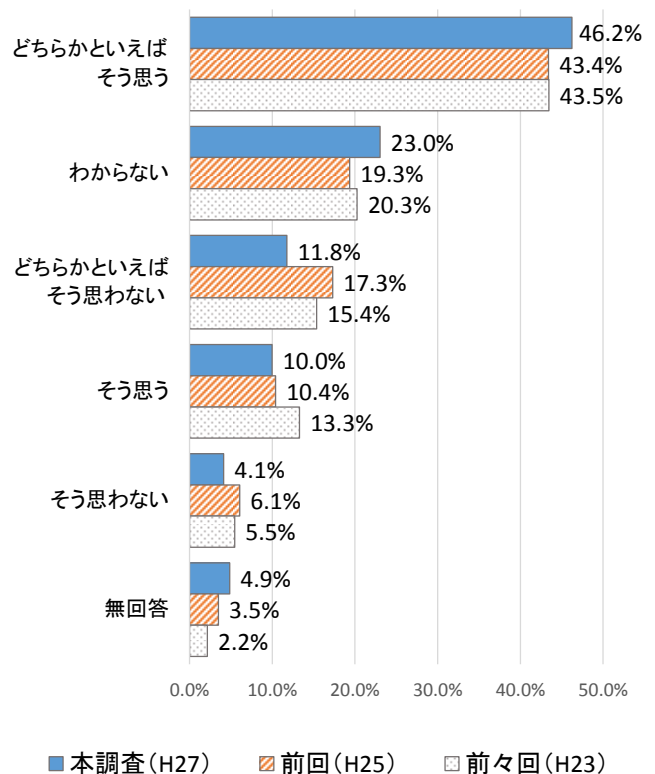
- ・環境が整っていると思うかについては、「どちらかといえばそう思う」が570人(46.2%)で最も多く、次いで「わからない」が284人(23.0%)となっている。
- ・「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『**そう思う（計）**』が56.2%となっている。
- ・過年度調査と比べると、「どちらかといえばそう思わない」は減少している。

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
そう思う	123	10.0%	10.4%	13.3%
どちらかといえばそう思う	570	46.2%	43.4%	43.5%
どちらかといえばそう思わない	145	11.8%	17.3%	15.4%
そう思わない	51	4.1%	6.1%	5.5%
わからない	284	23.0%	19.3%	20.3%
無回答	60	4.9%	3.5%	2.2%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

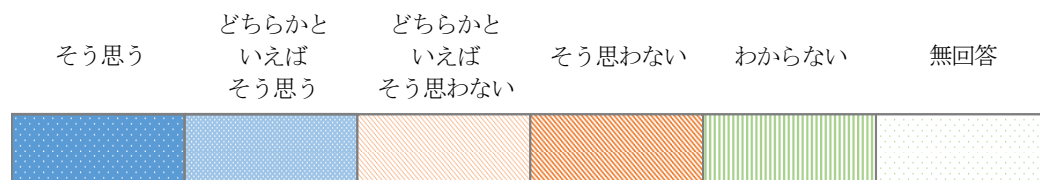
<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>

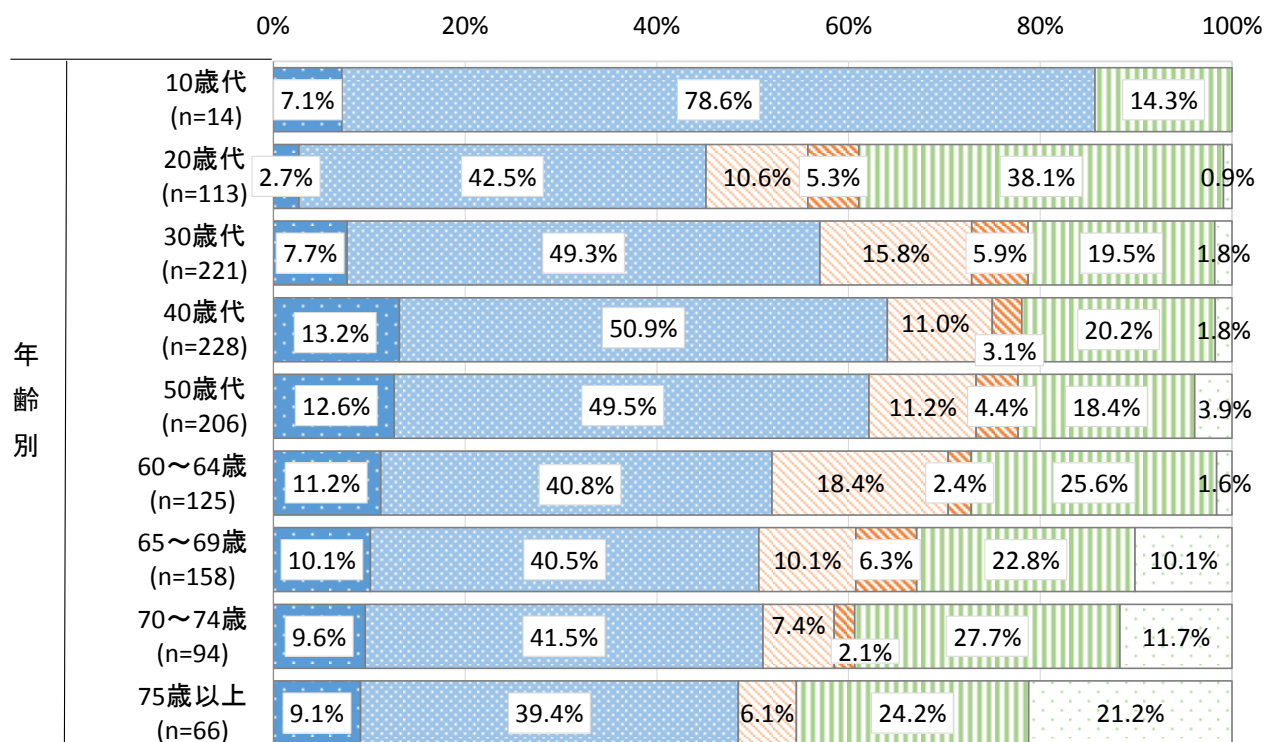


②-1 クロス集計の結果（問 22 と年齢別・地区別構成比）



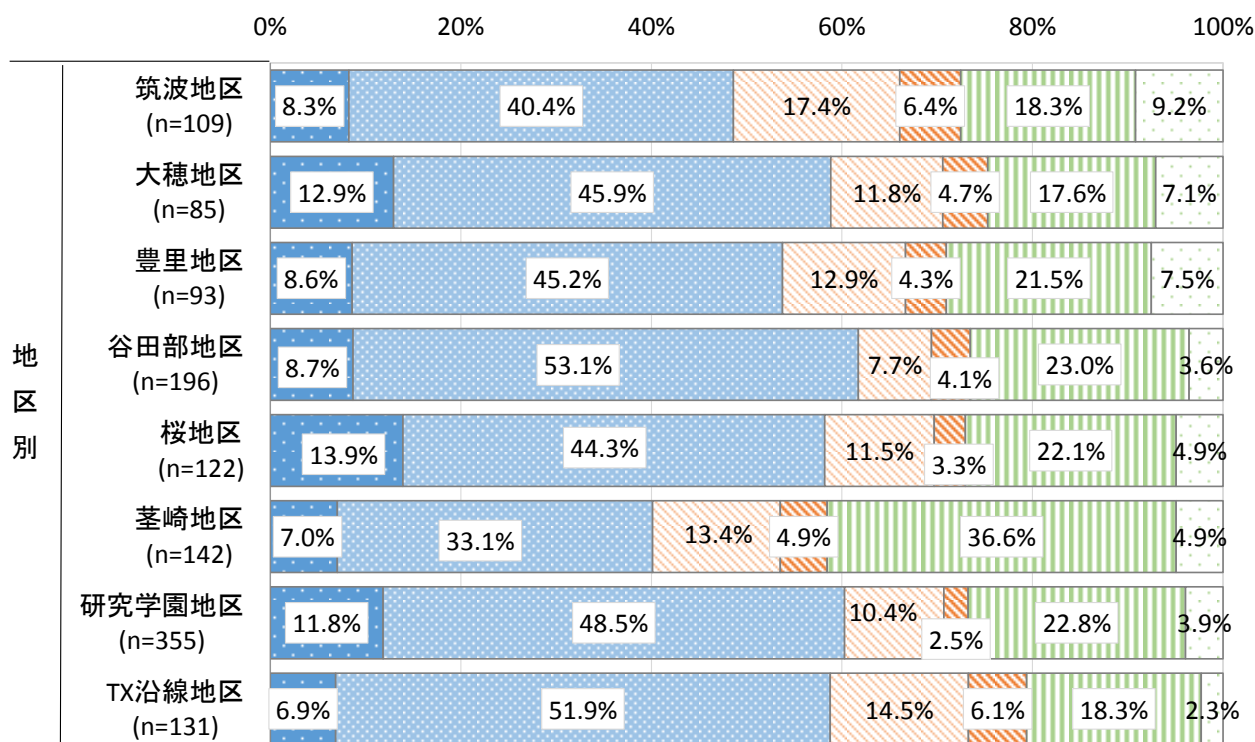
<年齢別>

- ・10歳代では、『そう思う（計）』が80%を超えている。

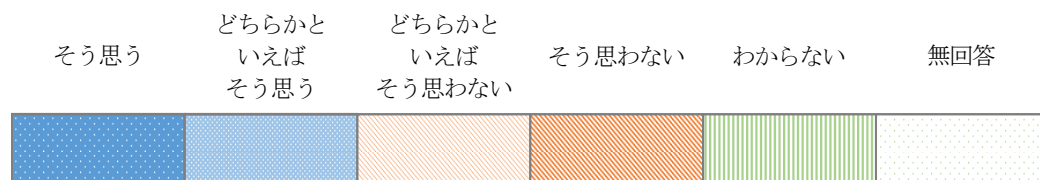


<地区別>

- ・すべての地区で、『そう思う（計）』が最も多く、40%を超えている。

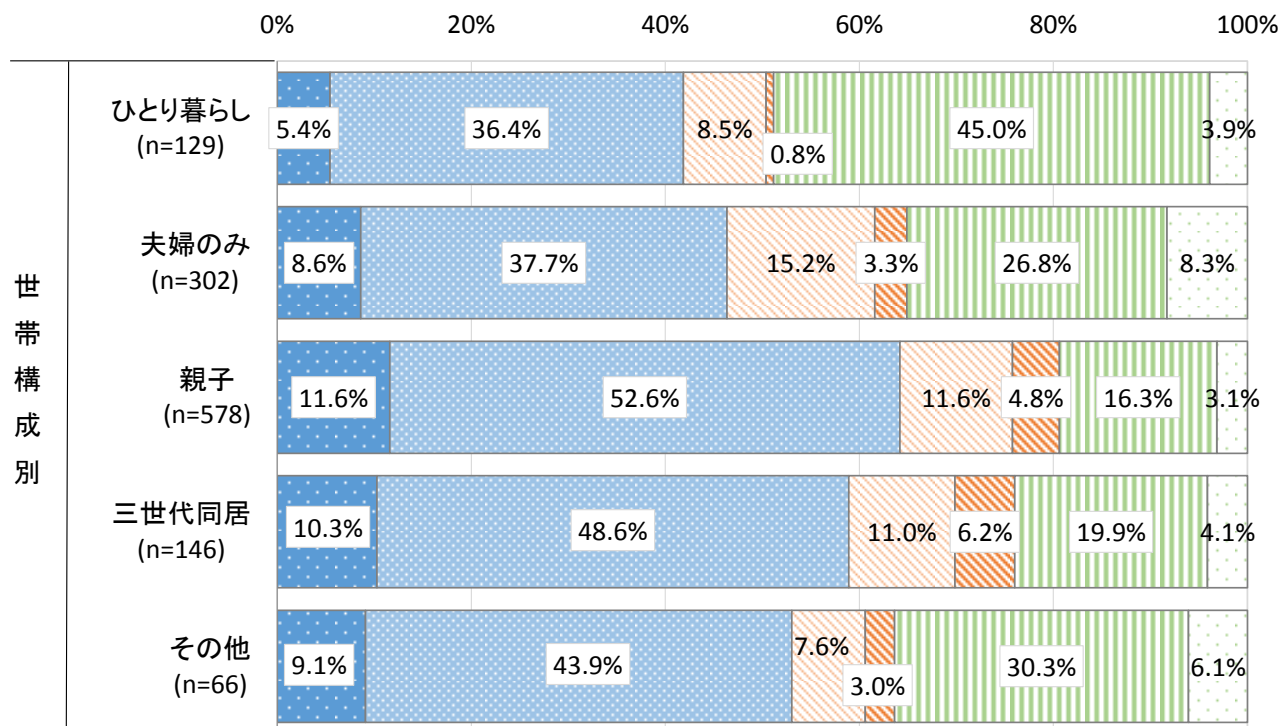


②-2 クロス集計の結果（問 22 と世帯構成別・世帯に含む人別構成比）



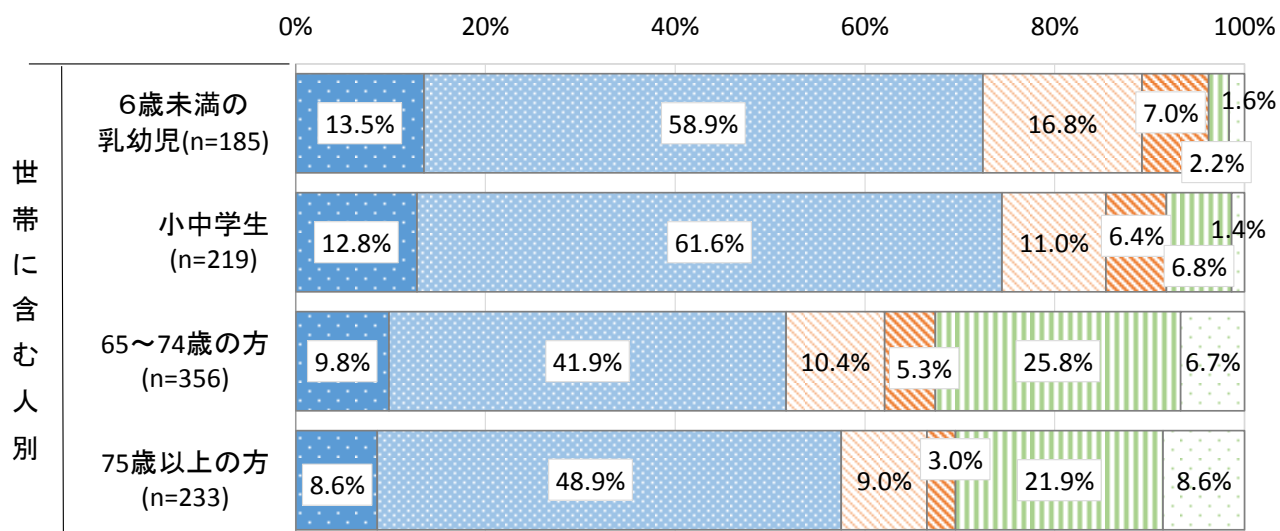
<世帯構成別>

- ・親子では、『そう思う（計）』が60%を超えている。



<世帯に含む人別>

- ・いずれの方がいる世帯でも、『そう思う（計）』が50%を超えており、特に子育て世帯は、『そう思う（計）』が70%を超えている。



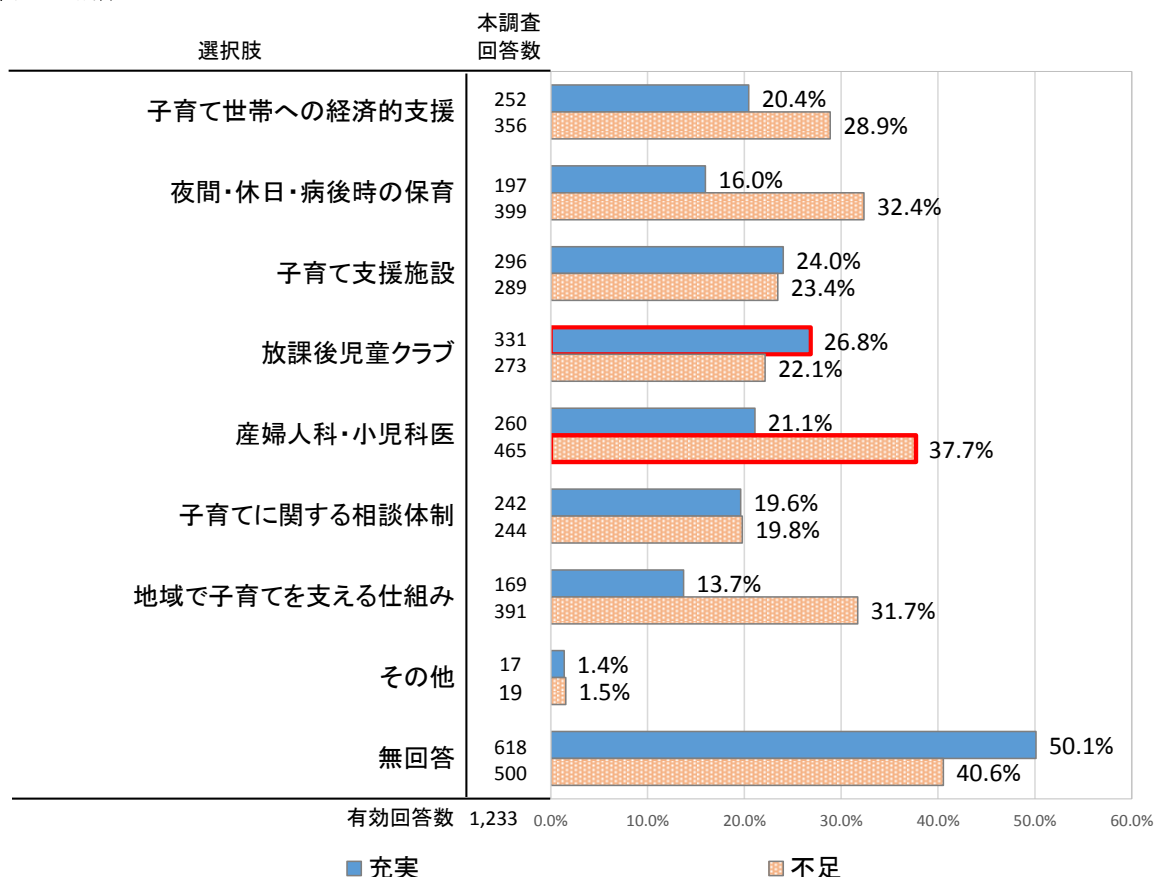
問 23 安心して子どもを生み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。
 <○は当てはまる欄すべて>

① 全体集計の結果

◇子育て環境について、充実していると思うものは「放課後児童クラブ」（2割台半ば）、不足していると思うものは「産婦人科・小児科医」（4割近く）

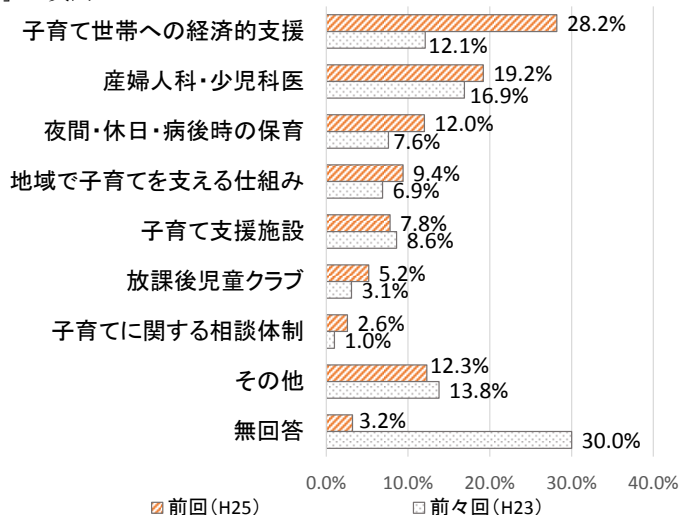
- ・つくば市で充実していると思うものについては、「放課後児童クラブ」が 331 人(26.8%)で最も多く、次いで「子育て支援施設」が 296 人(24.0%)となっている。
- ・つくば市で不足していると思うものについては、「産婦人科・小児科医」が 465 人(37.7%)で最も多く、次いで「夜間・休日・病後時の保育」が 399 人(32.4%)となっている。

<本調査の構成比>



<過年度調査の結果>

※前回調査までは、前問で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」と回答した人に「つくば市に不足していると思うものは何ですか。」と質問



②-1 クロス集計の結果（問 23 充実していると思うものと年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・10～20 歳代, 50 歳代～74 歳では, 「放課後児童クラブ」が最も多く, 30～40 歳代では「子育て支援施設」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援/産婦人科・小児科医		子育て支援施設		子育て支援施設/子育てに関する相談体制			
	9	64.3%	8		57.1%		6		42.9%	
20歳代 (n=113)	放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医		子育て支援施設		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援/地域で子育てを支える仕組み	
	28	24.8%	25	22.1%	24	21.2%	19	16.8%	17	15.0%
30歳代 (n=221)	子育て支援施設		子育てに関する相談体制		産婦人科・小児科医		放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援	
	70	31.7%	61	27.6%	47	21.3%	46	20.8%	39	17.6%
40歳代 (n=228)	子育て支援施設		放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		産婦人科・小児科医		子育てに関する相談体制	
	67	29.4%	66	28.9%	61	26.8%	58	25.4%	44	19.3%
50歳代 (n=206)	放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		子育て支援施設/産婦人科・小児科医				子育てに関する相談体制	
	72	35.0%	51	24.8%	50		24.3%		43	20.9%
60～64歳 (n=125)	放課後児童クラブ		子育てに関する相談体制		産婦人科・小児科医		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援	
	30	24.0%	23	18.4%	22	17.6%	21	16.8%	20	16.0%
65～69歳 (n=158)	放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援/産婦人科・小児科医				子育て支援施設/子育てに関する相談体制			
	41	25.9%	32		20.3%		28		17.7%	
70～74歳 (n=94)	放課後児童クラブ		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援		夜間・休日・病後時の保育		子育てに関する相談体制	
	29	30.9%	22	23.4%	17	18.1%	16	17.0%	15	16.0%
75歳以上 (n=66)	産婦人科・小児科医		放課後児童クラブ		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援		子育てに関する相談体制	
	9	13.6%	8	12.1%	6	9.1%	5	7.6%	4	6.1%

<地区別>

- ・すべての地区で, 「子育て支援施設」と「放課後児童クラブ」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	子育て世帯への経済的支援/放課後児童クラブ				子育てに関する相談体制		子育て支援施設		産婦人科・小児科医	
	26		23.9%		21	19.3%	19	17.4%	18	16.5%
大穂地区 (n=85)	子育て支援施設 / 放課後児童クラブ				子育て世帯への経済的支援		夜間・休日・病後時の保育/産婦人科・小児科医			
	25		29.4%		21	24.7%	17		20.0%	
豊里地区 (n=93)	放課後児童クラブ		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援		子育てに関する相談体制		夜間・休日・病後時の保育	
	25	26.9%	23	24.7%	21	22.6%	17	18.3%	16	17.2%
谷田部地区 (n=196)	放課後児童クラブ		子育て支援施設		産婦人科・小児科医		子育てに関する相談体制		夜間・休日・病後時の保育	
	60	30.6%	53	27.0%	52	26.5%	48	24.5%	39	19.9%
桜地区 (n=122)	放課後児童クラブ		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援		夜間・休日・病後時の保育/産婦人科・小児科医			
	42	34.4%	37	30.3%	30	24.6%	22		18.0%	
荃崎地区 (n=142)	放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		産婦人科・小児科医		子育て支援施設		子育てに関する相談体制	
	32	22.5%	27	19.0%	20	14.1%	19	13.4%	18	12.7%
研究学園地区 (n=355)	放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医		子育て支援施設		子育てに関する相談体制		子育て世帯への経済的支援	
	96	27.0%	92	25.9%	85	23.9%	78	22.0%	67	18.9%
T X 沿線地区 (n=131)	子育て支援施設		産婦人科・小児科医		放課後児童クラブ/子育てに関する相談体制				子育て世帯への経済的支援	
	35	26.7%	28	21.4%	25		19.1%		22	16.8%

②-2 クロス集計の結果（問 23 充実していると思うものと世帯構成別・世帯に含む人別構成比 上位 5 位）

<世帯構成別>

- ・夫婦のみ，三世帯同居では，「放課後児童クラブ」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
ひとり暮らし (n=129)	産婦人科・小児科医		子育て支援施設/放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		夜間・休日・病後時の保育			
	26	20.2%	20		15.5%		18	14.0%	14	10.9%
夫婦のみ (n=302)	放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医		子育て世帯への経済的支援/子育て支援施設		子育てに関する相談体制			
	70	23.2%	49	16.2%	43		14.2%		40	13.2%
親子 (n=578)	子育て支援施設		放課後児童クラブ		子育てに関する相談体制		子育て世帯への経済的支援/産婦人科・小児科医			
	180	31.1%	179	31.0%	136	23.5%	134		23.2%	
三世帯同居 (n=146)	放課後児童クラブ		産婦人科・小児科医		子育て世帯への経済的支援		子育て支援施設		子育てに関する相談体制	
	44	30.1%	39	26.7%	38	26.0%	37	25.3%	36	24.7%
その他 (n=66)	子育て世帯への経済的支援/子育てに関する相談体制		子育て支援施設/放課後児童クラブ				夜間・休日・病後時の保育/産婦人科・小児科医			
	16		24.2%		15		22.7%		12	18.2%

<世帯に含む人別>

- ・6歳未満の乳幼児を含む世帯では，「子育て支援施設」が最も多く，それ以外の世帯では「放課後児童クラブ」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
6歳未満の乳 幼児 (n=185)	子育て支援施設		子育てに関する相談体制		子育て世帯への経済的支援/産婦人科・小児科医		放課後児童クラブ			
	91	49.2%	78	42.2%	53		28.6%		50	27.0%
小中学生 (n=219)	放課後児童クラブ		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援		産婦人科・小児科医		子育てに関する相談体制	
	86	39.3%	80	36.5%	69	31.5%	64	29.2%	63	28.8%
65～74歳の方 (n=356)	放課後児童クラブ		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援		産婦人科・小児科医		子育てに関する相談体制	
	83	23.3%	68	19.1%	65	18.3%	61	17.1%	50	14.0%
75歳以上の方 (n=233)	放課後児童クラブ		子育て世帯への経済的支援		子育て支援施設/産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育/子育てに関する相談体制			
	58	24.9%	46	19.7%	45		19.3%		36	15.5%

③-1 クロス集計の結果（問 23 不足していると思うものと年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・30 歳代～74 歳では、「産婦人科・小児科医」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	夜間・休日・病後時の保育		子育て支援施設/地域で子育てを支える仕組み		子育てを支える仕組み		子育て世帯への経済的支援/産婦人科・小児科医/子育てに関する相談体制			
	6	42.9%	4		28.6%		3		21.4%	
20歳代 (n=113)	子育て世帯への経済的支援		産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		子育て支援施設	
	40	35.4%	35	31.0%	33	29.2%	32	28.3%	28	24.8%
30歳代 (n=221)	産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援		地域で子育てを支える仕組み		放課後児童クラブ	
	110	49.8%	88	39.8%	87	39.4%	72	32.6%	61	27.6%
40歳代 (n=228)	産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ	
	78	34.2%	72	31.6%	71	31.1%	66	28.9%	62	27.2%
50歳代 (n=206)	産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援		子育て支援施設	
	79	38.3%	77	37.4%	66	32.0%	60	29.1%	53	25.7%
60～64歳 (n=125)	産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育		地域で子育てを支える仕組み		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援	
	56	44.8%	43	34.4%	39	31.2%	37	29.6%	34	27.2%
65～69歳 (n=158)	産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援	
	54	34.2%	53	33.5%	51	32.3%	44	27.8%	36	22.8%
70～74歳 (n=94)	産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育		地域で子育てを支える仕組み		子育て世帯への経済的支援/子育てに関する相談体制			
	33	35.1%	25	26.6%	24	25.5%	20		21.3%	
75歳以上 (n=66)	地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		産婦人科・小児科医		子育て支援施設		放課後児童クラブ	
	15	22.7%	14	21.2%	13	19.7%	11	16.7%	10	15.2%

<地区別>

- ・すべての地区で、「産婦人科・小児科医」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	産婦人科・小児科医/地域で子育てを支える仕組み				夜間・休日・病後時の保育		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援	
	51		46.8%		44	40.4%	41	37.6%	40	36.7%
大穂地区 (n=85)	産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援/子育てに関する相談体制			
	38	44.7%	31	36.5%	30	35.3%	23		27.1%	
豊里地区 (n=93)	産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援	
	40	43.0%	28	30.1%	27	29.0%	22	23.7%	19	20.4%
谷田部地区 (n=196)	産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援		地域で子育てを支える仕組み		子育て支援施設	
	75	38.3%	64	32.7%	58	29.6%	54	27.6%	43	21.9%
桜地区 (n=122)	産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援		子育てに関する相談体制	
	48	39.3%	36	29.5%	33	27.0%	31	25.4%	30	24.6%
基崎地区 (n=142)	産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育		地域で子育てを支える仕組み		子育て世帯への経済的支援/子育て支援施設			
	52	36.6%	49	34.5%	47	33.1%	41		28.9%	
研究学園地区 (n=355)	産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援		地域で子育てを支える仕組み		子育て支援施設	
	108	30.4%	103	29.0%	98	27.6%	97	27.3%	69	19.4%
TX沿線地区 (n=131)	産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育		地域で子育てを支える仕組み		子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ	
	53	40.5%	49	37.4%	47	35.9%	46	35.1%	35	26.7%

③-2 クロス集計の結果（問 23 不足していると思うものと世帯構成別・世帯に含む人別構成比 上位 5 位）

<世帯構成別>

- ・夫婦のみ，親子，三世帯同居では，「産婦人科・小児科医」，ひとり暮らし，その他では「地域で子育てを支える仕組み」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
ひとり暮らし (n=129)	地域で子育てを支える仕組み		子育て世帯への経済的支援/夜間・休日・病後時の保育/子育てに関する相談体制						子育て支援施設	
	32	24.8%	24			18.6%			22	17.1%
夫婦のみ (n=302)	産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育		地域で子育てを支える仕組み		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援	
	94	31.1%	78	25.8%	76	25.2%	71	23.5%	63	20.9%
親子 (n=578)	産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育		地域で子育てを支える仕組み		子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ	
	258	44.6%	216	37.4%	194	33.6%	192	33.2%	139	24.0%
三世帯同居 (n=146)	産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援		放課後児童クラブ	
	62	42.5%	59	40.4%	56	38.4%	53	36.3%	45	30.8%
その他 (n=66)	地域で子育てを支える仕組み		産婦人科・小児科医		子育て世帯への経済的支援/夜間・休日・病後時の保育				子育て支援施設	
	26	39.4%	23	34.8%	21		31.8%		19	28.8%

<世帯に含む人別>

- ・いずれの方がいる世帯でも，「産婦人科・小児科医」が最も多く，「地域で子育てを支える仕組み」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
6 歳未満の乳幼児 (n=185)	産婦人科・小児科医		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援		地域で子育てを支える仕組み		放課後児童クラブ	
	103	55.7%	92	49.7%	86	46.5%	67	36.2%	65	35.1%
小中学生 (n=219)	産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		子育て世帯への経済的支援/夜間・休日・病後時の保育		放課後児童クラブ			
	98	44.7%	83	37.9%	82		37.4%		68	31.1%
65～74歳の方 (n=356)	産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		子育て世帯への経済的支援		子育て支援施設	
	122	34.3%	112	31.5%	110	30.9%	85	23.9%	84	23.6%
75歳以上の方 (n=233)	産婦人科・小児科医		地域で子育てを支える仕組み		夜間・休日・病後時の保育		子育て支援施設		子育て世帯への経済的支援	
	89	38.2%	84	36.1%	74	31.8%	61	26.2%	60	25.8%

問 24 あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。

<〇は1つ>

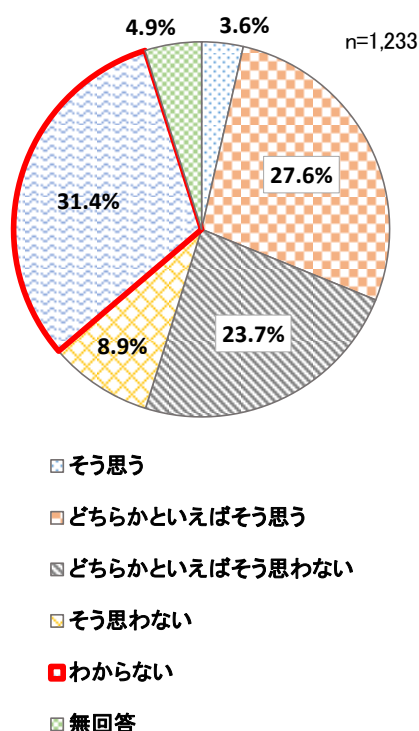
① 全体集計の結果

◇高齢者が安心して住み続けられる環境が整っているかについては、『そう思う（計）』と『そう思わない（計）』がほぼ同数

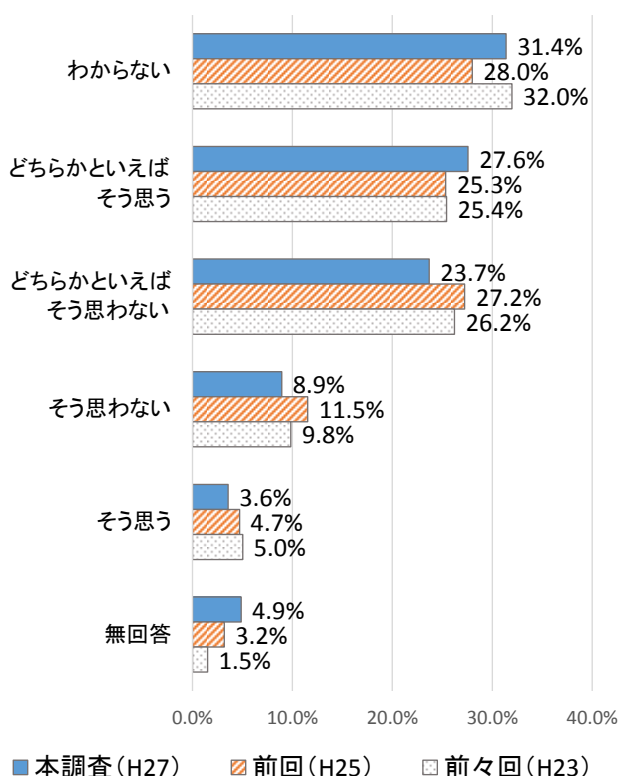
- ・つくば市に住み続けられるかについては、「わからない」が 387 人(31.4%)で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 340 人(27.6%)となっている。
- ・「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』が 31.2%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』 32.6%であり、ほぼ同数であった。

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
そう思う	44	3.6%	4.7%	5.0%
どちらかといえばそう思う	340	27.6%	25.3%	25.4%
どちらかといえばそう思わない	292	23.7%	27.2%	26.2%
そう思わない	110	8.9%	11.5%	9.8%
わからない	387	31.4%	28.0%	32.0%
無回答	60	4.9%	3.2%	1.5%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

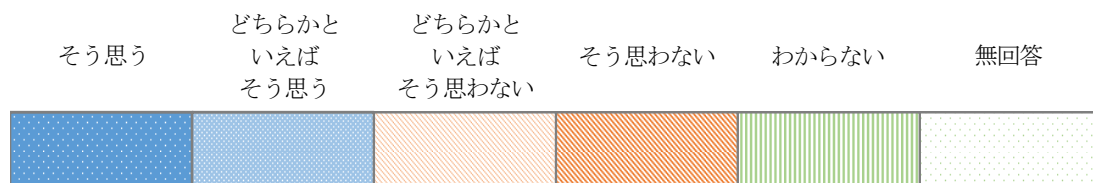
<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>

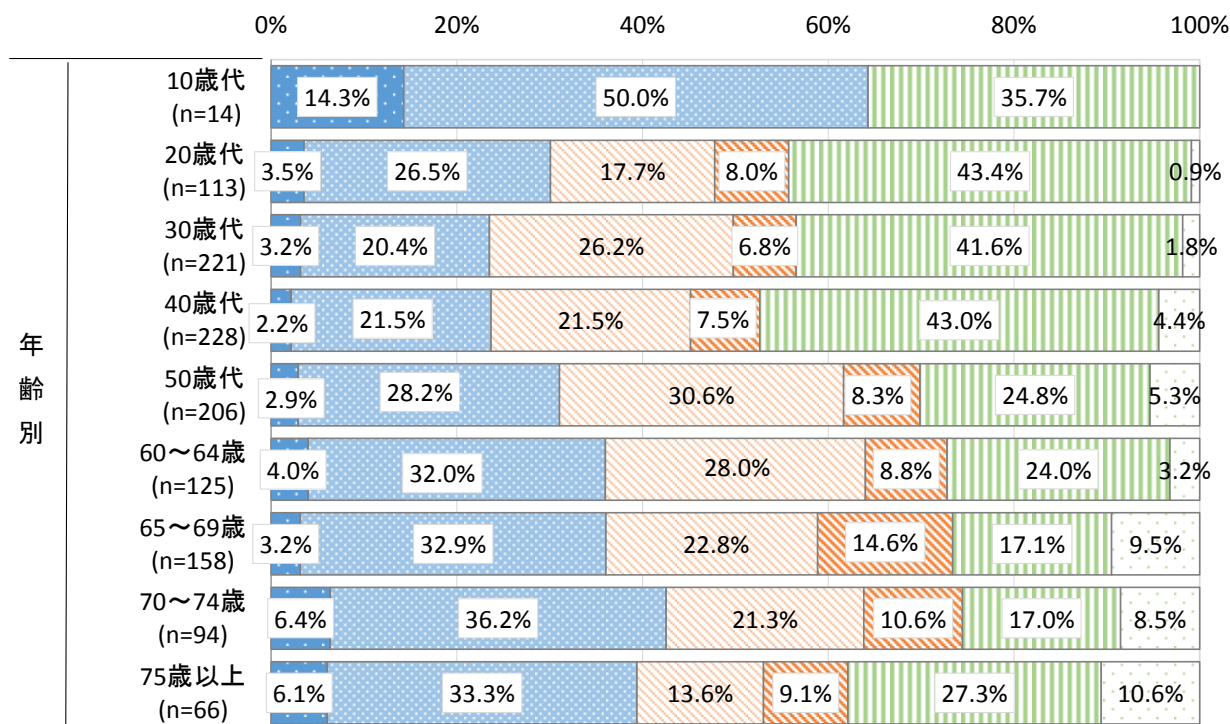


②－１ クロス集計の結果（問 24 と年齢別・地区別構成比）



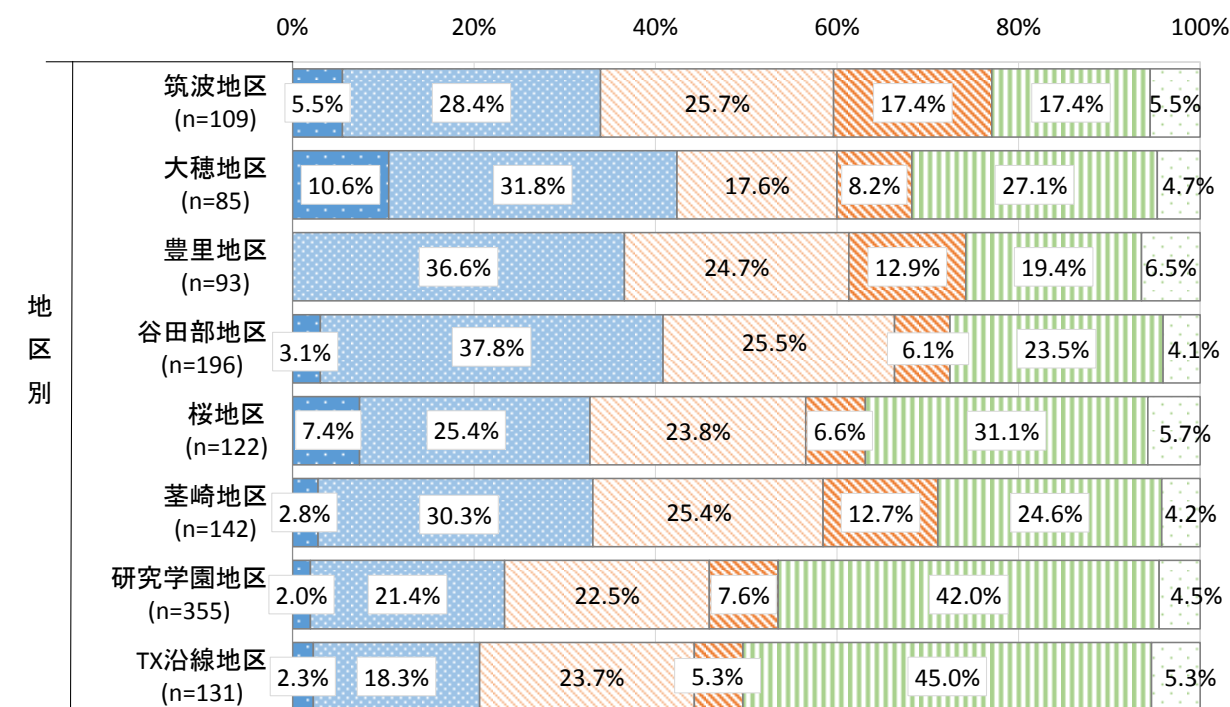
<年齢別>

- ・10 歳代～40 歳代では、「わからない」が他の年齢に比べて多く、35%を超えている。
- ・10 歳代、20 歳代、70 歳以上では、『そう思う（計）』が、『そう思わない（計）』より多くなっている。

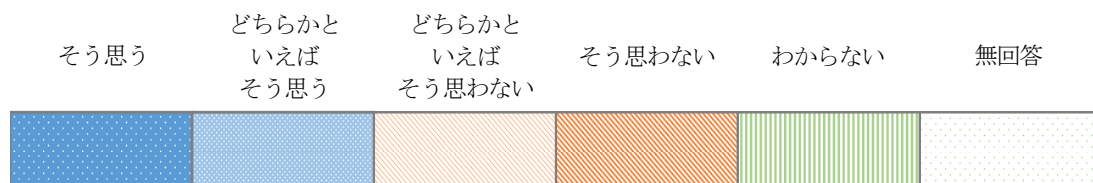


<地区別>

- ・研究学園地区とTX沿線地区では、「わからない」が他の地区に比べて多く、40%を超えている。

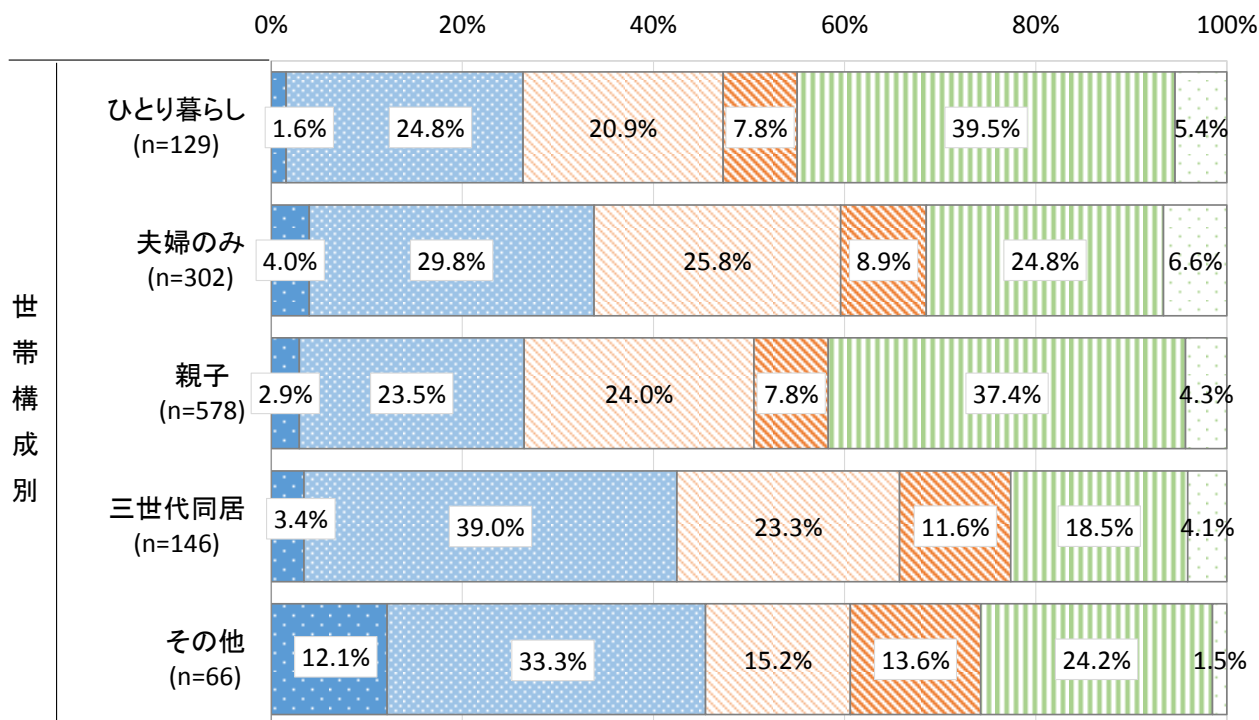


②-2 クロス集計の結果（問 24 と世帯構成別・世帯に含む人別構成比）



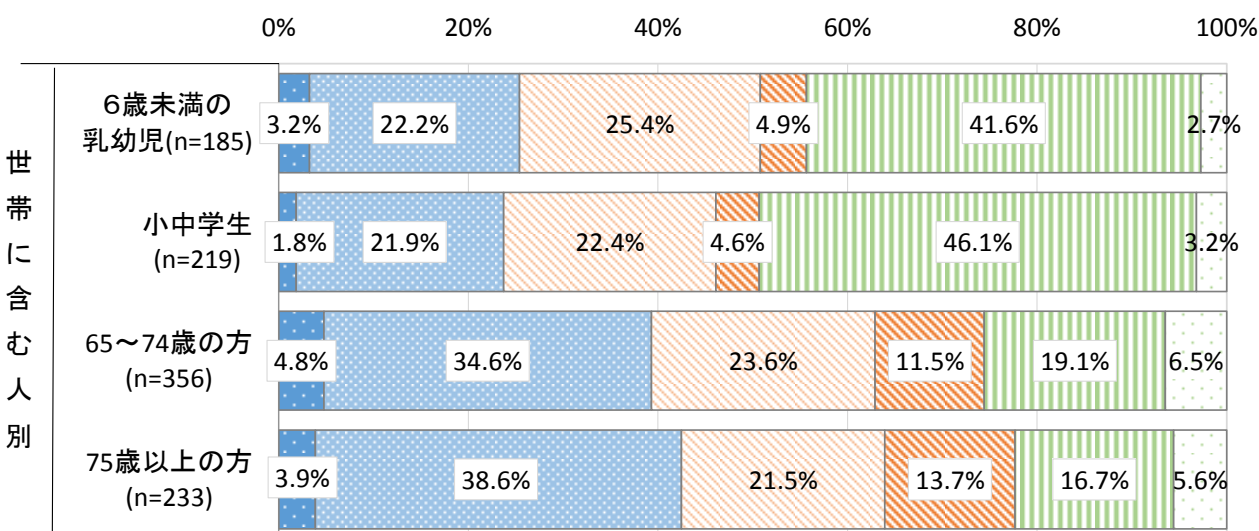
<世帯構成別>

- ・三世代同居の世帯では、『そう思う（計）』が40%を超えている。



<世帯に含む人別>

- ・65歳以上の方がいる世帯では、『そう思う（計）』が35%を超えている。



問 25 高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

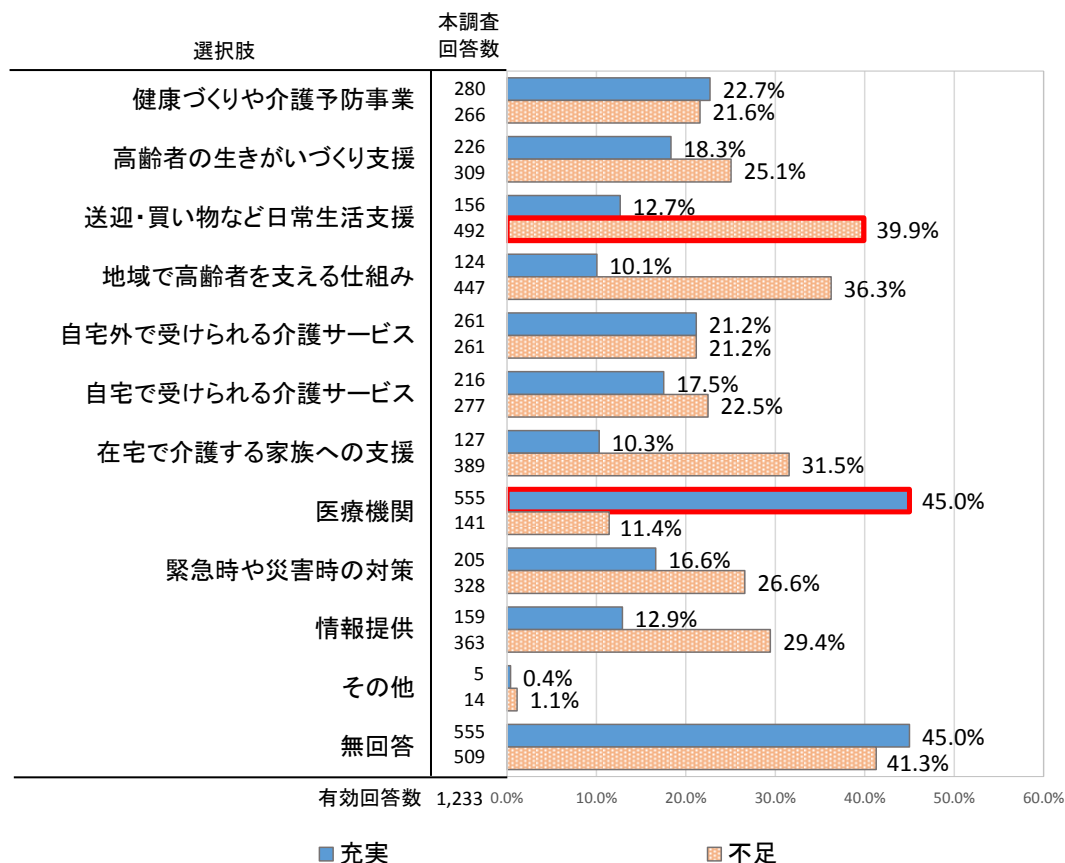
＜○は当てはまる欄すべて＞

① 全体集計の結果

◇高齢者の生活環境について、充実していると思うものは「医療機関」が4割台半ば、不足していると思うものは「送迎・買い物など日常生活支援」が4割近く

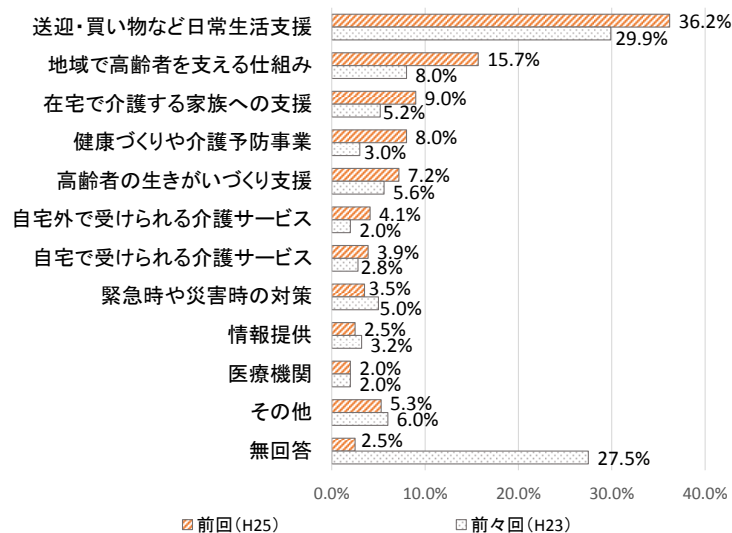
- ・充実していると思うものについては、「医療機関」が 555 人（45.0%）で最も多く、次いで「健康づくりや介護予防事業」が 280 人（22.7%）となっている。
- ・不足していると思うものについては、「送迎・買い物など日常生活支援」が 492 人（39.9%）で最も多く、次いで「地域で高齢者を支える仕組み」447 人（36.3%）となっている。

＜本調査の構成比＞



＜過年度調査の結果＞

※前回調査までは、前問で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」と回答した人に「つくば市に不足していると思うものは何ですか。」と質問



②-1 クロス集計の結果（問 25 充実していると思うものと年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・すべての年齢で、「医療機関」が最も多く、10 歳代以外で「健康づくりや介護予防事業」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	医療機関		送迎・買い物など日常生活支援/自宅外で受けられる介護サービス/自宅で受けられる介護サービス/緊急時や災害時の対策							
	9	64.3%	7				50.0%			
20歳代 (n=113)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		自宅外で受けられる介護サービス		緊急時や災害時の対策	
	44	38.9%	25	22.1%	23	20.4%	20	17.7%	16	14.2%
30歳代 (n=221)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		自宅で受けられる介護サービス		高齢者の生きがいづくり支援	
	91	41.2%	44	19.9%	40	18.1%	36	16.3%	32	14.5%
40歳代 (n=228)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		高齢者の生きがいづくり支援		自宅で受けられる介護サービス	
	92	40.4%	45	19.7%	37	16.2%	36	15.8%	34	14.9%
50歳代 (n=206)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		高齢者の生きがいづくり支援		緊急時や災害時の対策	
	103	50.0%	46	22.3%	43	20.9%	41	19.9%	40	19.4%
60～64歳 (n=125)	医療機関		自宅外で受けられる介護サービス		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		自宅で受けられる介護サービス/緊急時や災害時の対策	
	66	52.8%	34	27.2%	26	20.8%	25	20.0%	22	17.6%
65～69歳 (n=158)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		自宅で受けられる介護サービス/緊急時や災害時の対策			
	73	46.2%	42	26.6%	40	25.3%	34		21.5%	
70～74歳 (n=94)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		高齢者の生きがいづくり支援		緊急時や災害時の対策	
	47	50.0%	29	30.9%	25	26.6%	21	22.3%	20	21.3%
75歳以上 (n=66)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		自宅外で受けられる介護サービス		緊急時や災害時の対策	
	27	40.9%	15	22.7%	13	19.7%	12	18.2%	11	16.7%

<地区別>

- ・すべての地区で、「医療機関」が最も多く、「健康づくりや介護予防事業」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	医療機関		自宅外で受けられる介護サービス		健康づくりや介護予防事業		自宅で受けられる介護サービス		緊急時や災害時の対策	
	54	49.5%	35	32.1%	30	27.5%	28	25.7%	27	24.8%
大穂地区 (n=85)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		自宅で受けられる介護サービス		高齢者の生きがいづくり支援	
	44	51.8%	29	34.1%	26	30.6%	22	25.9%	21	24.7%
豊里地区 (n=93)	医療機関		健康づくりや介護予防事業/自宅外で受けられる介護サービス				高齢者の生きがいづくり支援		自宅で受けられる介護サービス/緊急時や災害時の対策	
	45	48.4%	22		23.7%		21	22.6%	18	19.4%
谷田部地区 (n=196)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		自宅で受けられる介護サービス/緊急時や災害時の対策			
	93	47.4%	52	26.5%	47	24.0%	45		23.0%	
桜地区 (n=122)	医療機関		自宅外で受けられる介護サービス		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		自宅で受けられる介護サービス	
	56	45.9%	29	23.8%	27	22.1%	25	20.5%	23	18.9%
茎崎地区 (n=142)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいづくり支援		自宅外で受けられる介護サービス		送迎・買い物など日常生活支援/自宅で受けられる介護サービス/情報提供	
	53	37.3%	37	26.1%	31	21.8%	29	20.4%	18	12.7%
研究学園地区 (n=355)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		高齢者の生きがいづくり支援		情報提供	
	162	45.6%	69	19.4%	60	16.9%	53	14.9%	51	14.4%
TX沿線地区 (n=131)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス/自宅で受けられる介護サービス				高齢者の生きがいづくり支援	
	48	36.6%	14	10.7%	13		9.9%		12	9.2%

②-2 クロス集計の結果（問 25 充実していると思うものと世帯構成別・世帯に含む人別構成比 上位 5 位）

<世帯構成別>

- すべての世帯構成で、「医療機関」が最も多く、「健康づくりや介護予防事業」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
ひとり暮らし (n=129)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいきり支援/自宅外で受けられる介護サービス		自宅で受けられる介護サービス/緊急時や災害時の対策			
	51	39.5%	22	17.1%	19		14.7%		18	14.0%
夫婦のみ (n=302)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいきり支援		自宅外で受けられる介護サービス		緊急時や災害時の対策	
	129	42.7%	66	21.9%	51	16.9%	48	15.9%	43	14.2%
親子 (n=578)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		高齢者の生きがいきり支援		自宅で受けられる介護サービス	
	261	45.2%	133	23.0%	123	21.3%	112	19.4%	102	17.6%
三世帯同居 (n=146)	医療機関		自宅外で受けられる介護サービス		健康づくりや介護予防事業		緊急時や災害時の対策		自宅で受けられる介護サービス	
	75	51.4%	39	26.7%	37	25.3%	32	21.9%	31	21.2%
その他 (n=66)	医療機関		自宅外で受けられる介護サービス		自宅で受けられる介護サービス		健康づくりや介護予防事業		緊急時や災害時の対策	
	34	51.5%	27	40.9%	19	28.8%	18	27.3%	17	25.8%

<世帯に含む人別>

- いずれの方がいる世帯でも、「医療機関」が最も多く、「健康づくりや介護予防事業」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
6 歳未満の乳幼児 (n=185)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいきり支援		自宅外で受けられる介護サービス		緊急時や災害時の対策	
	90	48.6%	51	27.6%	41	22.2%	40	21.6%	36	19.5%
小中学生 (n=219)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		高齢者の生きがいきり支援		自宅外で受けられる介護サービス		自宅で受けられる介護サービス	
	94	42.9%	53	24.2%	43	19.6%	42	19.2%	36	16.4%
65～74歳の方 (n=356)	医療機関		健康づくりや介護予防事業		自宅外で受けられる介護サービス		緊急時や災害時の対策		高齢者の生きがいきり支援	
	181	50.8%	89	25.0%	87	24.4%	71	19.9%	70	19.7%
75歳以上の方 (n=233)	医療機関		自宅外で受けられる介護サービス		健康づくりや介護予防事業		自宅で受けられる介護サービス		緊急時や災害時の対策	
	123	52.8%	74	31.8%	62	26.6%	55	23.6%	51	21.9%

③－１ クロス集計の結果（問 25 不足していると思うものと年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・20 歳代～64 歳，75 歳以上で，「送迎・買い物など日常生活支援」，10 歳代，65～74 歳では「地域で高齢者を支える仕組み」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業/高齢者の生きがいがづくり支援/情報提供						送迎・買い物など日常生活支援/自宅外で受けられる介護サービス/自宅で受けられる介護サービス/在宅で介護する家族への支援/医療機関/緊急時や災害時の対策	
	4	28.6%	3		21.4%		2		14.3%	
20歳代 (n=113)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		緊急時や災害時の対策/情報提供			
	37	32.7%	35	31.0%	28	24.8%	26	23.0%		
30歳代 (n=221)	送迎・買い物など日常生活支援		情報提供		地域で高齢者を支える仕組み		緊急時や災害時の対策		在宅で介護する家族への支援	
	80	36.2%	68	30.8%	65	29.4%	58	26.2%	56	25.3%
40歳代 (n=228)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		緊急時や災害時の対策		情報提供	
	85	37.3%	67	29.4%	59	25.9%	51	22.4%	50	21.9%
50歳代 (n=206)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		情報提供		緊急時や災害時の対策	
	89	43.2%	84	40.8%	73	35.4%	70	34.0%	56	27.2%
60～64歳 (n=125)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		情報提供		高齢者の生きがいがづくり支援	
	62	49.6%	55	44.0%	48	38.4%	47	37.6%	42	33.6%
65～69歳 (n=158)	地域で高齢者を支える仕組み		送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		高齢者の生きがいがづくり支援		緊急時や災害時の対策/情報提供	
	71	44.9%	70	44.3%	63	39.9%	55	34.8%	45	28.5%
70～74歳 (n=94)	地域で高齢者を支える仕組み		送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		情報提供		緊急時や災害時の対策	
	47	50.0%	43	45.7%	38	40.4%	37	39.4%	36	38.3%
75歳以上 (n=66)	送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み/自宅で受けられる介護サービス				自宅外で受けられる介護サービス	
	21	31.8%	20	30.3%	16	24.2%	24.2%		15	22.7%

<地区別>

- ・大穂地区，研究学園地区では，「地域で高齢者を支える仕組み」，豊里地区では，「在宅で介護する家族への支援」，それ以外の地区では，「送迎・買い物など日常生活支援」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		情報提供		高齢者の生きがいがづくり支援	
	67	61.5%	61	56.0%	60	55.0%	47	43.1%	46	42.2%
大穂地区 (n=85)	地域で高齢者を支える仕組み		送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		情報提供		高齢者の生きがいがづくり支援	
	35	41.2%	34	40.0%	32	37.6%	26	30.6%	25	29.4%
豊里地区 (n=93)	在宅で介護する家族への支援		送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		健康づくりや介護予防事業		自宅で受けられる介護サービス/情報提供	
	41	44.1%	40	43.0%	32	34.4%	27	29.0%	26	28.0%
谷田部地区 (n=196)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		情報提供		高齢者の生きがいがづくり支援	
	81	41.3%	68	34.7%	58	29.6%	57	29.1%	52	26.5%
桜地区 (n=122)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		情報提供		在宅で介護する家族への支援		緊急時や災害時の対策	
	45	36.9%	43	35.2%	39	32.0%	36	29.5%	32	26.2%
茎崎地区 (n=142)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		緊急時や災害時の対策		情報提供		在宅で介護する家族への支援	
	73	51.4%	62	43.7%	55	38.7%	49	34.5%	47	33.1%
研究学園地区 (n=355)	地域で高齢者を支える仕組み		送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		情報提供		緊急時や災害時の対策	
	108	30.4%	106	29.9%	84	23.7%	83	23.4%	76	21.4%
TX沿線地区 (n=131)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		情報提供		緊急時や災害時の対策		在宅で介護する家族への支援	
	46	35.1%	38	29.0%	36	27.5%	33	25.2%	31	23.7%

③ー２ クロス集計の結果（問 25 不足していると思うものと世帯構成別・世帯に含む人別構成比 上位 5 位）

＜世帯構成別＞

- ・その他以外の世帯構成で、「送迎・買い物など日常生活支援」、その他の世帯構成では「地域で高齢者を支える仕組み」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
ひとり暮らし (n=129)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み/情報提供				高齢者の生きがいきり支援		健康づくりや介護予防事業	
	43	33.3%	35		27.1%		32	24.8%	28	21.7%
夫婦のみ (n=302)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		情報提供		緊急時や災害時の対策	
	126	41.7%	116	38.4%	96	31.8%	86	28.5%	82	27.2%
親子 (n=578)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		情報提供		緊急時や災害時の対策	
	221	38.2%	203	35.1%	179	31.0%	167	28.9%	156	27.0%
三世代同居 (n=146)	送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み		情報提供		高齢者の生きがいきり支援	
	70	47.9%	59	40.4%	57	39.0%	48	32.9%	44	30.1%
その他 (n=66)	地域で高齢者を支える仕組み		高齢者の生きがいきり支援		送迎・買い物など日常生活支援/在宅で介護する家族への支援		情報提供			
	32	48.5%	30	45.5%	29		43.9%		24	36.4%

＜世帯に含む人別＞

- ・いずれの方がいる世帯でも、「送迎・買い物など日常生活支援」が最も多く、「地域で高齢者を支える仕組み」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
6 歳未満の乳幼児 (n=185)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		情報提供		緊急時や災害時の対策	
	65	35.1%	62	33.5%	50	27.0%	47	25.4%	43	23.2%
小中学生 (n=219)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		情報提供		緊急時や災害時の対策	
	85	38.8%	73	33.3%	59	26.9%	57	26.0%	53	24.2%
65～74歳の方 (n=356)	送迎・買い物など日常生活支援		地域で高齢者を支える仕組み		在宅で介護する家族への支援		情報提供		緊急時や災害時の対策	
	157	44.1%	155	43.5%	126	35.4%	114	32.0%	110	30.9%
75歳以上の方 (n=233)	送迎・買い物など日常生活支援		在宅で介護する家族への支援		地域で高齢者を支える仕組み		情報提供		高齢者の生きがいきり支援	
	111	47.6%	101	43.3%	97	41.6%	77	33.0%	74	31.8%

8 スポーツの振興について

問 26 あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。

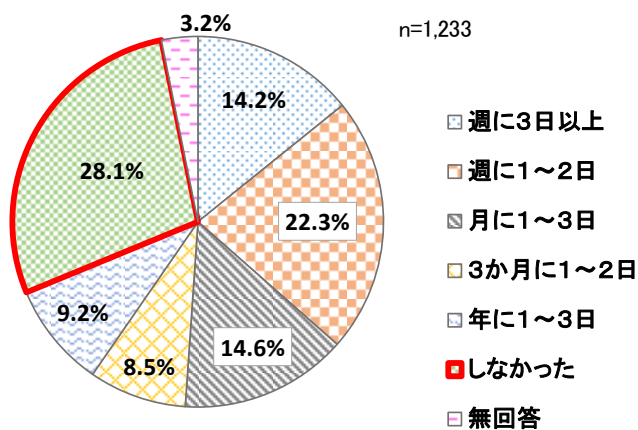
<○は1つ>

① 全体集計の結果

◇年間のスポーツ頻度は、『週に1日以上（計）』が3割台半ばの一方、「しなかった」が3割近く

- ・この一年間に運動やスポーツをどのくらいしたかについては、「しなかった」が346人（28.1%）で最も多く、次いで「週に1～2日」が275人（22.3%）となっている。
- ・「週に3日以上」と「週に1～2日」を合わせた『週に1日以上（計）』は36.5%である。

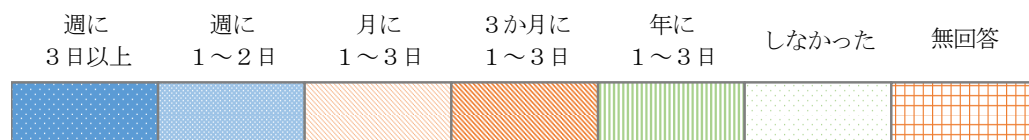
<本調査の構成比>



選択肢	回答数（人）	構成比
週に3日以上	175	14.2%
週に1～2日	275	22.3%
月に1～3日	180	14.6%
3か月に1～2日	105	8.5%
年に1～3日	113	9.2%
しなかった	346	28.1%
無回答	39	3.2%
全体	1,233	100.0%

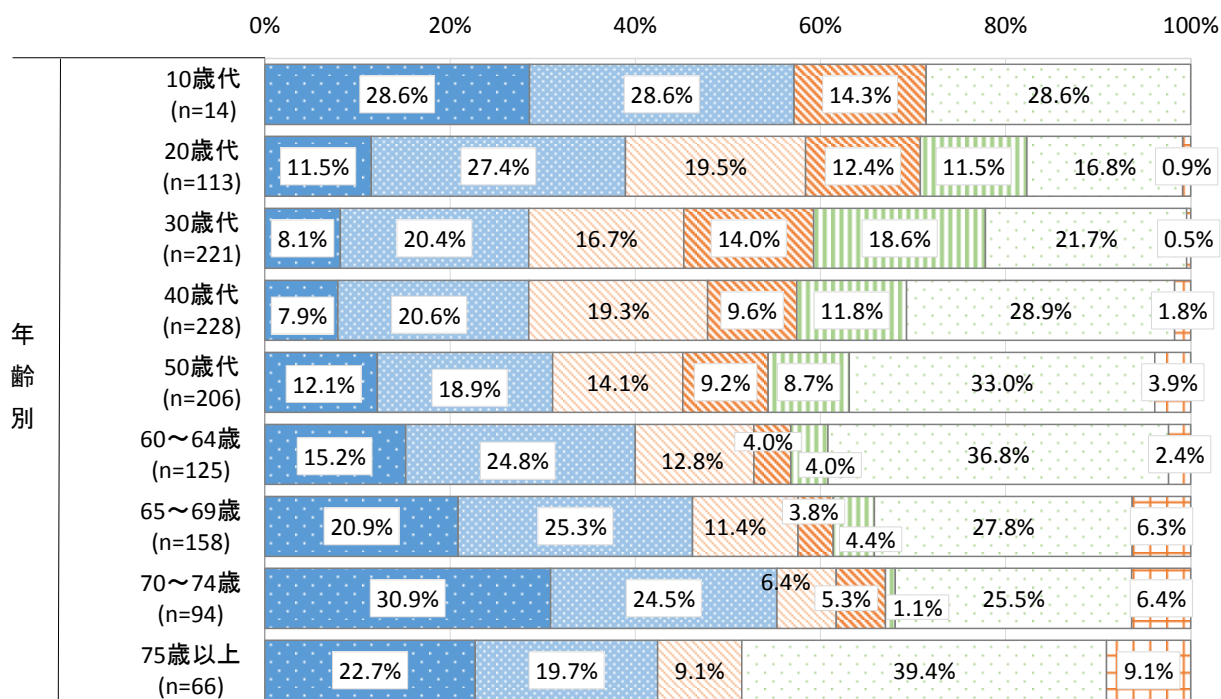
※本調査で新たに追加した設問

②-1 クロス集計の結果（問 26 と年齢別・地区別構成比）



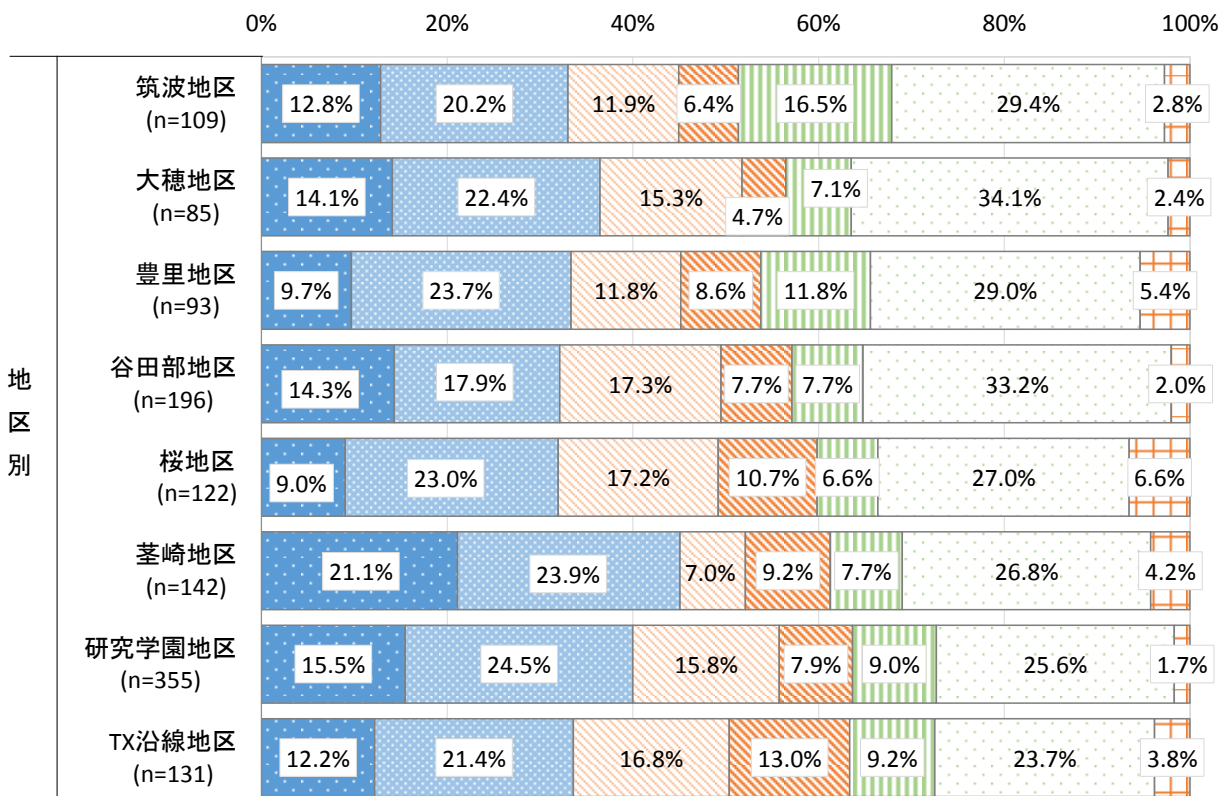
<年齢別>

- ・50歳代～64歳，75歳以上では，「しなかった」が30%を超えている。
- ・10歳代と70～74歳では，『週に1日以上（計）』が50%を超えている。

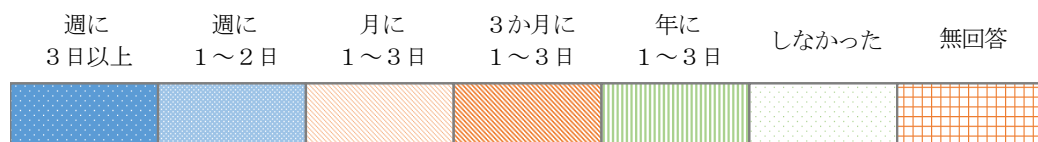


<地区別>

- ・荃崎地区では，「週に3日以上」が20%を超えている。

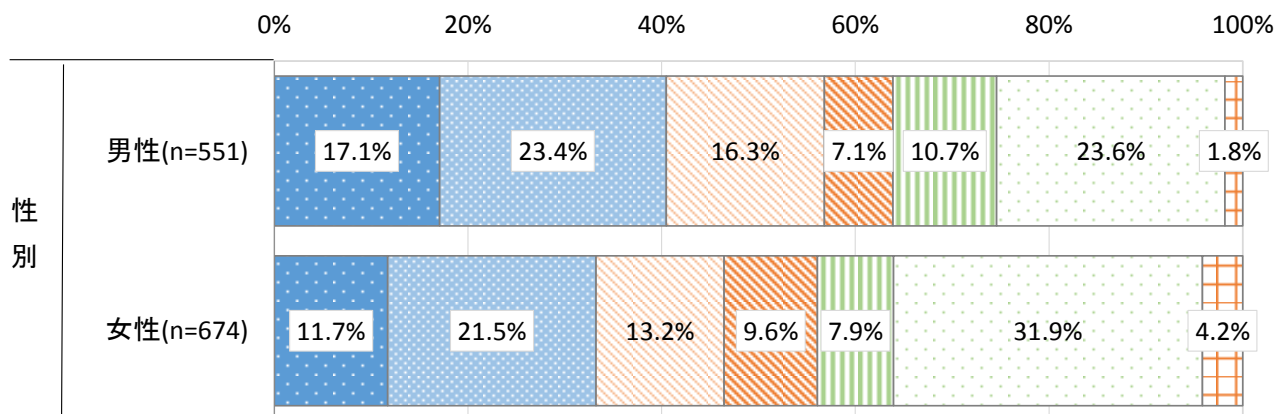


②-2 クロス集計の結果（問 26 と性別・職業別構成比）



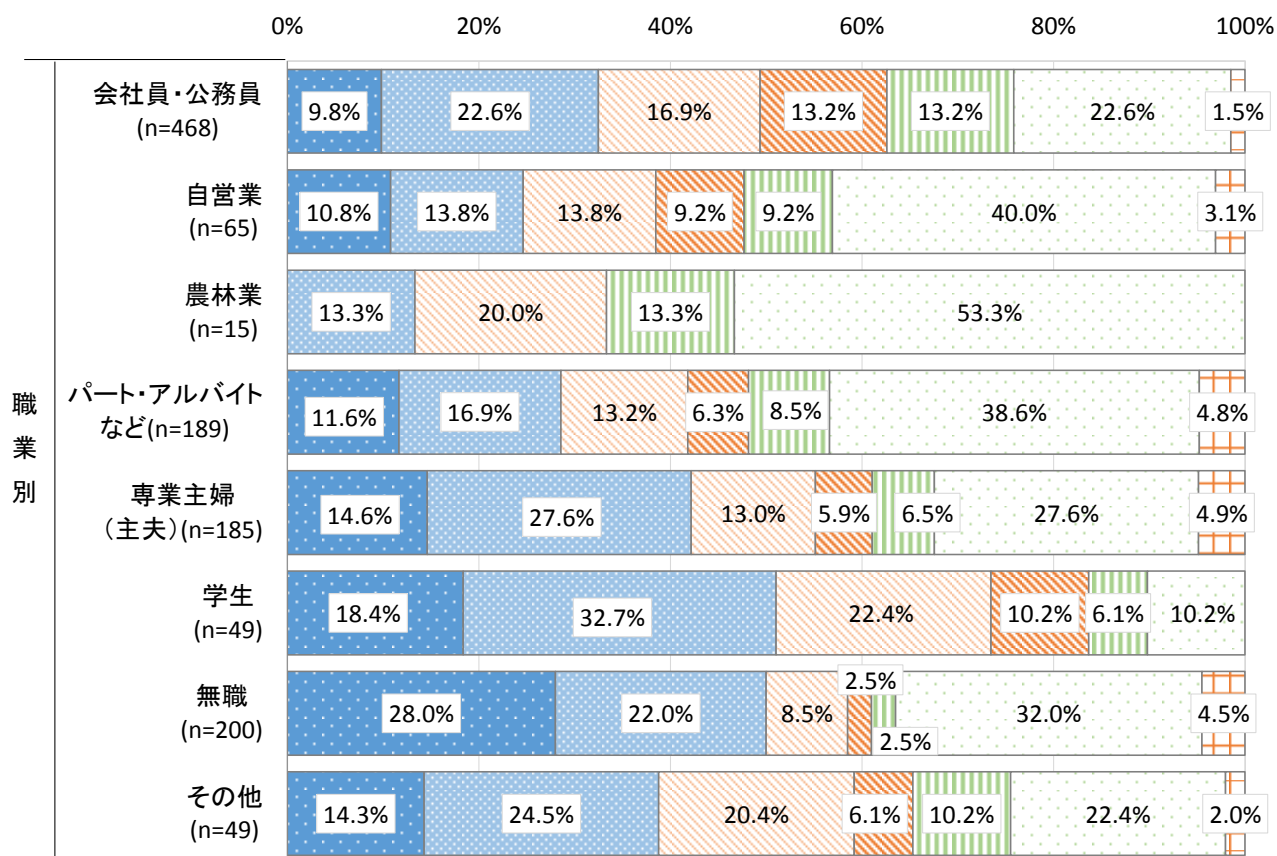
<性別>

- ・女性では、「しなかった」が最も多く 30%を超えている。



<職業別>

- ・農林業では、「しなかった」が最も多く、50%を超えている。
- ・学生、無職では、『週に1日以上（計）』が50%を超えている。



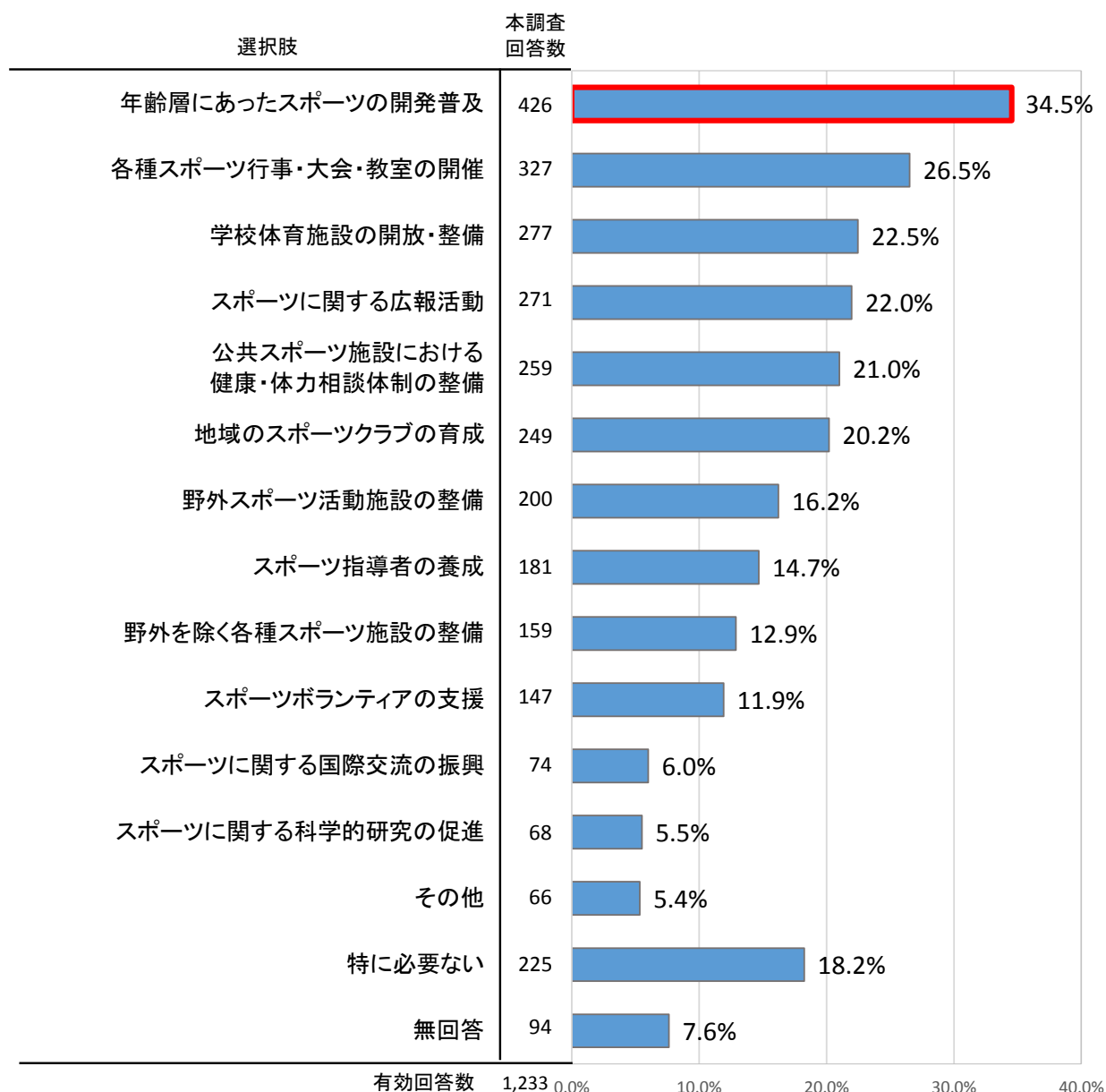
問 27 スポーツ推進のために、つくば市は今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
 <〇は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果

◇スポーツ推進のために力を入れるべきことは、「年齢層にあったスポーツの開発普及」が3割台半ば

- ・今後どのようなことに力を入れるべきかについては、「年齢層にあったスポーツの開発普及」が 426 人(34.5%)で最も多く、次いで「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が 327 人(26.5%)となっている。

<本調査の構成比>



②-1 クロス集計の結果（問 27 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・50 歳代以上では、「年齢層にあったスポーツの開発普及」、10～40 歳代では「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	各種スポーツ行事・大会・教室の開催		学校体育施設の開放・整備		スポーツ指導者の養成		地域のスポーツクラブの育成/野外スポーツ活動施設の整備			
	8	57.1%	6	42.9%	5	35.7%	4	28.6%		
20歳代 (n=113)	各種スポーツ行事・大会・教室の開催		地域のスポーツクラブの育成/スポーツに関する広報活動		野外スポーツ活動施設の整備		学校体育施設の開放・整備			
	41	36.3%	34	30.1%	29	25.7%	27	23.9%		
30歳代 (n=221)	各種スポーツ行事・大会・教室の開催		学校体育施設の開放・整備		地域のスポーツクラブの育成/特に必要ない		スポーツに関する広報活動			
	73	33.0%	62	28.1%	52	23.5%	46	20.8%		
40歳代 (n=228)	各種スポーツ行事・大会・教室の開催		学校体育施設の開放・整備		年齢層にあったスポーツの開発普及		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		スポーツに関する広報活動	
	71	31.1%	62	27.2%	59	25.9%	49	21.5%	46	20.2%
50歳代 (n=206)	年齢層にあったスポーツの開発普及		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		学校体育施設の開放・整備		各種スポーツ行事・大会・教室の開催/スポーツに関する広報活動			
	87	42.2%	56	27.2%	50	24.3%	49	23.8%		
60～64歳 (n=125)	年齢層にあったスポーツの開発普及		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		特に必要ない		学校体育施設の開放・整備		各種スポーツ行事・大会・教室の開催/スポーツに関する広報活動	
	57	45.6%	28	22.4%	23	18.4%	22	17.6%	21	16.8%
65～69歳 (n=158)	年齢層にあったスポーツの開発普及		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		スポーツに関する広報活動		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		スポーツ指導者の養成	
	79	50.0%	43	27.2%	39	24.7%	34	21.5%	28	17.7%
70～74歳 (n=94)	年齢層にあったスポーツの開発普及		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		特に必要ない		スポーツに関する広報活動		地域のスポーツクラブの育成/野外スポーツ活動施設の整備	
	45	47.9%	22	23.4%	20	21.3%	18	19.1%	17	18.1%
75歳以上 (n=66)	年齢層にあったスポーツの開発普及		特に必要ない		地域のスポーツクラブの育成		スポーツに関する広報活動		野外スポーツ活動施設の整備/公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備	
	28	42.4%	12	18.2%	11	16.7%	10	15.2%	9	13.6%

<地区別>

- ・T X 沿線地区以外では、「年齢層にあったスポーツの開発普及」が最も多く、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	年齢層にあったスポーツの開発普及		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		地域のスポーツクラブの育成		スポーツに関する広報活動		野外スポーツ活動施設の整備	
	46	42.2%	34	31.2%	29	26.6%	25	22.9%	23	21.1%
大穂地区 (n=85)	年齢層にあったスポーツの開発普及		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		スポーツに関する広報活動		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		学校体育施設の開放・整備	
	39	45.9%	26	30.6%	23	27.1%	22	25.9%	18	21.2%
豊里地区 (n=93)	年齢層にあったスポーツの開発普及		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		特に必要ない		スポーツに関する広報活動	
	29	31.2%	23	24.7%	22	23.7%	21	22.6%	18	19.4%
谷田部地区 (n=196)	年齢層にあったスポーツの開発普及		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		特に必要ない		スポーツに関する広報活動		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備	
	69	35.2%	47	24.0%	43	21.9%	42	21.4%	40	20.4%
桜地区 (n=122)	年齢層にあったスポーツの開発普及		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		学校体育施設の開放・整備		地域のスポーツクラブの育成/スポーツに関する広報活動			
	39	32.0%	29	23.8%	28	23.0%	26	21.3%		
荃崎地区 (n=142)	年齢層にあったスポーツの開発普及		学校体育施設の開放・整備		各種スポーツ行事・大会・教室の開催/特に必要ない		地域のスポーツクラブの育成/公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備			
	56	39.4%	28	19.7%	27	19.0%	26	18.3%		
研究学園地区 (n=355)	年齢層にあったスポーツの開発普及		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		学校体育施設の開放・整備		スポーツに関する広報活動		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備	
	114	32.1%	104	29.3%	102	28.7%	84	23.7%	83	23.4%
T X 沿線地区 (n=131)	各種スポーツ行事・大会・教室の開催		地域のスポーツクラブの育成		学校体育施設の開放・整備/年齢層にあったスポーツの開発普及		野外スポーツ活動施設の整備			
	44	33.6%	38	29.0%	34	26.0%	30	22.9%		

②-2 クロス集計の結果（問 27 と性別・職業別構成比 上位 5 位）

<性別>

- ・男性、女性ともに「年齢層にあったスポーツの開発普及」が多く、次いで「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
男性 (n=551)	年齢層にあったスポーツの開発普及		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		スポーツに関する広報活動		学校体育施設の開放・整備/特に必要ない			
	159	28.9%	144	26.1%	124	22.5%	120		21.8%	
女性 (n=674)	年齢層にあったスポーツの開発普及		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		学校体育施設の開放・整備		スポーツに関する広報活動	
	261	38.7%	183	27.2%	162	24.0%	154	22.8%	143	21.2%

<職業別>

- ・会社員・公務員は、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」、学生は、「学校体育施設の開放・整備」、それ以外の職業では、「年齢層にあったスポーツの開発普及」が最も多い。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
会社員・公務員 (n=468)	各種スポーツ行事・大会・教室の開催		年齢層にあったスポーツの開発普及		スポーツに関する広報活動/学校体育施設の開放・整備		地域のスポーツクラブの育成			
	144	30.8%	118	25.2%	106		22.6%		104	22.2%
自営業 (n=65)	年齢層にあったスポーツの開発普及		特に必要ない		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		スポーツに関する広報活動		各種スポーツ行事・大会・教室の開催	
	24	36.9%	17	26.2%	16	24.6%	14	21.5%	12	18.5%
農林業 (n=15)	年齢層にあったスポーツの開発普及		各種スポーツ行事・大会・教室の開催/特に必要ない		学校体育施設の開放・整備		地域のスポーツクラブの育成/スポーツ指導者の養成			
	6	40.0%	5		33.3%		4	26.7%	3	20.0%
パート・アルバイトなど (n=189)	年齢層にあったスポーツの開発普及		学校体育施設の開放・整備		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		地域のスポーツクラブの育成	
	70	37.0%	54	28.6%	51	27.0%	49	25.9%	37	19.6%
専業主婦（主夫） (n=185)	年齢層にあったスポーツの開発普及		公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		スポーツに関する広報活動		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		学校体育施設の開放・整備	
	89	48.1%	49	26.5%	48	25.9%	46	24.9%	41	22.2%
学生 (n=49)	学校体育施設の開放・整備		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		野外スポーツ活動施設の整備/年齢層にあったスポーツの開発普及		地域のスポーツクラブの育成/スポーツに関する広報活動			
	18	36.7%	15	30.6%	12		24.5%		11	22.4%
無職 (n=200)	年齢層にあったスポーツの開発普及		特に必要ない		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		スポーツに関する広報活動/公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備			
	81	40.5%	43	21.5%	39	19.5%	35		17.5%	
その他 (n=49)	年齢層にあったスポーツの開発普及		スポーツに関する広報活動/公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備		各種スポーツ行事・大会・教室の開催		スポーツ指導者の養成			
	20	40.8%	15		30.6%		14	28.6%	12	24.5%

9 交通環境について

問 28 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

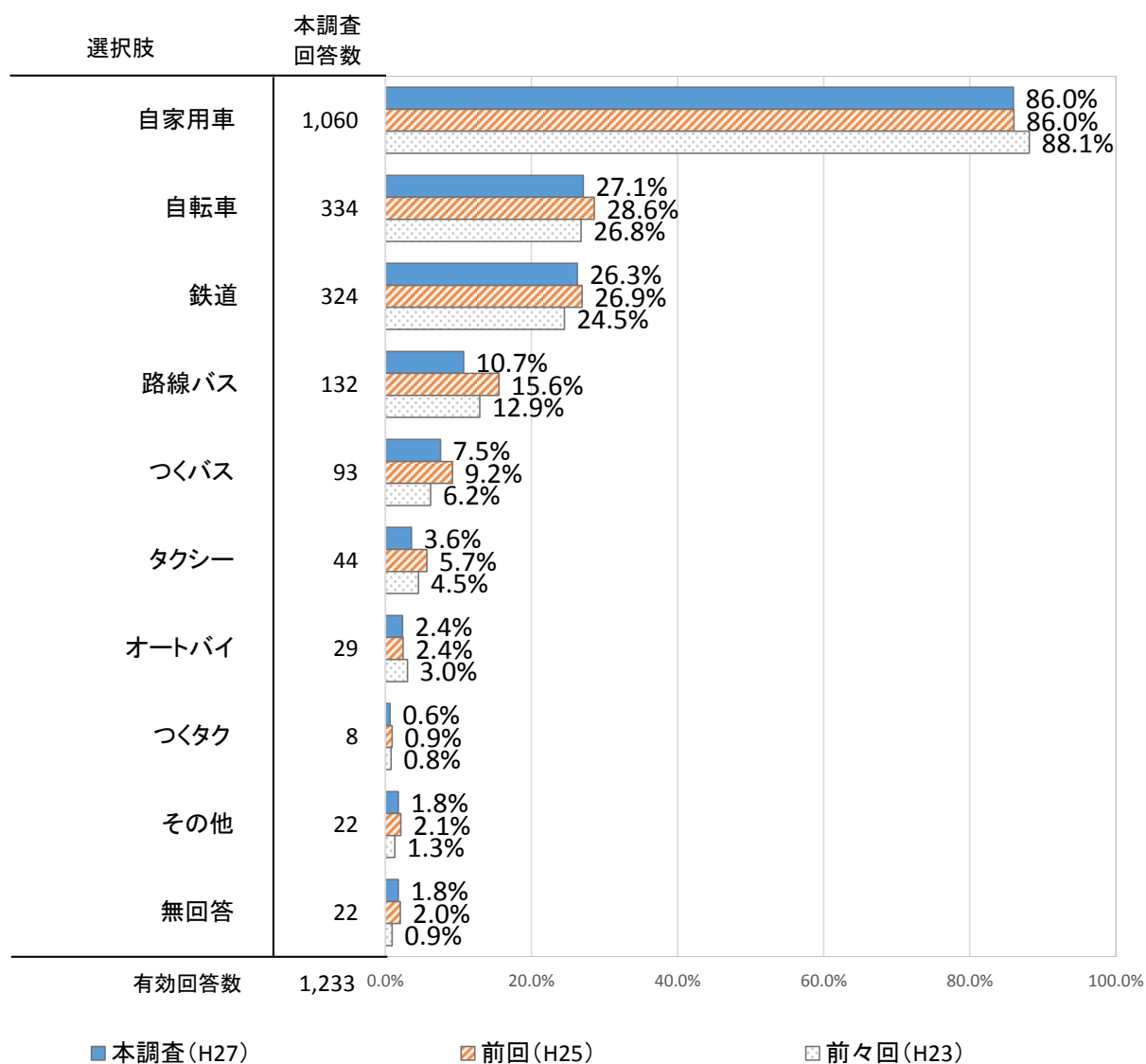
<○は当てはまるものすべて>

① 全体集計の結果

◇日常利用する交通手段は、「自家用車」が8割台半ば

- ・日常利用する交通手段は、「自家用車」が1,060人(86.0%)で最も多く、次いで「自転車」が334人(27.1%)となっている。

<本調査と過年度調査との構成比>



②-1 クロス集計の結果（問 28 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・20 歳代以上では、「自家用車」、10 歳代では「自転車」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	自転車		鉄道		自家用車		つくバス		路線バス	
	9	64.3%	8	57.1%	6	42.9%	4	28.6%	2	14.3%
20歳代 (n=113)	自家用車		鉄道/自転車				路線バス		つくバス	
	80	70.8%	49		43.4%		18	15.9%	11	9.7%
30歳代 (n=221)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	196	88.7%	70	31.7%	55	24.9%	19	8.6%	11	5.0%
40歳代 (n=228)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	202	88.6%	65	28.5%	51	22.4%	20	8.8%	13	5.7%
50歳代 (n=206)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	185	89.8%	58	28.2%	45	21.8%	19	9.2%	16	7.8%
60～64歳 (n=125)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		オートバイ	
	110	88.0%	21	16.8%	20	16.0%	9	7.2%	4	3.2%
65～69歳 (n=158)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	146	92.4%	32	20.3%	28	17.7%	20	12.7%	13	8.2%
70～74歳 (n=94)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス/つくバス			
	80	85.1%	31	33.0%	18	19.1%	12		12.8%	
75歳以上 (n=66)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	49	74.2%	25	37.9%	19	28.8%	12	18.2%	10	15.2%

<地区別>

- ・すべての地区で、「自家用車」が最も多く、「自転車」や「鉄道」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	自家用車		自転車		つくバス		鉄道		路線バス	
	100	91.7%	21	19.3%	9	8.3%	7	6.4%	4	3.7%
大穂地区 (n=85)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス/オートバイ			
	80	94.1%	22	25.9%	15	17.6%	5		5.9%	
豊里地区 (n=93)	自家用車		自転車		鉄道		つくバス		路線バス	
	83	89.2%	17	18.3%	12	12.9%	5	5.4%	3	3.2%
谷田部地区 (n=196)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス/つくバス			
	176	89.8%	41	20.9%	36	18.4%	6		3.1%	
桜地区 (n=122)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	104	85.2%	36	29.5%	27	22.1%	11	9.0%	9	7.4%
荃崎地区 (n=142)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	122	85.9%	33	23.2%	28	19.7%	25	17.6%	14	9.9%
研究学園地区 (n=355)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	292	82.3%	148	41.7%	127	35.8%	72	20.3%	38	10.7%
T X 沿線地区 (n=131)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	103	78.6%	58	44.3%	30	22.9%	8	6.1%	7	5.3%

②-2 クロス集計の結果（問 28 と職業別・住まい別構成比 上位 5 位）

<職業別>

- ・学生以外の職業で、「自家用車」が最も多く、「自転車」や「鉄道」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
会社員・公務員 (n=468)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス	
	409	87.4%	148	31.6%	108	23.1%	45	9.6%	27	5.8%
自営業 (n=65)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス/つくバス			
	61	93.8%	12	18.5%	8	12.3%	3		4.6%	
農林業 (n=15)	自家用車		自転車		鉄道		オートバイ		-	
	14	93.3%	4	26.7%	2	13.3%	1	6.7%	-	-
パート・アルバイトなど (n=189)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	167	88.4%	53	28.0%	36	19.0%	16	8.5%	14	7.4%
専業主婦（主夫） (n=185)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	161	87.0%	50	27.0%	40	21.6%	26	14.1%	17	9.2%
学生 (n=49)	自転車		鉄道		自家用車		路線バス		つくバス	
	35	71.4%	29	59.2%	23	46.9%	11	22.4%	6	12.2%
無職 (n=200)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	172	86.0%	61	30.5%	39	19.5%	26	13.0%	22	11.0%
その他 (n=49)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス/つくバス			
	43	87.8%	15	30.6%	12	24.5%	4		8.2%	

<住まい別>

- ・すべての住まいで、「自家用車」が最も多く、「自転車」や「鉄道」が上位に入っている。

回答順	1位		2位		3位		4位		5位	
一戸建（持ち家） (n=868)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	779	89.7%	202	23.3%	183	21.1%	76	8.8%	54	6.2%
一戸建（借家） (n=21)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス/つくバス/その他			
	20	95.2%	6	28.6%	3	14.3%	1		4.8%	
集合住宅（分譲） (n=89)	自家用車		鉄道		自転車		路線バス		つくバス/タクシー	
	66	74.2%	43	48.3%	33	37.1%	10	11.2%	6	6.7%
集合住宅（賃貸） (n=191)	自家用車		自転車		鉄道		路線バス		つくバス	
	144	75.4%	78	40.8%	67	35.1%	30	15.7%	26	13.6%
公営住宅（公社・県営・市営） (n=15)	自家用車		鉄道		路線バス		つくバス/自転車			
	12	80.0%	5	33.3%	4	26.7%	3		20.0%	
社宅・官舎 (n=31)	自家用車		鉄道		路線バス		自転車		つくバス	
	27	87.1%	19	61.3%	9	29.0%	8	25.8%	3	9.7%
その他 (n=11)	自家用車		鉄道/自転車			路線バス	-			
	7	63.6%	2		18.2%		1	9.1%	-	-

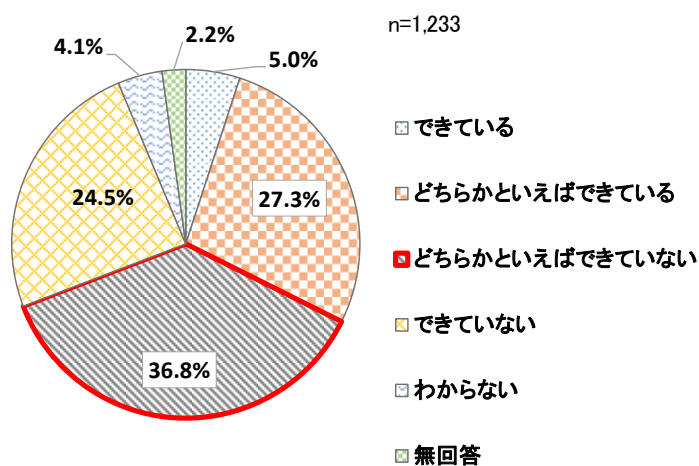
問 29 あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車と共に安全で快適に通行できていると思いますか。
 <○は1つ>

① 全体集計の結果

◇歩行者と自転車と自動車と共に安全で快適に通行できているかについては、『できていない(計)』が6割超え

- ・安全で快適に通行できているかについては、「どちらかといえばできていない」が454人(36.8%)で最も多く、次いで「どちらかといえばできている」が337人(27.3%)となっている。
- ・「できていない」と「どちらかといえばできていない」を合わせた『できていない(計)』が61.3%となっている。

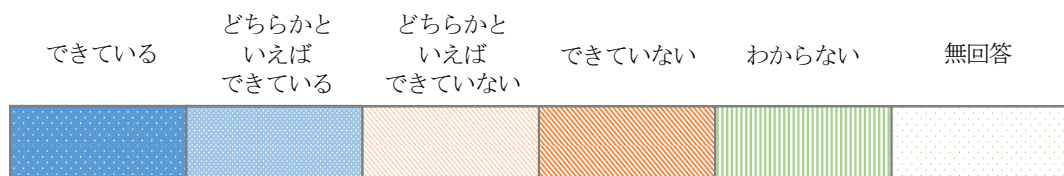
<本調査の構成比>



選択肢	回答数 (人)	構成比
できている	62	5.0%
どちらかといえばできている	337	27.3%
どちらかといえばできていない	454	36.8%
できていない	302	24.5%
わからない	51	4.1%
無回答	27	2.2%
全体	1,233	100.0%

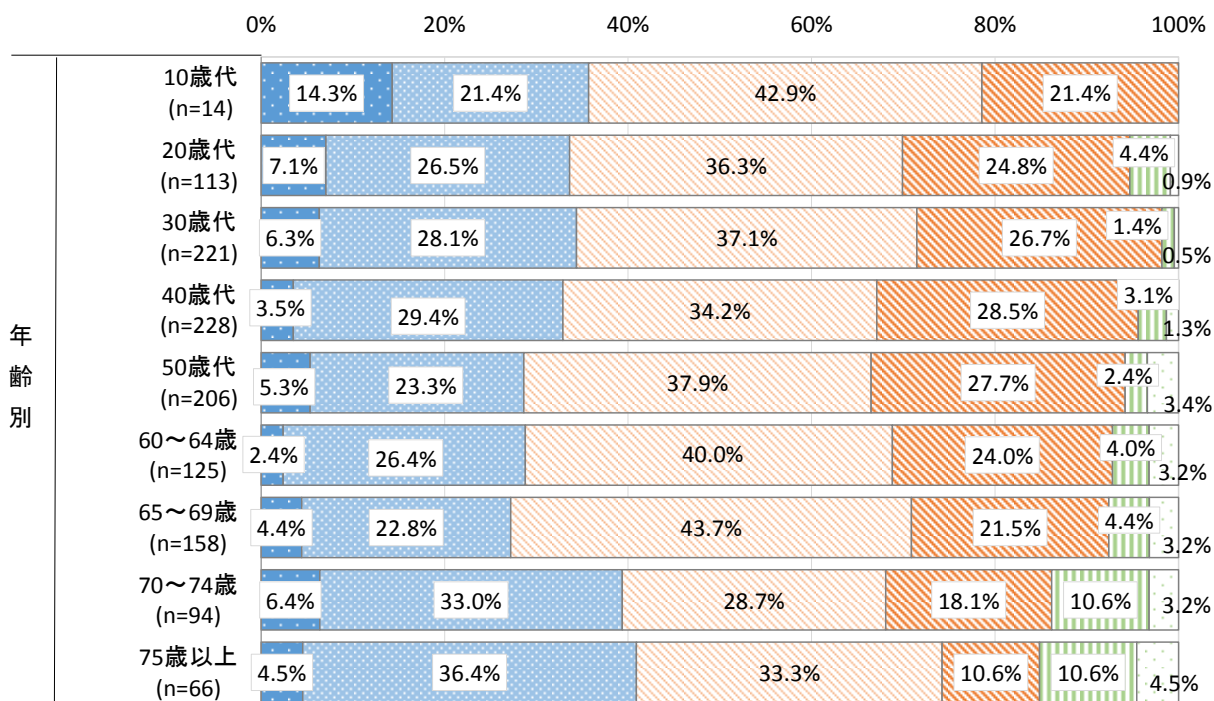
※本調査で新たに追加した設問

②-1 クロス集計の結果（問 29 と年齢別・地区別構成比）



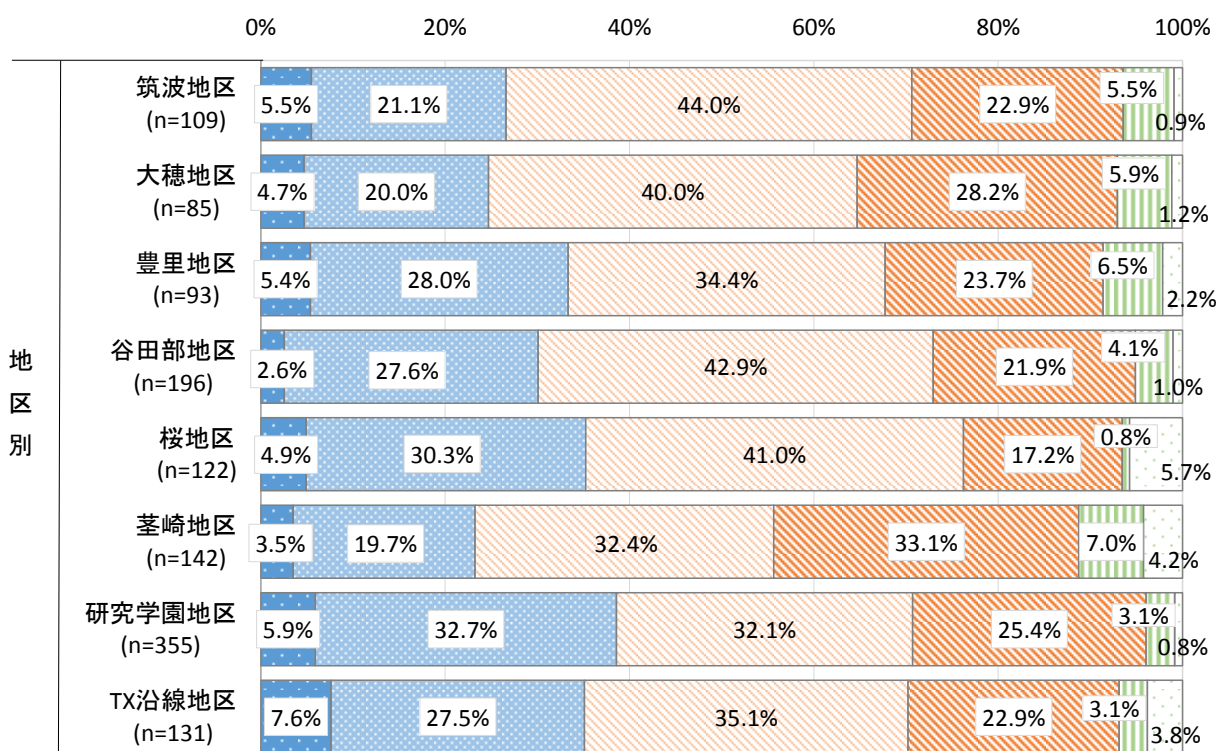
<年齢別>

- すべての年齢で、『できていない（計）』が「できている」と「どちらかといえはできている」を合わせた『できている（計）』より多くなっている。



<地区別>

- 荻崎地区では、「できていない」が30%を超えている。



【問 29 で「どちらかといえばできていない」または「できていない」とお答えの方にお聞きします】

問 30 歩行者と自転車と自動車と共に安全で快適に通行できるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

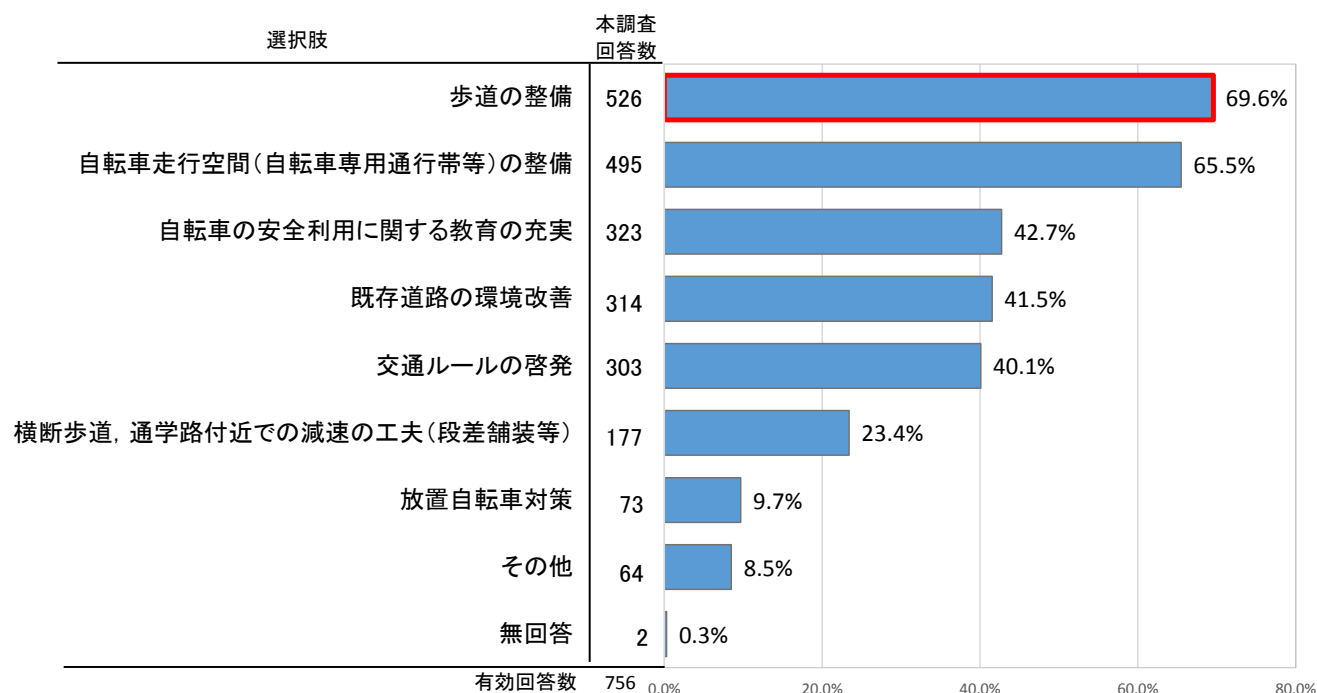
＜○は当てはまるものすべて＞

① 全体集計の結果

◇歩行者と自転車と自動車と共に安全で快適に通行できるために必要な取組は、「歩道の整備」が7割近く

・どのような取組が必要かについては、「歩道の整備」が 526 人(69.6%)で最も多く、次いで「自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備」が 495 人(65.5%)となっている。

＜本調査の構成比＞



※本調査で新たに追加した設問

②-1 クロス集計の結果（問 30 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・30 歳代、50 歳以上では、「歩道の整備」、10～20 歳代、40 歳代は「自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=9)	自転車の安全利用に関する教育の充実/自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		歩道の整備		交通ルールの啓発		既存道路の環境改善/横断歩道、通学路付近での減速の工夫（段差舗装等）			
	5		55.6%		4	44.4%	3	33.3%	2	22.2%
20歳代 (n=69)	自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		歩道の整備		交通ルールの啓発/既存道路の環境改善		自転車の安全利用に関する教育の充実			
	47	68.1%	45	65.2%	28		40.6%		27	39.1%
30歳代 (n=141)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		既存道路の環境改善		交通ルールの啓発		自転車の安全利用に関する教育の充実	
	99	70.2%	91	64.5%	65	46.1%	59	41.8%	58	41.1%
40歳代 (n=143)	自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		歩道の整備		既存道路の環境改善		自転車の安全利用に関する教育の充実		交通ルールの啓発	
	101	70.6%	96	67.1%	53	37.1%	52	36.4%	49	34.3%
50歳代 (n=135)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		自転車の安全利用に関する教育の充実		既存道路の環境改善		交通ルールの啓発	
	94	69.6%	87	64.4%	67	49.6%	54	40.0%	46	34.1%
60～64歳 (n=80)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		既存道路の環境改善		自転車の安全利用に関する教育の充実		交通ルールの啓発	
	59	73.8%	51	63.8%	35	43.8%	33	41.3%	31	38.8%
65～69歳 (n=103)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		交通ルールの啓発		自転車の安全利用に関する教育の充実		既存道路の環境改善	
	69	67.0%	61	59.2%	56	54.4%	46	44.7%	44	42.7%
70～74歳 (n=44)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		自転車の安全利用に関する教育の充実		交通ルールの啓発		既存道路の環境改善	
	37	84.1%	31	70.5%	23	52.3%	18	40.9%	17	38.6%
75歳以上 (n=29)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		既存道路の環境改善		交通ルールの啓発		自転車の安全利用に関する教育の充実	
	21	72.4%	18	62.1%	14	48.3%	12	41.4%	10	34.5%

<地区別>

- ・すべての地区で、「歩道の整備」、「自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=73)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		自転車の安全利用に関する教育の充実		交通ルールの啓発		既存道路の環境改善	
	50	68.5%	44	60.3%	38	52.1%	28	38.4%	25	34.2%
大穂地区 (n=58)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		自転車の安全利用に関する教育の充実		既存道路の環境改善		交通ルールの啓発/横断歩道、通学路付近での減速の工夫（段差舗装等）	
	49	84.5%	39	67.2%	23	39.7%	22	37.9%	15	25.9%
豊里地区 (n=54)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		既存道路の環境改善		交通ルールの啓発/自転車の安全利用に関する教育の充実			
	41	75.9%	32	59.3%	23	42.6%	22		40.7%	
谷田部地区 (n=127)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		交通ルールの啓発		自転車の安全利用に関する教育の充実		既存道路の環境改善	
	94	74.0%	89	70.1%	58	45.7%	57	44.9%	54	42.5%
桜地区 (n=71)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		既存道路の環境改善		自転車の安全利用に関する教育の充実		交通ルールの啓発	
	48	67.6%	42	59.2%	33	46.5%	31	43.7%	27	38.0%
荻崎地区 (n=93)	歩道の整備		自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		既存道路の環境改善		交通ルールの啓発		自転車の安全利用に関する教育の充実	
	72	77.4%	56	60.2%	47	50.5%	36	38.7%	34	36.6%
研究学園地区 (n=204)	自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		歩道の整備		自転車の安全利用に関する教育の充実		交通ルールの啓発		既存道路の環境改善	
	139	68.1%	120	58.8%	93	45.6%	88	43.1%	76	37.3%
T X 沿線地区 (n=76)	自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備		歩道の整備		既存道路の環境改善		交通ルールの啓発		自転車の安全利用に関する教育の充実	
	54	71.1%	52	68.4%	34	44.7%	29	38.2%	25	32.9%

問31 あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。

<○は1つ>

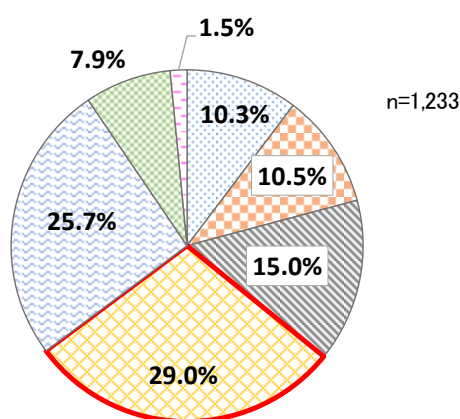
① 全体集計の結果

◇つくばセンター地区（つくば駅周辺）に訪れる頻度は、「月1，2回程度」が3割近く

- ・つくばセンター地区を訪れる頻度については、「月1，2回程度」が357人(29.0%)で最も多く、次いで「年数回程度」が317人(25.7%)となっている。

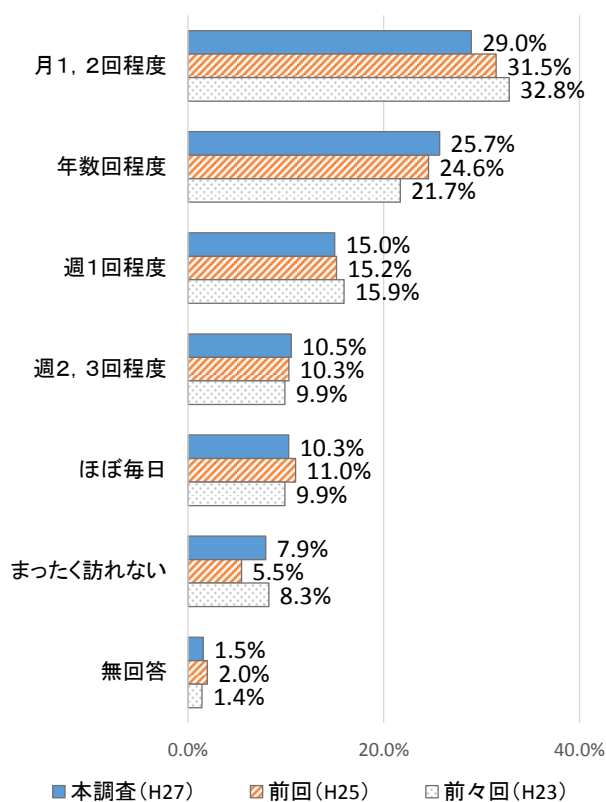
選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
ほぼ毎日	127	10.3%	11.0%	9.9%
週2，3回程度	130	10.5%	10.3%	9.9%
週1回程度	185	15.0%	15.2%	15.9%
月1，2回程度	357	29.0%	31.5%	32.8%
年数回程度	317	25.7%	24.6%	21.7%
まったく訪れない	98	7.9%	5.5%	8.3%
無回答	19	1.5%	2.0%	1.4%
全体	1,233	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査の構成比>

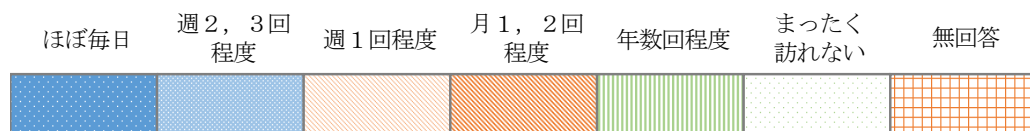


□ ほぼ毎日 □ 週2，3回程度
 □ 週1回程度 ■ 月1，2回程度
 □ 年数回程度 □ まったく訪れない
 □ 無回答

<過年度調査との比較>

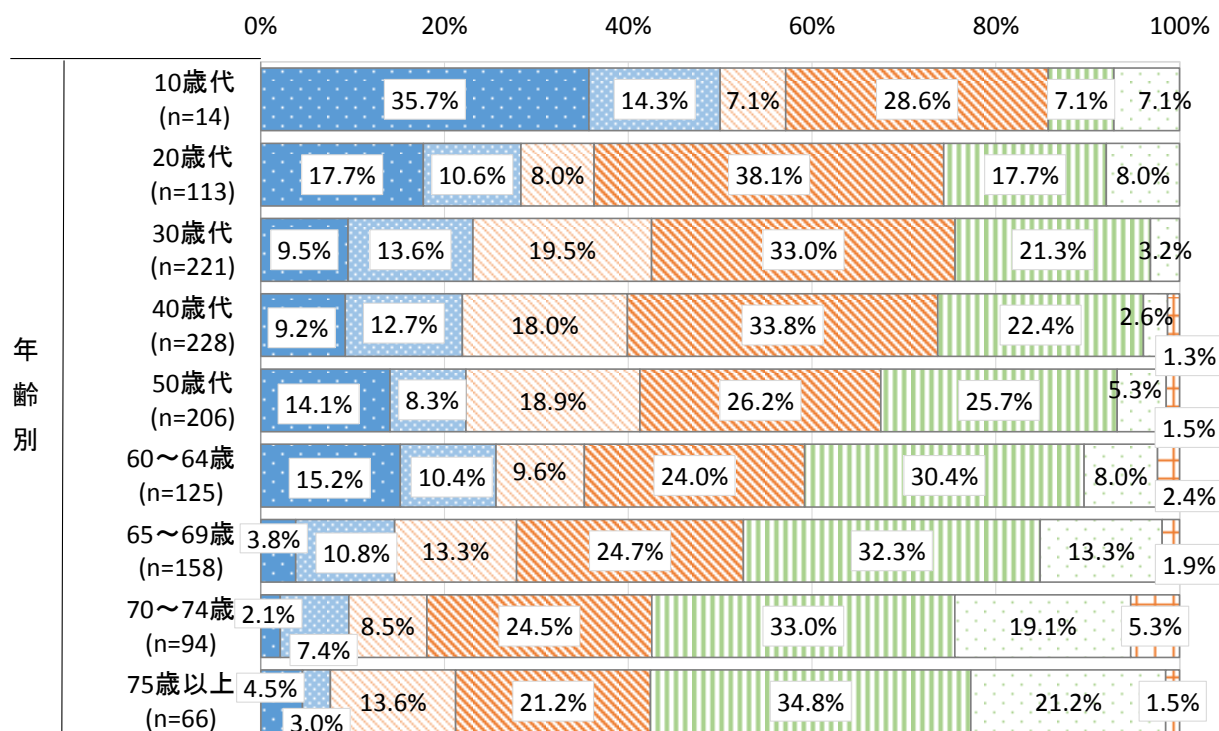


②-1 クロス集計の結果（問 31 と年齢別・地区別構成比）



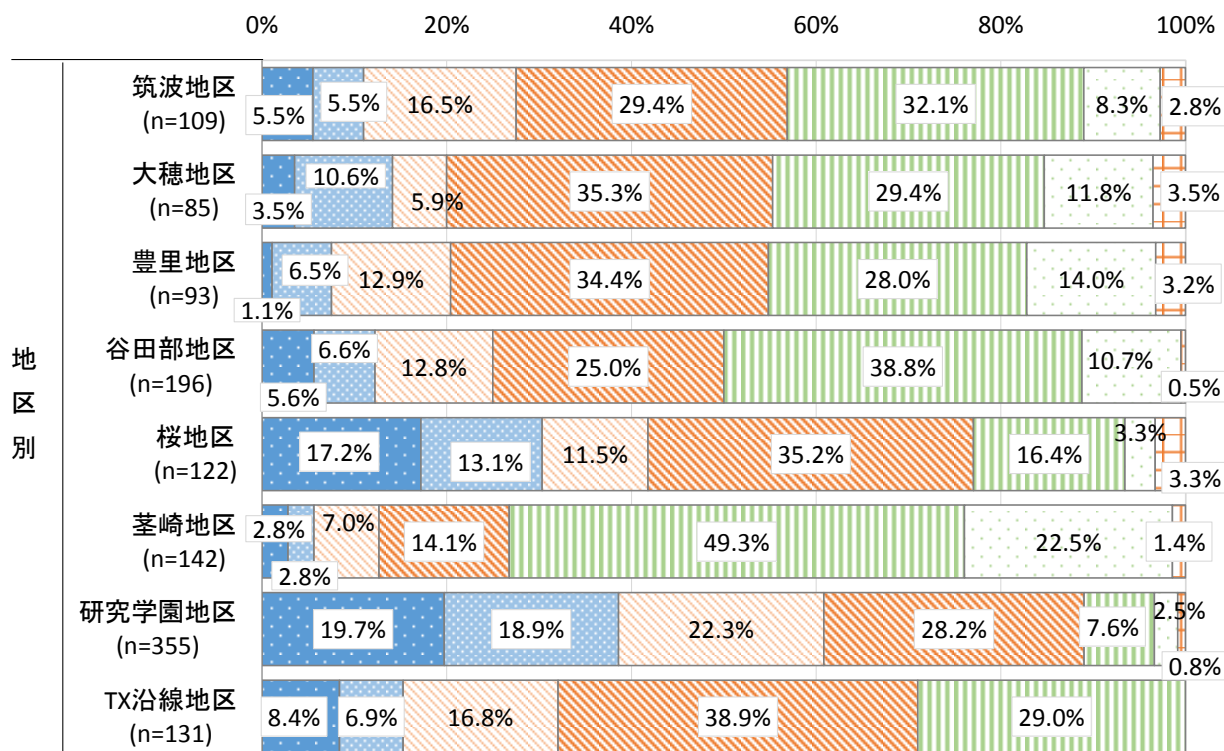
<年齢別>

- ・20 歳代では「月 1, 2 回程度」が 35%を超えている。
- ・年齢が低いほどセンター地区を訪れる頻度が高い傾向にある。

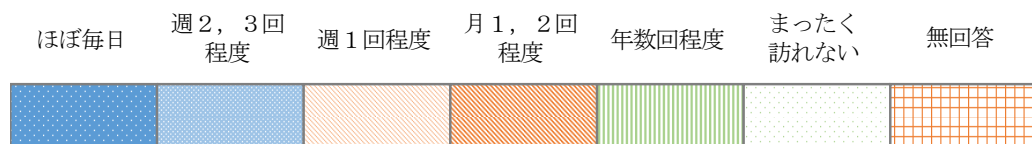


<地区別>

- ・研究学園地区では、85%以上が月 1, 2 回以上センター地区を訪れている。
- ・荃崎地区では、「年数回程度」が最も多く、45%を超えている。

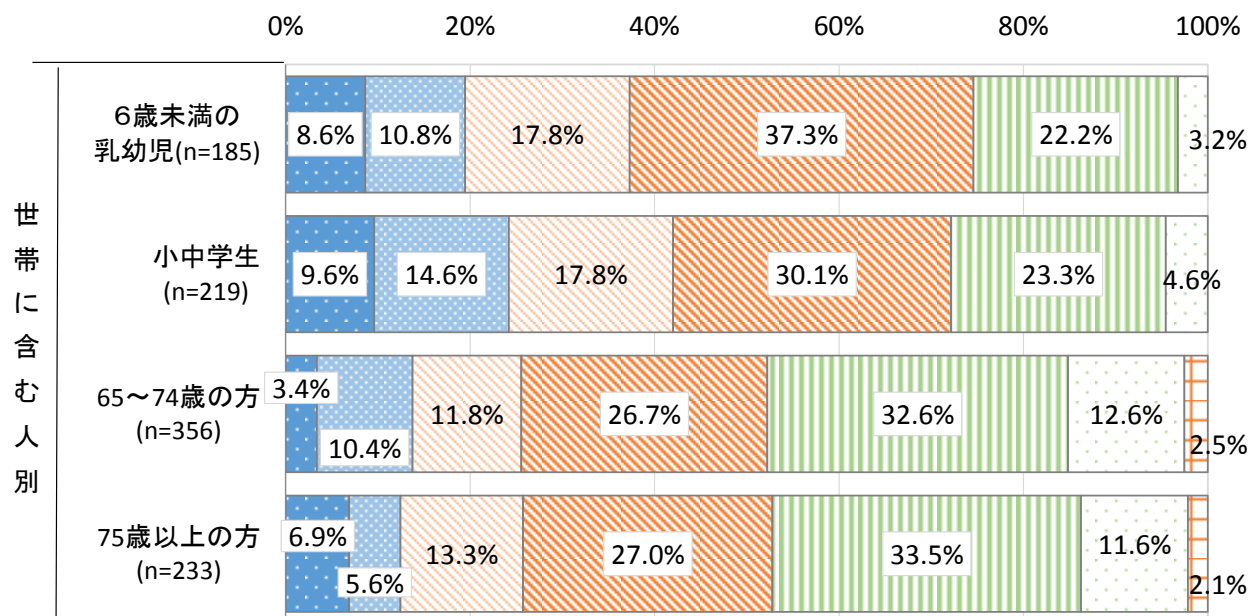


②-2 クロス集計の結果（問 31 と世帯に含む人別・職業別構成比）



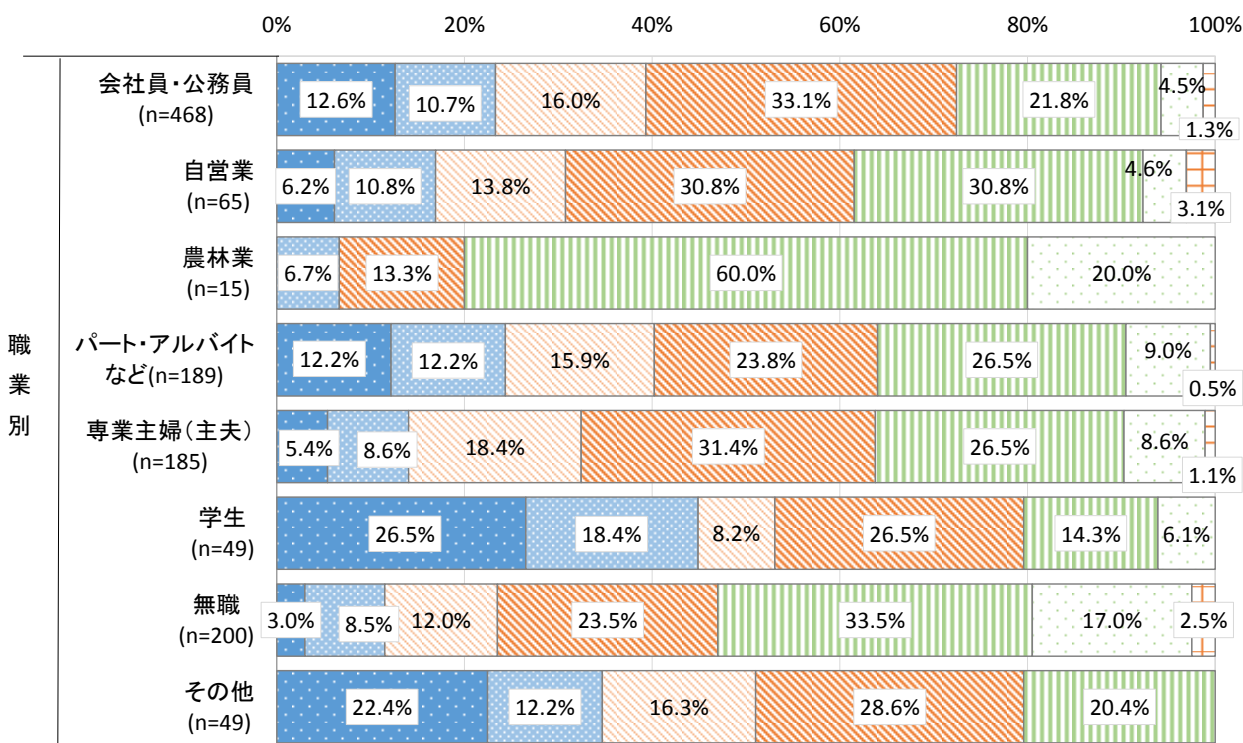
<世帯に含む人別>

- ・ 6歳未満の乳幼児及び小中学生を含む世帯では、「月1, 2回程度」が最も多く、30%を超えている。
- ・ 65歳以上の方がいる世帯では、「年数回程度」が最も多く、30%を超えている。



<職業別>

- ・ 農林業では、「年数回程度」が最も多く、60%となっている。



【問 31 で「まったく訪れない」以外を選択した方にお聞きします】

問 32 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<○は1つ>

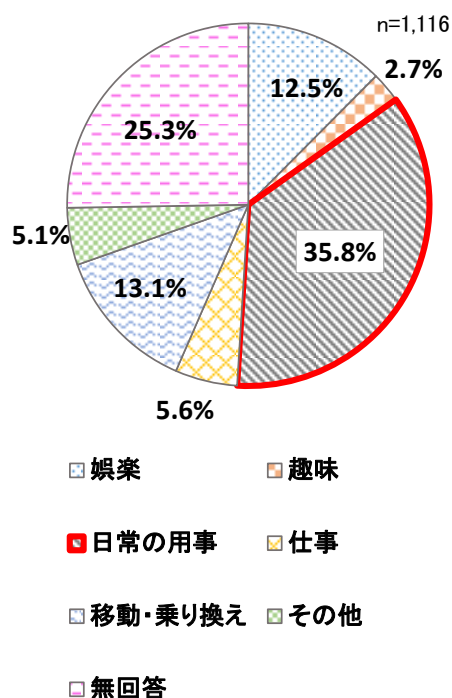
① 全体集計の結果

◇つくばセンター地区を訪れる目的は、「日常の用事」が3割台半ば

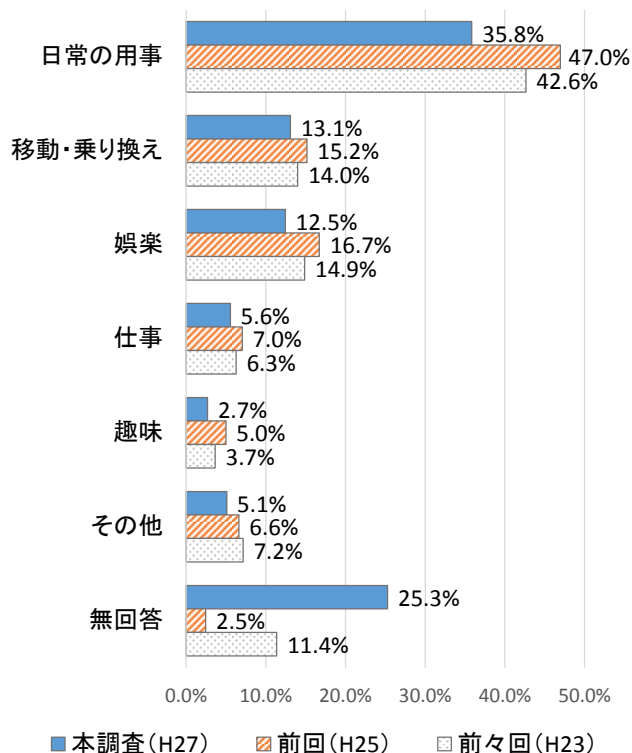
- ・つくばセンター地区を訪れる目的は、「日常の用事」が400人(35.8%)で最も多く、次いで「移動・乗り換え」が146人(13.1%)となっている。
- ・前回調査と比べると、「日常の用事」は減少している。

選択肢	本調査 (H27)		前回 (H25)	前々回 (H23)
	回答数 (人)	構成比	構成比	構成比
娯楽	139	12.5%	16.7%	14.9%
趣味	30	2.7%	5.0%	3.7%
日常の用事	400	35.8%	47.0%	42.6%
仕事	62	5.6%	7.0%	6.3%
移動・乗り換え	146	13.1%	15.2%	14.0%
その他	57	5.1%	6.6%	7.2%
無回答	282	25.3%	2.5%	11.4%
全体	1,116	100.0%	100.0%	100.0%

<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>

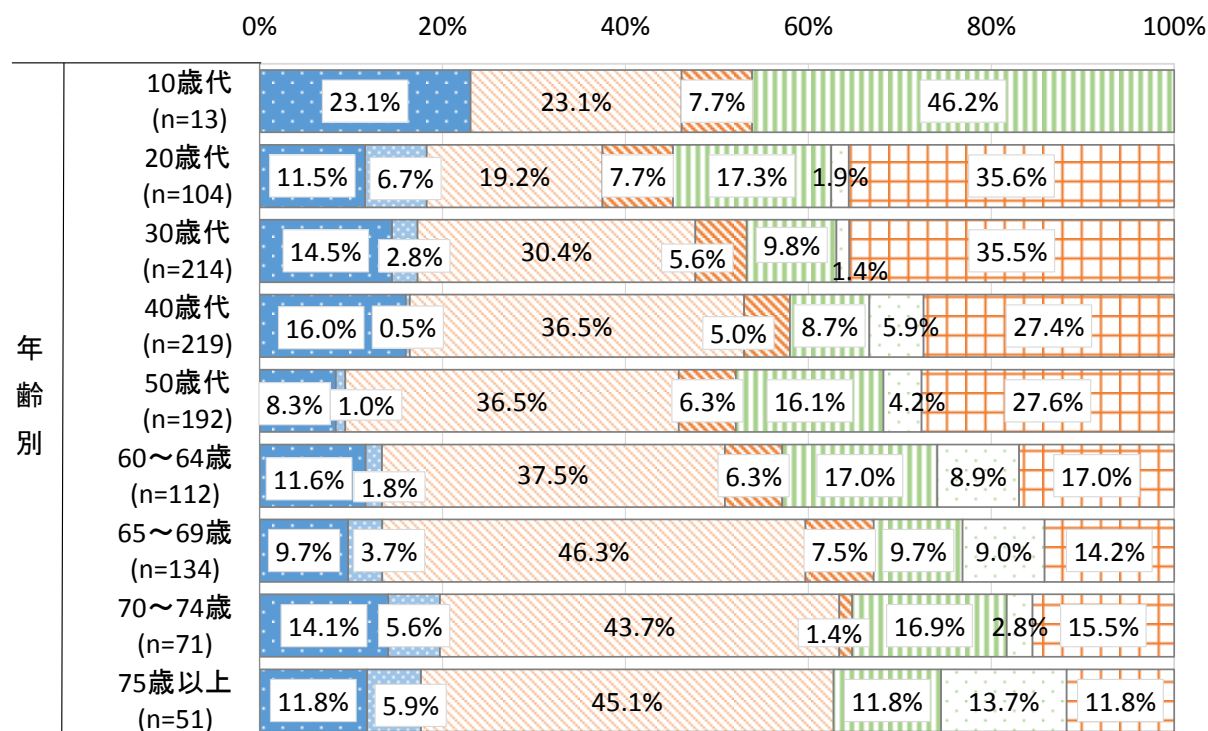


②-1 クロス集計の結果（問 32 と年齢別・地区別構成比）



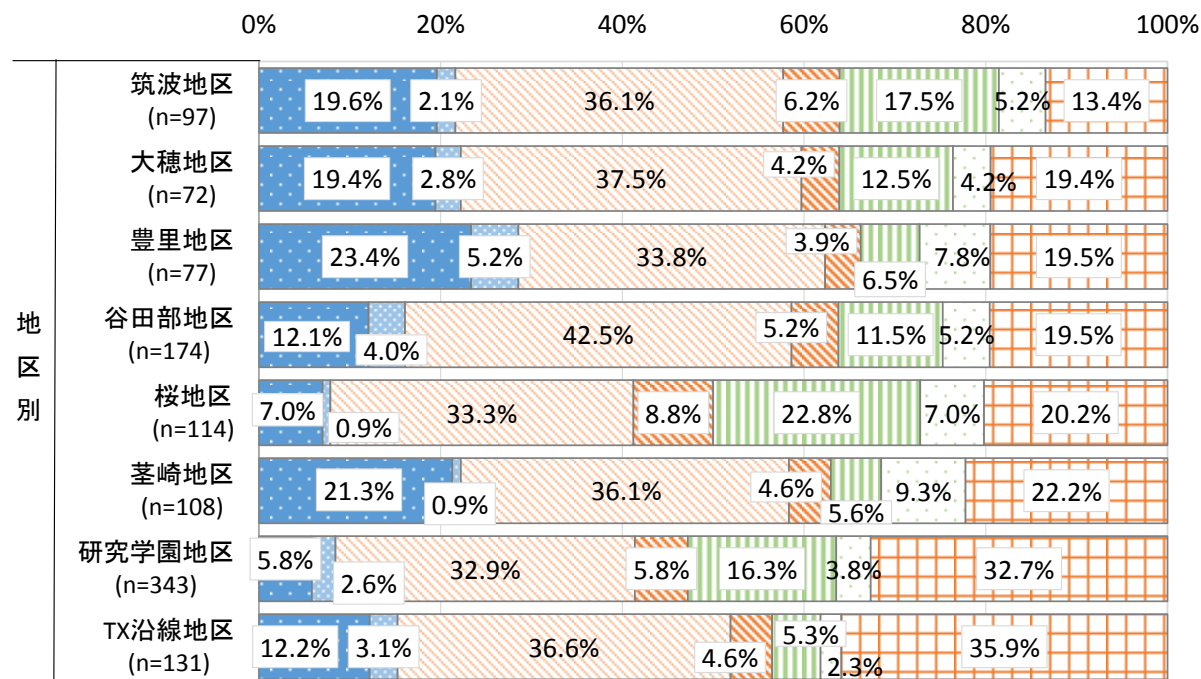
<年齢別>

- ・40歳以上の年齢で「日常の用事」が最も多く、35%を超えている。



<地区別>

- ・すべての地区で、「日常の用事」が最も多く 30%を超えている。
- ・筑波地区、大穂地区、豊里地区、荃崎地区では、「日常の用事」に次いで、「娯楽」が多くなっている。

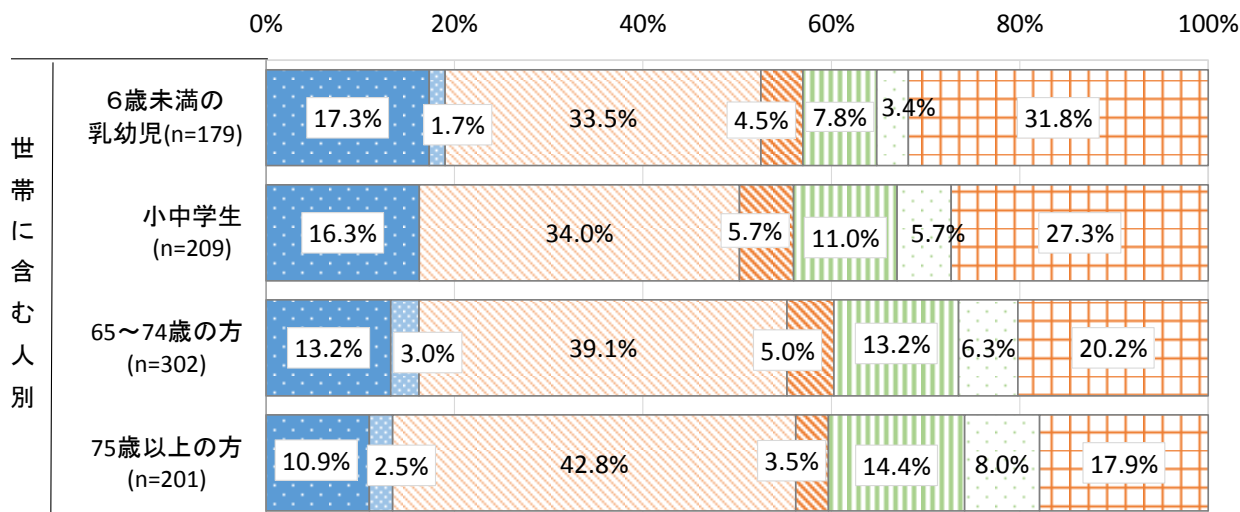


②-2 クロス集計の結果（問 32 と世帯に含む人別・職業別構成比）



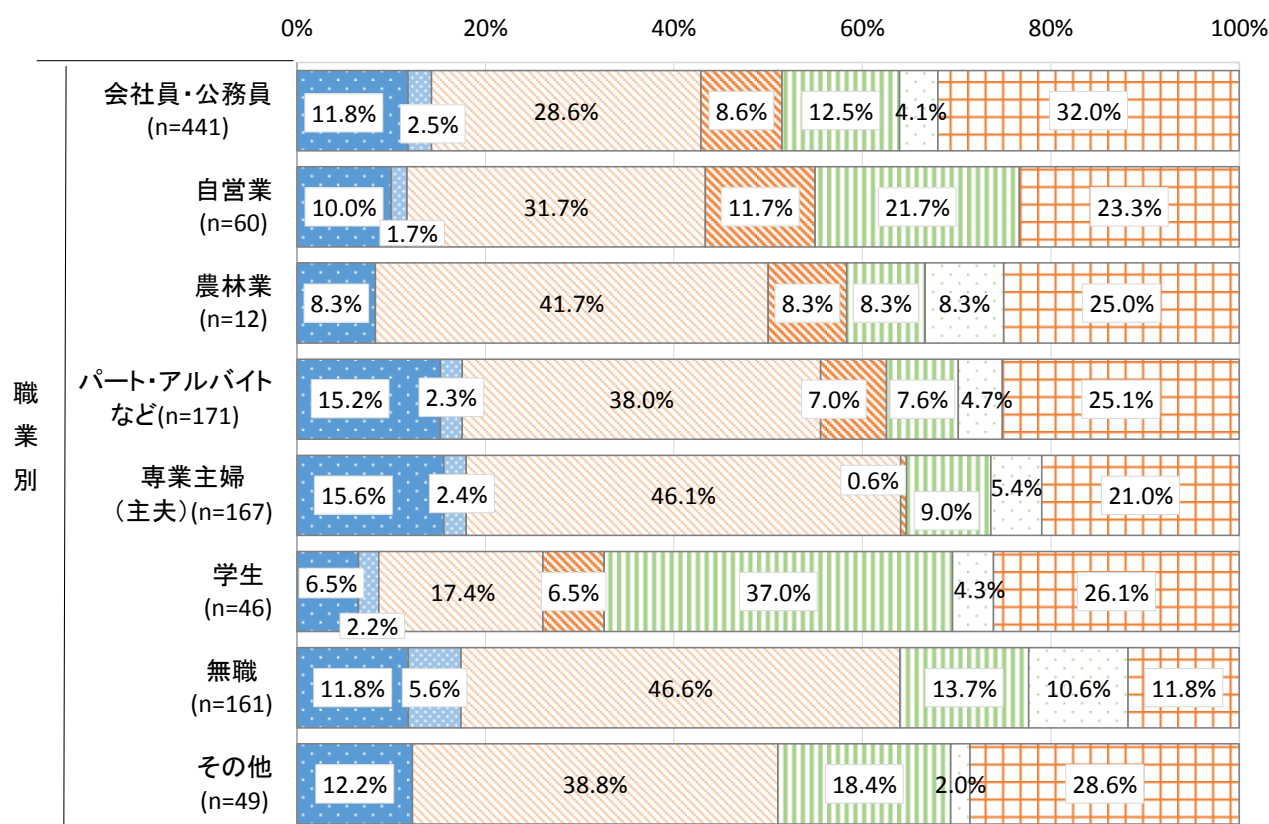
<世帯に含む人別>

- ・いずれの方がいる世帯でも、「日常の用事」が最も多く 30%を超えている。



<職業別>

- ・専業主婦（主夫）、無職では、「日常の用事」が最も多く 45%を超えている。
- ・学生は、「移動・乗り換え」が最も多くなっている。



問 33 あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。
 <〇は1つ>

① 全体集計の結果

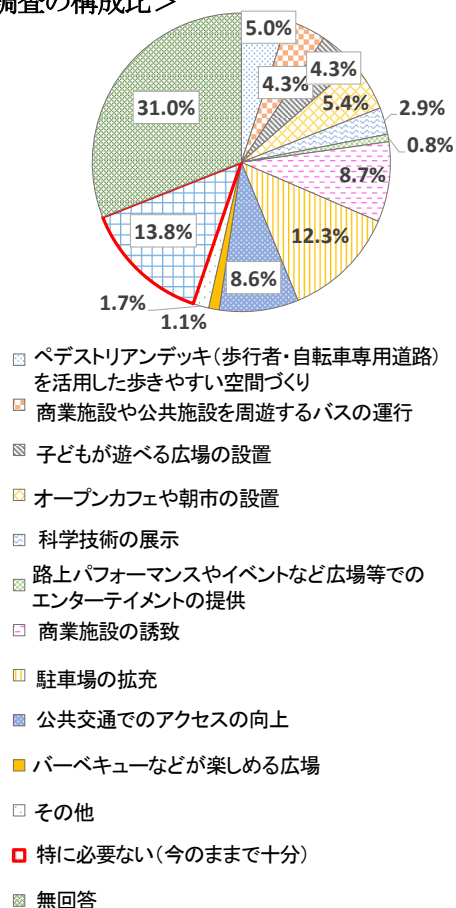
◇にぎわいのあるつくばセンター地区にするために必要な取組は、「特に必要ない（今のままで十分）」が1位

- ・必要な取組については、「特に必要ない（今のままで十分）」が170人(13.8%)で最も多く、次いで「駐車場の拡充」が152人(12.3%)となっている。
- ・過年度調査と比べると、「ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）を活用した歩きやすい空間づくり」及び「駐車場の拡充」は減少している。

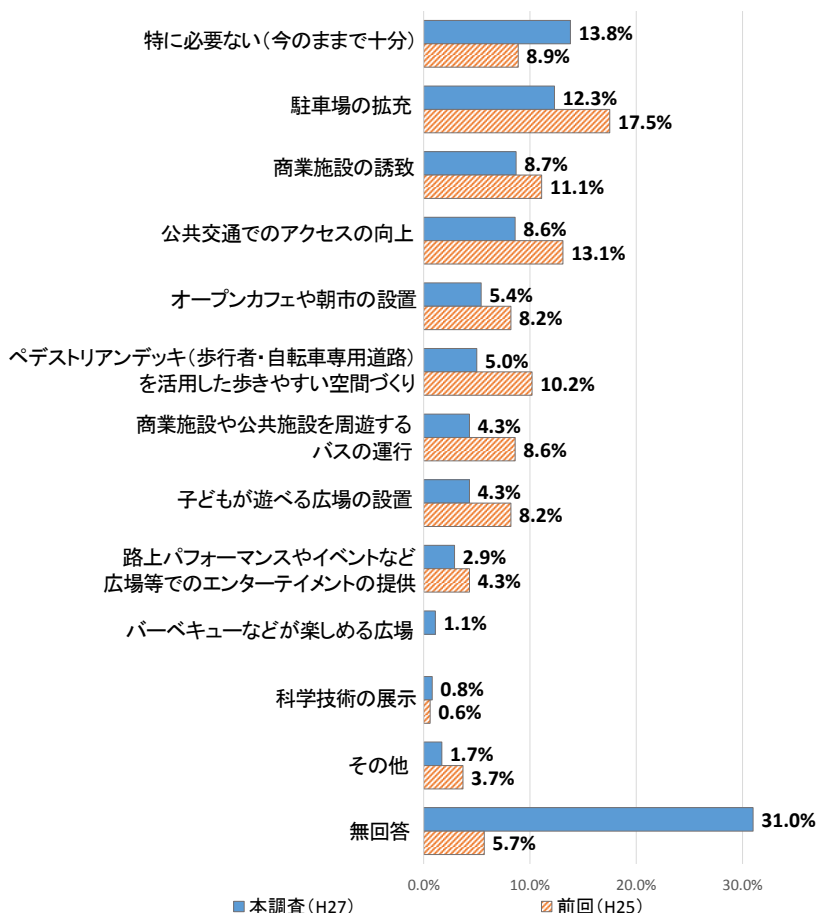
選択肢	本調査（H27）		前回（H25）
	回答数（人）	構成比	構成比
ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）を活用した歩きやすい空間づくり	62	5.0%	10.2%
商業施設や公共施設を周遊するバスの運行	53	4.3%	8.6%
子どもが遊べる広場の設置	53	4.3%	8.2%
オープンカフェや朝市の設置	67	5.4%	8.2%
路上パフォーマンスやイベントなど広場等でのエンターテインメントの提供	36	2.9%	4.3%
科学技術の展示	10	0.8%	0.6%
商業施設の誘致	107	8.7%	11.1%
駐車場の拡充	152	12.3%	17.5%
公共交通でのアクセスの向上	106	8.6%	13.1%
バーベキューなどが楽しめる広場	14	1.1%	－
その他	21	1.7%	3.7%
特に必要ない（今のままで十分）	170	13.8%	8.9%
無回答	382	31.0%	5.7%
全体	1,233	100.0%	100.0%

※「路上パフォーマンスやイベントなど広場等でのエンターテインメントの提供」は、前回調査（H25）では「路上パフォーマンスやイベントの実施」、「バーベキューなどが楽しめる広場」は、本調査で新たに追加した選択肢

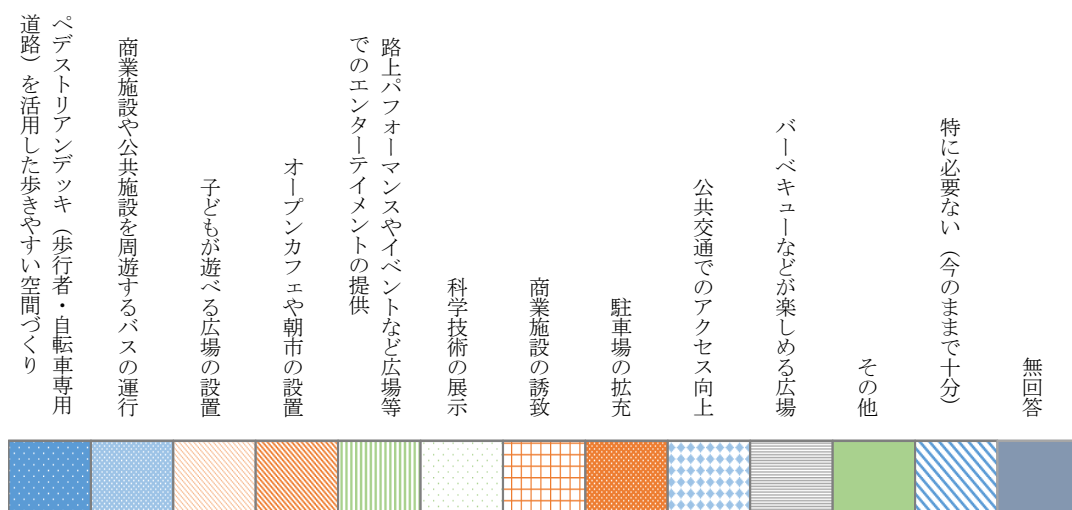
<本調査の構成比>



<過年度調査との比較>

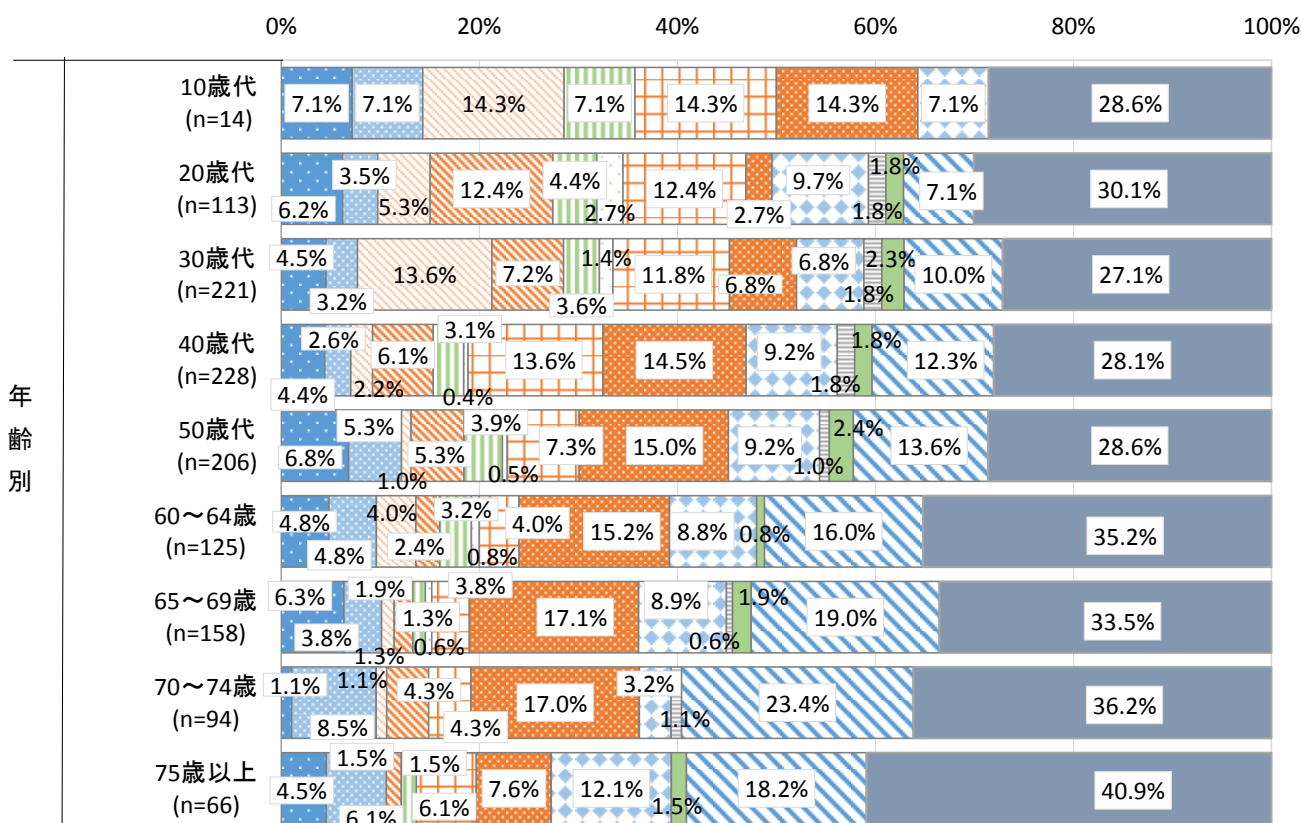


②-1 クロス集計の結果（問 33 と年齢別構成比）

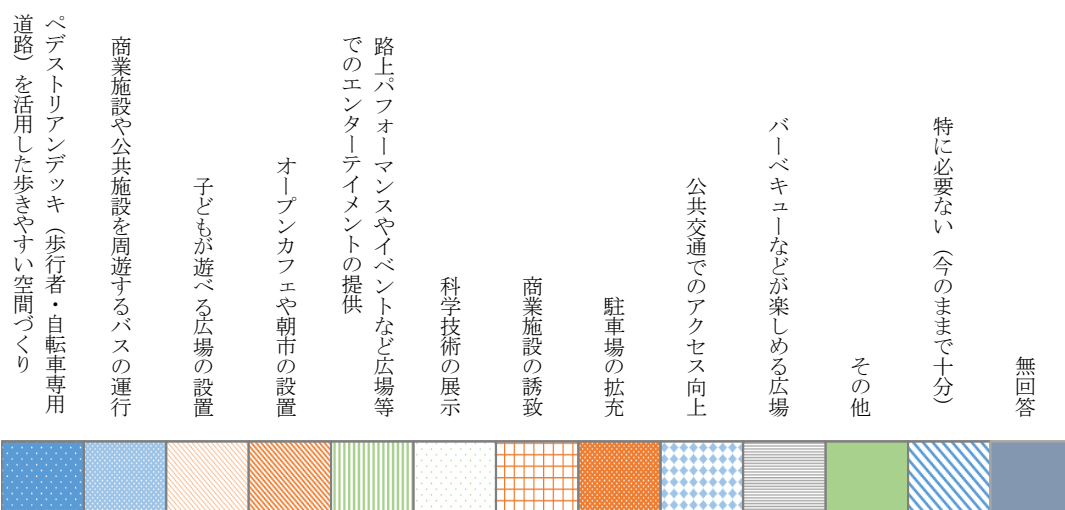


<年齢別>

- ・70～74 歳では、「特に必要ない（今のままで十分）」が 20%を超えている。

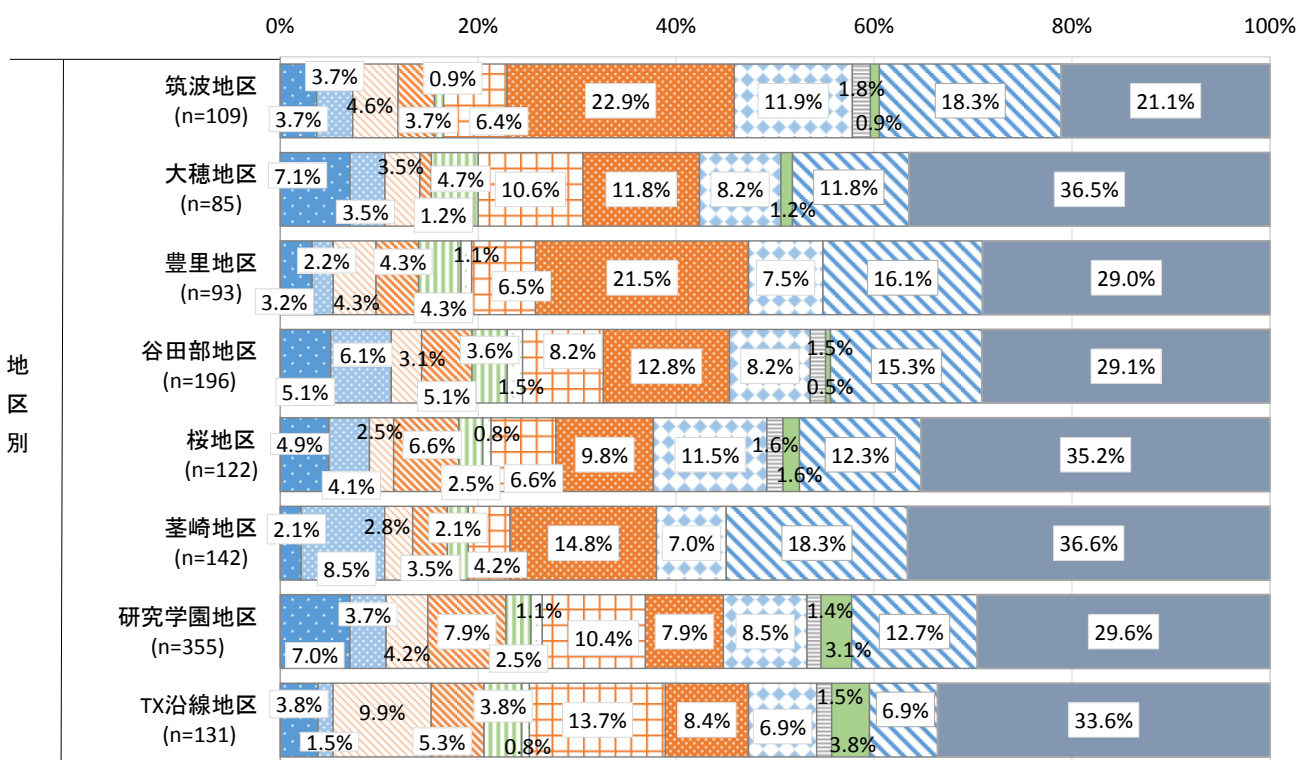


②-2 クロス集計の結果（問 33 と地区別構成比）



<地区別>

- ・筑波地区、豊里地区では、「駐車場の充実」が最も多く 20%を超えている。



11 国際化の推進・科学技術の振興について

問 34 あなたは、「国際都市」として、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

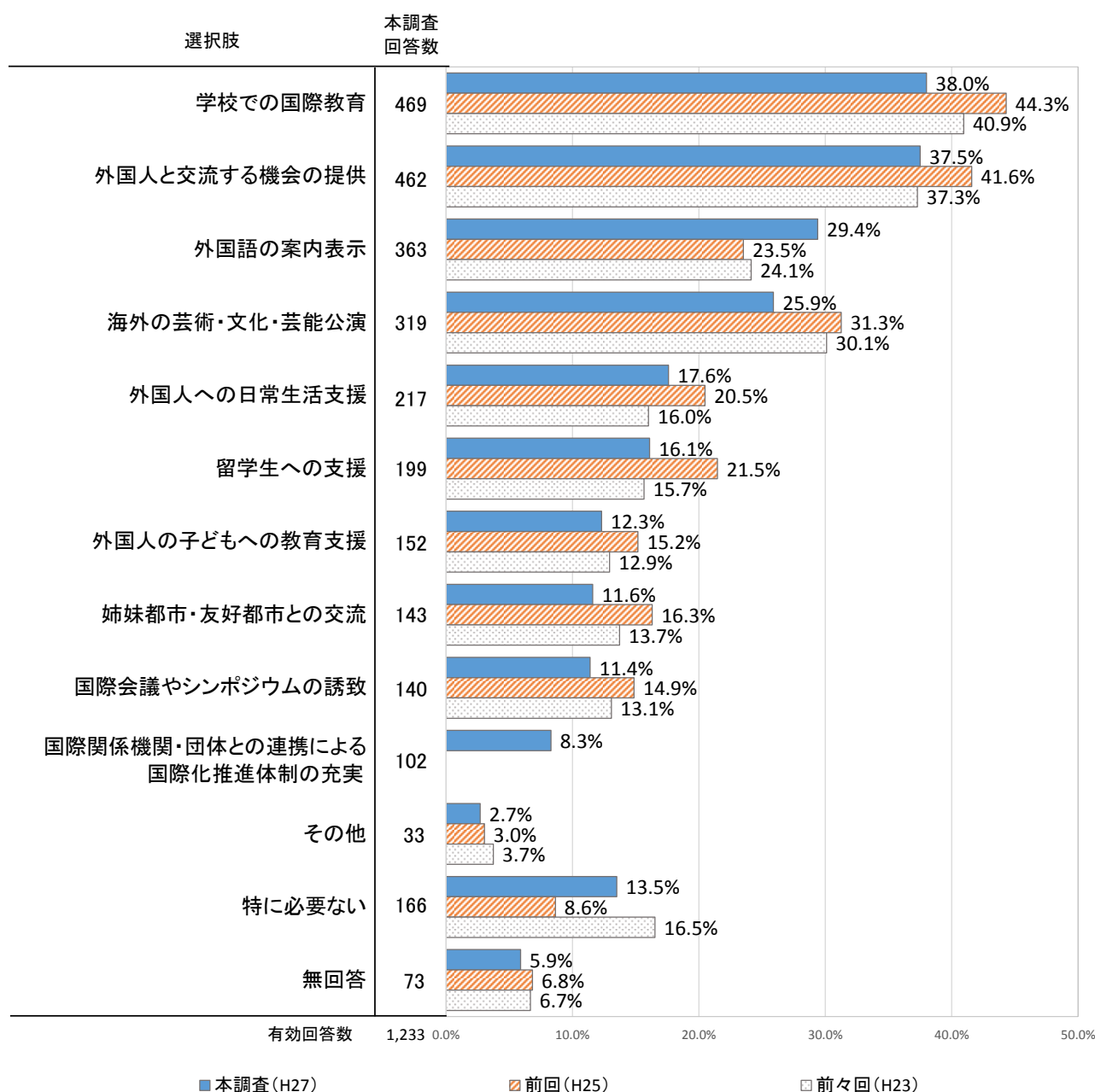
<3つまで>

① 全体集計の結果

◇国際都市として取り組むべきことは、「学校での国際教育」が4割近く

- ・つくば市が取り組むべきことについては、「学校での国際教育」が469人(38.0%)で最も多く、次いで「外国人と交流する機会の提供」が462人(37.5%)となっている。
- ・過年度調査と比べると、「外国語の案内表示」は増加し、「留学生への支援」及び「学校での国際教育」、「海外の芸術・文化・芸能公演」は減少している。

<本調査と過年度調査との構成比>



※「国際関係機関・団体との連携による国際化推進体制の充実」は、本調査から追加した選択肢

②-1 クロス集計の結果（問 34 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・10～30 歳代, 50 歳代, 70～74 歳では, 「外国人と交流する機会の提供」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	外国人と交流する機会の提供		外国人への日常生活支援/外国語の案内表示/海外の芸術・文化・芸能公演						学校での国際教育	
	8	57.1%	4		28.6%				3	21.4%
20歳代 (n=113)	外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		留学生への支援/学校での国際教育/海外の芸術・文化・芸能公演					
	37	32.7%	36	31.9%	29		25.7%			
30歳代 (n=221)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援	
	97	43.9%	96	43.4%	71	32.1%	48	21.7%	44	19.9%
40歳代 (n=228)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援	
	97	42.5%	95	41.7%	68	29.8%	53	23.2%	39	17.1%
50歳代 (n=206)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援	
	88	42.7%	81	39.3%	70	34.0%	64	31.1%	39	18.9%
60～64歳 (n=125)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		留学生への支援	
	50	40.0%	45	36.0%	37	29.6%	34	27.2%	27	21.6%
65～69歳 (n=158)	学校での国際教育		外国語の案内表示		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援	
	57	36.1%	44	27.8%	41	25.9%	40	25.3%	31	19.6%
70～74歳 (n=94)	学校での国際教育/外国人と交流する機会の提供				外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援	
	35		37.2%		24	25.5%	21	22.3%	16	17.0%
75歳以上 (n=66)	学校での国際教育		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人と交流する機会の提供		留学生への支援	
	18	27.3%	17	25.8%	15	22.7%	13	19.7%	12	18.2%

<地区別>

- ・筑波地区, 大穂地区, 谷田部地区, 茎崎地区では, 「学校での国際教育」, 豊里地区, 研究学園地区, T X 沿線地区では, 「外国人と交流する機会の提供」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		特に必要ない	
	45	41.3%	43	39.4%	30	27.5%	28	25.7%	21	19.3%
大穂地区 (n=85)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		特に必要ない	
	39	45.9%	29	34.1%	25	29.4%	21	24.7%	11	12.9%
豊里地区 (n=93)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		特に必要ない	
	35	37.6%	33	35.5%	24	25.8%	21	22.6%	18	19.4%
谷田部地区 (n=196)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援	
	77	39.3%	75	38.3%	52	26.5%	46	23.5%	41	20.9%
桜地区 (n=122)	外国語の案内表示		学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供/海外の芸術・文化・芸能公演				留学生への支援	
	47	38.5%	42	34.4%	35		28.7%		26	21.3%
茎崎地区 (n=142)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援	
	58	40.8%	44	31.0%	36	25.4%	35	24.6%	26	18.3%
研究学園地区 (n=355)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援	
	137	38.6%	126	35.5%	119	33.5%	97	27.3%	74	20.8%
T X 沿線地区 (n=131)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援/海外の芸術・文化・芸能公演			
	64	48.9%	49	37.4%	37	28.2%	29		22.1%	

②-2 クロス集計の結果（問 34 と世帯に含む人別・職業別構成比 上位 5 位）

<世帯に含む人別>

- ・いずれの方がいる世帯でも、「学校での国際教育」が最も多く、次いで「外国人と交流する機会の提供」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
6 歳未満の乳幼児 (n=185)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援/外国人の子どもへの教育支援	
	90	48.6%	83	44.9%	48	25.9%	42	22.7%	31	16.8%
小中学生 (n=219)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		姉妹都市・友好都市との交流	
	116	53.0%	91	41.6%	58	26.5%	44	20.1%	34	15.5%
65～74歳の方 (n=356)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援	
	124	34.8%	115	32.3%	92	25.8%	85	23.9%	63	17.7%
75歳以上の方 (n=233)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		姉妹都市・友好都市との交流	
	86	36.9%	79	33.9%	68	29.2%	65	27.9%	37	15.9%

<職業別>

- ・会社員・公務員、自営業、学生、無職では、「外国人と交流する機会の提供」、農林業、パート・アルバイトなど、専業主婦（主夫）では、「学校での国際教育」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
会社員・公務員 (n=468)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援	
	184	39.3%	174	37.2%	154	32.9%	115	24.6%	98	20.9%
自営業 (n=65)	外国人と交流する機会の提供/海外の芸術・文化・芸能公演		学校での国際教育		特に必要ない		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援/外国人の子どもへの教育支援/留学生への支援/海外の芸術・文化・芸能公演	
	21	32.3%	20	30.8%	15	23.1%	11	16.9%		
農林業 (n=15)	学校での国際教育		外国語の案内表示/外国人と交流する機会の提供		国際会議やシンポジウムの誘致		外国人への日常生活支援/外国人の子どもへの教育支援/留学生への支援/海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援	
	8	53.3%	5	33.3%	4	26.7%	3	20.0%		
パート・アルバイトなど (n=189)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援	
	86	45.5%	67	35.4%	60	31.7%	55	29.1%	30	15.9%
専業主婦（主夫） (n=185)	学校での国際教育		外国人と交流する機会の提供		海外の芸術・文化・芸能公演		外国語の案内表示		留学生への支援	
	95	51.4%	80	43.2%	54	29.2%	48	25.9%	32	17.3%
学生 (n=49)	外国人と交流する機会の提供		外国語の案内表示		外国人への日常生活支援/留学生への支援		学校での国際教育/海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援	
	20	40.8%	17	34.7%	13	26.5%	10	20.4%		
無職 (n=200)	外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		外国語の案内表示		海外の芸術・文化・芸能公演		留学生への支援/特に必要ない	
	59	29.5%	55	27.5%	51	25.5%	41	20.5%	35	17.5%
その他 (n=49)	外国語の案内表示		外国人と交流する機会の提供		学校での国際教育		海外の芸術・文化・芸能公演		外国人への日常生活支援	
	21	42.9%	20	40.8%	18	36.7%	13	26.5%	11	22.4%

問 35 あなたは、科学技術振興のために、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

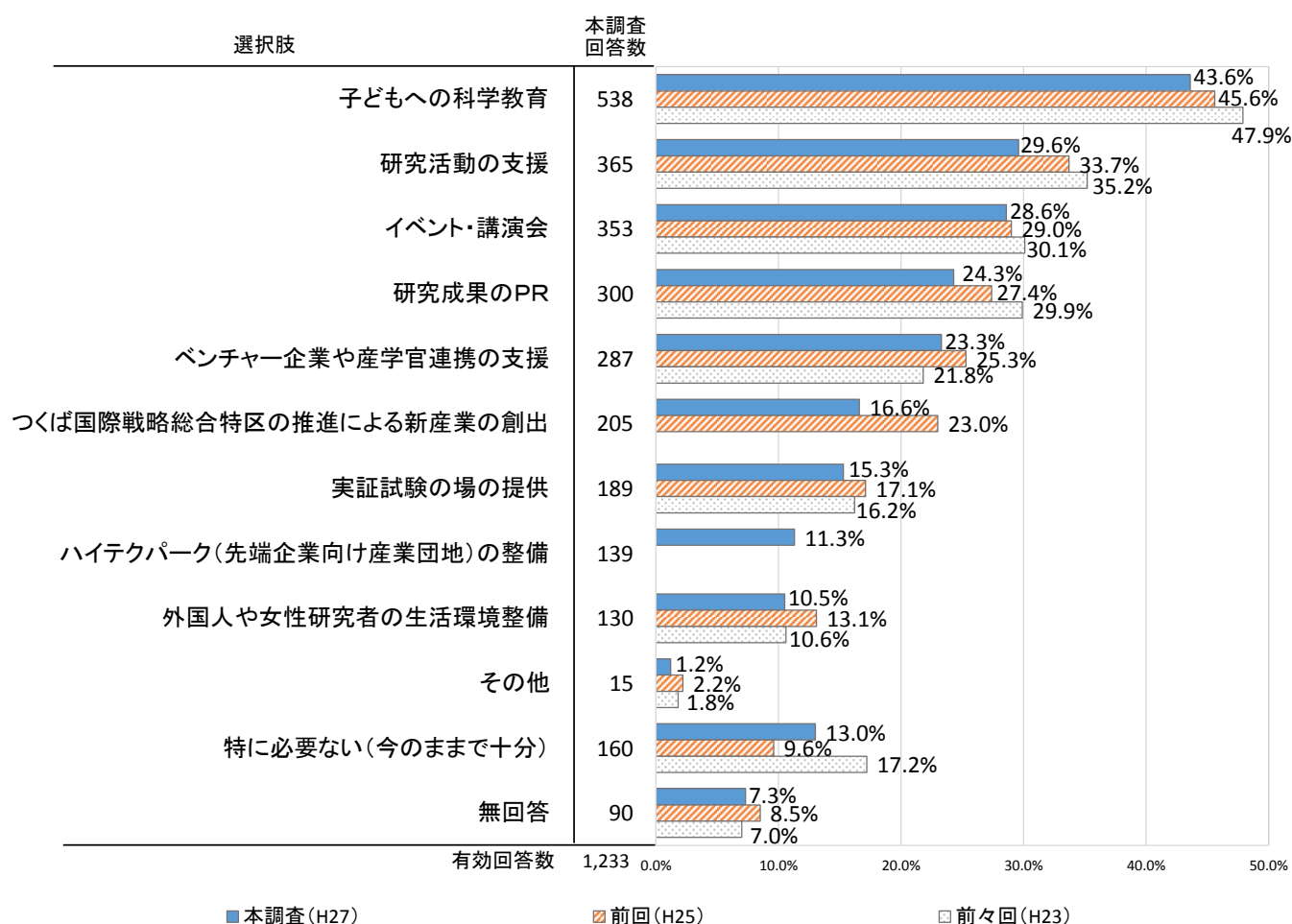
<3つまで>

① 全体集計の結果

◇科学技術振興のために取り組むべきことは、「子どもへの科学教育」が4割超え

- ・つくば市が取り組むべきことについては、「子どもへの科学教育」が 538 人(43.6%)で最も多く、次いで「研究活動の支援」が 365 人(29.6%)となっている。

<本調査と過年度調査との構成比>



※「ハイテクパーク（先端企業向け産業団地）の整備」は、本調査から追加した選択肢

②-1 クロス集計の結果（問 35 と年齢別・地区別構成比 上位 5 位）

<年齢別>

- ・20 歳代以上では、「子どもへの科学教育」、10 歳代では「イベント・講演会」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10歳代 (n=14)	イベント・講演会		子どもへの科学教育		研究活動の支援		研究成果の P R		実証試験の場の提供	
	9	64.3%	8	57.1%	5	35.7%	4	28.6%	3	21.4%
20歳代 (n=113)	子どもへの科学教育		イベント・講演会		研究活動の支援		研究成果の P R		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	52	46.0%	47	41.6%	46	40.7%	25	22.1%	23	20.4%
30歳代 (n=221)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援		研究成果の P R	
	118	53.4%	71	32.1%	68	30.8%	61	27.6%	56	25.3%
40歳代 (n=228)	子どもへの科学教育		ベンチャー企業や産学官連携の支援		研究活動の支援		イベント・講演会		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出	
	111	48.7%	65	28.5%	61	26.8%	60	26.3%	47	20.6%
50歳代 (n=206)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		研究成果の P R		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	83	40.3%	67	32.5%	65	31.6%	55	26.7%	48	23.3%
60～64歳 (n=125)	子どもへの科学教育		イベント・講演会		研究活動の支援		ベンチャー企業や産学官連携の支援		研究成果の P R	
	50	40.0%	39	31.2%	34	27.2%	31	24.8%	26	20.8%
65～69歳 (n=158)	子どもへの科学教育		研究成果の P R		研究活動の支援		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援／つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出	
	57	36.1%	41	25.9%	37	23.4%	36	22.8%	29	18.4%
70～74歳 (n=94)	子どもへの科学教育		研究成果の P R		研究活動の支援		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		イベント・講演会／実証試験の場の提供	
	37	39.4%	29	30.9%	22	23.4%	18	19.1%	16	17.0%
75歳以上 (n=66)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		研究成果の P R		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	21	31.8%	19	28.8%	15	22.7%	14	21.2%	13	19.7%

<地区別>

- ・すべての地区で、「子どもへの科学教育」が最も多く、「研究活動の支援」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
筑波地区 (n=109)	子どもへの科学教育		イベント・講演会		研究成果の P R		研究活動の支援/特に必要ない（今のままで十分）			
	44	40.4%	38	34.9%	27	24.8%	21		19.3%	
大穂地区 (n=85)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		研究成果の P R		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	36	42.4%	26	30.6%	25	29.4%	20	23.5%	16	18.8%
豊里地区 (n=93)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		研究成果の P R		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	40	43.0%	27	29.0%	25	26.9%	21	22.6%	19	20.4%
谷田部地区 (n=196)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援		研究成果の P R	
	86	43.9%	60	30.6%	54	27.6%	47	24.0%	43	21.9%
桜地区 (n=122)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会/ベンチャー企業や産学官連携の支援/研究成果の P R					
	47	38.5%	35	28.7%	29			23.8%		
茎崎地区 (n=142)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		研究成果の P R		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	63	44.4%	38	26.8%	33	23.2%	32	22.5%	27	19.0%
研究学園地区 (n=355)	子どもへの科学教育		イベント・講演会		研究活動の支援		ベンチャー企業や産学官連携の支援		研究成果の P R	
	156	43.9%	114	32.1%	112	31.5%	95	26.8%	94	26.5%
T X 沿線地区 (n=131)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会/ベンチャー企業や産学官連携の支援				研究成果の P R	
	66	50.4%	46	35.1%	39		29.8%		30	22.9%

②-2 クロス集計の結果（問 35 と世帯に含む人別・職業別構成比 上位 5 位）

<世帯に含む人別>

- ・いずれの方がいる世帯でも、「子どもへの科学教育」が最も多く、「イベント・講演会」が上位に入っている。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
6 歳未満の乳 幼児 (n=185)	子どもへの科学教育		イベント・講演会		研究活動の支援		ベンチャー企業や産 学官連携の支援		研究成果の P R	
	119	64.3%	56	30.3%	52	28.1%	50	27.0%	34	18.4%
小中学生 (n=219)	子どもへの科学教育		イベント・講演会		研究活動の支援		ベンチャー企業や産学官連携の支援/研究成 果の P R			
	125	57.1%	65	29.7%	60	27.4%	49		22.4%	
65～74歳の方 (n=356)	子どもへの科学教育		イベント・講演会/研究活動の支援/研究成果の P R						ベンチャー企業や産 学官連携の支援	
	136	38.2%	89			25.0%			71	19.9%
75歳以上の方 (n=233)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		研究成果の P R		イベント・講演会		ベンチャー企業や産 学官連携の支援	
	93	39.9%	62	26.6%	59	25.3%	58	24.9%	44	18.9%

<職業別>

- ・すべての職業で、「子どもへの科学教育」が最も多い。

回答順	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
会社員・公務員 (n=468)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		ベンチャー企業や産学官連携の支援		研究成果の P R	
	212	45.3%	143	30.6%	140	29.9%	139	29.7%	116	24.8%
自営業 (n=65)	子どもへの科学教育		つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出		イベント・講演会		特に必要ない（今のままで十分）		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	24	36.9%	18	27.7%	17	26.2%	15	23.1%	13	20.0%
農林業 (n=15)	子どもへの科学教育		研究活動の支援/研究成果の P R				イベント・講演会/実証試験の場の提供/ハイテクパーク（先端企業向け産業団地）の整備			
	7	46.7%	6		40.0%		4		26.7%	
パート・アルバイトなど (n=189)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		研究成果の P R		特に必要ない（今のままで十分）	
	84	44.4%	56	29.6%	54	28.6%	46	24.3%	32	16.9%
専業主婦（主夫） (n=185)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会		研究成果の P R		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	101	54.6%	57	30.8%	53	28.6%	49	26.5%	37	20.0%
学生 (n=49)	子どもへの科学教育		イベント・講演会		研究活動の支援		研究成果の P R		ベンチャー企業や産学官連携の支援	
	23	46.9%	21	42.9%	20	40.8%	11	22.4%	9	18.4%
無職 (n=200)	子どもへの科学教育		研究活動の支援		イベント・講演会/研究成果の P R				つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出	
	66	33.0%	50	25.0%	46		23.0%		42	21.0%
その他 (n=49)	研究活動の支援/子どもへの科学教育				ベンチャー企業や産学官連携の支援		イベント・講演会		研究成果の P R	
	21		42.9%		18	36.7%	15	30.6%	11	22.4%

12 自由意見

(1) 記入者数と意見数

自由意見として、全回答者（1,233人）のうち320人（26.0%）から550件の意見があった。

※1人で複数の意見を記入している場合は、内容ごとに分けて集計。

(2) つくば市未来構想に基づく意見の集計

「つくば市未来構想」の4つのまちづくりの理念ごとに集計した。複数人からあった意見を「主な意見」として記載し、アンケートへの意見等のいずれにも入らないものは「⑤その他」としている。

理念ごとに見ると、「快適で安全・安心を実感できるまち」に関する意見が最も多く、次いで「つくばの資源をいかし、世界へ貢献するまち」に関する意見が多くなっている。

内容としては、「快適で安全・安心を実感できるまち」の「都市計画」に関することが最も多く、次いで「つくばの資源をいかし、世界へ貢献するまち」の「行政運営」に関することが多くなっている。

① 人を育み、みんなで支えあうまち

※（ ）は意見数

項 目		主な意見（要約）
高齢者福祉 (21)	高齢者の生活環境支援 (18)	・公共交通機関が少なく、自動車運転免許を返納すると買物も医者も行けなくなる。 ・独居老人の生活支援の方法を考えてほしい。 ・高齢者に優しい環境づくりをしてほしい。 など
	介護 (3)	・介護の相談に乗ってくれる場所がほしい。 など
子育て (14)		・子育て支援の拡充が必要である。 など
医療・健康診断 (7)		・産婦人科が少ない。 ・夜間・休日診療の病院をもっと増やしてほしい。 など
教育 (32)	学校施設 (8)	・小中高校を増設してほしい。 ・小中学校のエアコン・トイレなどの整備をしてほしい。 など
	教育環境 (24)	・図書館の設備と蔵書の充実を図ってほしい。 ・市内で教育における格差がなくなるようにしてほしい。 ・中心地の学校施設への開発や投資が多い。市全体のレベルを上げてほしい。 ・小中一貫の取組が始まったが、教員の増員や少人数制度など、教育改革の実施をしてほしい。 など
スポーツ・レクリエーション・イベント (24)		・スポーツ施設の設備を整備してほしい。 ・既存の公園や運動施設の整備に力を入れてほしい。 ・総合運動公園はいらない。 ・市内各地のまつりを集めたものなど、まつりに地域の色を出してほしい。 など
		・総合運動公園建設は、住民への説明不足があったのかもしれないが、白紙に戻ってしまったことは残念。 など
地域コミュニティ (8)		・コミュニティーの充実や安心安全のまちづくりをしてほしい。 など

② 快適で安全・安心を実感できるまち

項 目		主な意見（要約）
防犯（26）	街路灯整備（15）	・ 夜間暗く、防犯のため街灯を増やしてほしい。
	防犯対策（11）	・ 空家対策をしっかりとしてほしい。 ・ 警察による巡回警備を強化し、市内全域に防犯カメラを設置してほしい。 ・ 犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策に努めてほしい。 など
都市計画（83）	景観（8）	・ 街路樹の手入れをもっと頻繁にしてほしい。 など
	公園・緑地（7）	・ 大きな広い公園を造ってほしい。 など
	都市計画全般（68）	・ 中心部と周辺地域とでは学校・道路等の整備に格差がある。 ・ 特性を残して、つくばらしく発展してほしい。 ・ よりコンパクトなまちづくりを行ってほしい。 など
		・ 自然が多く商業施設も充実しており、住みやすい街だと思う。 ・ 住環境も教育・文化施設も整っていて、とても魅力的な市だと思う。 など
上下水道（11）	上下水道整備（6）	・ 上下水道が整備されていない。 ・ 上下水道の整備が遅れている。
	上下水道料金（5）	・ 上下水道料金が高い。
道路整備・維持管理（36）	歩道整備（11）	・ 歩道が確保されていない道がある。 ・ 歩道の整備が悪く、非常に危険である。 など
	道路整備（20）	・ 研究学園駅近辺や国道354号線の渋滞がひどいので、混雑を解消してほしい。 ・ 自転車専用レーンを早急に整備してほしい。 ・ 中心部以外の道路の整備をしてほしい。 など
	維持管理（5）	・ 道路脇の草や植栽を刈ってほしい。 など
公共交通（34）	つくバス・つくタク（11）	・ つくバスの料金、本数、利用方法を改善してほしい。 ・ つくバスの停車する場所の見直しをしてほしい。 など
	つくばエクスプレス（6）	・ つくばエクスプレスの運賃が高い。 ・ つくばエクスプレスの本数を増やしてほしい。 など
	公共交通網等（17）	・ 交通の便（電車、バス）があまり良くない。 ・ 高齢化社会を迎え、公共交通機関の充実がますます必要になる。 ・ つくば市がバス会社等との時間調整にあたってほしい。 など
自動車・自転車交通（23）	自動車交通（19）	・ 交通環境・交通マナーが悪い。 ・ 中心市街地に安価な駐車場を整備してほしい。 ・ 車がないと生活できない。 など
	自転車交通（4）	・ 自転車のマナーが悪く、安心できない道路が多くある。 など
中心市街地活性化（26）		・ 中心部と周辺地域の格差がどんどん広がっている。 ・ 開発が中心部に偏りすぎている。 など
生活環境（16）		・ ゴミの不法投棄が多いので、対応してほしい。 ・ 田畑の荒地が多く、枯れ草等による火災の危険がある。 など

③ 環境にやさしく、次世代へつなぐまち

項 目	主な意見（要約）
自然環境の保全（4）	・ もともとある自然を壊さないでほしい。 など

④ つくばの資源をいかし、世界へ貢献するまち

項 目		主な意見（要約）
産業振興（13）	商業振興（9）	・小規模商店街が少なく、さびれている。 ・既存の商業施設等が存続できるようなまちづくりをしてほしい。 など
	企業支援（4）	・産業に力を入れ、大手メーカー等の工場を誘致してはどうか。 など
農業振興（5）		・地域の農産物や特産品をもっとアピールしてほしい。 ・地場産業（特に農産品）を育成し、自然豊かな食の安全が守られた市の姿を目指してほしい。 など
科学技術振興（11）		・研究学園都市である特徴をPRしていくことが発展につながるのではない か。 ・科学者向けのイベントや大学の研究費への補助金を増やしてほしい。 など
観光振興（5）		・筑波山に観光施設を充実させてほしい。 など
雇用対策（4）		・つくば市内で希望する職種に就業が難しい。 など
行政運営（74）	行政サービス（37）	・ゴミの収集時間が遅い。 ・福祉や教育など、身近な施策が遅れている。 ・市役所職員の不親切な対応が残念である。 など
	行財政改革（37）	・市議員の給料・定数を減らすべきである。 ・税金の使い道に格差があり、住んでいる場所により税金額も変えてほしい。 ・税金の無駄遣いは徹底的に削減してほしい。 ・周辺地域は整備されず、市計画税を取られるばかりで不満である。 など
情報発信（8）		・誰がみても分かりやすい“市内の情報提供方法”があればよいと思う。 ・市の活動を周知する場所を増やした方がよい。 など

⑤ その他

項 目	主な意見（要約）
アンケート（52）	・アンケートで市政への意見を提出しても改善されない。 ・アンケート内容について中心部の設問が多いことが気になる。 ・質問項目が多くて時間がかかった。 ・以前にもアンケートがきており不快に感じる。 ・質問内容が難しく判断ができず困った。 など
	・アンケートを通しつくば市の魅力に改めて気づいた。 ・身のまわりの意識の欠如に気付かされた、問題意識を持ちたいと思う。 ・民意を直接届けられる機会が少ないので助かる。 など

※アンケート以外のその他（13）は、記載を省略

Ⅲ 調査票

平成 27 年度つくば市民意識調査

《アンケートご協力のお願い》

皆様には、つくば市政に対して、日頃から深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

つくば市では、市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、市民の皆様が重要と感じている施策や課題、社会情勢から重点的な取組が必要な課題について、皆様のご意見をお伺いするために市民意識調査を実施いたします。

調査票は、住民基本台帳に記載された 18 歳以上の男女 2,400 人を無作為に選ばせていただき、郵送させていただきました。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成 27 年 11 月

つくば市長 市 原 健 一

【ご回答に当たってのお願い】

- 1 調査の回答は、あて名のご本人が行ってください。（どなたかに代筆いただいても結構です。）それが無理な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
 - 2 設問には、「1 つ」または「複数」選んで当てはまる番号もしくは当てはまる欄に○印をつけるもの、また、当てはまる番号を「3 つ」まで選んで記入するものがありますので、ご案内に従い回答してください。
 - 3 ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、11 月 24 日（火）までに、切手を貼らずに郵便ポストに投かんしてください。
 - 4 ウェブ回答をご希望の方は、以下の専用ウェブサイトから ID・パスワードをご入力の上ご回答いただけます。（詳細は別紙参照）
〈専用ウェブサイト URL〉 <https://survey.cservice.jp/s/tsukubacity2015/>
 - 5 その他
 - ・お名前やご連絡先をご記入いただく必要はございません。
 - ※すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定できないことはもとより、他の目的には利用いたしません。また、ウェブ回答の ID については、調査票にランダムに付与しており、個人は特定できないようにしています。
 - ・調査結果は、広報つくば、市ホームページで公表いたします。
- 〈お問合せ先〉 つくば市総務部 行政経営課
TEL 029-883-1111（代表）内線 5680
FAX 029-868-7624

※つくば市を 8 つのエリア（筑波地区、大穂地区、豊里地区、谷田部地区、桜地区、荖崎地区、研究学園地区、TX 沿線地区）に分け、地区ごとに色分けした調査票を配布しています。

※返信用封筒の受取人あて先の下にある「バーコード」は、料金受取人払のため郵便局が使用するものです。個人を特定するためのものではありません。

ID :

あなたご自身について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

1 あなたの性別を教えてください。

<○は1つ>

1 男性

2 女性

2 あなたの年齢を教えてください。

<○は1つ>

1 10 歳代

4 40 歳代

7 65～69 歳

2 20 歳代

5 50 歳代

8 70～74 歳

3 30 歳代

6 60～64 歳

9 75 歳以上

3 あなたの世帯構成を教えてください。

<○は1つ>

1 ひとり暮らし

4 三世帯同居

2 夫婦のみ

5 その他

3 親子

4 あなたの世帯（あなた自身も含めて）には、次に当てはまる方はいますか。

<○は当てはまるものすべて>

1 6 歳未満の乳幼児

3 65～74 歳の方

2 小中学生

4 75 歳以上の方

5 あなたの職業（兼業の方は主たる職業）を教えてください。

<○は1つ>

1 会社員・公務員

5 専業主婦（主夫）

2 自営業

6 学生

3 農林業

7 無職

4 パート・アルバイトなど

8 その他（具体的に：_____）

6 あなたの現在のお住まいを教えてください。

<○は1つ>

1 一戸建（持ち家）

5 公営住宅（公社・県営・市営）

2 一戸建（借家）

6 社宅・官舎

3 集合住宅（分譲）

7 その他

4 集合住宅（賃貸）

現在の住環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問1 あなたは、つくば市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。
※合併前の旧市町村も含めてお答えください。

<○は1つ>

- 1 1年未満
- 2 1年以上5年未満
- 3 5年以上10年未満
- 4 10年以上20年未満
- 5 20年以上30年未満
- 6 30年以上

問2 あなたは、つくば市以外に住んでいたことがありますか。

<○は1つ>

- 1 ある
- 2 ない

問3 あなたは、これからもつくば市に住み続けたいと思いますか。

<○は1つ>

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 住み続けたい | 3 どちらかといえば住み続けたくない |
| 2 どちらかといえば住み続けたい | 4 住み続けたくない |
| | 5 どちらともいえない |

問4 あなたは、つくば市の「住み心地」についてどう感じていますか。

<○は1つ>

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 3 どちらかといえば住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 4 住みにくい |
| | 5 どちらともいえない |

▶【問4で「1 住みやすい」「2 どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きします】

問5 住みやすいと感じる主な理由は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- | |
|--------------------|
| 1 豊かな自然 |
| 2 日常生活が便利 |
| 3 通勤・通学先が近い |
| 4 交通の便が良い |
| 5 教育・文化環境が良い |
| 6 居住環境が良い |
| 7 充実した医療機関・福祉サービス |
| 8 充実した公共施設 |
| 9 暮らしていて安全 |
| 10 家族が近くにいる |
| 11 住み慣れている |
| 12 その他（具体的に：_____） |

▶【問4で「3 どちらかといえば住みにくい」「4 住みにくい」とお答えの方にお聞きします】

問6 住みにくと感じる主な理由は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- | |
|--------------------|
| 1 自然が少ない |
| 2 日常生活が不便 |
| 3 通勤・通学先が遠い |
| 4 交通の便が悪い |
| 5 教育・文化環境が悪い |
| 6 居住環境が悪い |
| 7 医療機関・福祉サービスが不足 |
| 8 公共施設が不足 |
| 9 暮らしていて不安 |
| 10 家族が遠くにいる |
| 11 住み慣れていない |
| 12 その他（具体的に：_____） |

問7 あなたは、つくば市の景観をどう思いますか。

<○は1つ>

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 優れている | 3 どちらかといえば優れていない |
| 2 どちらかといえば優れている | 4 優れていない |
| | 5 わからない |



▶【問7で「1 優れている」または「2 どちらかといえば優れている」とお答えの方にお聞きします】

問8 優れていると感じる景観を教えてください。

<○は当てはまるものすべて>

- | |
|-----------------------------|
| 1 筑波山 |
| 2 牛久沼 |
| 3 田園風景 |
| 4 里山・平地林 |
| 5 研究学園都市の街並み |
| 6 つくばエクスプレス駅周辺の街並み |
| 7 農村集落の街並み |
| 8 筑波山麓の観光地の街並み |
| 9 西部・北部工業団地の街並み |
| 10 ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路） |
| 11 公園 |
| 12 街路樹 |
| 13 電線・電柱が地中化された風景 |
| 14 その他（具体的に：_____） |

あなたの普段の生活について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または当てはまる番号をお選びください。

問9 あなたは、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。当てはまる数字（点数）を選んでください。

<○は1つ>

とても 幸せ											とても 不幸
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	

問10 あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください：

--	--	--

- 1 健康状況
- 2 就業状況
- 3 家計の状況
- 4 自由な時間
- 5 精神的ゆとり
- 6 生きがい
- 7 余暇
- 8 家族関係
- 9 友人関係
- 10 職場の人間関係
- 11 仕事の充実感
- 12 地域コミュニティ
- 13 その他（具体的に：_____）

問11 あなたは、心配ごとや困っていることはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

- 1 健康のこと
- 2 老後のこと
- 3 仕事や職場のこと
- 4 結婚のこと
- 5 お金のこと
- 6 子どもの保育や教育のこと
- 7 近所づきあいのこと
- 8 住宅のこと
- 9 交通手段が不便なこと
- 10 災害や犯罪のこと
- 11 その他（具体的に：_____）
- 12 特にない

問12 あなたは、現在、どのような地域活動に参加していますか。

＜○は当てはまるものすべて＞

- 1 区会・自治会
- 2 消防団（自衛消防団を含む）・自主防災組織
- 3 ボランティア
- 4 スポーツ・趣味
- 5 お祭り・イベント
- 6 子ども会・育成会
- 7 シルバークラブ
- 8 PTA
- 9 その他（具体的に：_____）
- 10 特にない



→【問12で「10 特にない」とお答えの方にお聞きします】

問13 地域活動に参加していない主な理由は何ですか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください：

----------------------	----------------------	----------------------

- 1 仕事で忙しい
- 2 子育てや介護で忙しい
- 3 役職に就きたくない
- 4 友人・知人がいない
- 5 情報がない
- 6 関心や興味がない
- 7 人間関係がわずらわしい
- 8 参加しにくい雰囲気がある
- 9 その他（具体的に：_____）
- 10 特に理由はない

問14 あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。

＜○は当てはまるものすべて＞

- 1 防災用品や食料・水の備蓄
- 2 災害時の避難経路や避難場所の確認
- 3 住まいの耐震（免震）構造
- 4 その他（具体的に：_____）
- 5 何もしていない

問15 あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。

<〇は1つ>

- 1 いつも参加
- 2 ときどき参加
- 3 参加していない

...

▶【問15で「3 参加していない」とお答えの方にお聞きします】

問16 防犯活動に参加しない理由は何ですか。

<〇は1つ>

- 1 時間がない
- 2 活動がわずらわしい
- 3 人間関係がわずらわしい
- 4 組織がない
- 5 組織があるかわからない
- 6 必要だと思わない
- 7 わからない
- 8 その他（具体的に：_____）

問17 あなたが、地球温暖化対策として実施していることは何ですか。

<〇は当てはまるものすべて>

- 1 自転車・徒歩による移動
- 2 電気・ガス・水等の節約
- 3 エコバッグの持参
- 4 エコドライブ
- 5 ごみの適正分別
- 6 ソーラー給湯器・太陽光発電等の利用
- 7 環境に配慮した商品の購入
- 8 環境保全活動への参加
- 9 その他（具体的に：_____）
- 10 特に何もしていない

つくば市への愛着について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問18 あなたは、つくば市に愛着を持っていますか。

＜○は1つ＞

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 愛着がある | 3 どちらかといえば愛着がない |
| 2 どちらかといえば愛着がある | 4 愛着がない |
| | 5 どちらともいえない |

問19 あなたが、市外の友人に紹介したい（自慢したい）と思うつくば市の魅力は何ですか。

＜○は当てはまるものすべて＞

- | |
|-------------------------------------|
| 1 自然（筑波山，牛久沼など） |
| 2 科学（研究学園都市，研究機関の見学施設など） |
| 3 自然体験施設（豊里ゆかりの森，筑波ふれあいの里など） |
| 4 史跡（平沢官衙遺跡，小田城跡など） |
| 5 学校教育（小中一貫校，ICT教育など） |
| 6 子育て環境 |
| 7 公園 |
| 8 農産物 |
| 9 特産品（北条米，ブルーベリー，福来みかんなど） |
| 10 まつり（まつりつくば，筑波山梅まつり，つくばフェスティバルなど） |
| 11 自転車の街（つくばりんりんロードなど） |
| 12 ロボットの街 |
| 13 _____の街（例えば，パンの街，ラーメンの街など具体的に） |
| 14 つくばエクスプレス |
| 15 その他（具体的に：_____） |

つくば市の現状やまちづくりへの取組について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問20 あなたは、ふだんの生活の中で、次の 1)～39)の項目について、どの程度満足していますか。

＜○は1つずつ＞

満足度		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない
項目						
健康・福祉	1) 高齢者の福祉	1	2	3	4	5
	2) 子育て環境	1	2	3	4	5
	3) 障害者の福祉	1	2	3	4	5
	4) 生活困窮者の福祉	1	2	3	4	5
	5) 健康づくりの支援	1	2	3	4	5
	6) 病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
生活環境・防犯・防災	7) 生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	1	2	3	4	5
	8) 防犯対策	1	2	3	4	5
	9) 防災対策	1	2	3	4	5
	10) 交通安全環境（通学路の安全など）	1	2	3	4	5
	11) 住宅環境	1	2	3	4	5
まちづくり	12) つくば駅周辺のにぎわい	1	2	3	4	5
	13) 低炭素社会の推進	1	2	3	4	5
	14) 環境意識の啓発	1	2	3	4	5
	15) 自然環境や資源の保全・活用	1	2	3	4	5
	16) 公共交通	1	2	3	4	5
	17) 道路整備	1	2	3	4	5
	18) 上水道整備	1	2	3	4	5
	19) 下水道整備	1	2	3	4	5

満足度		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	わからない
項目						
教育・スポーツ・文化	20) 小中一貫教育の充実	1	2	3	4	5
	21) I C T教育や科学教育の充実	1	2	3	4	5
	22) 教育環境の整備	1	2	3	4	5
	23) 児童生徒の支援体制整備	1	2	3	4	5
	24) スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	5
	25) 文化・芸術	1	2	3	4	5
	26) 文化財の保護	1	2	3	4	5
	27) 男女共同参画	1	2	3	4	5
	28) 国際化の推進	1	2	3	4	5
	29) 生涯学習	1	2	3	4	5
	30) 地域交流センター, 図書館等の文化施設	1	2	3	4	5
産業・観光	31) 農業の振興	1	2	3	4	5
	32) 商工業の振興	1	2	3	4	5
	33) 観光の振興	1	2	3	4	5
	34) シティ・プロモーション	1	2	3	4	5
地域・行政	35) 市の広報・ホームページ	1	2	3	4	5
	36) 行政改革	1	2	3	4	5
	37) 市民協働	1	2	3	4	5
	38) 科学技術の振興	1	2	3	4	5
	39) ロボットの街つくばの取組	1	2	3	4	5

→【問20で「3 どちらかといえば不満」または「4 不満」とお答えの方にお聞きします】

問21 特に不満と感じる項目番号 1)～39)と、その理由を教えてください。

<3つまで>

	項目番号	理 由
1		
2		
3		

少子高齢化への取組について

お答えは、当てはまる番号または当てはまる欄に○印をつけてください。

問22 あなたは、つくば市には安心して子どもを生み育てられる環境が整っていると思いますか。

＜○は1つ＞

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない |
| | 5 わからない |

問23 安心して子どもを生み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

＜○は当てはまる欄すべて＞

項目			充実している	不足している
1)	子育て世帯への経済的支援			
2)	夜間・休日・病後時の保育			
3)	子育て支援施設			
4)	放課後児童クラブ			
5)	産婦人科・小児科医			
6)	子育てに関する相談体制			
7)	地域で子育てを支える仕組み			
8) その他	充実	(具体的に：_____)		
	不足	(具体的に：_____)		

問24 あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。

<○は1つ>

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない
	5 わからない

問25 高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

<○は当てはまる欄すべて>

項目		充実している	不足している
1)	健康づくりや介護予防事業		
2)	高齢者の生きがいづくり支援		
3)	送迎・買い物など日常生活支援		
4)	地域で高齢者を支える仕組み		
5)	自宅外で受けられる介護サービス		
6)	自宅で受けられる介護サービス		
7)	在宅で介護する家族への支援		
8)	医療機関		
9)	緊急時や災害時の対策		
10)	情報提供		
11) その他	充実	(具体的に:_____)	
	不足	(具体的に:_____)	

スポーツの振興について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問26 あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。

<○は1つ>

- 1 週に3日以上
- 2 週に1～2日
- 3 月に1～3日
- 4 3か月に1～2日
- 5 年に1～3日
- 6 しなかった

問27 スポーツ推進のために、つくば市は今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

<○は当てはまるものすべて>

- 1 各種スポーツ行事・大会・教室の開催
- 2 地域のスポーツクラブの育成
- 3 スポーツ指導者の養成
- 4 スポーツに関する広報活動
- 5 学校体育施設の開放・整備
- 6 野外スポーツ活動施設の整備
- 7 野外を除く各種スポーツ施設の整備
- 8 スポーツに関する国際交流の振興
- 9 スポーツに関する科学的研究の促進
- 10 スポーツボランティアの支援
- 11 年齢層にあったスポーツの開発普及
- 12 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備
- 13 その他（具体的に：_____）
- 14 特に必要ない（今のままで十分）

交通環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問28 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

＜○は当てはまるものすべて＞

- | | |
|--------|-------------------|
| 1 鉄道 | 6 自家用車 |
| 2 路線バス | 7 オートバイ |
| 3 つくバス | 8 自転車 |
| 4 つくタク | 9 その他（具体的に：_____） |
| 5 タクシー | |

問29 あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車と共に安全で快適に通行できていると思いますか。

＜○は1つ＞

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 できている | 3 どちらかといえばできていない |
| 2 どちらかといえばできている | 4 できていない |
| | 5 わからない |

▶【問29で「3 どちらかといえばできていない」または「4 できていない」とお答えの方にお聞きします】

問30 歩行者と自転車と自動車と共に安全で快適に通行できるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

＜○は当てはまるものすべて＞

- | |
|----------------------------|
| 1 交通ルールの啓発 |
| 2 自転車の安全利用に関する教育の充実 |
| 3 歩道の整備 |
| 4 自転車走行空間（自転車専用通行帯等）の整備 |
| 5 既存道路の環境改善 |
| 6 横断歩道、通学路付近での減速の工夫（段差舗装等） |
| 7 放置自転車対策 |
| 8 その他（具体的に：_____） |

つくば駅周辺地区の活性化について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問31 あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。

<○は1つ>

- | | |
|------------|------------|
| 1 ほぼ毎日 | 4 月1, 2回程度 |
| 2 週2, 3回程度 | 5 年数回程度 |
| 3 週1回程度 | 6 まったく訪れない |

⋮
→【問31で1～5を選択した方にお聞きします】

問32 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<○は1つ>

- | |
|-------------------|
| 1 娯楽 |
| 2 趣味 |
| 3 日常の用事 |
| 4 仕事 |
| 5 移動・乗り換え |
| 6 その他（具体的に：_____） |

問33 あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。

<○は1つ>

- | |
|--|
| 1 ペDESTロリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）を活用した歩きやすい空間づくり |
| 2 商業施設や公共施設を周遊するバスの運行 |
| 3 子どもが遊べる広場の設置 |
| 4 オープンカフェや朝市の設置 |
| 5 路上パフォーマンスやイベントなど広場等でのエンターテインメントの提供 |
| 6 科学技術の展示 |
| 7 商業施設の誘致 |
| 8 駐車場の拡充 |
| 9 公共交通でのアクセスの向上 |
| 10 バーベキューなどが楽しめる広場 |
| 11 その他（具体的に：_____） |
| 12 特に必要ない（今のままで十分） |

国際化の推進・科学技術の振興について

お答えは、当てはまる番号をお選びください。

問34 あなたは、「国際都市」として、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください：

--	--	--

- | | |
|----|----------------------------|
| 1 | 外国人への日常生活支援 |
| 2 | 外国人の子どもへの教育支援 |
| 3 | 留学生への支援 |
| 4 | 外国語の案内表示 |
| 5 | 学校での国際教育 |
| 6 | 外国人と交流する機会の提供 |
| 7 | 姉妹都市・友好都市との交流 |
| 8 | 国際会議やシンポジウムの誘致 |
| 9 | 海外の芸術・文化・芸能公演 |
| 10 | 国際関係機関・団体との連携による国際化推進体制の充実 |
| 11 | その他（具体的に：_____） |
| 12 | 特に必要ない（今のままで十分） |

問35 あなたは、科学技術振興のために、つくば市が取り組むべきことは何だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください：

--	--	--

- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | イベント・講演会 |
| 2 | 研究活動の支援 |
| 3 | 実証試験の場の提供 |
| 4 | ベンチャー企業や産学官連携の支援 |
| 5 | 研究成果のPR |
| 6 | 子どもへの科学教育 |
| 7 | 外国人や女性研究者の生活環境整備 |
| 8 | つくば国際戦略総合特区の推進による新産業の創出 |
| 9 | ハイテクパーク（先端企業向け産業団地）の整備 |
| 10 | その他（具体的に：_____） |
| 11 | 特に必要ない（今のままで十分） |

最後に、自由にご意見をお聞かせください。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

質問は以上です。

お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

平成 27 年度つくば市民意識調査報告書

平成 28 年 3 月

発行 つくば市

調査・編集 つくば市総務部 行政経営課 行政経営係
〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目 1 番地 1

電話 029-883-1111（代表）
